平成２７年度

全国学力・学習状況調査

調査結果報告書

国語

算数
数学

理科

質問紙調査

平成２７年１２月

福岡県教育委員会

平成27年度全国学力・学習状況調査
調査結果報告書

目　　次

Ⅰ　調査の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

1　調査の目的
2　調査対象の学年
3　調査の方式
4　調査の内容
5　調査日
6　４月２１日に調査を実施した県内公立学校・児童生徒数
7　調査問題の内容

Ⅱ　調査結果の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

1　調査結果の概況
2　教科に関する調査の結果（全体の状況）
3　本県と全国の平均正答率の差の推移
4　地区別の状況
5　県全体の平均正答率度数分布（市町村単位）
6　市町村別の状況
7　児童生徒の無解答の状況（地区別）

Ⅲ　各教科の調査結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

1　小学校国語
2　小学校算数
3　小学校理科
4　中学校国語
5　中学校数学
6　中学校理科
7　過去の調査問題（同一問題）との正答率比較

Ⅳ　児童生徒質問紙に関する調査結果と分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６５

1　学習に対する関心・意欲・態度
2　各教科の内容理解
3　発表の機会
4　家庭学習
5　読書
6　基本的な生活習慣
7　テレビやビデオ・ＤＶＤ
8　携帯電話やスマートフォンの使用時間
9　家庭でのコミュニケーション
10　規範意識
11　自尊意識

Ⅴ　学校質問紙に関する調査結果と分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０５

1　学習態度
2　指導方法
■　考えを引き出し、思考を深める発問や指導
■　学級やグループで話し合う活動
■　言語活動の学校全体としての取組
■　総合的な学習の時間

3　学習規律の指導
4　家庭での学習方法の指導
5　ＰＴＡや地域との連携
6　保護者や地域の人たちへの働きかけ
7　教員研修
■　テーマを決め、講師を招聘するなどの研修
■　課題の共有と組織的な取組
■　学校全体の学力傾向や課題についての共有
8　就学援助
9　補充学習

Ⅵ　児童生徒質問紙と学校質問紙の調査結果の対比・・・・・・・・・・・・・・・・１３８
1　小学校
■　授業のめあての提示
■　授業の振り返り
■　発表の機会
■　話し合い活動を通しての児童の考えの深まり
2　中学校
■　授業のめあての提示
■　授業の振り返り
■　発表の機会
■　話し合い活動を通しての生徒の考えの深まり

Ⅶ　本年度新たに分析した調査項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４６
1　「いじめはいけない」という考え
2　困難克服
3　将来の夢や目標
4　地域や社会への関心

Ⅷ　まとめと今後の取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５０
1　分析結果の総括
2　改善に向けた今後の取組

※　調査結果についての基本的な考え方
　全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや学校における教育活動の一側面であることを踏まえて、本調査報告書を作成しています。

※　Ｗｅｂページへの掲載
　本調査結果報告書は、平成２７年１２月２５日（金）１７：００以降、次のＷｅｂページで閲覧することができます。

①　福岡県庁ホームページ
　ＵＲＬ：http://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/5/41/
（トップページ→子育て・教育→教育→義務教育→一般情報）

②　福岡県教育庁教育振興部義務教育課各種資料のページ（学力アップパッケージ）
　ＵＲＬ：http://gimu.fku.ed.jp/Default1.aspx
（トップページ→Contents[指導資料等]学力アップパッケージ→「学力調査の調査結果」報告書
「学力アップパッケージ」で 検索 して、「学力調査の結果報告」報告書をクリック

平成２７年度全国学力・学習状況調査
調査結果報告書
国語　算数・数学　理科　質問紙調査
福岡県教育委員会

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査対象の学年

小学校第６学年、特別支援学校小学部第６学年
中学校第３学年、中等教育学校第３学年、特別支援学校中学部第３学年

３　調査の方式

文部科学省による悉皆方式の調査として実施する。

４　調査の内容

①　教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 ［国語Ａ、算数・数学Ａ、理科］	主として「活用」に関する問題 ［国語Ｂ、算数・数学Ｂ、理科］
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容 など

②　生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

③　調査時間

小学校

１時限目（４５分）	２時限目（４５分）	３時限目（４５分）	４時限目（４５分）	
国語Ａ（２０分） 算数Ａ（２０分）	国語Ｂ（４０分）	算数Ｂ（４０分）	理科（４０分）	児童質問紙（２０分）程度

※　児童質問紙は、４時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。

中学校

１時限目（５０分）	２時限目（５０分）	３時限目（５０分）	４時限目（５０分）	５時限目（５０分）	
国語Ａ（４５分）	国語Ｂ（４５分）	数学Ａ（４５分）	数学Ｂ（４５分）	理科（４５分）	生徒質問紙（２０分）程度

※　生徒質問紙は、５時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。

５　調査日

平成２７年４月２１日（火）

６　４月２１日に調査を実施した県内公立学校・児童生徒数

小学校	児童数					学校数
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	
福岡県（公立）	43,375	43,365	43,376	43,370	43,386	745
全国（公立）	1,061,264	1,061,093	1,061,301	1,061,063	1,060,792	20,005

中学校	生徒数					学校数
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	
福岡県（公立）	41,982	41,992	41,973	41,988	41,989	351
全国（公立）	1,016,451	1,016,575	1,016,737	1,016,548	1,016,572	9,691

※　福岡県（公立）には、両政令市を含む。

７　調査問題の内容

■　各教科のＡ区分とＢ区分の問題数（※理科調査は、ＡとＢを区分せずに出題している。）

	小学校国語	小学校算数	小学校理科	中学校国語	中学校数学	中学校理科
A　主として「知識」	14	16	24	33	36	25
B　主として「活用」	9	13		9	15	

■　評価の観点別の問題数（※複数の観点を含む問題があるため、問題数とは必ずしも一致しない。）

国語の評価の観点	小学校		中学校	
	国語A	国語B	国語A	国語B
国語への関心・意欲・態度	0	4	0	3
話す・聞く能力	1	0	4	3
書く能力	1	6	5	3
読む能力	4	6	5	6
言語についての知識・理解・技能	9	0	19	0

算数・数学の評価の観点	小学校		中学校	
	算数A	算数B	数学A	数学B
算数（数学）への関心・意欲・態度	0	0	0	0
数学的な（見方や）考え方	0	9	0	13
数量や図形についての（数学的な）表現・処理	7	2	17	2
数量や図形についての知識・理解	9	2	19	0

理科の評価の観点	小学校	中学校
自然事象への関心・意欲・態度	0	0
科学的な思考・表現	15	18
観察・実験の技能	5	2
自然事象についての知識・理解	4	5

■　問題形式別の問題数

問題形式	小学校					中学校				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
選択式	7	3	5	3	18	23	6	19	4	16
短答式	7	2	11	5	3	10	0	17	4	4
記述式	0	4	0	5	3	0	3	0	7	5

Ⅱ　調査結果の概要

１　調査結果の概況

小学校		平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語Ａ	福岡県（公立）	9.8	69.8	10.0	2.7
	全国（公立）	9.8	70.0	10.0	2.8
国語Ｂ	福岡県（公立）	5.9	65.1	6.0	2.4
	全国（公立）	5.9	65.4	6.0	2.4
算数Ａ	福岡県（公立）	11.9	74.7	13.0	3.3
	全国（公立）	12.0	75.2	13.0	3.4
算数Ｂ	福岡県（公立）	5.7	44.2	6.0	2.9
	全国（公立）	5.9	45.0	6.0	3.0
理科	福岡県（公立）	14.3	59.5	15.0	5.0
	全国（公立）	14.6	60.8	15.0	5.0

中学校		平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語Ａ	福岡県（公立）	24.6	74.6	26.0	6.1
	全国（公立）	25.0	75.8	26.0	6.0
国語Ｂ	福岡県（公立）	5.8	64.5	6.0	2.0
	全国（公立）	5.9	65.8	6.0	2.0
数学Ａ	福岡県（公立）	22.4	62.2	24.0	8.1
	全国（公立）	23.2	64.4	24.0	8.0
数学Ｂ	福岡県（公立）	6.0	39.8	6.0	3.7
	全国（公立）	6.2	41.6	6.0	3.8
理科	福岡県（公立）	12.8	51.3	13.0	5.7
	全国（公立）	13.3	53.0	13.0	5.7

平均正答数　:児童生徒の正答数の平均のこと。
平均正答率　:平均正答数を設問数で割った値を百分率で表示した値のこと。
中　央　値　:集団のデータを大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値のこと。
標 準 偏 差　:集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値のこと。標準偏差が０とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。

２　教科に関する調査の結果（全体の状況）

⑴　全国の状況

○　国語、算数・数学については、引き続き、下位県の平均正答率が全国平均に近づく状況が見られ、学力の底上げが図られている。
○　理科についても、前回（平成２４年度）調査実施時と比べ、下位県の平均正答率に改善傾向が見られる。
○　これまでの調査で見られた課題について、改善の状況が見られるものもあった。
○　３年ぶりに実施された理科については、前回調査で見られた課題「観察・実験の結果などを整理・分析した上で、解釈・考察し、説明すること」について詳細に分析することで、指導改善のポイントが明確になった。

⑵　福岡県の状況

○　小学校、中学校の全ての教科区分で、全国の平均正答率を下回った。
○　小学校国語Ａ、Ｂ、中学校国語Ｂ、中学校数学Ｂにおいては、昨年度と比較して、全国平均との差が縮小した。
○　理科においては、小学校、中学校ともに、前回調査（抽出調査）結果と比較して、全国平均との差が広がった。

３　本県と全国の平均正答率の差の推移

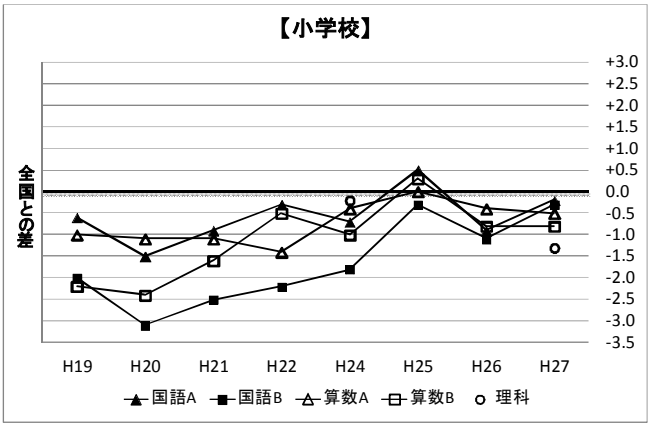
本県と全国の平均正答率の差について、調査が開始された平成１９年度からの推移について分析する。なお、平成２３年度については、震災の影響により国が調査を実施せず、本県独自に国の調査問題を活用した悉皆調査を行った。そのため、適切に比較できる全国のデータがないことから、本報告書においては、平成２３年度の結果を省略することとした。また、平成２２年度及び平成２４年度は、全国調査が抽出方式で行われたため、全国の「平均正答率の９５％信頼区間の中間値」を全国の平均正答率とみなしている。

＜小学校＞

○　昨年度に引き続き、全ての教科区分で平均正答率が全国平均を下回った。
○　昨年度との比較では、国語Ａ・国語Ｂにおいて、全国平均との差が縮まった。
○　理科においては、前回の平成２４年度（抽出調査）と比較して、全国との差が広がった。
○　平成１９年度との比較では、国語Ａ・国語Ｂ、算数Ａ・算数Ｂにおいて全国との差が縮まった。

■　本県と全国の平均正答率の差

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
平成19年度	−0.6	−2.0	−1.0	−2.2	
平成20年度	−1.5	−3.1	−1.1	−2.4	
平成21年度	−0.9	−2.5	−1.1	−1.6	
平成22年度	−0.3	−2.2	−1.4	−0.5	
平成24年度	−0.7	−1.8	−0.4	−1.0	−0.2
平成25年度	0.5	−0.3	0.0	0.3	
平成26年度	−0.9	−1.1	−0.4	−0.8	
平成27年度	−0.2	−0.3	−0.5	−0.8	−1.3

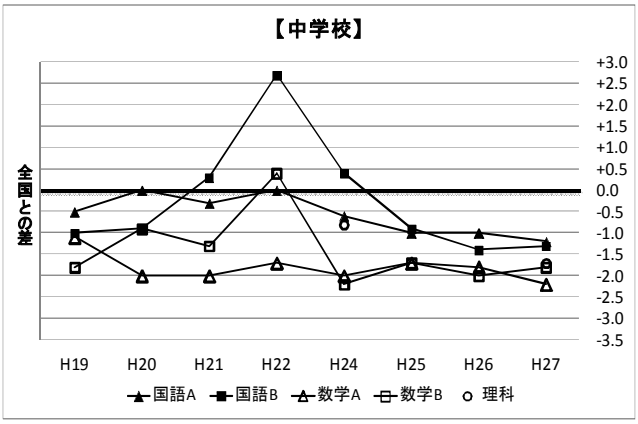


＜中学校＞

○　昨年度に引き続き、全ての教科区分で平均正答率が全国平均を下回った。
○　昨年度との比較では、国語Ｂ、数学Ｂにおいて、全国平均との差が縮まった。
○　理科においては、前回の平成２４年度（抽出調査）と比較して、全国との差が広がった。
○　平成１９年度との比較では、国語Ａ・国語Ｂ、数学Ａにおいて、全国との差が広がった。

■　本県と全国の平均正答率の差

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
平成19年度	−0.5	−1.0	−1.1	−1.8	
平成20年度	0.0	−0.9	−2.0	−0.9	
平成21年度	−0.3	0.3	−2.0	−1.3	
平成22年度	0.0	2.7	−1.7	0.4	
平成24年度	−0.6	0.4	−2.0	−2.2	−0.8
平成25年度	−1.0	−0.9	−1.7	−1.7	
平成26年度	−1.0	−1.4	−1.8	−2.0	
平成27年度	−1.2	−1.3	−2.2	−1.8	−1.7



４　地区別の状況

県内を６つの教育事務所と政令市（北九州市・福岡市）の７つの地区に分けて分析した。

○　７つの地区間の平均正答率の最大・最小の差は、小学校では国語Ｂで最大 7.6 ポイント、中学校では数学Ｂで最大 9.8 ポイントある。
○　最大・最小の差は、Ａ問題（主として「知識」に関する問題）よりも、Ｂ問題（主として「活用」に関する問題）の方が大きい。
○　最大・最小の差は、国語Ｂを除いて、小学校に比べ中学校の方が大きい。また、小学校では算数より国語の方が、中学校では国語より数学の方が大きい。
○　平成１９年度（理科は平成２４年度）との比較では、７つの地区間の最大・最小の差は、全ての教科区分で縮小した。
○　県全体の平均正答率のばらつきを地区単位でみると、平成２６年度（理科は平成２４年度）と比較して、小学校は国語Ｂ、中学校は国語Ａを除いてばらつきが縮小した。

■　地区別の平均正答率の最大最小の差

	小学校					中学校				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
福岡地区	71.6	68.7	76.5	45.8	61.1	75.9	66.2	63.9	42.3	52.6
北九州地区	69.2	62.6	73.1	42.1	56.5	74.1	63.6	61.1	36.9	49.6
北筑後地区	69.0	64.6	73.4	43.3	58.8	72.5	62.6	59.7	37.1	49.3
南筑後地区	71.3	67.5	74.7	44.5	60.7	73.2	63.2	60.8	37.7	49.5
筑豊地区	67.5	61.1	72.6	41.6	55.4	69.5	58.8	55.0	32.5	43.6
京築地区	69.9	63.5	74.9	43.7	58.2	71.5	61.0	59.1	35.4	48.3
政令市	69.2	64.1	74.5	44.2	59.7	75.5	65.3	63.3	41.0	52.5
最大･最小の差（H27）	○4.1	○7.6	○3.9	○4.2	○5.7	○6.4	○7.4	○8.9	○9.8	○9.0
H26	8.4	7.8	6.3	9.4		7.5	10.1	12.9	14.2	
H25	6.1	9.2	4.9	8.8		7.0	10.6	9.5	10.1	
H24	4.6	8.0	4.2	7.8	7.5	7.8	10.1	10.1	12.4	9.6
H22	4.6	8.1	5.9	7.8		8.8	11.6	14.1	14.4	
H21	4.5	8.4	5.4	8.6		7.5	10.6	11.2	11.5	
H20	6.5	7.2	6.0	7.4		7.5	10.9	12.8	11.4	
H19	5.3	10.8	7.0	9.0		7.1	13.6	12.8	12.7	

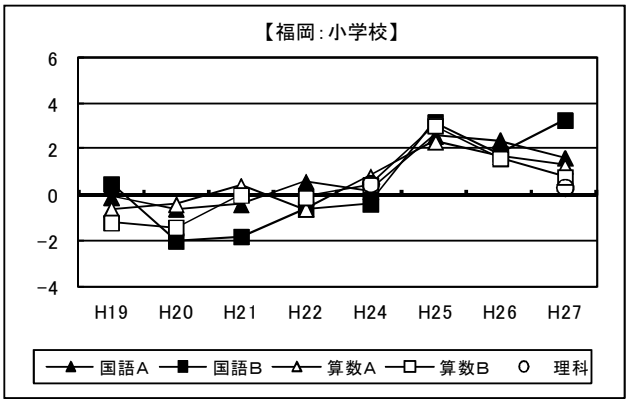
※○印：H19（理科は H24）より差が縮小したことを示す。

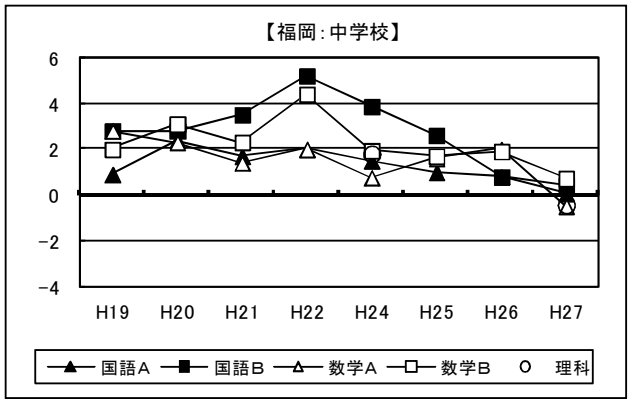
■　平均正答率のばらつき（標準偏差）

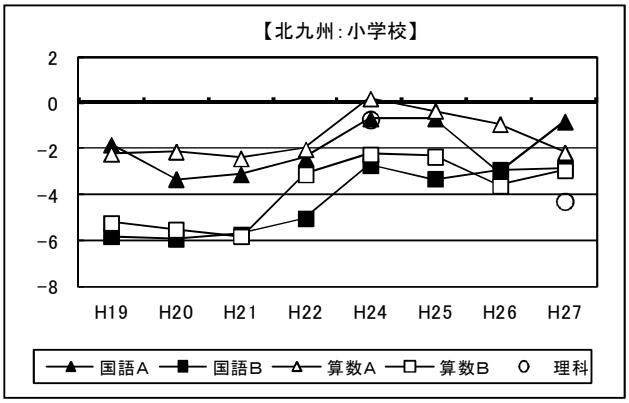
	小学校					中学校				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
平成27年度	1.4	2.7	1.3	1.4	2.1	2.3	2.5	3.0	3.3	3.0
平成26年度	3.0	2.5	2.1	3.1		2.3	3.3	4.0	4.6	
平成25年度	2.0	2.8	1.6	2.8		2.2	3.3	2.9	3.1	
平成24年度	2.9	2.6	3.5	3.1	4.7	5.6	2.0	7.9	3.8	5.4
平成22年度	1.6	1.7	1.7	2.4		2.6	3.7	4.1	4.4	
平成21年度	1.5	2.6	1.7	2.9		2.3	3.3	3.5	3.9	
平成20年度	2.0	2.5	1.7	2.5		2.2	3.3	3.8	3.5	
平成19年度	1.6	3.5	2.0	2.8		2.1	3.9	3.8	4.0	

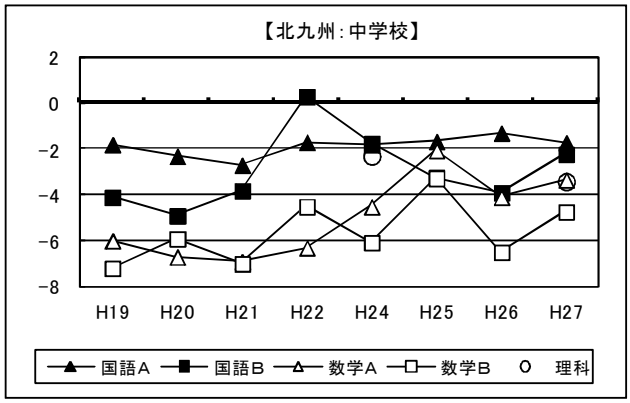
※　教科区分ごとの県全体（地区単位）の平均正答率のばらつきを「標準偏差」で示している。標準偏差は、ばらつきが小さくなるほど値が小さくなり、ばらつきがまったくない場合は、値が「０」となる。

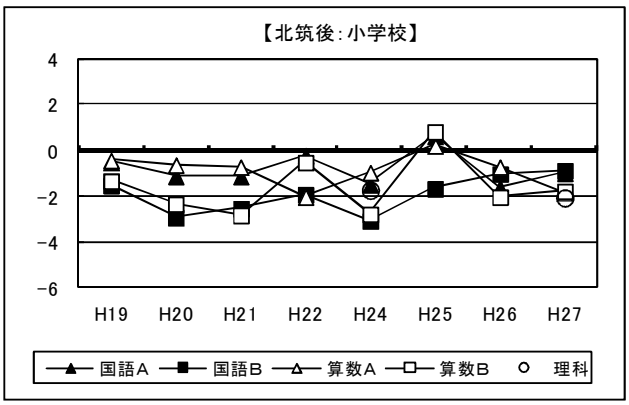
■　平均正答率の全国平均との差の推移

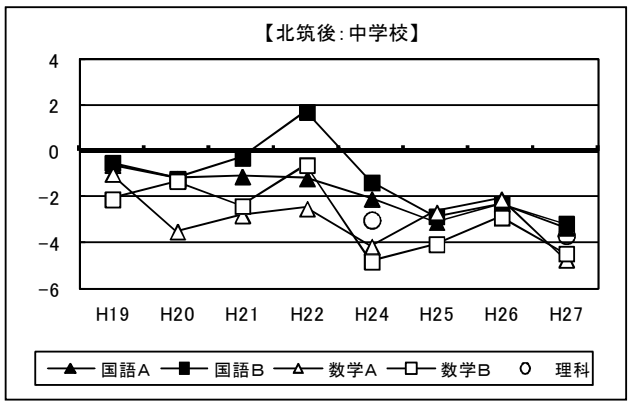


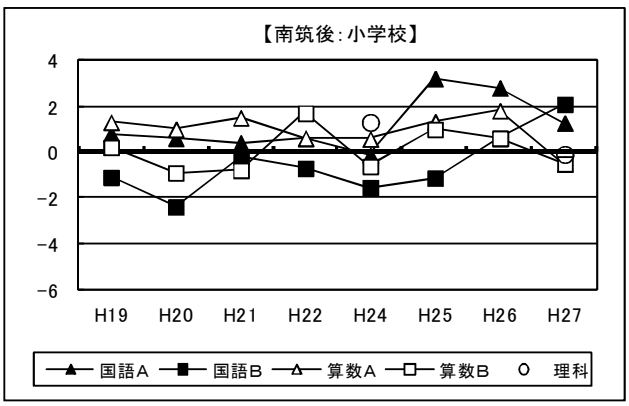


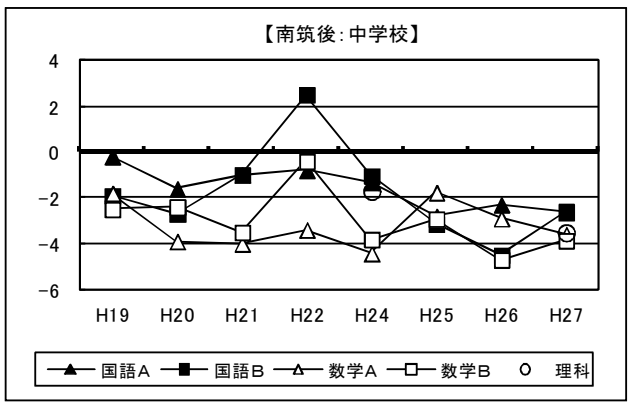


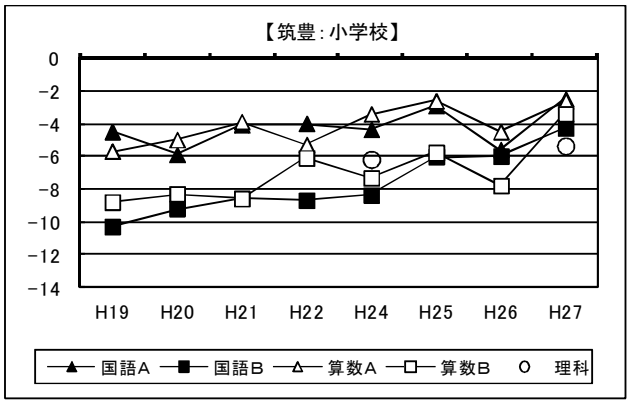


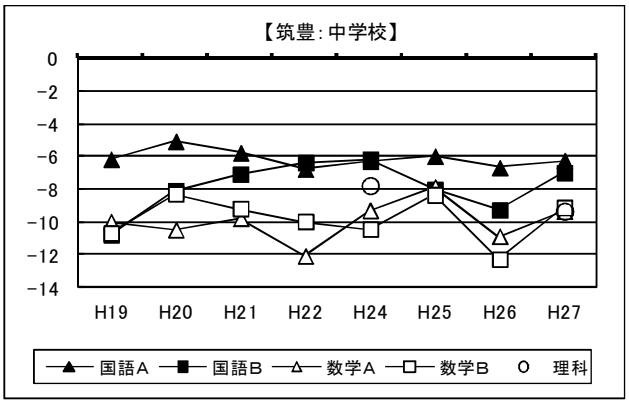


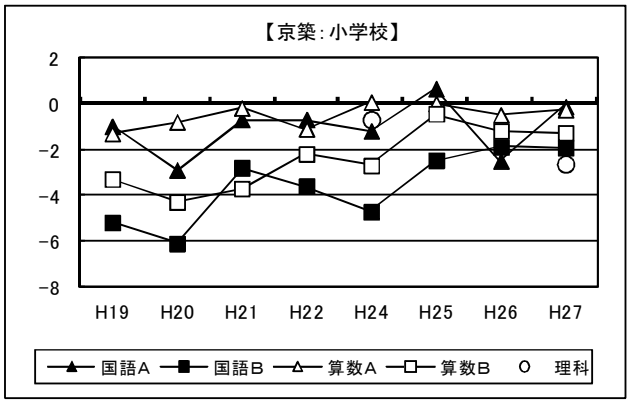


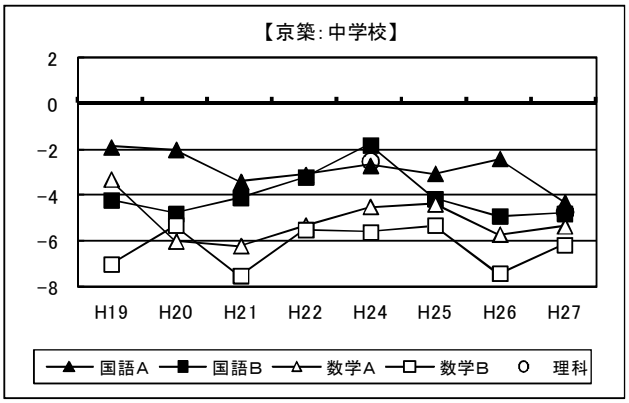


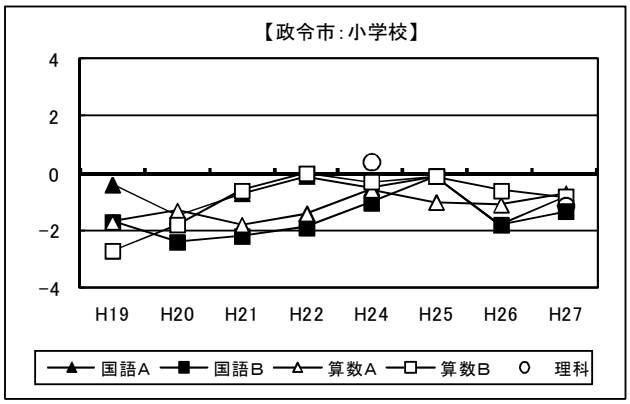


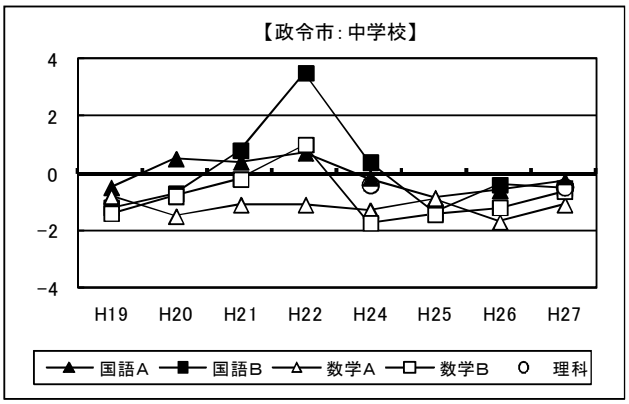

【筑豊:小学校】
0
-2
-4
-6
-8
-10
-12
-14
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27
国語A 国語B 算数A 算数B 理科


【筑豊:中学校】
0
-2
-4
-6
-8
-10
-12
-14
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27
国語A 国語B 数学A 数学B 理科


【京築:小学校】
2
0
-2
-4
-6
-8
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27
国語A 国語B 算数A 算数B 理科


【京築:中学校】
2
0
-2
-4
-6
-8
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27
国語A 国語B 数学A 数学B 理科

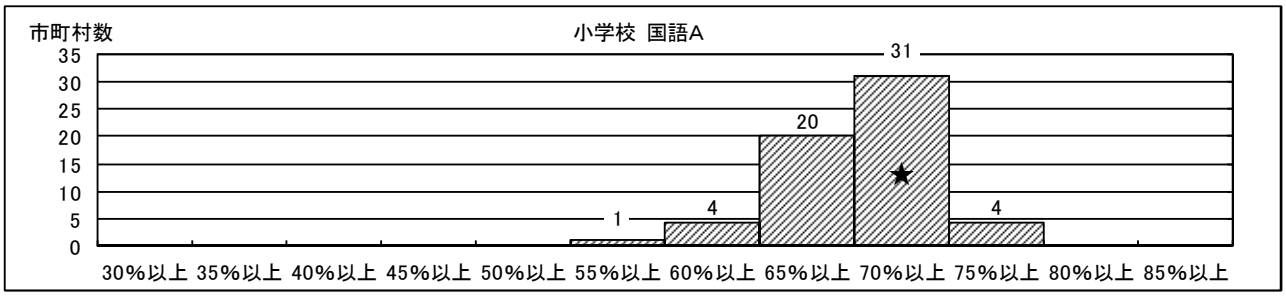

【政令市:小学校】
4
2
0
-2
-4
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27
国語A 国語B 算数A 算数B 理科

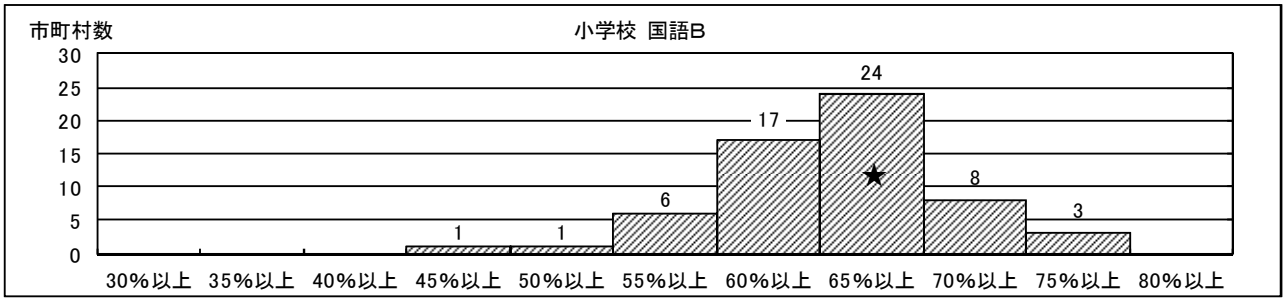

【政令市:中学校】
4
2
0
-2
-4
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27
国語A 国語B 数学A 数学B 理科

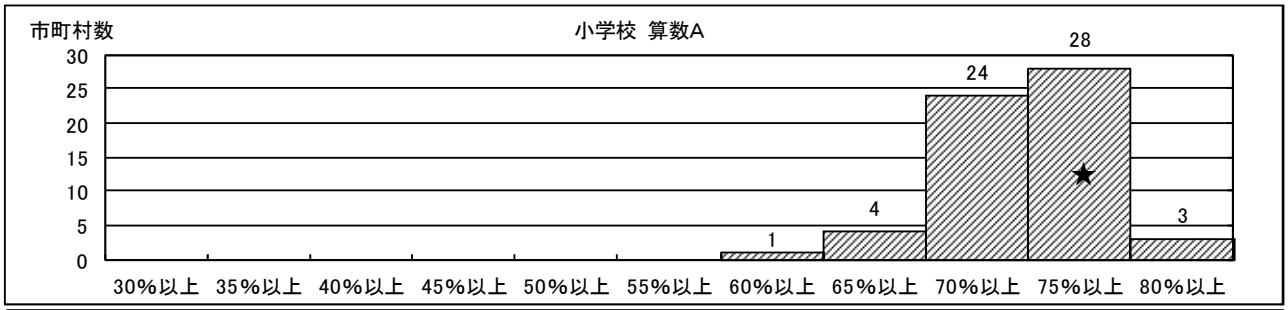
５　県全体の平均正答率度数分布（市町村単位）

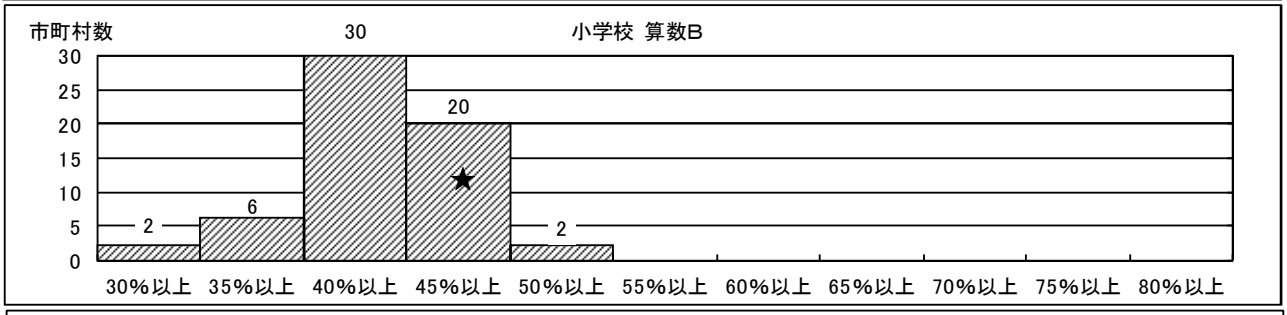
■　小学校

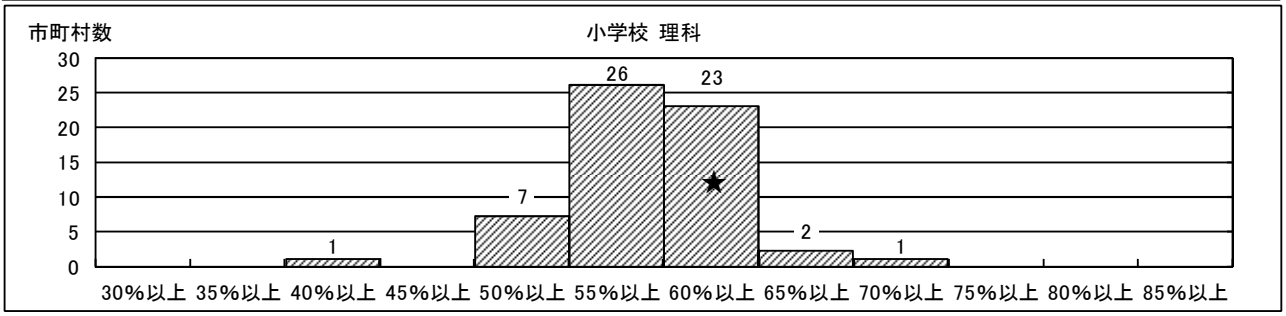
○　算数Ｂ及び理科以外の全ての教科区分で、全国の平均正答率のある階級（★印）に、最も多くの市町村が集まっている。
○　全国の平均正答率のある階級（★印）を含め、それ以上の階級に位置する市町村の数は、国語Ａでは３５、国語Ｂで３５、算数Ａで３１、算数Ｂで２２、理科で２６であり、算数Ｂ、理科以外は小学校がある全市町村数（６０）の半数以上となっている。







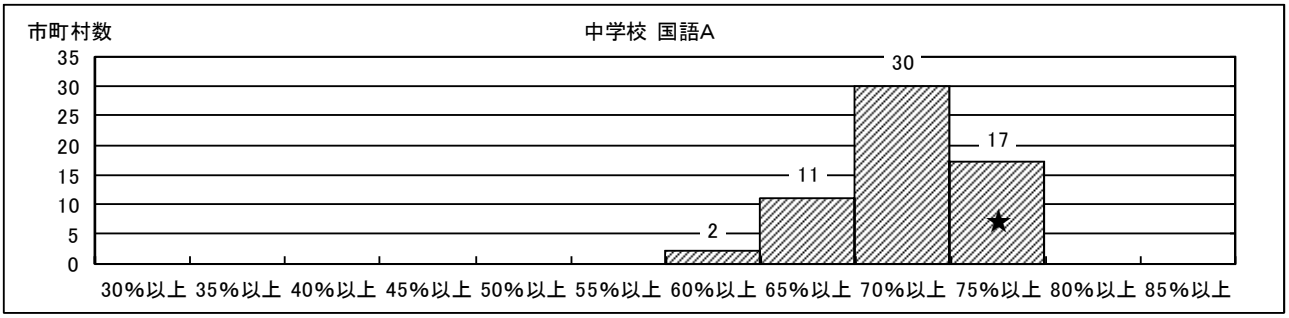


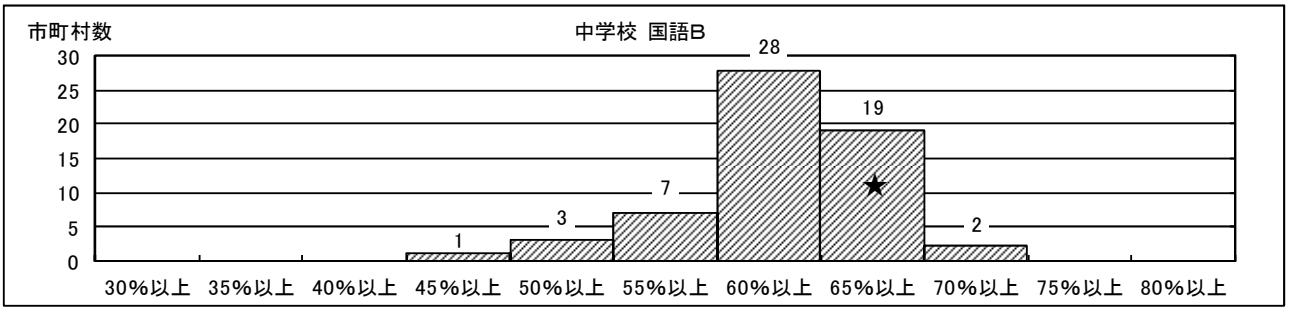


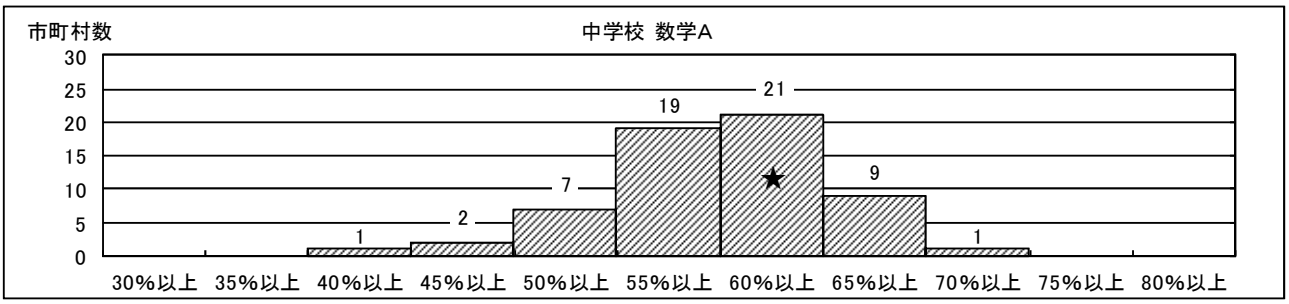
■　中学校

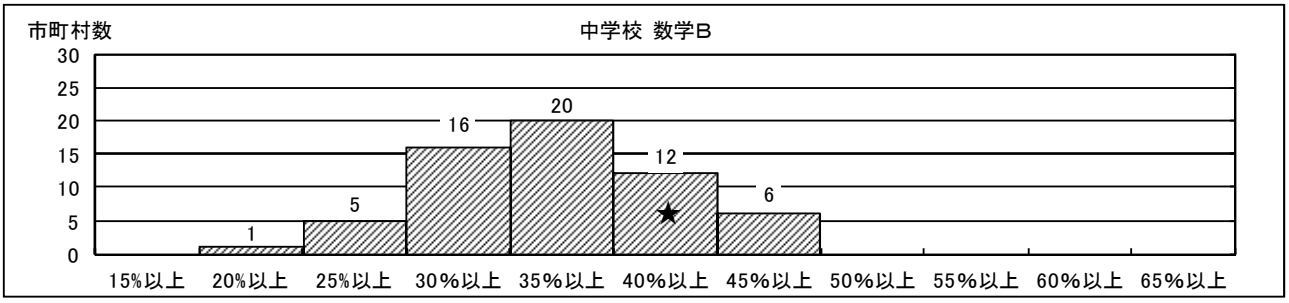
○　数学Ａ及び理科の教科区分で、全国の平均正答率のある階級（★印）に、最も多くの市町村が集まっている。

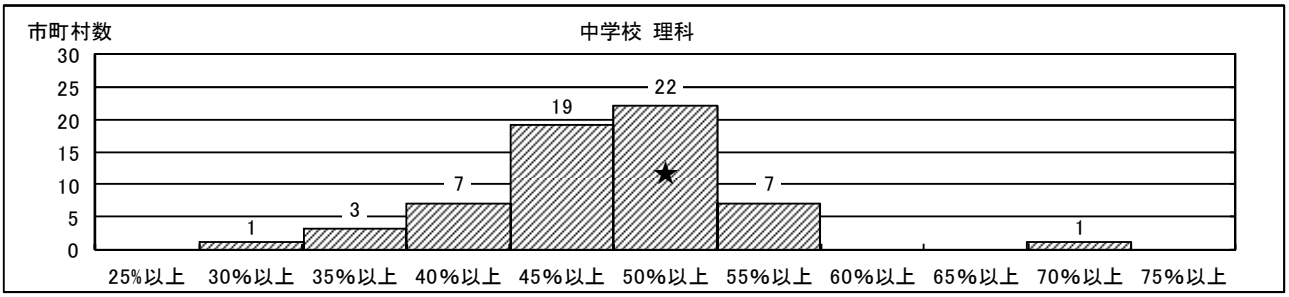
○　全国の平均正答率のある階級（★印）を含め、それ以上の階級に位置する市町村の数は、国語Ａでは１７、国語Ｂで２１、数学Ａで３１、数学Ｂで１８、理科３０であり、数学Ａ、理科は中学校がある全市町村数（６０）の半数以上となっている。また、数学Ｂでは全ての市町村が正答率５０％未満に、理科では３０市町村が５０％未満に分布している。







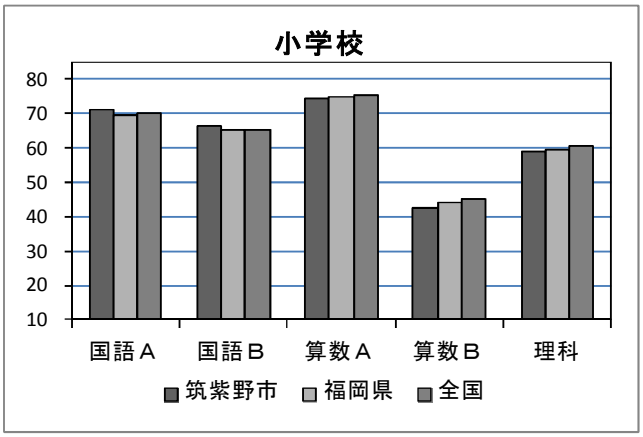


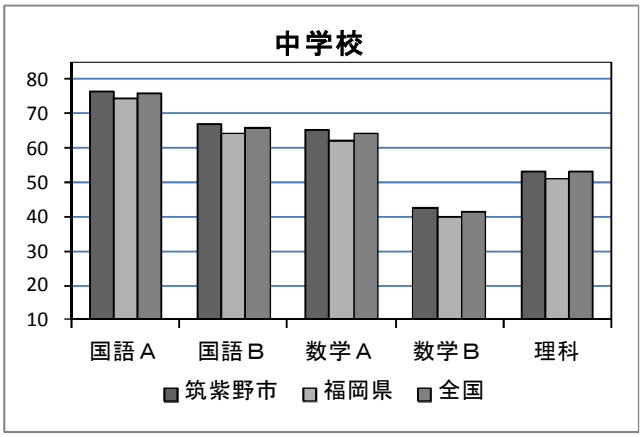


※平成２７年度は、全ての市町村教育委員会（小学校、中学校共に１校である市町村を除く）が公表に同意した。
なお、市町村内の学校数が１小学校又は１中学校である場合は、当該学校を公表の対象外としている（以下「公表対象外」と表記する。）。

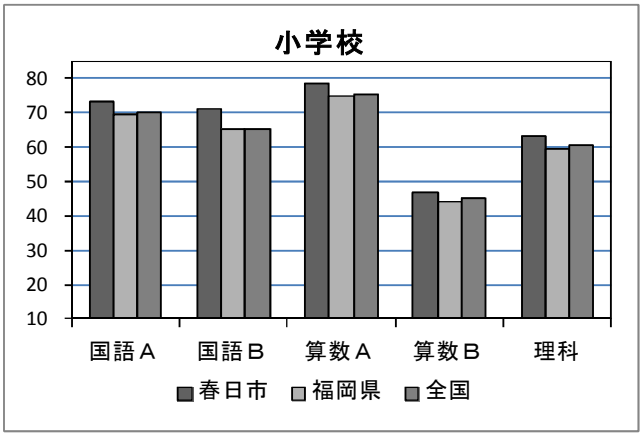
６　市町村別の状況
■　平均正答率

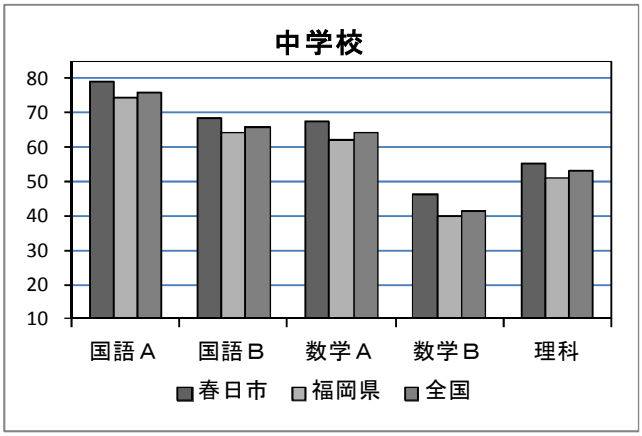
【筑紫野市】



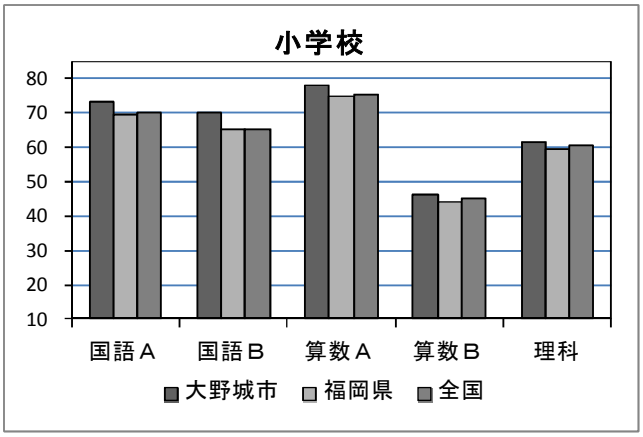


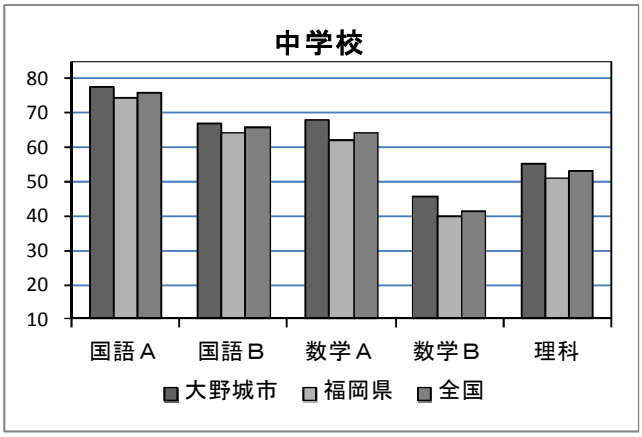
【春日市】



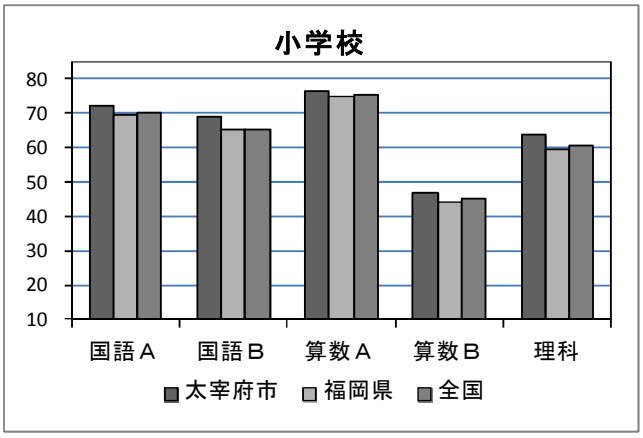


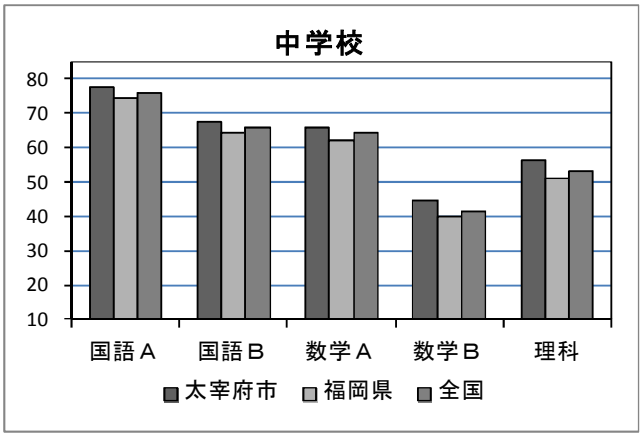
【大野城市】



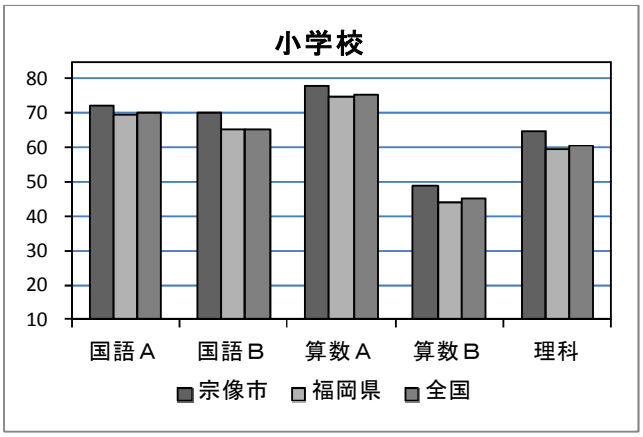


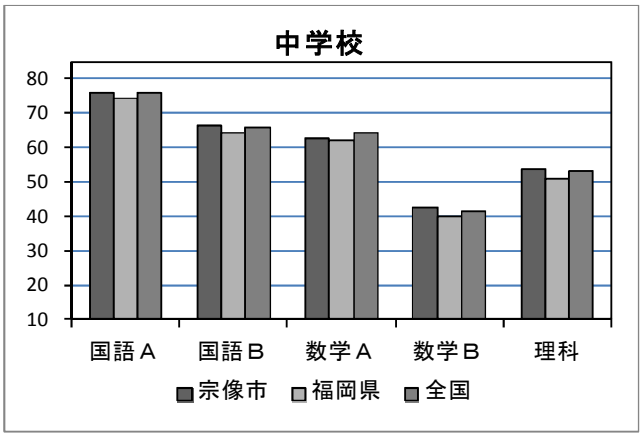
【太宰府市】



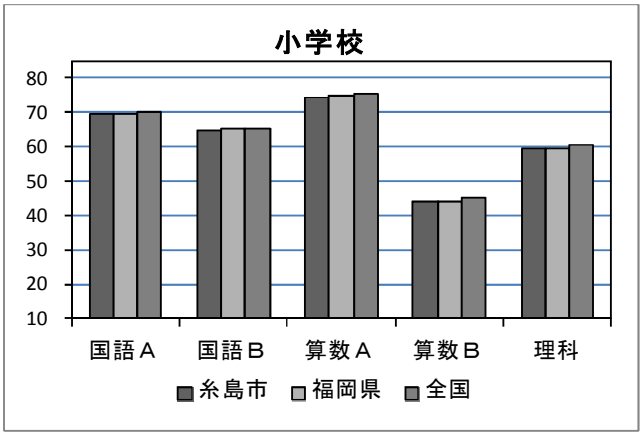


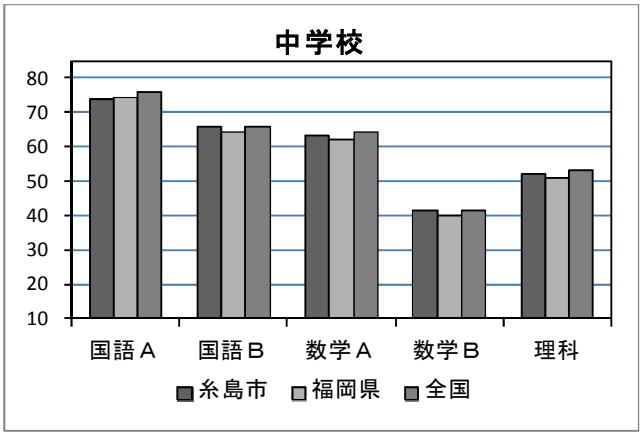
【宗像市】



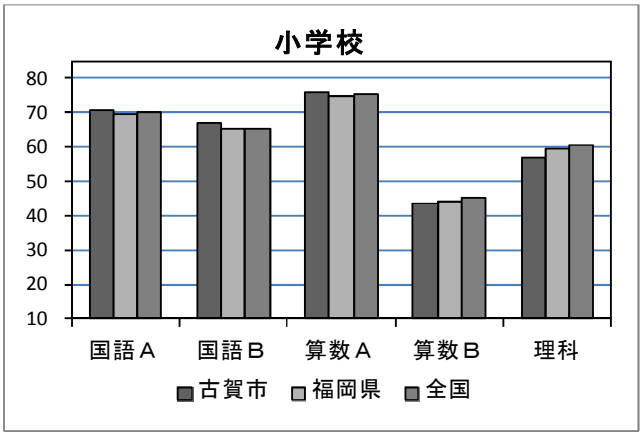


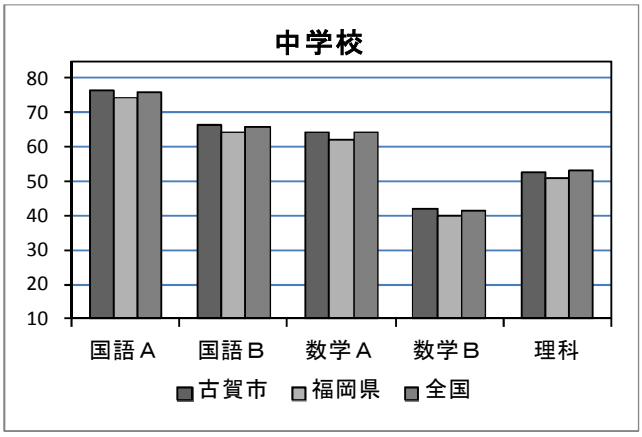
【糸島市】



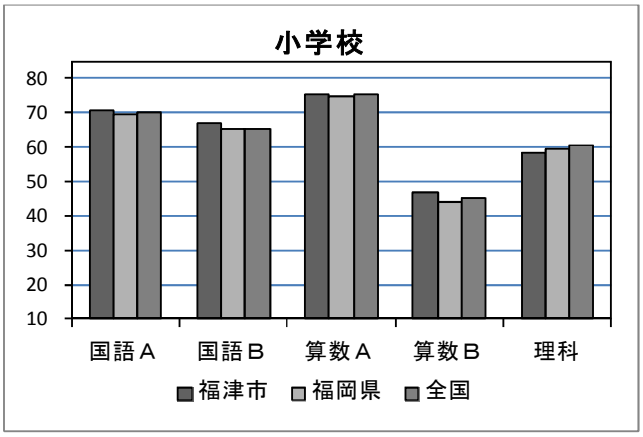


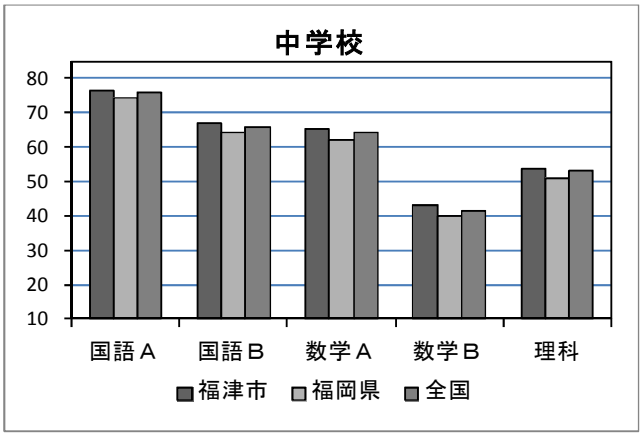
【古賀市】



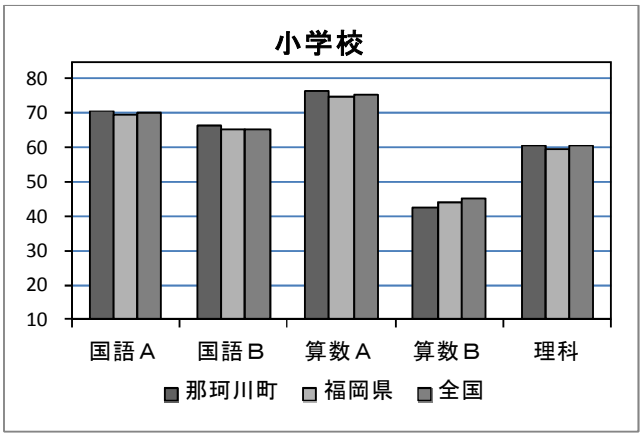


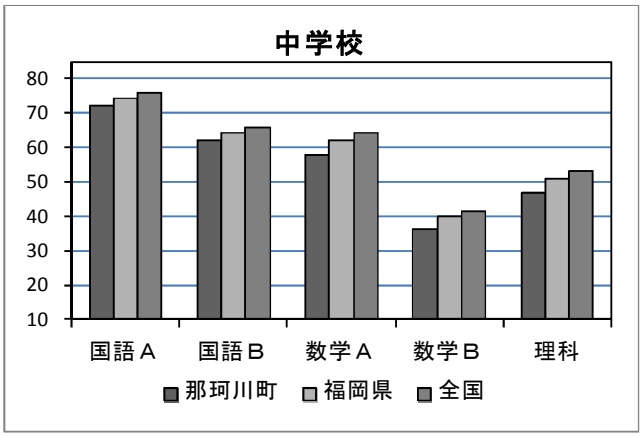
【福津市】



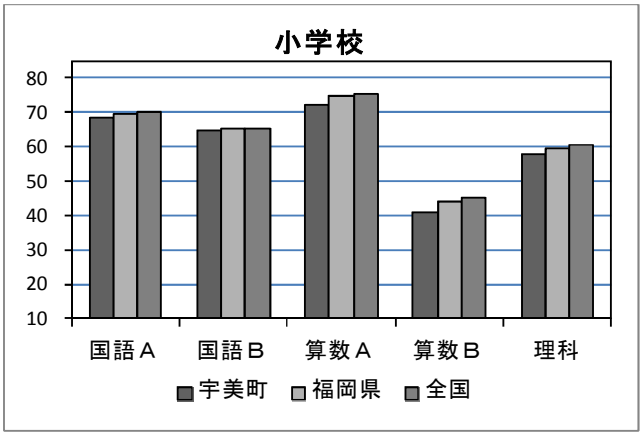


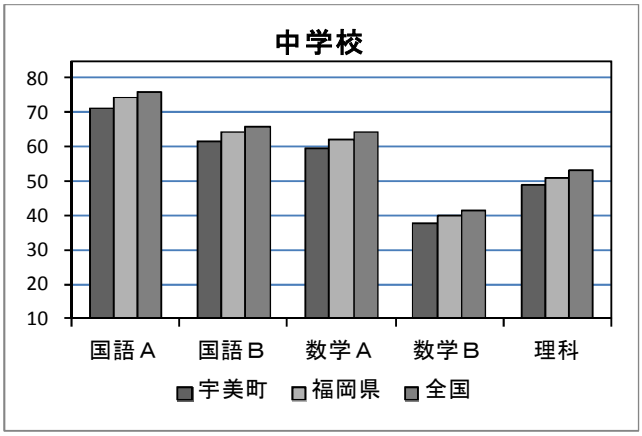
【那珂川町】



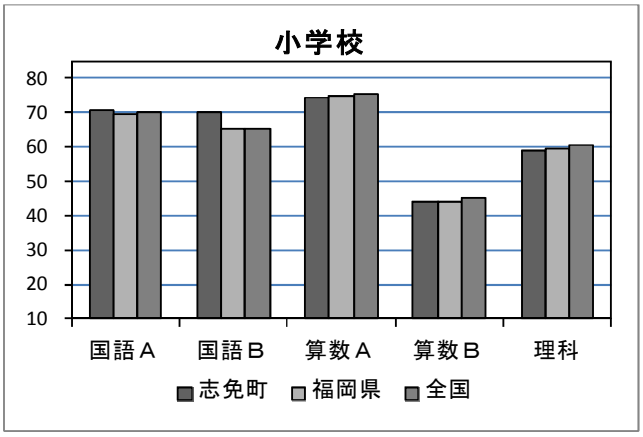


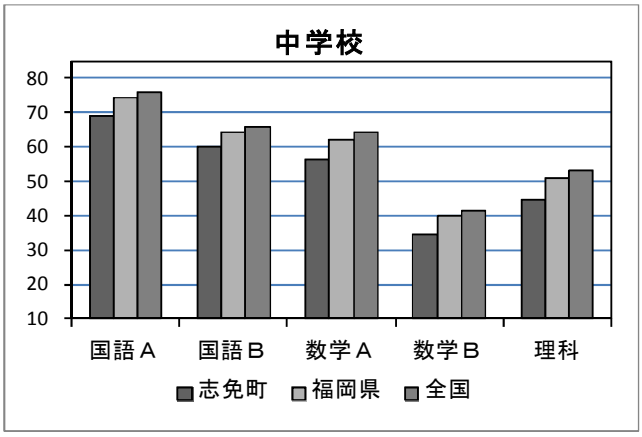
【宇美町】



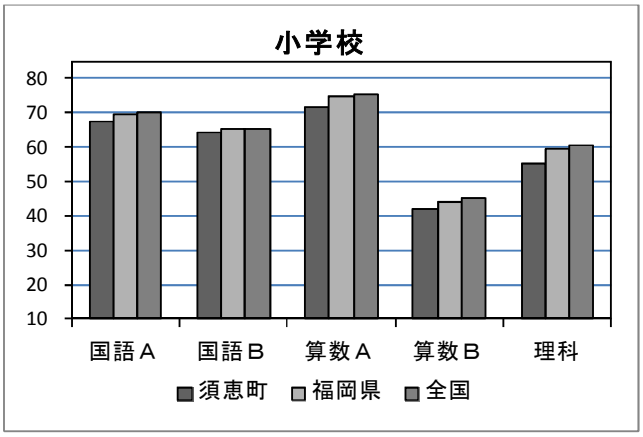


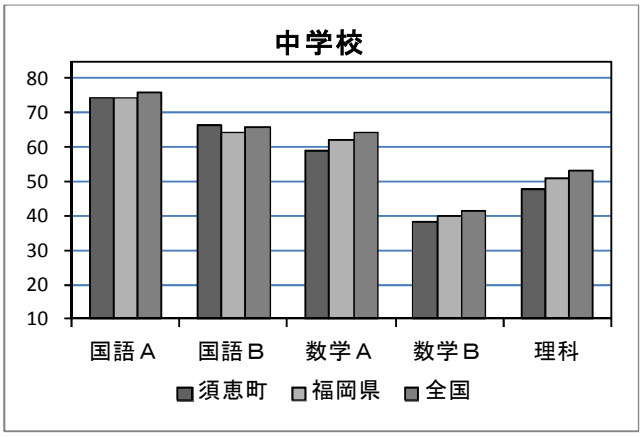
【志免町】



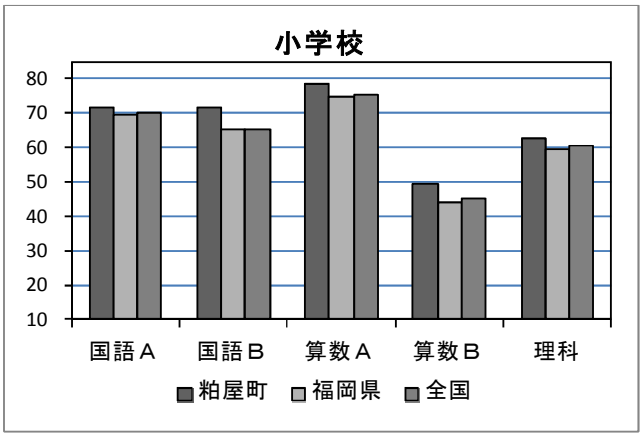


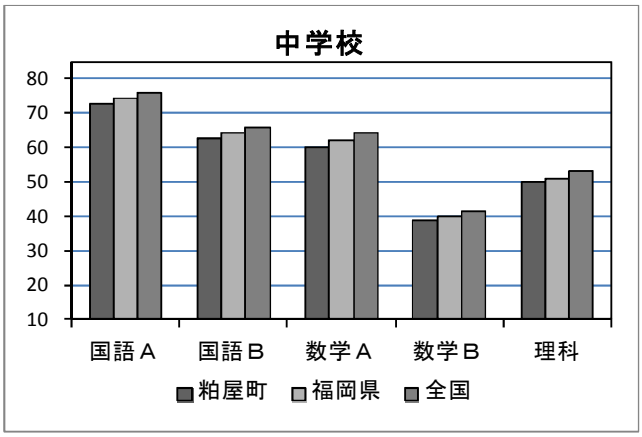
【須恵町】



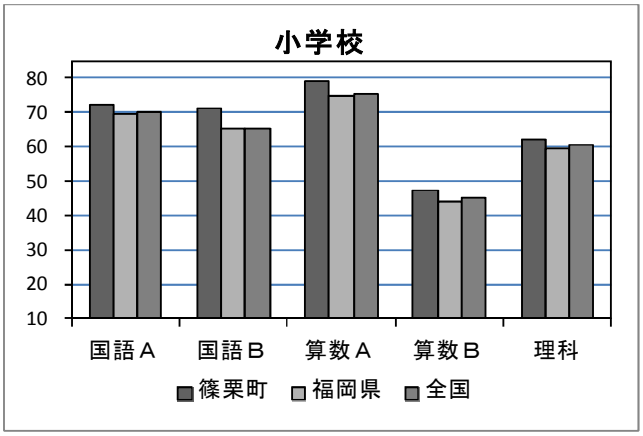


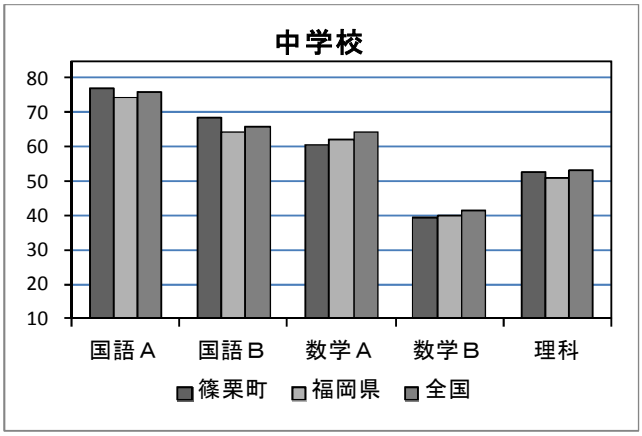
【粕屋町】



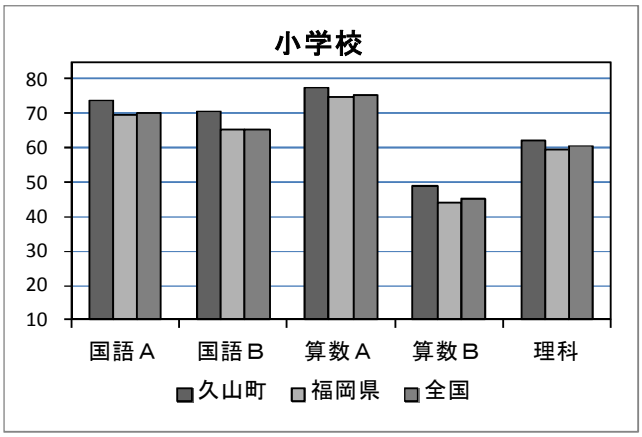


【篠栗町】



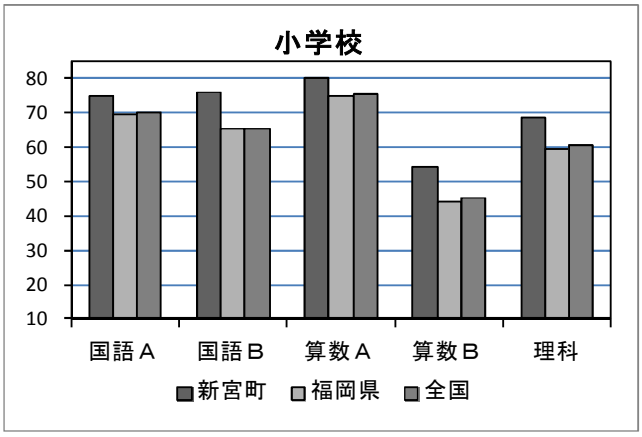


【久山町】



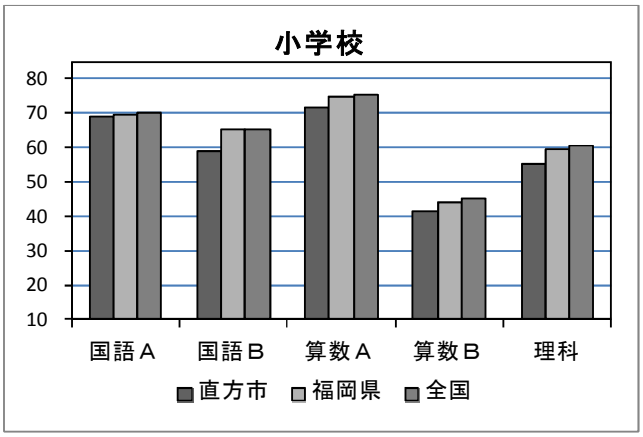
中学校は、公表対象外

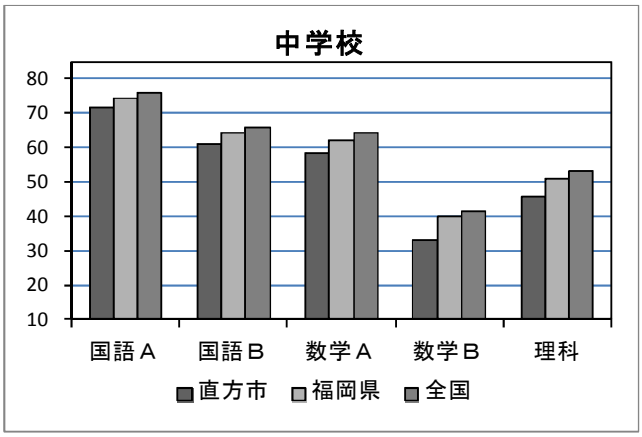
【新宮町】



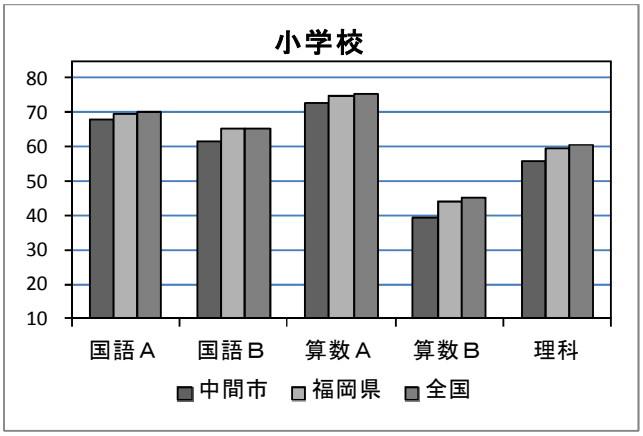
中学校は、公表対象外

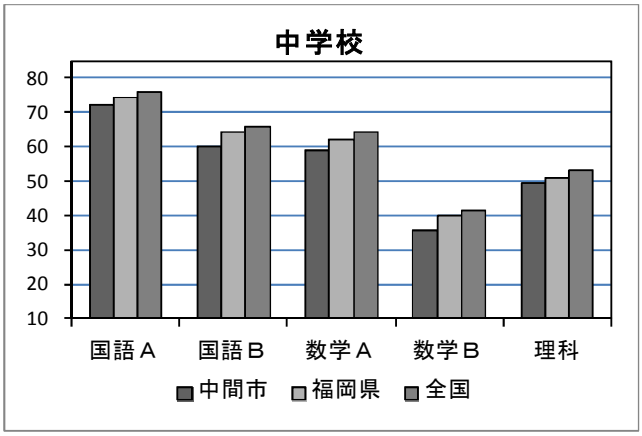
【直方市】



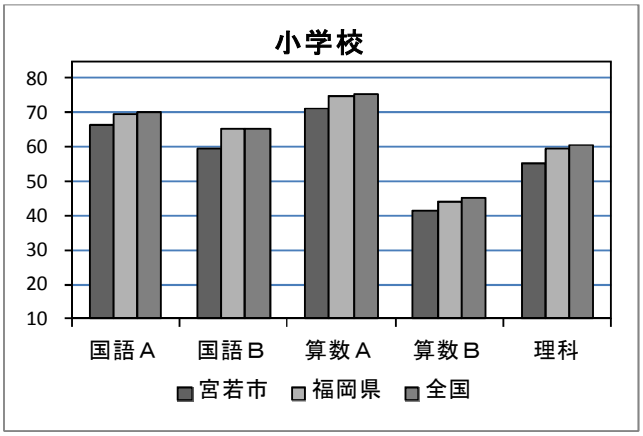


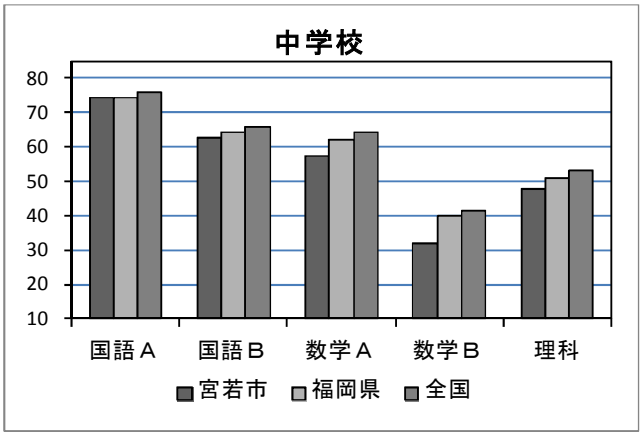
【中間市】



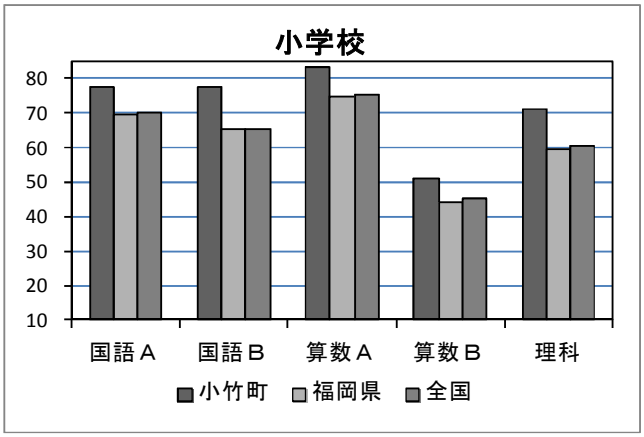


【宮若市】



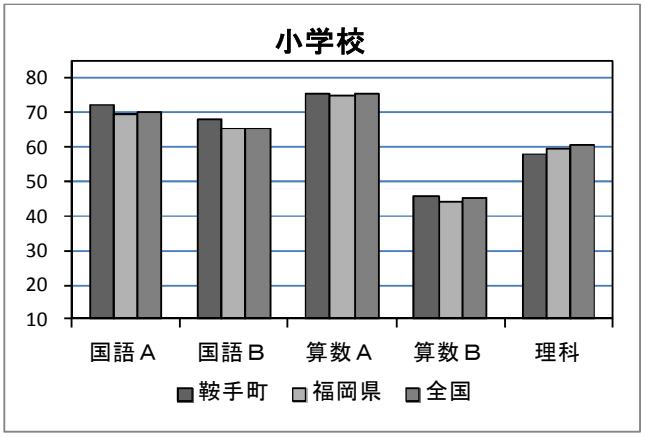


【小竹町】



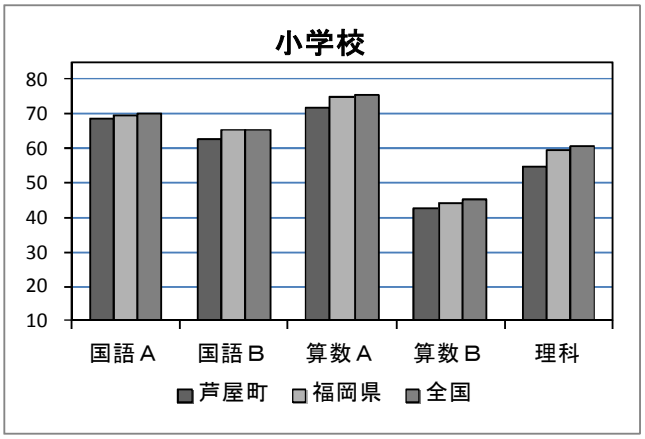
中学校は、公表対象外

【鞍手町】



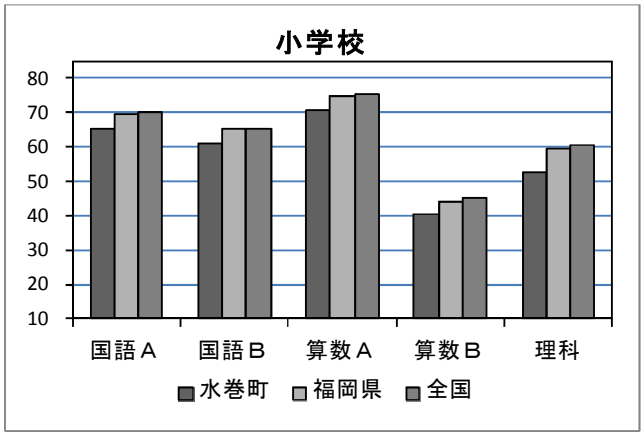
中学校は、公表対象外

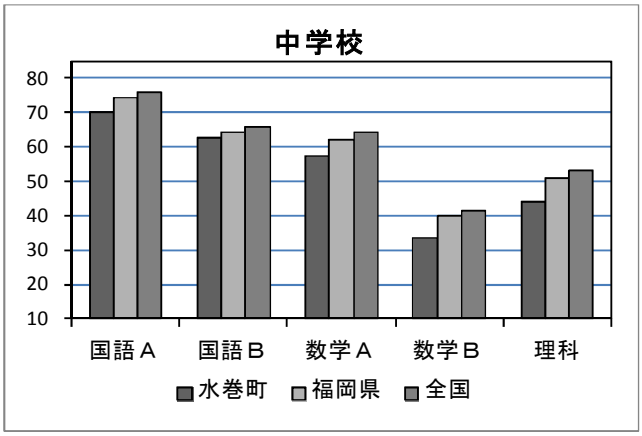
【芦屋町】



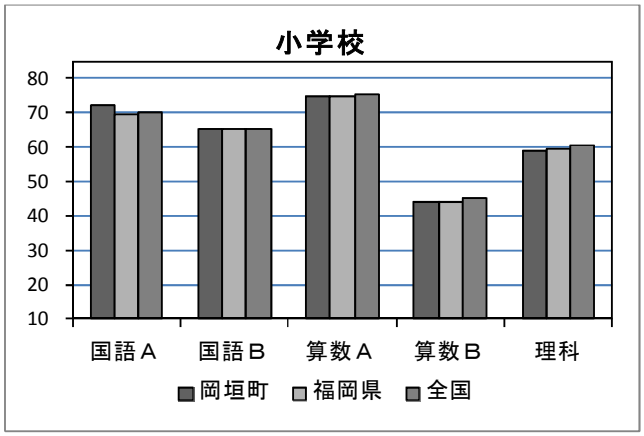
中学校は、公表対象外

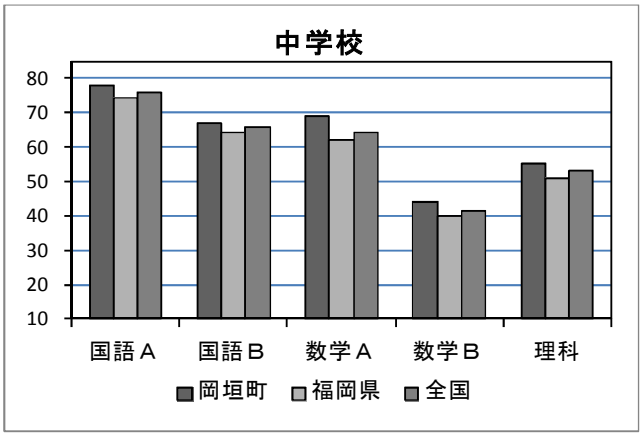
【水巻町】



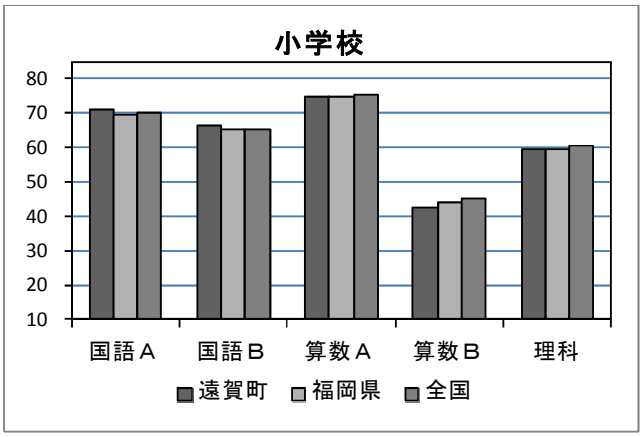


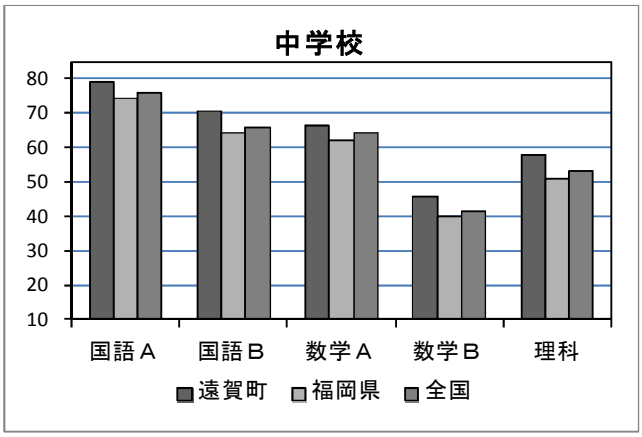
【岡垣町】



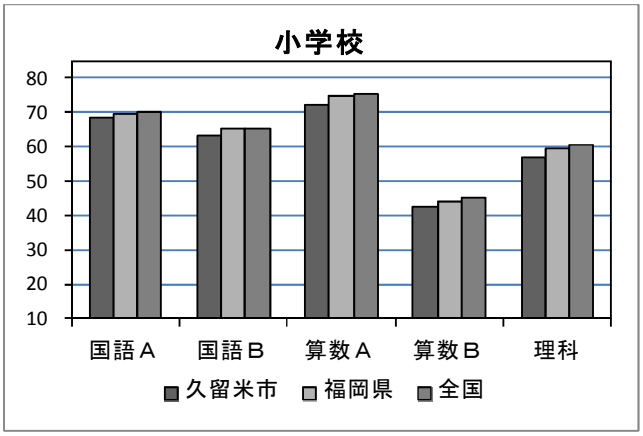


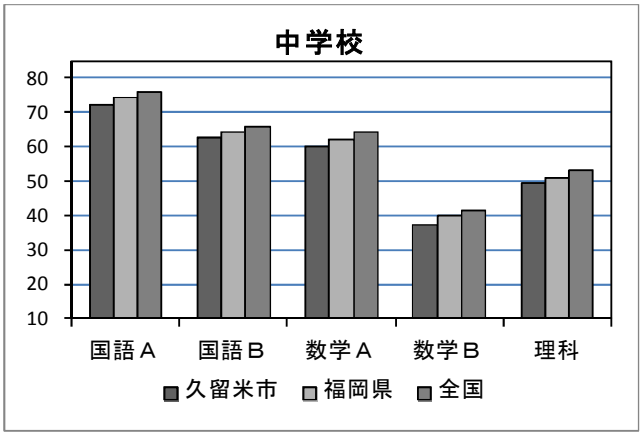
【遠賀町】



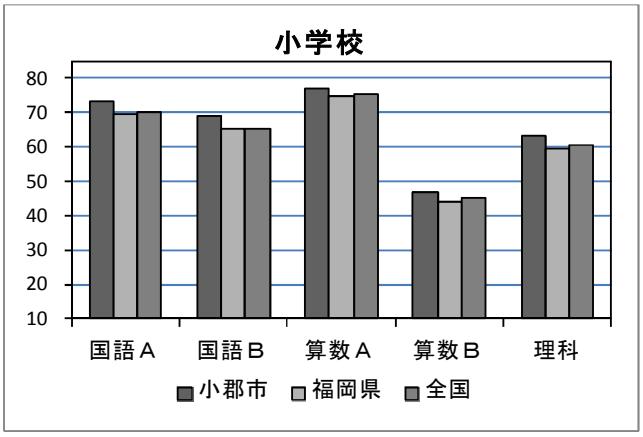


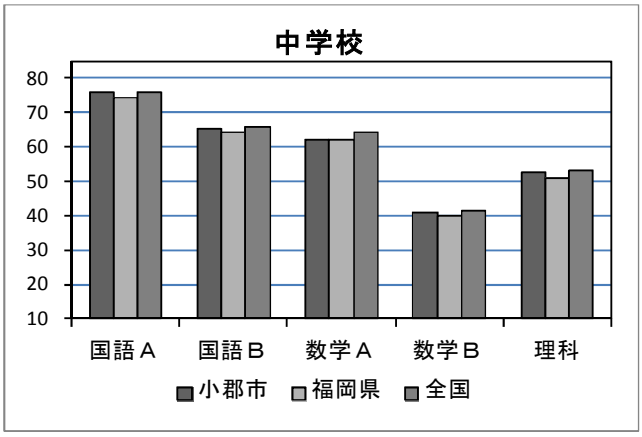
【久留米市】



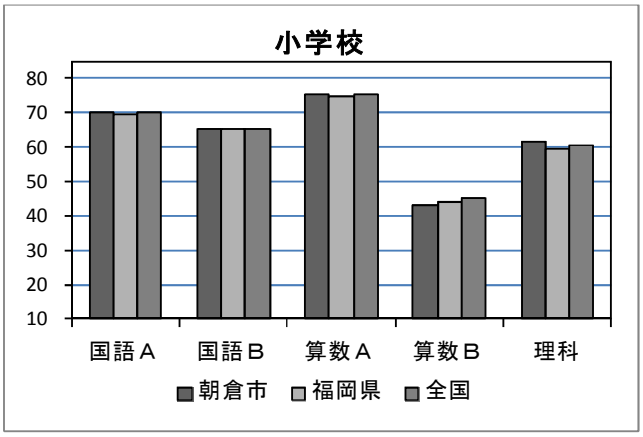


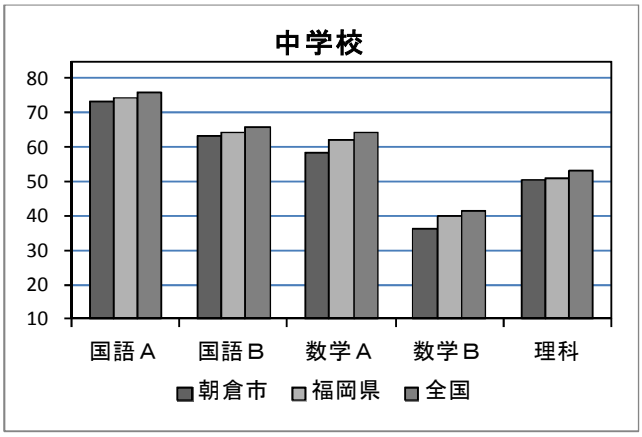
【小郡市】



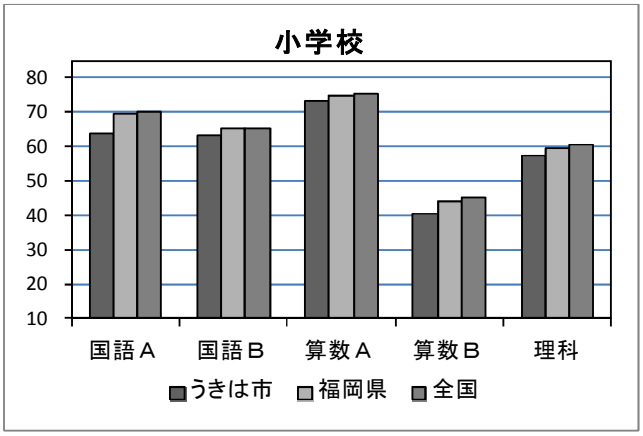


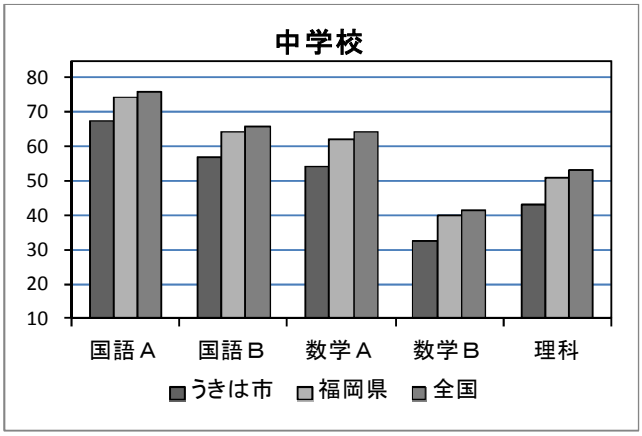
【朝倉市】



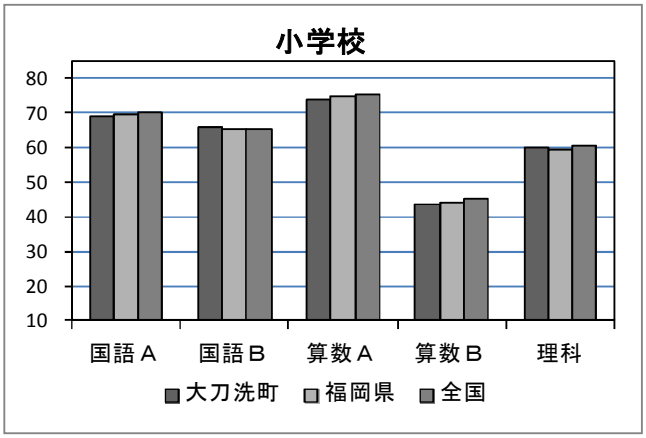


【うきは市】



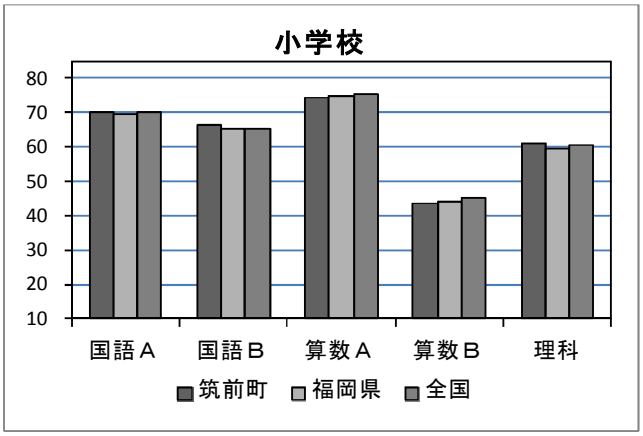


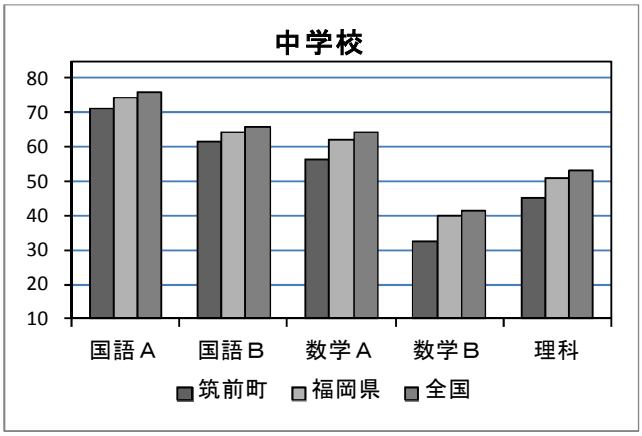
【大刀洗町】



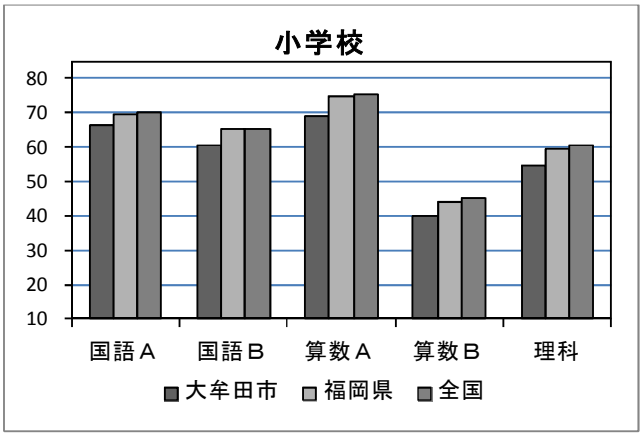
中学校は、公表対象外

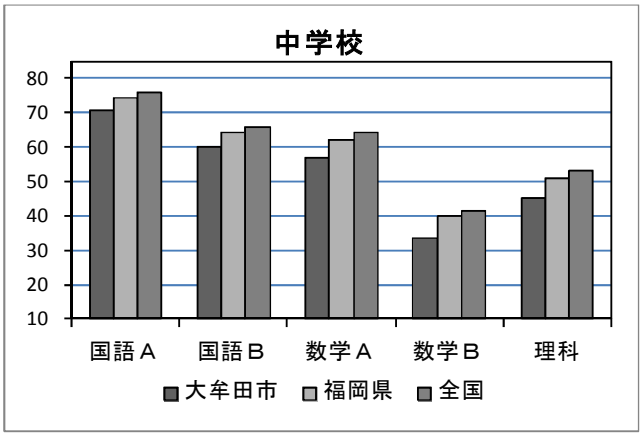
【筑前町】



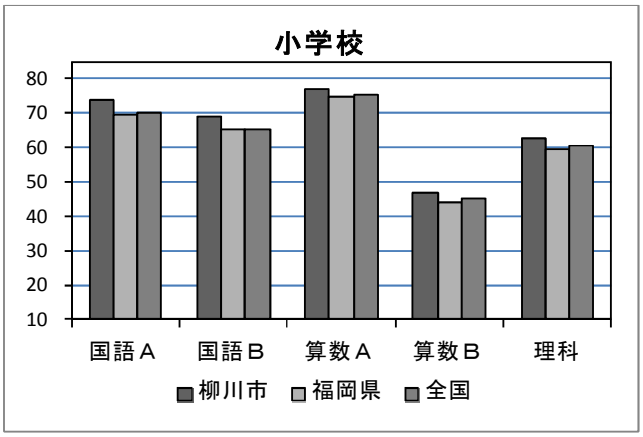


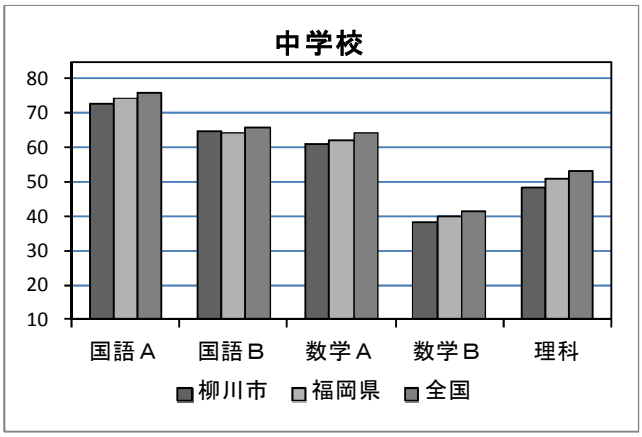
【大牟田市】



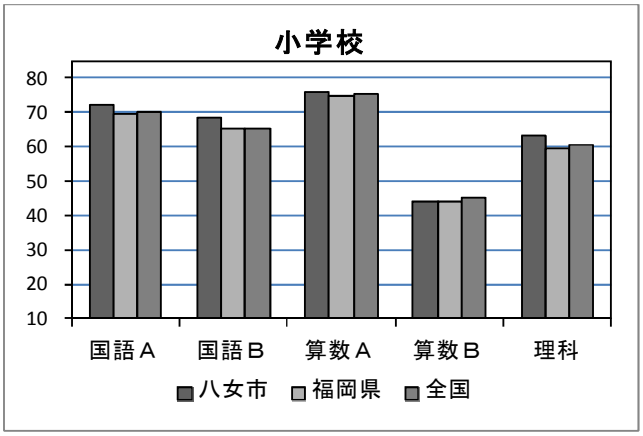


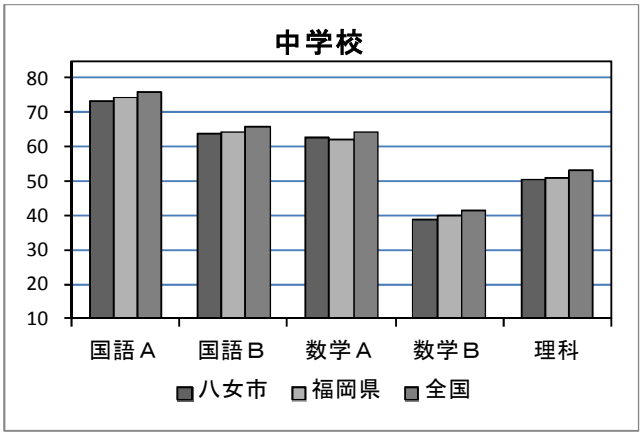
【柳川市】



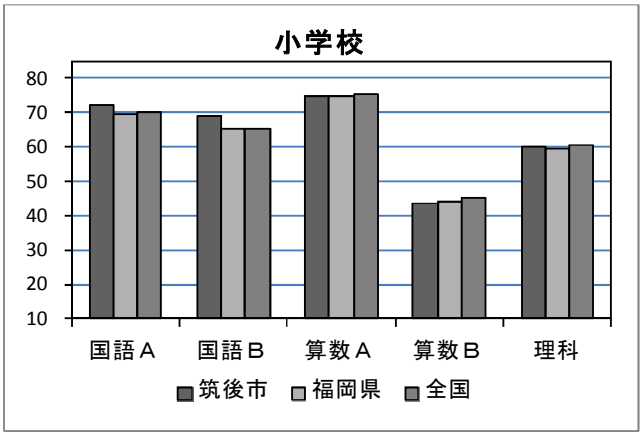


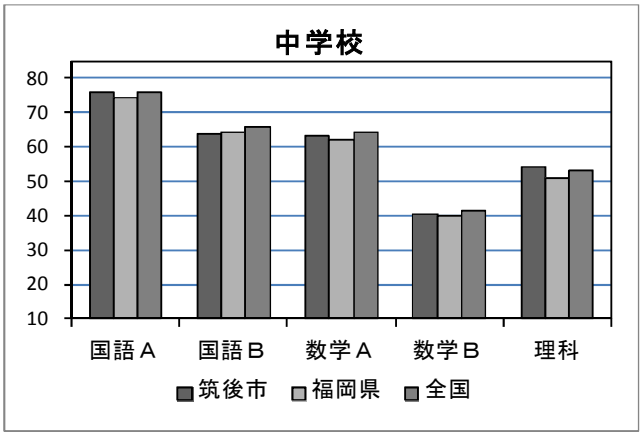
【八女市】



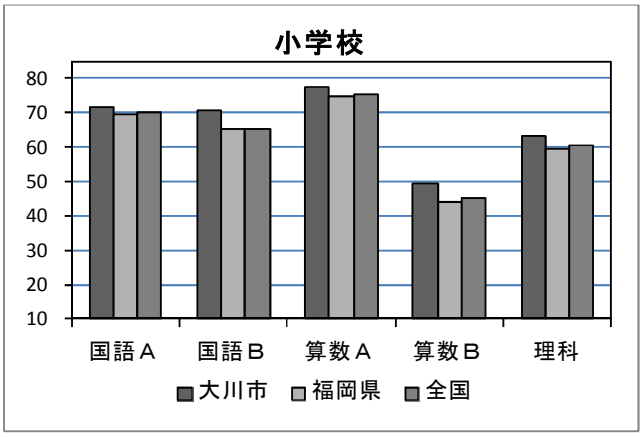


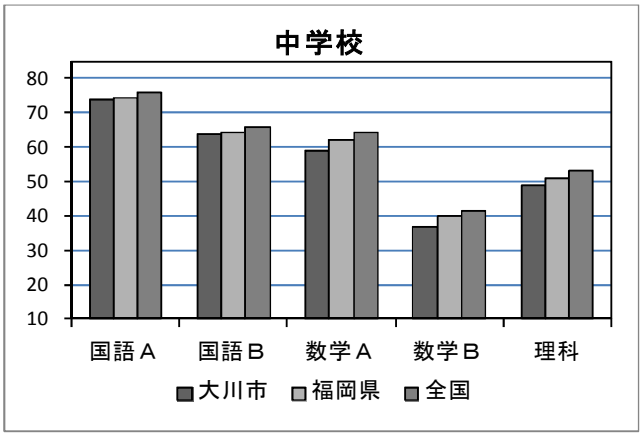
【筑後市】



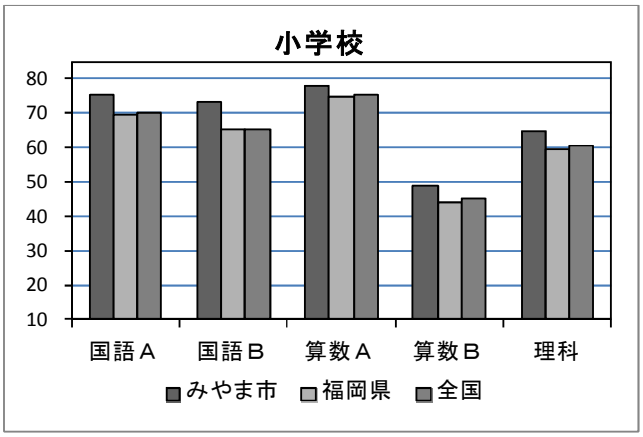


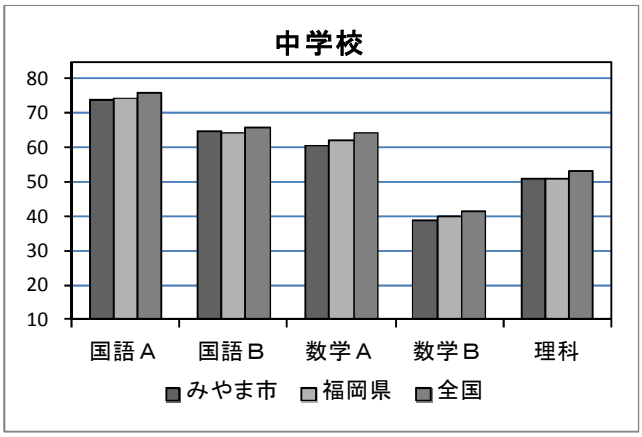
【大川市】



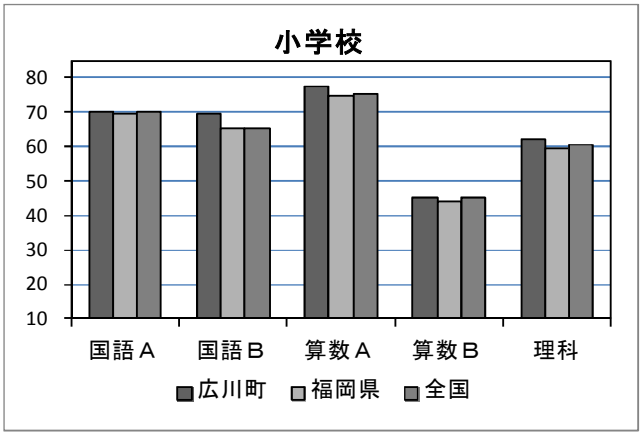


【みやま市】



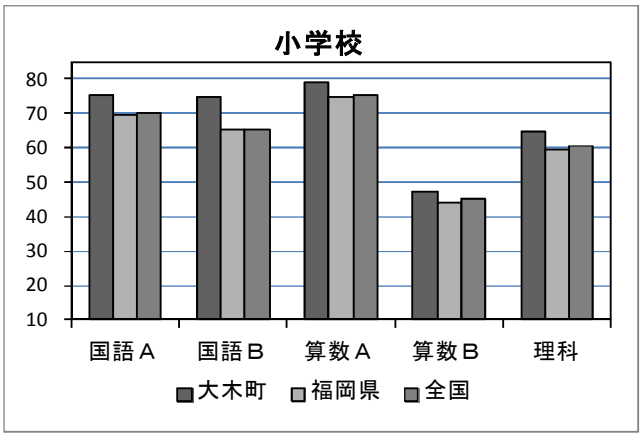


【広川町】



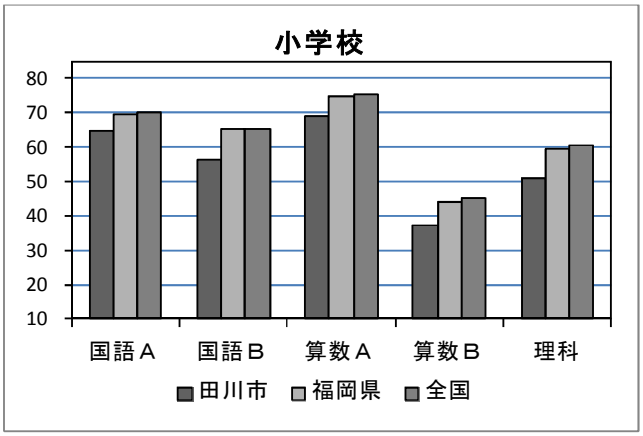
中学校は、公表対象外

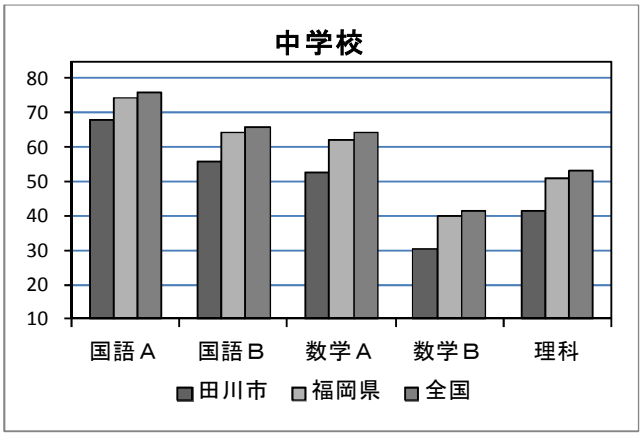
【大木町】



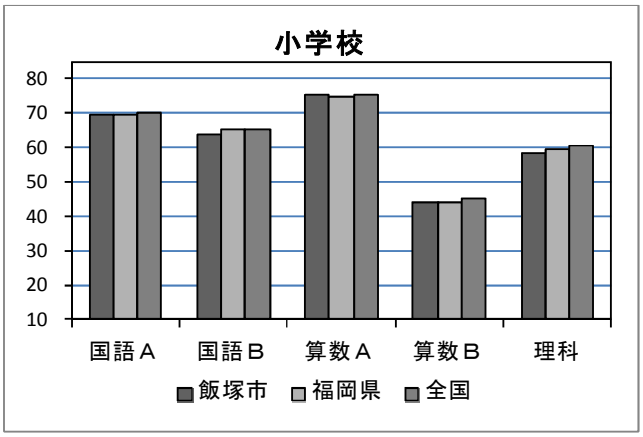
中学校は、公表対象外

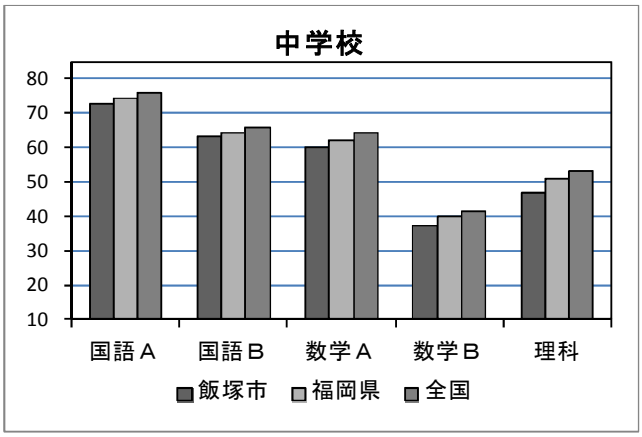
【田川市】



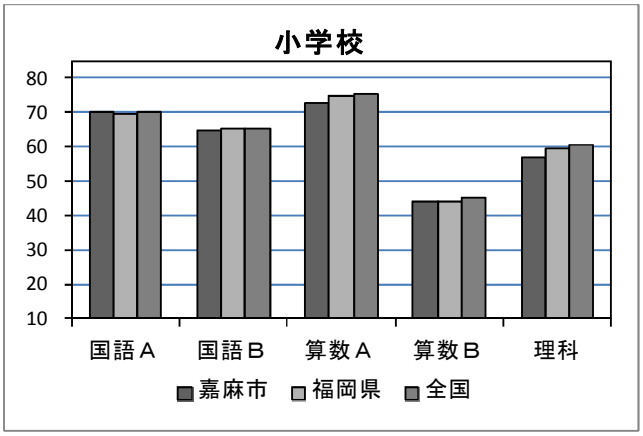


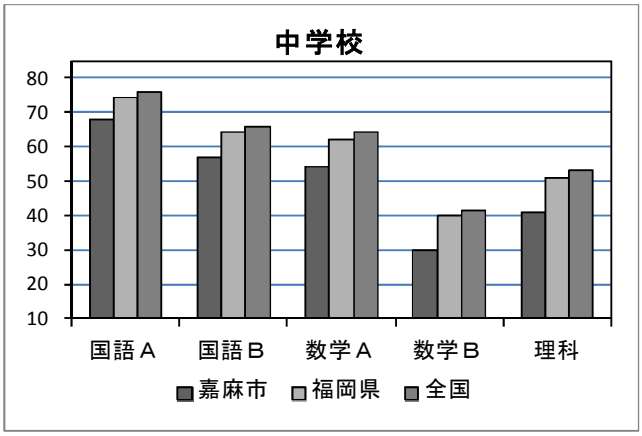
【飯塚市】



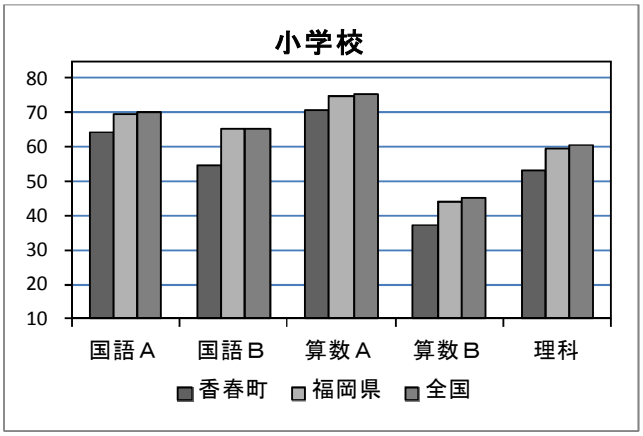


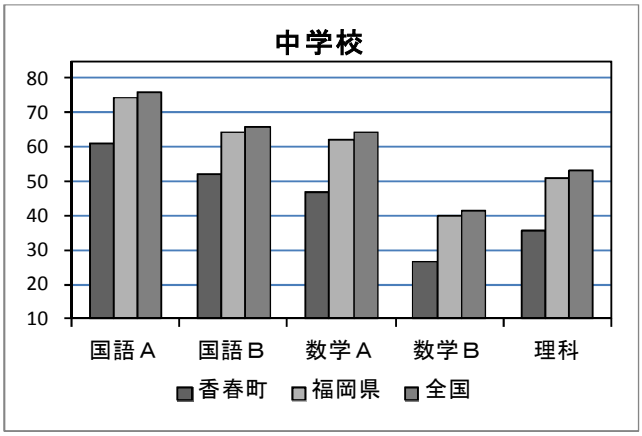
【嘉麻市】



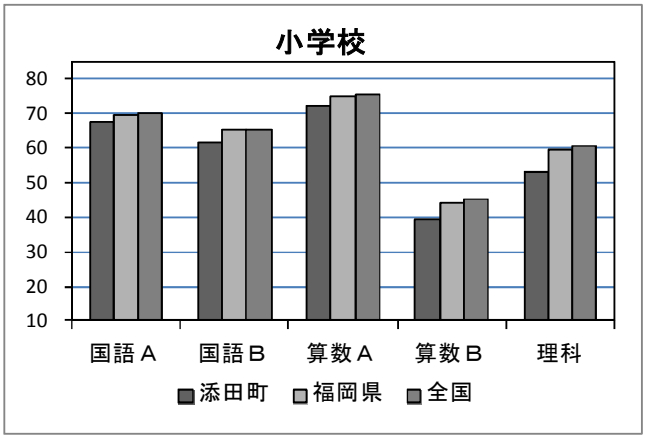


【香春町】



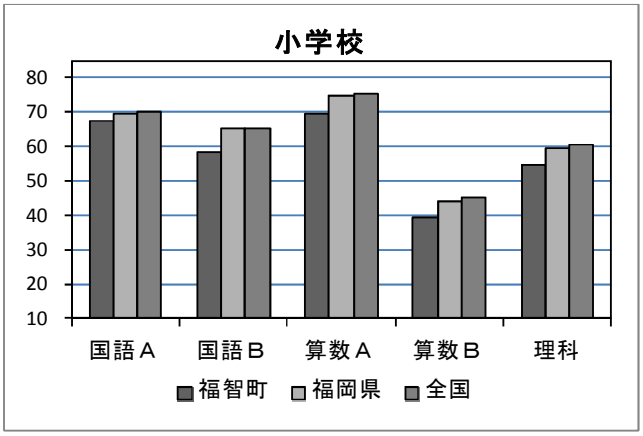


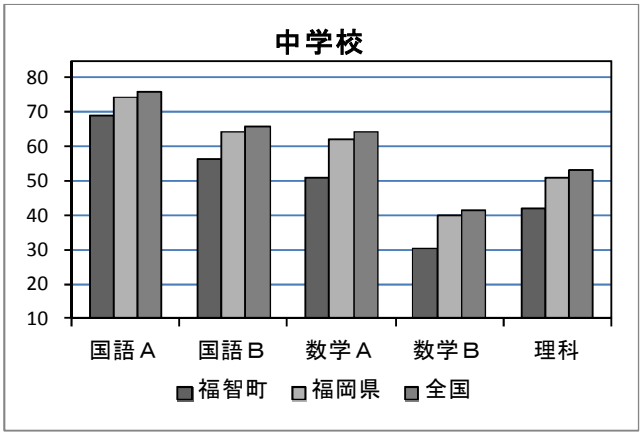
【添田町】



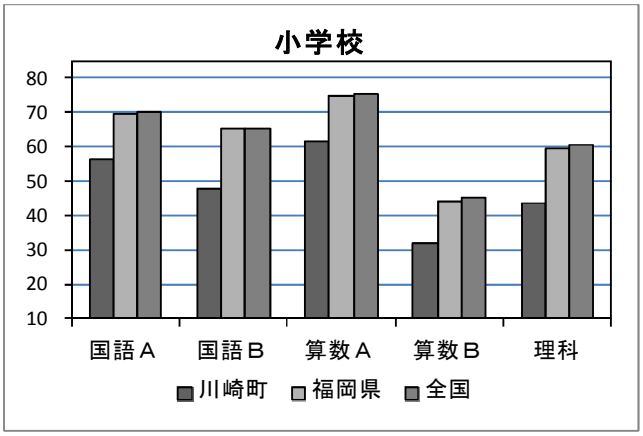
中学校は、公表対象外

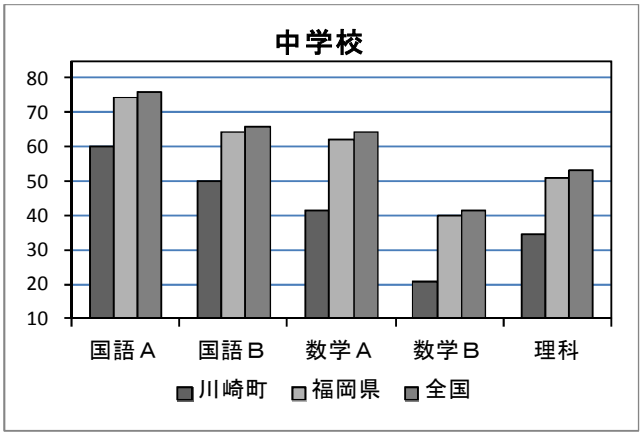
【福智町】



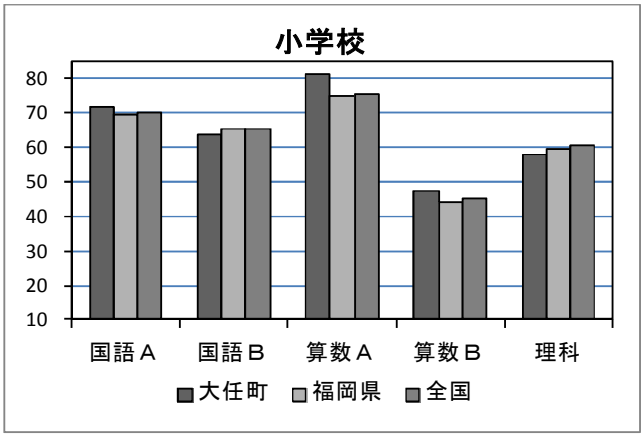


【川崎町】



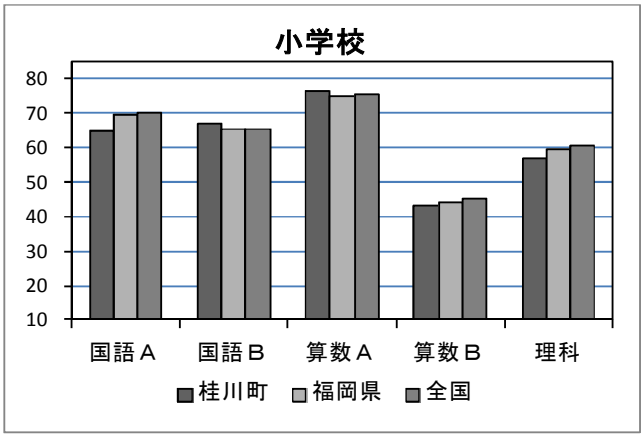


【大任町】



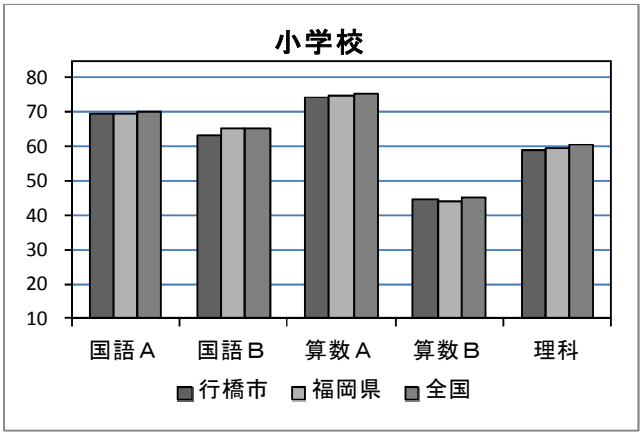
中学校は、公表対象外

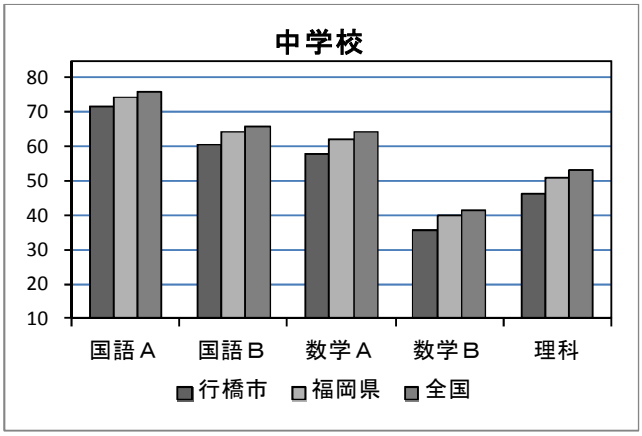
【桂川町】



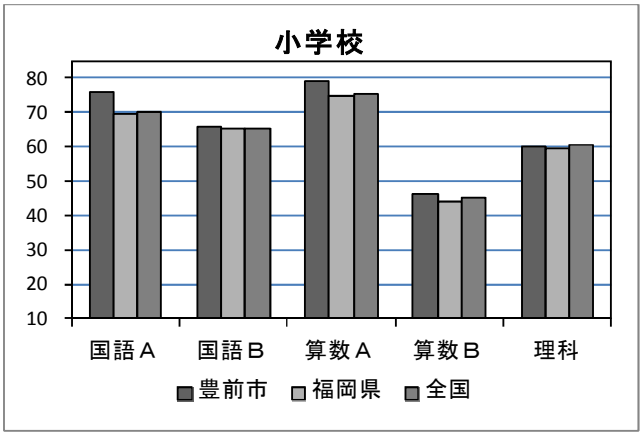
中学校は、公表対象外

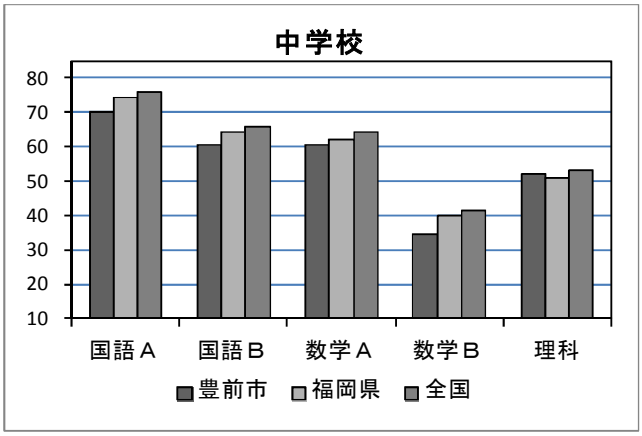
【行橋市】



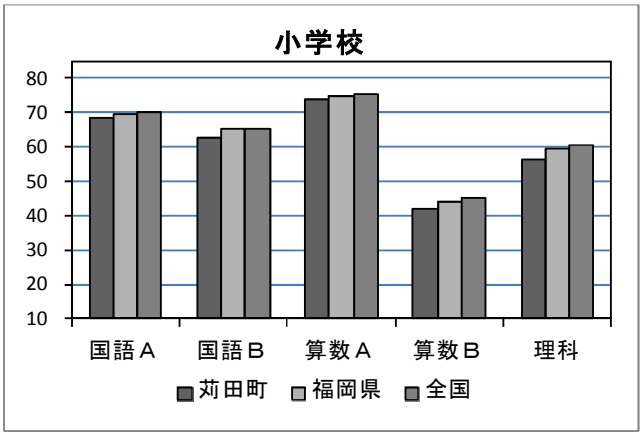


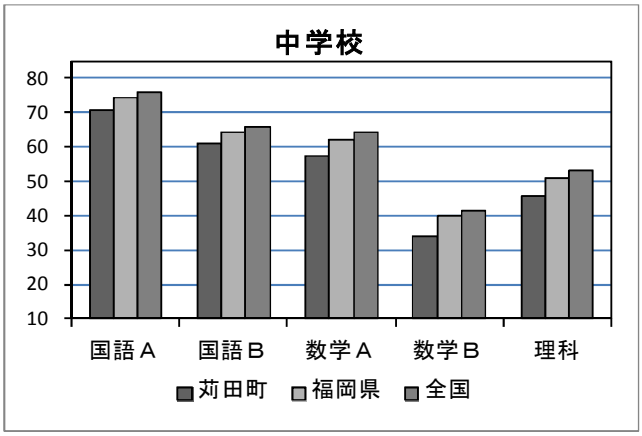
【豊前市】



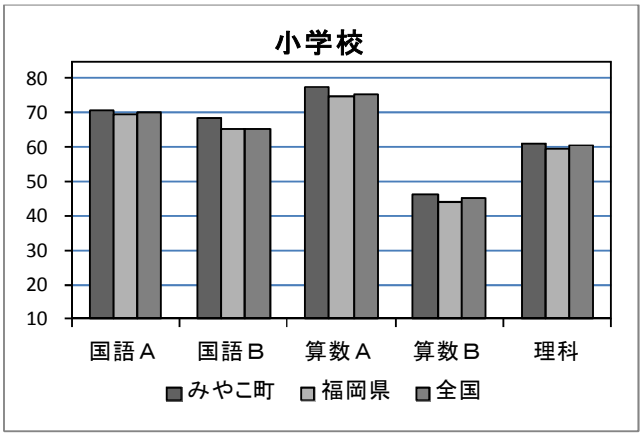


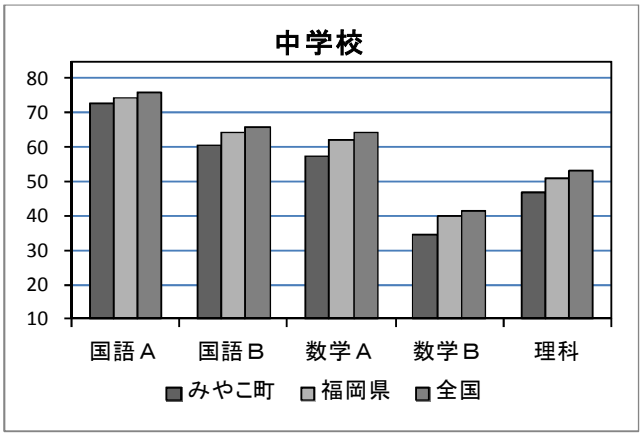
【苅田町】



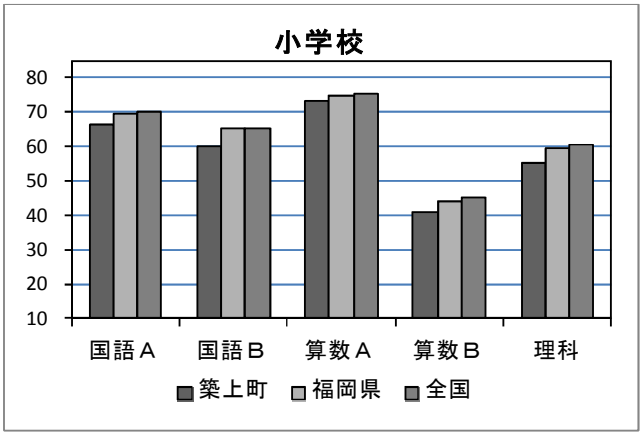


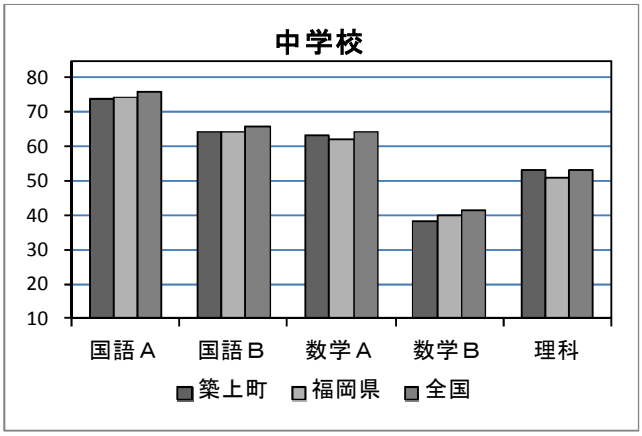
【みやこ町】



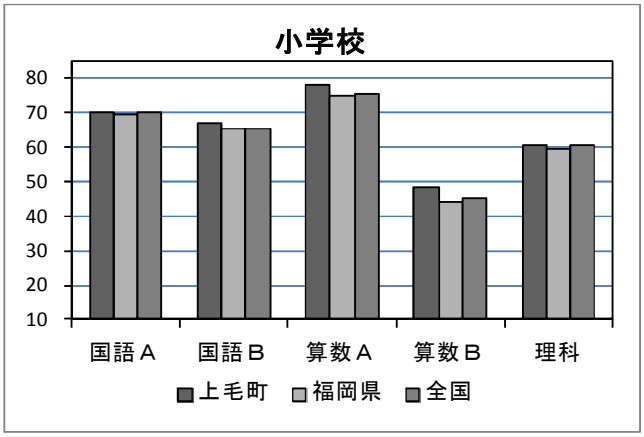


【築上町】



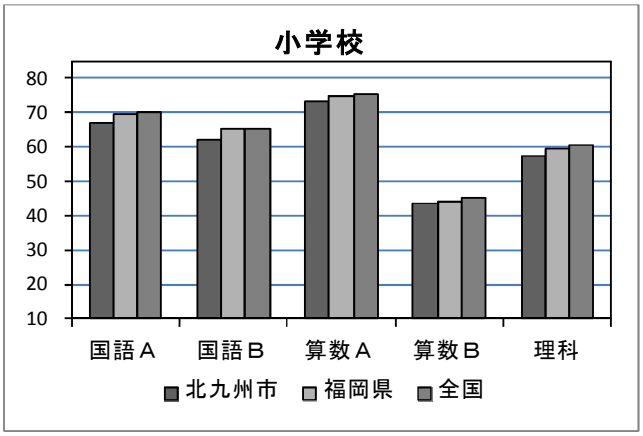


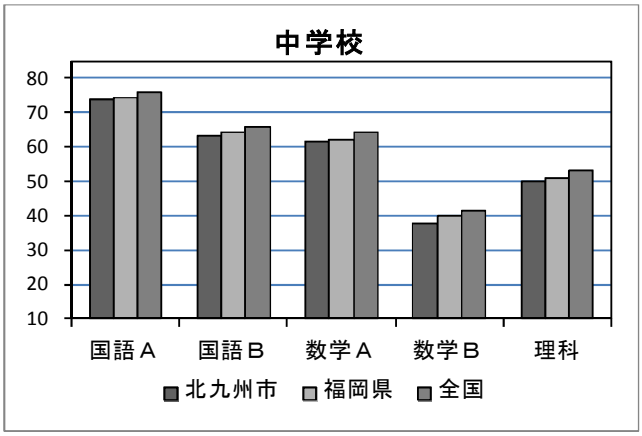
【上毛町】



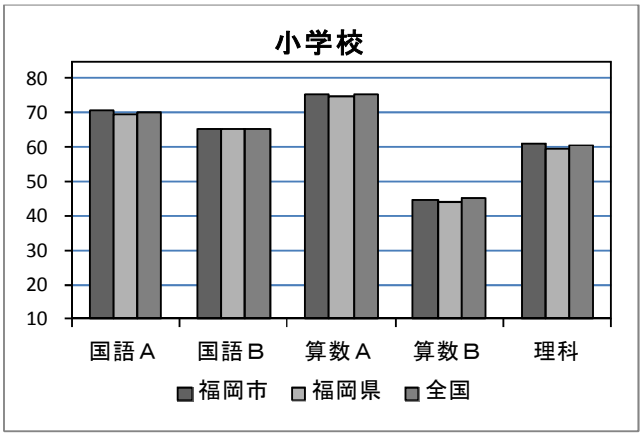
中学校は、公表対象外

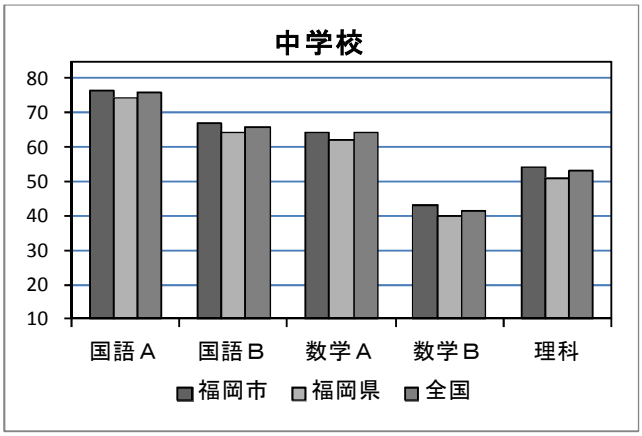
【北九州市】





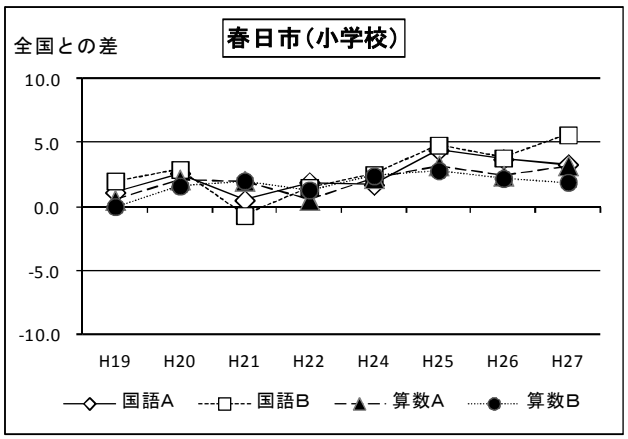
【福岡市】

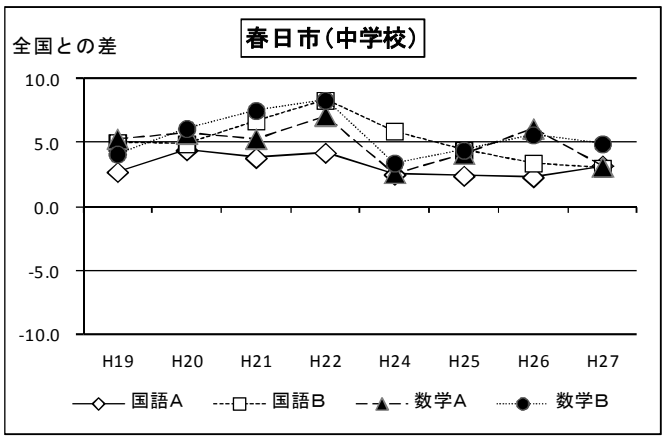




■　成果が見られる市町村の取組

【春日市】





【成果につながった取組の内容】

１　学力向上のための人的支援配置

個に応じたきめ細やかな指導のために、市独自の人的支援配置を行う。

①　小学校６年生３０人以下学級（平成２０年度から実施）

確かな学力の定着に向けて、小学校６年生３０人以下学級のために、１４名の人的な配置を実施。

②　サポートティーチャー及び特別支援教育支援員配置

個に応じた支援や担任支援の充実のために、サポートティーチャー1 名、特別支援教育支援員３２名の配置を実施。

２　学力向上につなぐ行動連携を推進・強化するコミュニティ・スクール（ＣＳ）の取組

学力向上のために、中学校区ごとにＣＳを指定し、学校、家庭、地域が連携した取組を推進する。

①　学力向上・生活習慣形成をめざした小中及び家庭との連携

「中学校区で共通する『家庭学習の手引き』『親子でチェック表』」「○○校区式１５年子育てサポート」「計画的な家庭学習をサポートするサクセスノート」等の導入を行った。

②　学力向上に特化した学校・家庭・地域との連携

「保護者による丸付けの協力」「地域の方（中学生も含む）による小学生のための公民館学習」「大学生による中学生の個別学習支援や授業サポート」等の導入を行った。

３　学校への日常的・定期的・直接的な支援

①　小学校における「問題データベース」導入

家庭学習や習熟度別学習等の質の向上をめざし、基礎基本の定着として学習時間や朝の活動等で活用するために、小学校全学年活用「問題データベース（国語・算数）」を市で契約している。

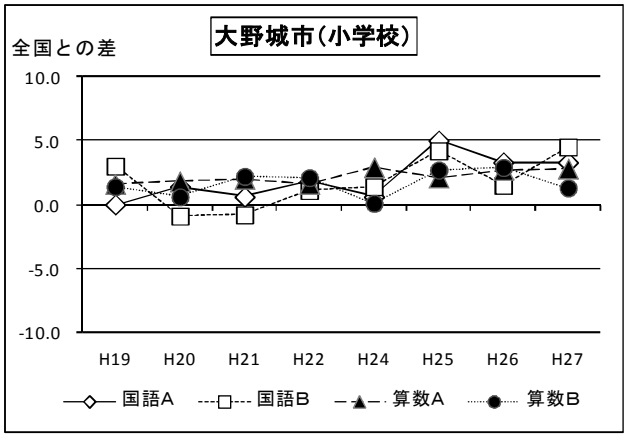
②　教育長「学校出前トーク」

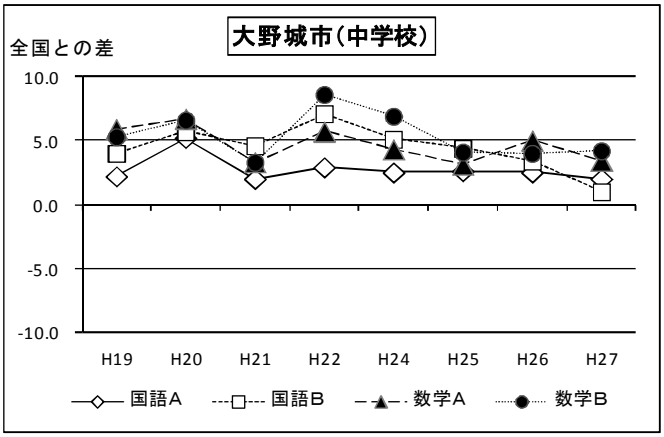
学習指導論や学力観（児童生徒観）等に関する協議をする教育長「学校出前トーク」を毎年度、夏季休業中に実施している。

③　指導主事・指導主幹による授業参観・各学校の学力向上コーディネーターとのヒアリング

調査の結果を受けて授業改善の視点で授業参観をしたり、各校が抱える課題や悩み、具体的な取組、市への要望を聞いたりして各校の実情に即した支援や助言を行い、市の施策につなげている。

【大野城市】





【成果につながった取組の内容】

１　学力向上の組織的な取組

各小中学校が学力向上の取組を統一して進めていくために、以下のような組織を編成している。

①　学力向上戦略会議

各小中学校の教頭で構成する組織である。市全体の全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、課題を共有するとともに、各学校の学力向上策について情報交換する。特に、本年度は、秋田県の取組や県内で成果の上がっている学校の事例を紹介しながら協議を行っている。

②　学力向上推進協議会

各小中学校の主幹教諭、教務主任で構成する組織である。市で共通して取り組む計算などのドリルや小学校を卒業した児童に中学校入学までに行わせる宿題の作成（算数ステッププリント）、学力向上のための教育課程編成等について協議している。

③　学力向上実行委員会

各小中学校の研究主任で構成する組織である。知識や技能を活用する力を育成するための授業づくりやブロック別の授業研究を企画・運営している。

２　授業力量を高める授業づくり

小学校では、中学校ブロック別に分かれて全教員の参加による授業研修を行っている。

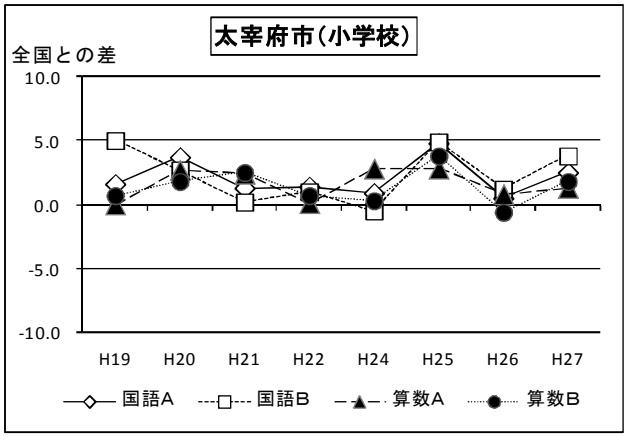
平成２４年度までは、全国学力・学習状況調査で課題が見られた国語の読解力に重点を置いた研修を実施し、平成２５年度からは、算数の「活用」に重点を置いた研修を行っている。

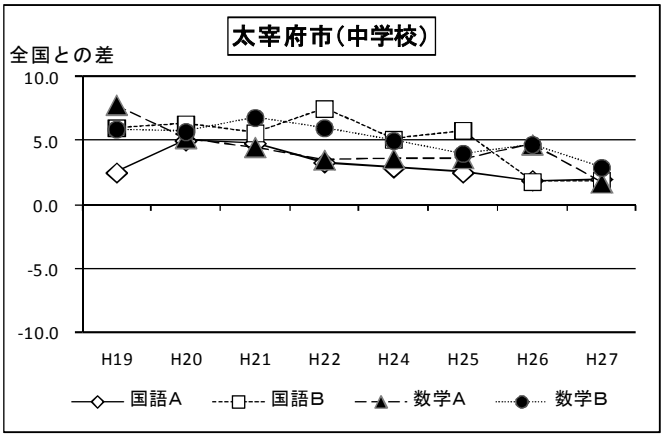
中学校では、筑紫地区の教科等研究会と連携し、各教科の指導力量を高める研修を行っており、本年度は平野中学校で開催している。

３　市教育委員会学校訪問におけるテーマを絞った協議

本年度から学校訪問の在り方を見直し、２学期に実施する市教育委員会の学校訪問については、「学力向上」に焦点化し、学力向上に係る学校の説明、授業参観、市教育委員会の指導助言を行っている。自校の教育課題、経営課題から学力向上について分析し、今後の学校経営、授業づくりに生かすことができるようにしている。

【太宰府市】





【成果につながった取組の内容】

１　太宰府市内全教員授業研修会

基礎基本を身に付け、活用する力の育成のために太宰府市全教員を対象に授業研修を実施する。

①　太宰府市教育委員会主催授業研修会

主に活用する力を育成するための授業研修会を、市内小中学校を会場として行う。事前に公開授業の指導案をホームページで公開し、会場校以外の学校はその指導案で実際に実践して研修会に参加する。

研修会当日は国立教育政策研究所小松信哉調査官の講話を聞いてから授業を参観し、各学年ごとの協議会で活用力を育てる授業の在り方を協議する。

②　太宰府市教育委員会研究指定委嘱研究発表会

太宰府市の研修会として位置付け、午後は児童生徒を放課させて全教員参加の協議を行う。各学校の取組を市内の学校が共有する。「太宰府市で学び太宰府市で育つ」ことを目指し、指導講師も太宰府市内の人材を積極的に活用する。

２　太宰府市 市内留学研修

学級経営、授業など、教育活動全般の指導力向上のために、他校の優秀教員のもとに１日出向き「間近に触れて考える」実践研修を実施する。

具体的には校長会で対象者をリストアップし、受け入れる学校及び学級を決定する。留学研修対象者の成長課題に応じたレポート項目を対象者の学校長が作成し、その項目を参観の観点として、「間近に触れて考える」研修を行う。

３　学力育成の学校体制

学力向上のために、コミュニティ・スクールとして学びの体制を整える。

①　全小中学校で基本的な取組を共有・実行

特に定着を図る取組、学習・生活習慣に関する取組の共有を図る。

例：早寝・早起き・朝ご飯の取組の具体化、読書活動の９カ年の積み上げ

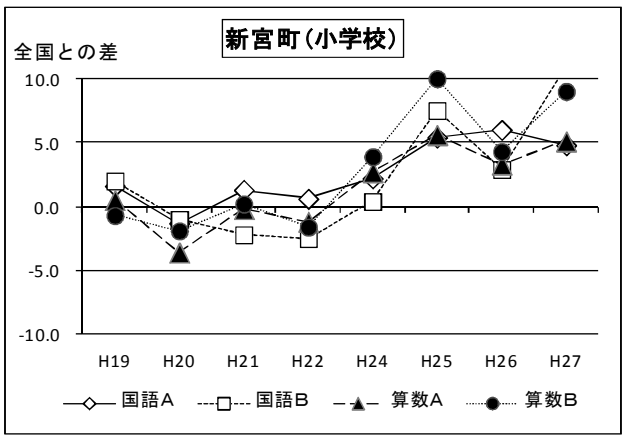
②　中学校ブロックで９カ年を見通した家庭学習のルールを確認

例：宿題の目安「学年×１０＋１０分」

③　学習支援サポーターの活用

各小中学校にそれぞれのべ９０人の学習支援に関する人材を派遣できるようにし、主に学力低位の児童生徒への指導を充実する。

【新宮町】



中学校は、公表対象外

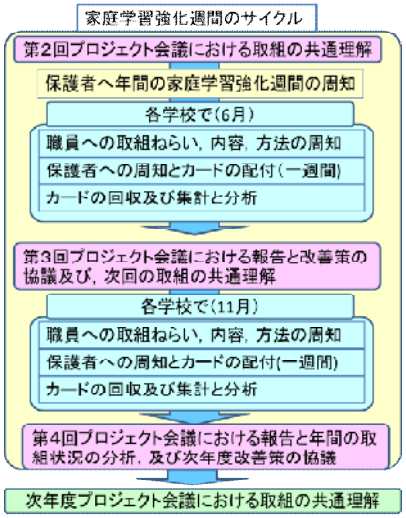
【成果につながった取組の内容】

1　児童生徒の学力向上に向けた調査･研究の日常化

学力向上に向けた指導方法や指導体制の工夫改善等に係る研究及び効果的な諸施策を検討するために、『学力向上プロジェクト会議（構成員：各小中学校の学力向上コーディネーター)』を年間５回実施し、町及び学校における取組の徹底と日常化を図っている。

①　連携強化による「家庭学習強化週間」のサイクル化

学校と家庭との連携・協働により、粘り強く家庭学習に取り組む児童生徒を育成することをねらい、６月と１１月の中学校の期末考査時期にあわせて、『家庭学習のすすめ』を活用した家庭学習強化週間を設定した。保護者への周知カード配付や取組状況をもとにした協議等を通して、プロジェクト会議の機能化と取組のサイクル化が進み、学力向上に向けた成果及び取組体制の整備につながっている。



②　連携強化による中学校入学準備課題『かけはし』の活用

小中学校と家庭とが連携を深め、全ての児童が夢や目標を持って中学校入学を迎えることができるよう、中学校入学準備課題『かけはし』を活用した取組を実施している。

・学習内容の系統を再確認できるように、小中学校教職員が協働で学習課題を作成する。
・『かけはし』の活用への保護者説明及び家庭における取組状況の確認の協力依頼を行う。
・小学校における配付･意欲づけと中学校における回収･賞賛を行う。

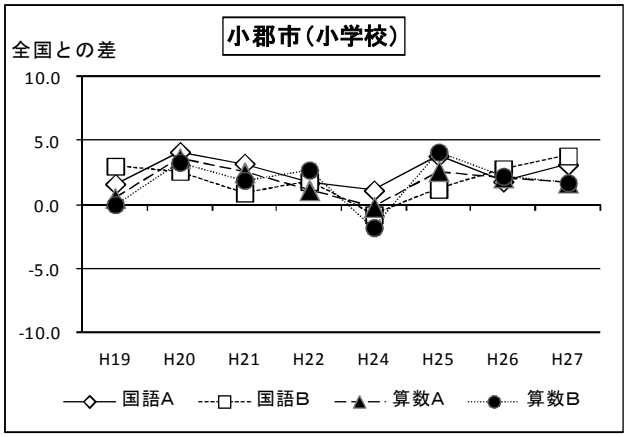
2　教育委員会における現場主義に立った研修事業の実施

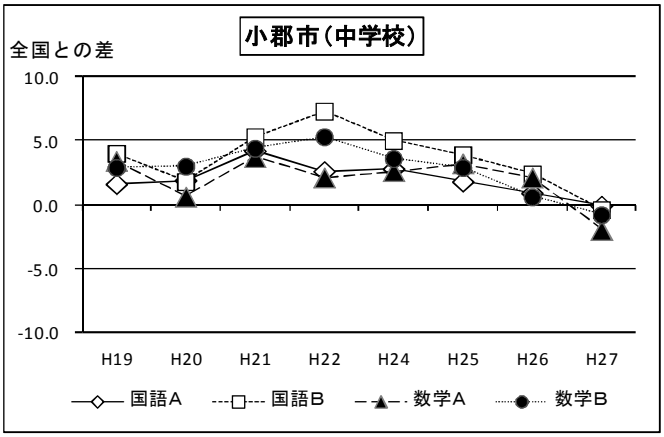
本町では、児童生徒数の急増により学校における課題も多様化しており、経験年数や職務内容に応じた専門的かつ実践的な指導力、課題解決力を高めることが急務である。そのため、教育委員会における研修事業を課題別に体系化し、年間３９回の会議･研修会を位置づけている。

○　研修事業は小中連携・接続、学力向上等に視点をあてた内容とし、すべて小中学校合同の形態で、実施している。

○　主幹教諭（教務主任）や研究主任、学年主任等のミドルリーダー育成のための研修や若年教師や講師、町費による嘱託・臨時職員等の指導技術向上のための研修など、実践的指導力の向上に向けて、公開授業や実践発表等の形態で研修会を実施している。特に、研修内容を各学校における日々の授業につなぐことを通して、授業改善の日常化を図っている。

【小郡市】





【成果につながった取組の内容】

１　学力向上に係る検証サイクルの構築

各学校が学力実態を分析し、ＰＤＣＡのマネジメントサイクルをもとに、学力向上に取り組むことができるよう支援を行う。

①　各学校におけるＲ＝ＰＤＣＡサイクルの推進

学力向上推進委員会を開催し、各学校の学力向上プランの作成・実施・評価状況を交流する。また、市としての分析の結果及び改善の方策を示し、各学校が、全国学力・学習状況調査の結果を受けて、課題を明らかにし、具体的な取組ができるように助言する。

②　各学校における課題解決に向けた取組の推進

各学校の学力向上に向けた諸方策と取組状況の報告を受けるとともに、効果的な取組等について情報提供及び指導助言を行う。

２　学力向上のための組織的な取組の推進

学力向上に向け、各学校が組織的な取組、及び家庭と連携した取組ができるよう支援する。

①　授業の充実及び補充学習の充実に向けた支援

学力低位の児童生徒のための習熟度別指導の推進及び補充学習の充実のための資料集の提供や担任と担任外が連携した取組について、効果的な取組の紹介や指導助言を行う。

②　家庭学習の取組

中学校区毎に、小・中学校が一貫した生活規律、学習規律、家庭学習の進め方の約束等をつくり、家庭との連携を図りながら取組を推進できるよう、情報提供、指導助言を行う。

３　教職員研修の強化

教師の指導力向上を図るために、小郡市・三井郡教育研究所や中学校教科等研究会と連携を図った研修会を実施する。

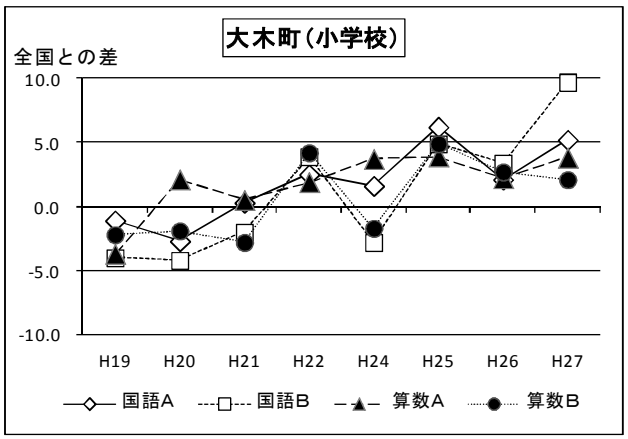
①　小学校・中学校授業力向上研修会の実施

小学校においては、各教科等の授業力向上につながる授業改善の方法等について、中学校においては、専門家を招いて教材研究、授業改善について研修を行う。

②　学級づくりに関する研修の充実

人間関係づくりや学級経営に関して、講師を招いて研修を実施する。

【大木町】



中学校は、公表対象外

【成果につながった取組の内容】

１　町単独雇用の講師等の配置など個に応じた指導への財政支援

教育の平等性を確保し、学校間の学力格差をできるだけ小さくするとともに子ども一人ひとりの学習課題に丁寧に応えることができるようにする。

①　少人数指導を推進するための講師の配置

小学校においては、町費による常勤講師を配置し、指導方法工夫改善担当教員の活用と併せて町内の全ての学級で３５人以下学級を実現している。中学校においては、数学科における少人数学習指導を充実させるために非常勤講師を配置している。

②　家庭教育支援員及び特別支援教育支援員の配置

全ての小学校に家庭教育支援員２名ずつを配置し、学校を休みがちな子どもや学習へ集中できない子どもたちを支えたり、子育てに悩みを抱いている親の相談に応じたりして、子どもが学習に向かえる環境づくりに努めている。また、全ての小・中学校に特別支援教育支援員を２～３名配置している。

２　学校と連携して、校種の壁を越えた共同研修の推進

小中連携による学習指導方法等の研究や学力調査結果の分析・検証を推進する。

①　小中合同研究による共通実践

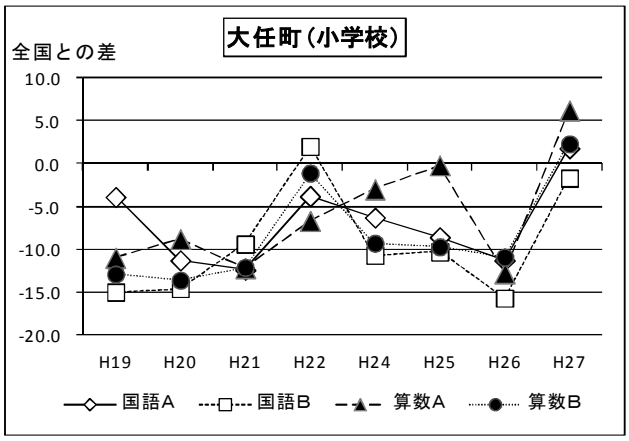
学力と学びに向かう力の基となる自尊感情を高める学習指導を核として、小学校と中学校の教員がチームを組み事前研究、授業参観・協議する授業研究会を実施している。小学校の教員は中学校の教科の専門性を学び、中学校の教員は小学校のきめ細やかな指導を学ぶなど、教材研究・発問・板書など学習指導力や学習規律を高める共同研究を行っている。

②　町学力向上推進委員会において学力調査結果の分析・検証の推進

町学力向上推進委員会（小・中学校の校長・教頭代表、主幹教諭等で構成）において、全国学力・学習状況調査の結果をもとに、学力の実態や学習指導の成果と課題の分析・検証、小・中学校共通実践事項の設定等により、共通理解・共通実践を進めている。

また、県学力実態調査、活用力診断テスト、学校が実施する標準学力調査等の結果から教育委員会として分析したデータや授業改善の視点等を提供し、学校間の共通理解を進めている。

【大任町】



中学校は、公表対象外

【成果につながった取組の内容】

１　公的塾「おおとう未来塾」の運営

基礎・基本の定着のために、小学４年生から中学３年生までの希望者を対象に、放課後、町が無料塾を実施している。本年度は開始から４年目（小４は３年目）となる。

①　内容

小学生対象には火・木曜：16 時 30 分～18 時、水曜：16 時～18 時に国語・算数・英語を実施。児童は、事前に申し込んだ曜日に週１回通塾する。

中学生対象には月～金曜の 19 時～21 時に数学と英語を実施。生徒は、１年生：水・金曜、２年生：火・金曜、３年生：月・木曜の週２回通塾する。

②　参加率

H26 年度：4 年 76.1%、5 年 59.5%、6 年 55.1%、中 1：68.9%、中 2：59.5%、中 3：62.5%
H27 年度：4 年 75.0%、5 年 61.7%、6 年 50.0%、中 1：38.3%、中 2：53.2%、中 3：50.0%

２　町内教員合同研修会の実施

町内１中学校２小学校の教員が組織的に連携して、①教員の授業力向上を取組の柱とした合同研修会や、②家庭学習習慣化の取組、並びに、③児童生徒の社会参加と自己実現に向けてのキャリア教育の充実に取り組んでいる。本年度は新組織・新目標での取組５年目となる。

①　授業力向上を取組の柱とした合同研修会

代表校長・教頭と３校の研究主任・指導方法工夫改善主担当者が中心となる組織で、各校の学力向上プランの交流や学力テストの結果分析から、３校が共通して重点的に取り組む内容や教科を確認し、各校での授業改善につなげている。３校持ち回りで行う年１回の公開授業研修会に加え、年２回は講師招聘の生徒理解・授業改善に関わる合同研修会を地教委が実施している。

②　家庭学習習慣化の取組（組織は上記①に同じ）

学校毎に各学期１回「家庭学習重点週間」を設け、実施時間と内容のデータ取りを行い、３校で交流している。土日用に家庭学習の課題を出した小学校では、確実に成績が向上している。

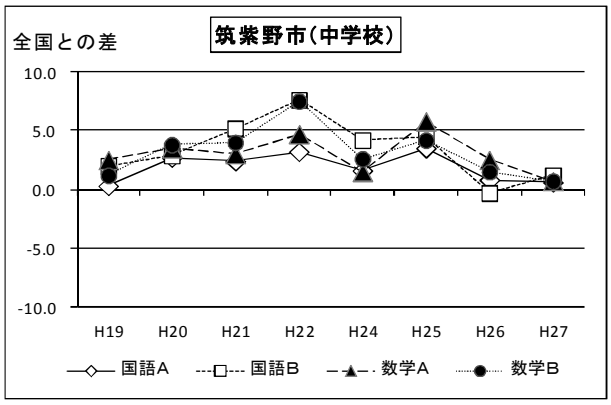
③　キャリア教育の充実

代表校長・教頭と３校の主幹教諭（教務担当）・進路指導主事が中心となる組織で、諸活動におけるキャリア教育との関連性（育成する能力）を明らかにし、学習意欲の向上につなげている。

■　特に中学校において成果が見られる市町村の取組

【筑紫野市】

【成果につながった取組の内容】



1　小中連携教育の取組

小中連携教育を通して、「学習習慣を身につけ、基礎的、基本的な学力と活用の学力を身につけた子どもを育成すること」を目標の一つとして取組を進めている。

①　家庭学習強化週間

中学校の定期考査期間に合わせ、小中連携の取組として、中学校区ごとに期間を設け、保護者への協力を得ながら、家庭学習の充実を図っている。

また、家庭学習のすすめ等、リーフレットの作成を行い、啓発を行っている。

②　指導力向上の取組

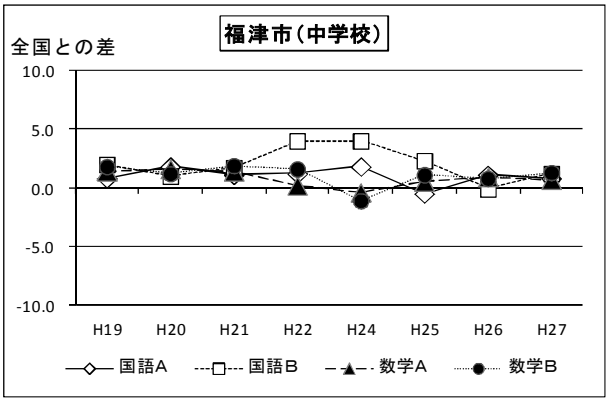
市教委学校改善訪問を通して、各学校の課題に応じて指導助言を行うとともに、若年教員の指導力向上の研修会や、校内研修担当者、学力向上コーディネーター、主幹教諭（教務担当）等の研修会を通して、指導力の向上を図っている。

2　中学校区ごとの市委嘱の研究指定

平成２６年度から、小中連携教育の充実を図るため、市指定の研究委嘱を中学校区ごとに指定している。このことから、小中９年間を通した授業改善の取組の充実を図っている。（現在５中学校区中、２中校区に委嘱）

【福津市】

【成果につながった取組の内容】



1　市統一調査の実施

生徒の学力や学級の実態を把握・分析し、生徒の課題に応じた取組を行うために２つの調査を実施している。

①　市統一学力調査の実施

５教科の学力調査を４月に実施し、自校の学力分析から学年の学力向上策や主題研究の柱等の重点化を図っている。

②　ＱＵテストの実施（学級集団づくり）

各学校において、年２回のＱＵテストを実施するとともに、校内研修を位置づけ、個別の支援策と学級集団の改善策を協議させ、各学級の取組を検証させた。親和的な学級集団を目指し、学習環境づくりを行っている。

2　学力向上に向けた取組

学校間の学力や学力向上の取組の差をなくすために市内統一の学力向上の取組を実施している。

①　福津市学力向上スタンダードの徹底

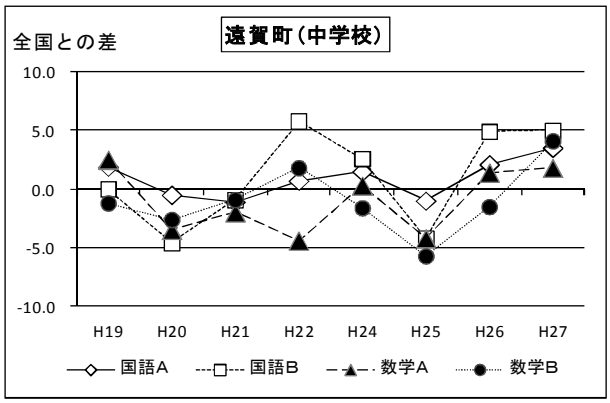
学力向上の基盤づくり、基礎基本を含む活用力を育てる授業づくり、家庭学習の充実、個別指導の充実、評価と改善について市統一で行い、教頭研修会にて授業参観による検証を行っている。

②　診断テスト及び教材集の活用の連絡会（中学２学年国語、数学担当者対象）

課題克服に向けた診断テストと教材集の活用の在り方について研修し、教材集、全国学力・学習状況調査の過去問題等の活用計画表を担当者に作成させ、市内で共有して実施している。

【遠賀町】

【成果につながった取組の内容】



1　研修会等の実施

①　小中連携合同研修会の実施

中学校区内の小中学校で合同研修会を開催している。その際、招聘した指導・助言者の的確な指導により、教員の指導力向上に努めている。

②　学力向上検証委員会の開催

遠賀町学力向上検証委員会を受け、校内学力向上検証委員会を毎月、以下の内容で実施している。

・学力向上プラン、学力向上重点取組の確認
・全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査の分析と成果と課題の検証
・福岡県教材集や過去の全国学力調査問題の授業での活用

③　授業公開後の授業研究会の実施

一人一実践の公開研究授業を実施し、指導助言者を招聘した授業研究会を実施している。

2　理解不十分、学力低位の生徒に対する取組

①　放課後や長期休業期間中の補充学習の実施

放課後や長期休業期間中に、学力低位の生徒を対象に補充学習を実施している。

②　定期考査前の質問教室の実施

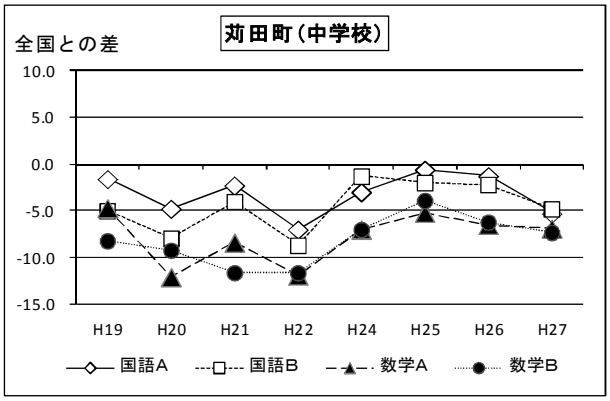
中間考査や期末考査前に質問教室を実施し、きめ細かな個別指導を行っている。

③　複数の教師で指導にあたることできめ細かな指導ができる体制を整え、わかる授業の推進

学力保障非常勤講師や教育ボランティアの活用により、少人数指導を行っている。

【苅田町】

【成果につながった取組の内容】



1　教育改革検討実行委員会

確かな学力を育むために、教務主任がメンバーとなり取組のアイディアを出し合っている。

①　学習の手引き

各教科や家庭学習の手引きを作成して、全校児童生徒に配布し、活用を図るようにしている。

②　習得テスト

教務主任が作成した国語・算数の習得テストを年２回全町一斉に実施している。

2　小中学校の連携による魅力ある学校づくり

不登校やいじめの未然防止につながる魅力ある学校づくりのために、小中一貫した授業づくりに取り組んでいる。

①　学習規律の徹底

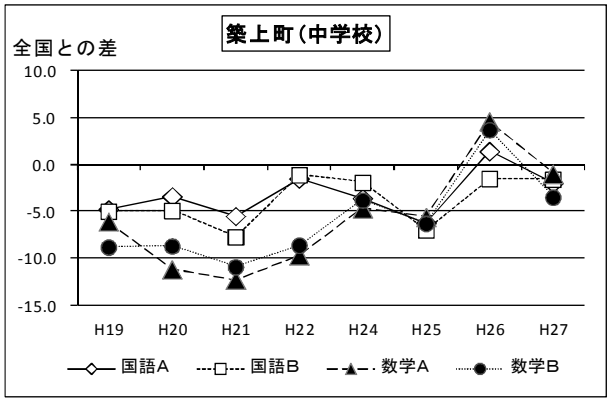
小中一貫の学習規律を共有化するために、全校児童生徒にファイル化したものを持たせて、徹底を図っている。

②　授業交流

小中教員の相互の授業参観などによってお互いのよい点を学び合い、主体的な学びの授業モデルプランを作成し、授業改善を行っている。

【築上町】

【成果につながった取組の内容】



１　夏季休業中の学力強化講座

中学１年生を対象に基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、夏季休業中に学力の補充を行う。

①　習熟度別学習の実施

クラスを習熟度別の３グループに分け、各グループとも複数の教員体制にて実施している。

②　主に復習問題を中心とした内容

演習問題を通して、１学期の学習内容の復習や確認を行う。特に数学については、小学校の復習問題も盛り込み、基礎・基本の徹底を図る。

２　学習意欲を高め、わかる授業への改善

生徒が授業への興味・関心を高め、より理解を深めるための授業改善を行う。

①　ＩＣＴ機器の効果的な活用

導入、展開、終末の各段階に応じて ipad 等のＩＣＴ機器の活用を工夫することにより、生徒の学習意欲を高め、思考力を深める。

②　指導方法工夫改善担当等を活用した授業改善

県ＴＴ教員、非常勤講師、町雇用講師等による，効果的な少人数授業及びＴＴ授業の工夫を行っている。

7　児童生徒の無解答の状況（地区別）

教科に関する調査における児童生徒の無解答の状況を地区別に分析する。

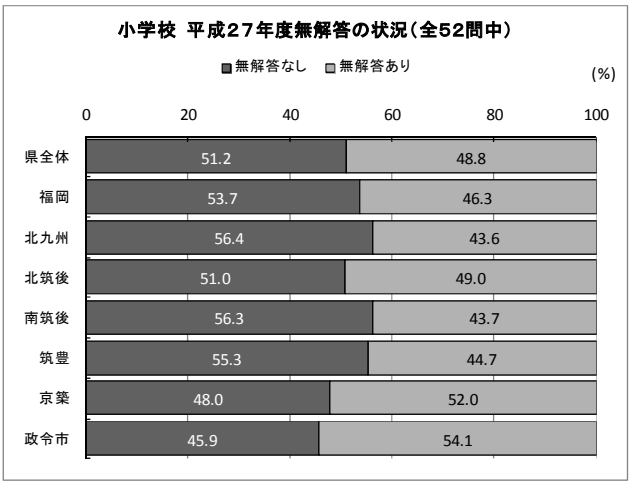
無解答の状況については、小学校は全７６問、中学校は全１１８問を対象として、１つでも無解答がある「無解答あり」と全てに解答した「無解答なし」に分類した。

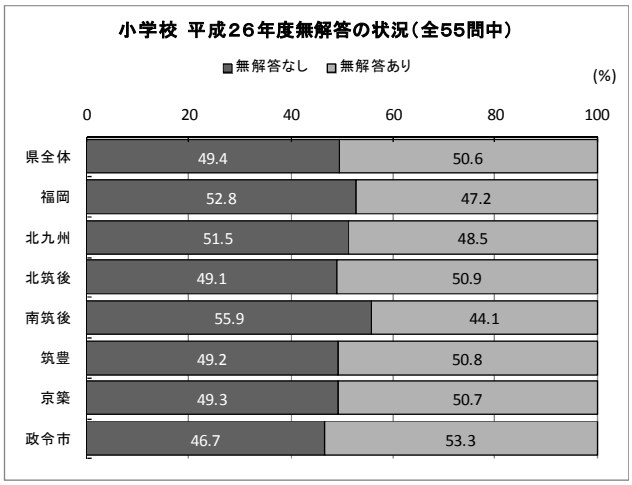
⑴　全体の状況

全体の状況については、平成２６年度調査結果と比較できるように、理科を除いて小学校は５２問、中学校は９３問を対象として分析した。

■　小学校

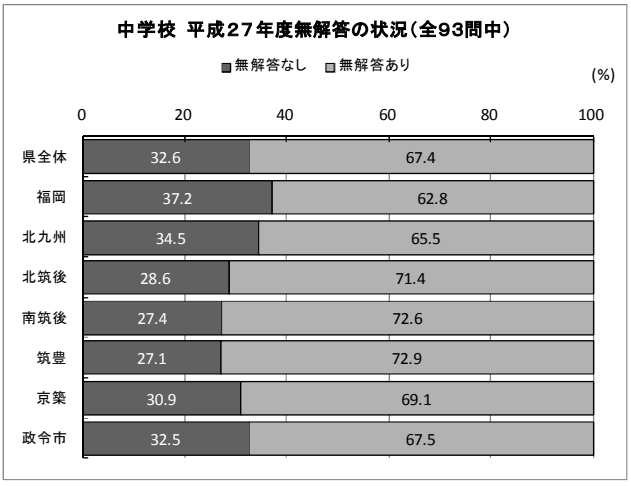
○　県全体では、平成２６年度と比較して、無解答なしの児童の割合が増加した。
○　平成２６年度と比較すると、京築、政令市を除く全ての地区において、無解答なしの児童の割合が増加した。
○　無解答なしの児童の割合は、福岡、北九州、南筑後、筑豊で県全体を上回った。

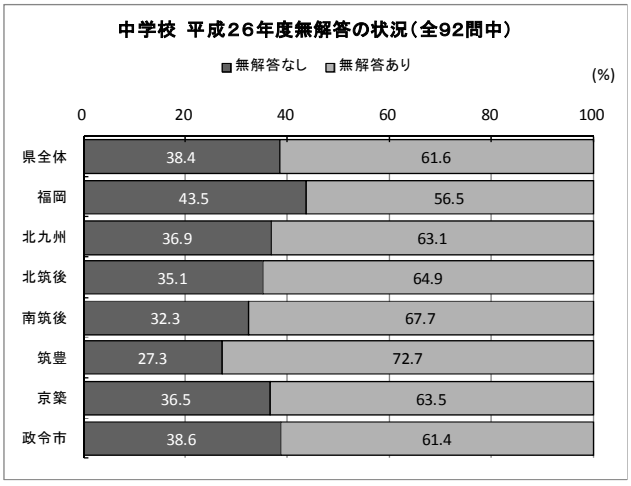




■　中学校

○　県全体では、平成２６年度と比較して、無解答なしの生徒の割合が減少した。
○　平成２６年度と比較すると、全ての地区において、無解答なしの生徒の割合が減少した。
○　無解答なしの生徒の割合は、福岡、北九州で県全体を上回った。





⑵　教科区分ごとの無解答なしの児童生徒の状況

■　小学校

○　県全体では、国語、算数ともにA問題の方がB問題と比較して無解答なしの児童の割合が高い。

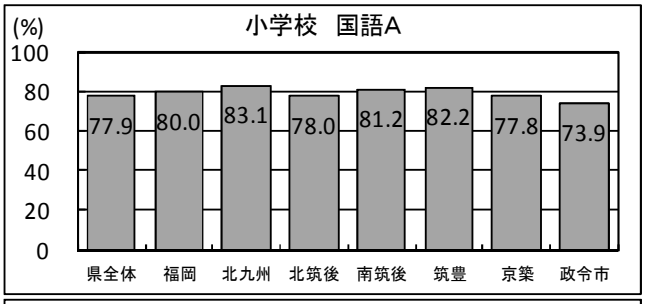
○　地区別にみると、福岡、北九州、南筑後、筑豊は全ての教科区分で、無解答なしの児童の割合が県平均と比較して高い。

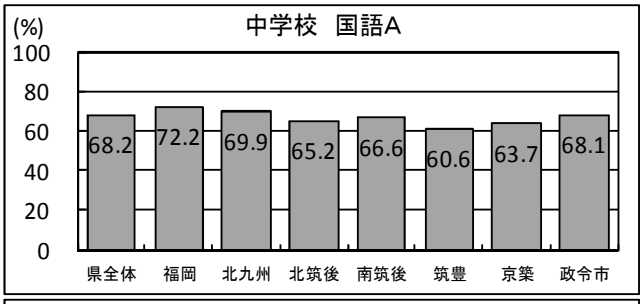
■　中学校

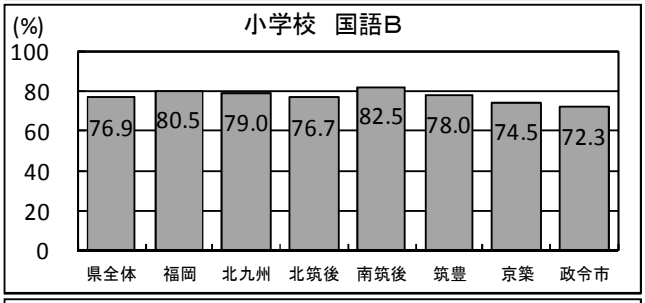
○　県全体では、国語は、B問題の方が、数学は、A問題の方が無解答なしの生徒の割合が高い。

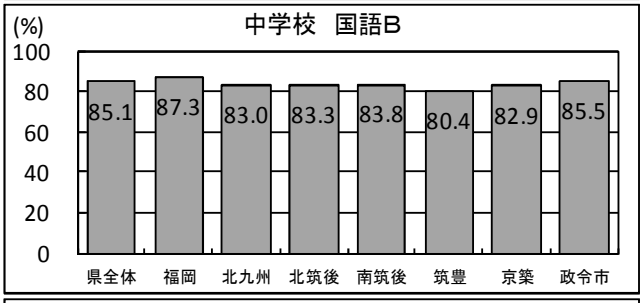
○　地区別にみると、福岡は全ての教科区分で、無解答なしの生徒の割合が県平均と比較して高い。

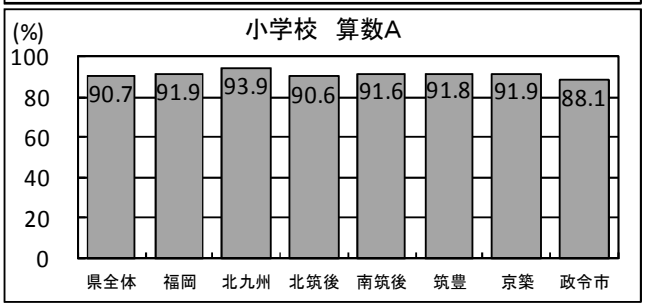
（各教科区分における「無解答なしの児童生徒」の割合を、県全体及び７地区間で比較したグラフ）

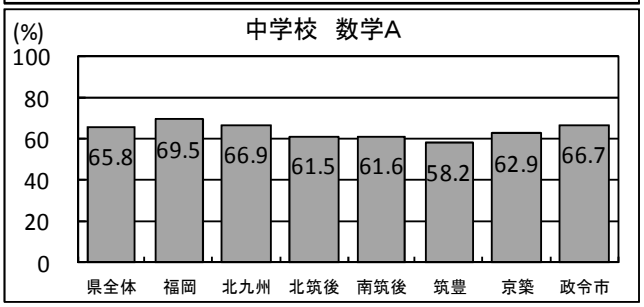


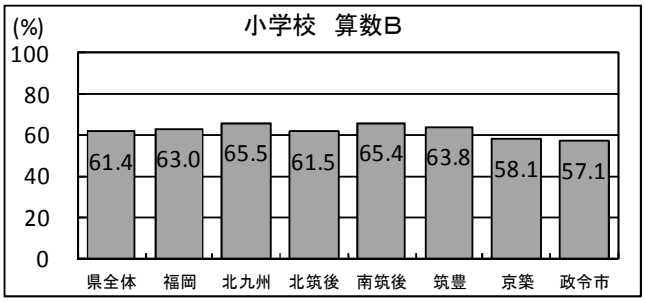


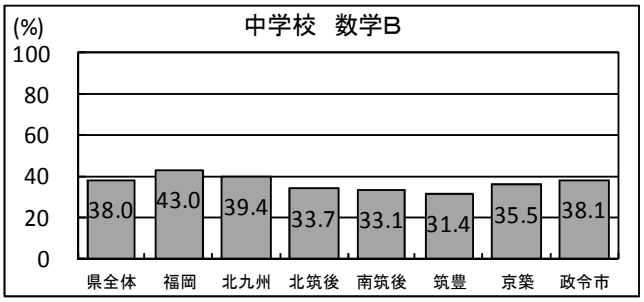


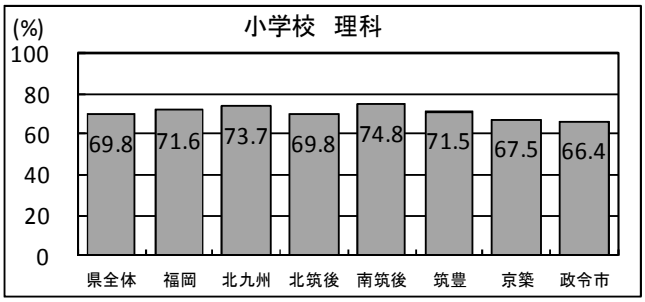


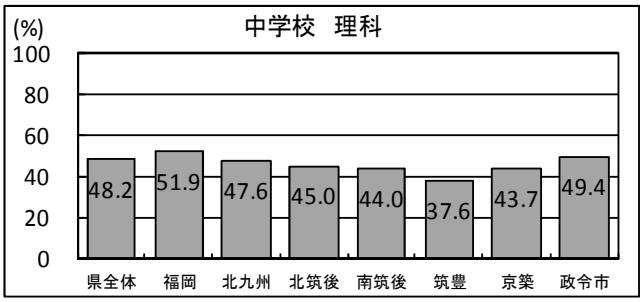






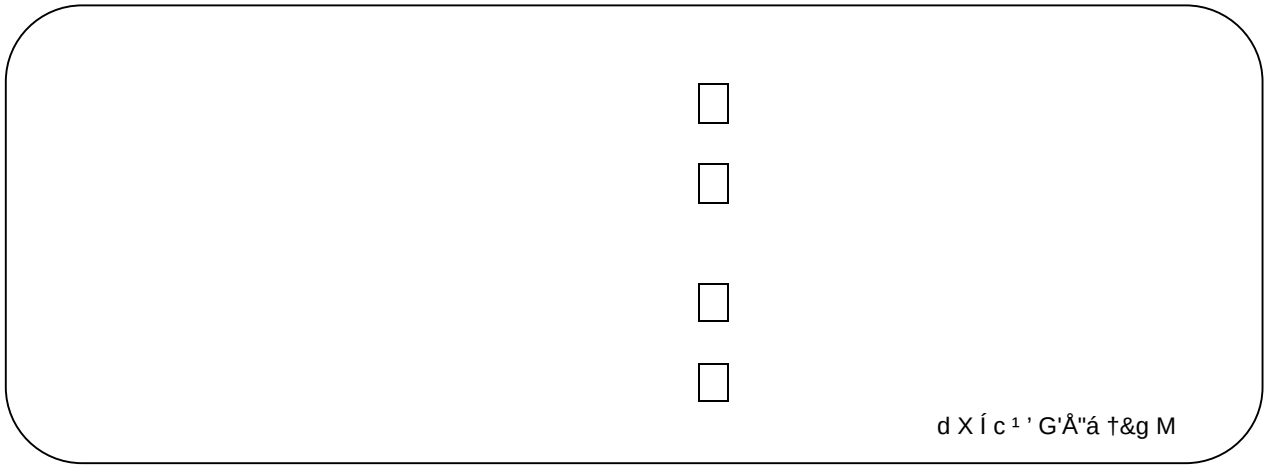






ê › M&É b1*) Ý

>/ ` Û / \1



¦ ¹ ' G'Å X ¹ ' G'Å"á p ¸ Í † = ë j 0Û o b0{!l 9 í e8Ÿ g ' 9 G'Å"á

>: \1 >?><

	¹ ' G'Å X	¹ ' G'Å"á	p ¸ Í	† = ë j
&Ÿ¸ %4H ¶ 'g H	>åÍá	>âåÍá	>ÝÖÜÜ	>Þ Íã
² \ H ¶ 'g H	>åÍá	>ãÖÜÜ	>ÝÖÜÜ	>Þ Íá

	0Ûo Fþ0{!l					e 8Ÿg '		
	6õ ° G‰ ' G‰Ø	0ðFéG‰Fß + Š	¡ Fß Š	1 G + Š	%±1 ' G‰ 0ŽG‰+	4E¥ '	%·Å '	0°3Ù'
&Ÿ¸ %4		>áâÍß	>äáÍã	>áàÜÜ	>ãâÍå	>ââÍá	>ãÞÍá	
² \		>áßÜÜ	>äâÜÜ	>ááÚÞ	>ããÚÞ	>âáÍá	>ãßÍã	

>: \1 >@><

	¹ ' G'Å X	¹ ' G'Å"á	p ¸ Í	† = ë j
&Ÿ¸ %4H ¶ 'g H	>áÍå	>âáÚÝ	>âÍÜÜ	>Þ Íå
² \ H ¶ 'g H	>áÍå	>âáÍå	>âÍÜÜ	>Þ Íå

	0Û oFþ0{!l					e8Ÿ g '		
	6õ °G‰ – 'G‰ Â Ø	0ðFéG‰*ºFß + Š	¡Fß+ Š	1 G + Š	%±1'G‰#. 0ŽG‰ •+	4E ¥ '	%·'Å '	0°3Ù '
&Ÿ¸%4	>á>á>Ú>ß	>â>Ü>Ú>ä>â>ã>Ú>å				>â>ã>Ú>ä>ä>Ü>Ú>ä>á>á>Ú>ß		
² \	>á>á>Ú>à	>â>Ý>Ú>Ý>â>ä>Ú>Ý				>â>ä>Ú>â>ä>Ü>Ú>ä>á>á>Ú>à		

¦ G'Å"á (x “3H>8 G'Å"á>& e>')ª3H>8 m œ>&>#>'

平成２７年度全国学力・学習状況調査 中学校調査

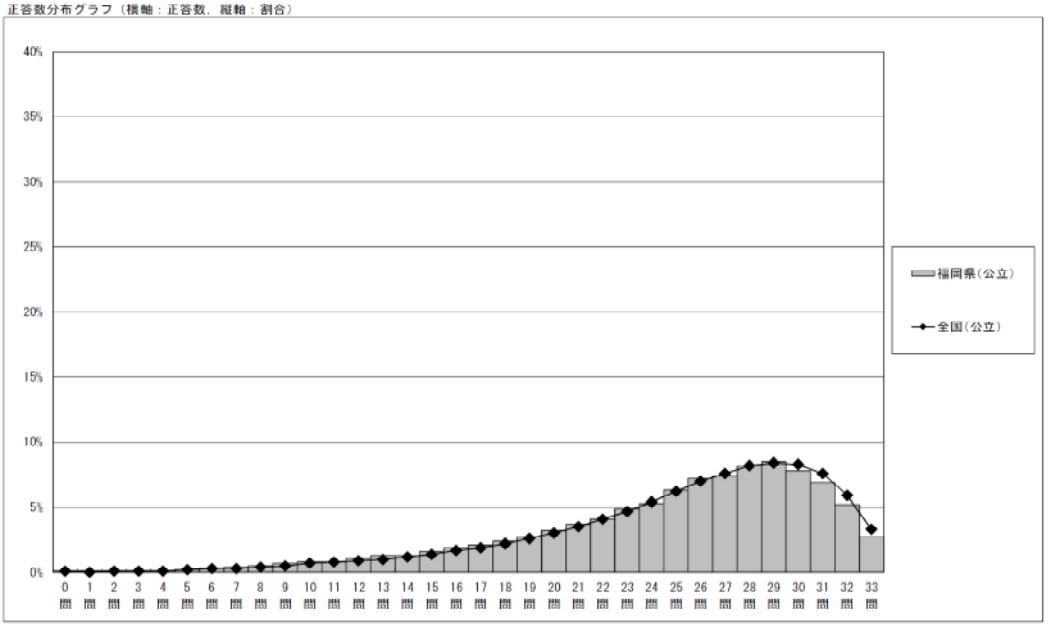
調査結果概況 ［国語Ａ：主として知識］

福岡県ー生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月２１日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	41,982	24.6 / 33	74.6	26.0	6.1
全国（公立）	1,016,451	25.0 / 33	75.8	26.0	6.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：生徒数 右：割合（%））		
０問	35	0.1
１問	32	0.1
２問	28	0.1
３問	47	0.1
４問	58	0.1
５問	98	0.2
６問	142	0.3
７問	183	0.4
８問	218	0.5
９問	277	0.7
１０問	320	0.8
１１問	343	0.8
１２問	450	1.1
１３問	543	1.3
１４問	560	1.3
１５問	661	1.6
１６問	798	1.9
１７問	902	2.1
１８問	1,000	2.4
１９問	1,140	2.7
２０問	1,325	3.2
２１問	1,540	3.7
２２問	1,742	4.1
２３問	2,064	4.9
２４問	2,221	5.3
２５問	2,646	6.3
２６問	3,009	7.2
２７問	3,089	7.4
２８問	3,430	8.2
２９問	3,568	8.5
３０問	3,271	7.8
３１問	2,915	6.9
３２問	2,179	5.2
３３問	1,148	2.7

平成２７年度全国学力・学習状況調査 中学校調査

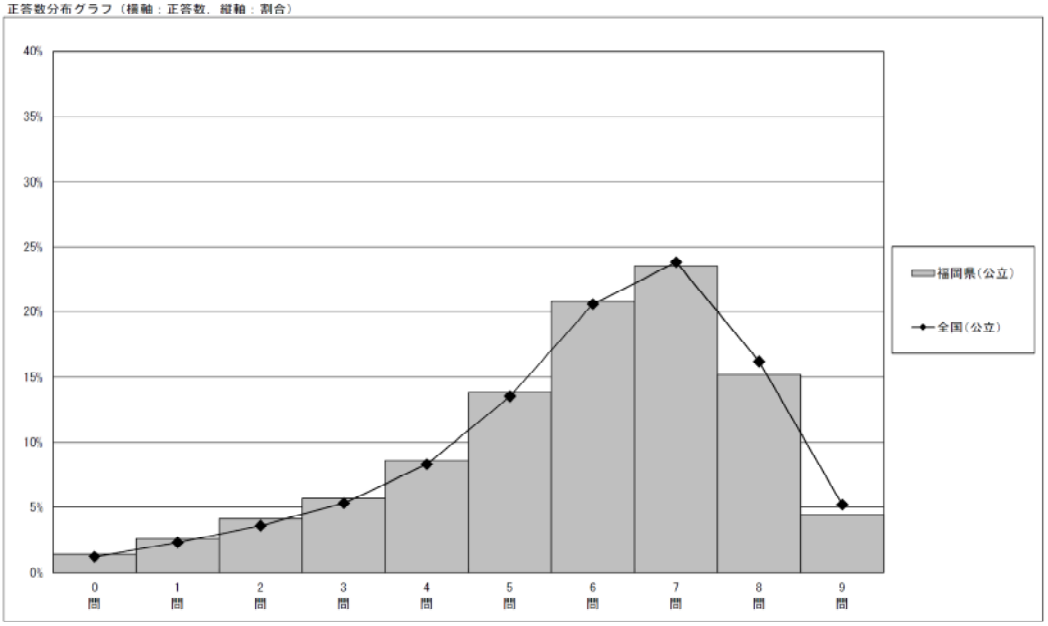
調査結果概況 ［国語Ｂ：主として活用］

福岡県ー生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月２１日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	41,992	5.8 / 9	64.5	6.0	2.0
全国（公立）	1,016,575	5.9 / 9	65.8	6.0	2.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：生徒数 右：割合（%））		
０問	590	1.4
１問	1,108	2.6
２問	1,715	4.1
３問	2,396	5.7
４問	3,627	8.6
５問	5,790	13.8
６問	8,721	20.8
７問	9,850	23.5
８問	6,368	15.2
９問	1,827	4.4

¦ p Û / \1 >? 0¿ e 9 G'Å"á>& S >'

0¿ e$ •	0¿ e b +0[	8Ÿ b2ƒ ¨	G'Å"á >#		!"0Ž'Å"á >#	
			&Ÿ ˛ %4 ¶ 'g	² \ ¶ 'g	&Ÿ ˛ %4 ¶ 'g	² \ ¶ 'g
>/ M	« Æ î ³ b3õ p [*º A m b o Â †0b Z>* \ W S P Â \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	%& m b o Â †2Ã r < Z0ð M				
>/ §	B ° \ 8 :0•-% †>**º 8 Z (? ~ x M 8/²#' _%$ M	*º A m † –1‘ K>* (? ~ x M 81 ƒ †4E ¥ K Z0ð M				
>0 M	–0b e _ P K Z I € S æ ¬ b#.#ä \ K Z 4:) ^ v b †4E ¥ M •	–0b † - < • ? Ð b Â& I _ X 8 Z “0• M •				
>0 §	–0b e †%$ K S – W \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	i 8 S e'v †1 s3É K>*1 ƒ b4E g ‰ x Q 8 ‰ † d µ K Z i C				
>1 M	#Ý 8 } € Z 8 •/²#' b d µ \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	/²#' b • 2 _ X 8 Z#.0Ž M •				
>1 §	M Ç v3É ¦ † K S v b @ ^ ? W S#.#ä \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	$Ï Ç"@ b ° _ x/œ · _ @ – K Z 1 s>* Æ †#.0Ž M •				
>1 U	Æ “ b0• · ? }1 s v € •] Ê \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	$Ï Ç"@ b0• · b – á †*ƒ <>* Æ †#.0Ž M •				
>2 M	¬ ¢ Û Ç b b š ì b Æ †4:) _ i C	< S 8 ¦ † Â& _ i C				
>3 M	^ P>* < È'ö c>Q Ð g _ ^ W Z 8 • b ? \ 8 : e 8 _ P M •'Å < \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	e'v ? }4:) ^ _ † “ Z>**ƒ < † r \ u •				
>4 M	6 M \ 6 K S \ 8 :0•-% b – á b š ì † Z#. K S/² _ \ Z c r •0•-% \ K Z 4:) ^ v b †4E ¥ M •	% $× _ Â L Z0[¨ † < •				
>4 §	e'v _ X 8 Z1 Â K S v b \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	/²#' b"I © † < •				
>5 M	§ X b G'Å L b S B b4* 8 †1 Â K S v b \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	< S 8 ¦ ö @ Â& _ ^ • | : _ e'v b S B †*ƒ < •				
>5 §	0[ƒ †4:) _ <>* G'Å L b Ñ8Œ _ M e † • < •	< S 8 ¦ ö @ %& m _ Ý$× _ ƒ • | : _ i C				
>6 M	– å ± Å × î † M •7• b2A e b – W \ K Z 4:) ^ v b †4E ¥ M •	²0[_ Â L Z2A e K ^ @ }*º A v •				
>6 §	– W _ œ W S2A e \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •					

¦ p Û / \1 >? 0¿ e 9 G'Å"á>& ‹ >'

0¿ e$ •	0¿ e b +0[	8Ÿ b2ƒ ¨	G'Å"á ># &Ÿ ¸ %4 ¶ 'g	² \ ¶ 'g	!"0Ž'Å"á ># &Ÿ ¸ %4 ¶ 'g	² \ ¶ 'g
>7 M>/	Ž Ð † i C>& Å Ù ˜ ¯ ¡ ¬ Ó î º Ý b8¼ @ ¿ C>'	e+& _ 6 K Z Ž Ð † G K C i C				
>7 M>0	Ž Ð † i C>& ... W b © × ¡ © Õ ¡ †1* m •>'					
>7 M>1	Ž Ð † i C>& " Ð W S >5 †2 5 M •>'					
>7 §>/	Ž Ð †1 t>& 0ò(ý _3Ù m •>'	e+& _ 6 K Z Ž Ð † G K C1 t				
>7 §>0	Ž Ð †1 t>& © Õ ¶ b /Ç † r C •>'					
>7 §>1	Ž Ð †1 t>& Û / b G \ @ ,*º _ 3U•>'					
>7 U "	4:) ^1 ƒ †4E ¥ M •>& W ¶ c>* ¼1ß£ ^ _ ^ ~ S 8>'	1 ƒ b – á †#.0Ž K>* e+& b p [4:) _ Q :				
>7 U –	4:) ^1 ƒ †4E ¥ M •>& | @ G b0¦1= b • !F †) W S>'					
>7 U ˜	4:) ^ W1 †4E ¥ M •>&&¾ @ ›#Õ b > ï _ g ~ r M >'					
>7 U š	4:) ^1 ƒ †4E ¥ M •>& | ê c>* Û(í b)• b W b Š â U \0• < • Ñ ~ T>'					
>7 U œ	4:) ^1 ƒ †4E ¥ M •>& S ^ g C 7¼ b6ë ? }>* Ó b œ @ v € Z 8 •>'					
>7 U •	4:) ^1 ƒ †4E ¥ M •>& ,*º †1 t*f Ð † 3 _ Ü E •>'					
>7 D q	7÷ 8 \ 7÷ I b 0â \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	"1 b8® 9 _ X 8 Z#.0Ž M •				
>7 D r						
>7 ¬	4 '¹ b7• b1 Â _ P Â M •4Š (\ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	Ÿ '¹ †#Ý 8 Z>* i [e Ð † i C				
>7 ·	m(î b ‹ Ü E b%$ K ‰ \ Q b#.#ä \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	m(î b i A ‰ †#.0Ž K Z i C				
>7 P>/	"#ì b0•-% _ P Â M •4Š (\ K Z4:) ^ v b † , ¾ b e'v b p ? }4E ¥ M •	"#ì b Æ † g*ƒ _ K Z>*$Ï Ç "@ b î 8 x v b b0b ‰ † • @ M •				
>7 P>0	, ¾ b 8 ¡ † Ž Ð [i C	æ/²$× ^ , ¾ b 8 _6õ ° † v X				

¦ p Û / \1 >@ 0¿ e 9 G'Å"á

0¿ e$ •	0¿ e b +0[	8Ÿ b2ƒ ¨	G'Å"á ># &Ÿ ˛ %4 ¶ 'g	² \ ¶ 'g	!"0Ž'Å"á ># &Ÿ ˛ %4 ¶ 'g	² \ ¶ 'g
>/ M	À î º b Q b Ú b _ † z'g Z } € • œ \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	"g # _ Â L Z>*2(q † q#Ý K Z0ð M				
>/ §	Ç Ü µ É † 8 B M •7• _ v ~ ° € S Ï – å º \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	Ý$× ^2(q † 8 B K>* q#Ý K Z 0ð M				
>/ U	‡ Ì M • ± – Ñ å ¢ †4E ¥ K>* Q b#.#ä † À î º b Æ \) g Ü E Z i C	2(q b f&g b Ù ‰ † d µ K>* Q b #.#ä † ½ /$× _ i C				
>0 M	˜ ™ È Ì î ª b e'v b Æ _ X 8 Z3Ù m S e b'5 _ \ Z c r •0•-% \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	% $× _ Â L Z e'v †0[(Ù M •				
>0 §	7§1 b0° ¦ _ i ? € Z 8 • G \ \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	e'v b p °$× ^4Š (\ Ü •$× ^4Š (^] †1 s (E>*0[¨ † < •				
>0 U	2(q † g*ƒ _ K Z º b ¥ • b&k † £ • K>* Q b&k _] b	: _6õ ƒ W Z 8 A S 8 ?>*+¬ (b*ƒ < † i C	0 X b2(q ? }4:) ^ _ † “ Z>*+¬ (b*ƒ < † ½ /$× _ i C				
>1 M	> = A ^ I • ^ \ 8 :*{0Â b Ý \ K Z4:) ^ v b †4E ¥ M •	/²#' b d µ _ X 8 Z+¬ (b*ƒ < † v X				
>1 §	6 S ~ c P P, ? W S b1 Â \ K Z 4:) ^ v b †4E ¥ M •					
>1 U	e'v b q ‹ b M e @ 6 W S ‰ @ | 8 ?] : ? _ X 8 Z>*0ð b Ž6ä † v ~ V F Z+¬ (b *ƒ < † i C	e'v b S B x Ž6ä ^] †2Ã r <>* ? Ð † Â& _ K Z+¬ (b*ƒ < † i C				

５　中学校数学

○　数学Ａでは、次のような課題が見られた。
- 数量の関係を文字式に表すこと　（A 2 （２）　福岡県　20.4%　　全国　22.2%）
- 平行移動した図形をかくこと　（A 4 （２）　福岡県　47.6%　　全国　54.5%）
- 証明について正しい記述を選ぶこと　（A 8　福岡県　23.0%　　全国　25.8%）

○　数学Ｂでは、次のような課題が見られた。
- 図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明すること
（B 3 （２）　福岡県　19.6%　　全国　21.2%）
- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
（B 5 （２）　福岡県　21.5%　　全国　23.3%）

※数値は平均正答率を示す

■　平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差、評価の観点別・問題形式別正答率

＜数学Ａ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	22.4	62.2	24.0	8.1
全国（公立）	23.2	64.4	24.0	8.0

	評価の観点				問題形式		
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式
福岡県			62.8	61.7	62.8	61.6	
全国			65.0	63.9	64.6	64.2	

＜数学Ｂ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	6.0	39.8	6.0	3.7
全国（公立）	6.2	41.6	6.0	3.8

	評価の観点				問題形式		
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式
福岡県		41.0	32.5		46.4	45.7	32.7
全国		42.8	34.2		47.9	47.4	34.8

■　正答率分布　横軸：正答率（問）　縦軸：割合（%）

平成２７年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査

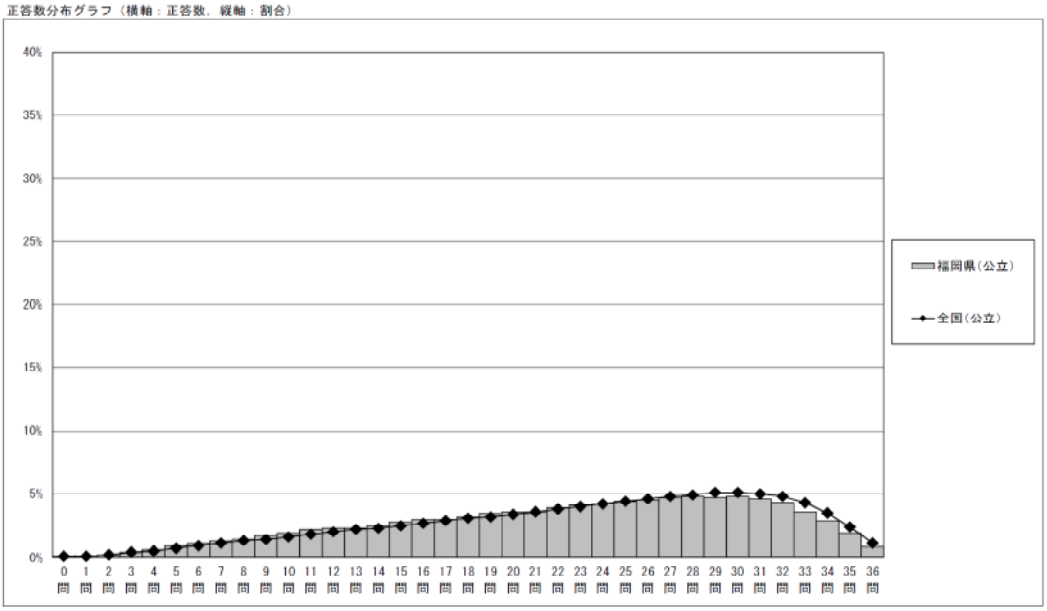
調査結果概況　［数学Ａ：主として知識］

福岡県－生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月２１日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	41,973	22.4 / 36	62.2	24.0	8.1
全国（公立）	1,016,737	23.2 / 36	64.4	24.0	8.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：生徒数　右：割合（%））		
0問	62	0.1
1問	51	0.1
2問	100	0.2
3問	187	0.4
4問	268	0.6
5問	362	0.9
6問	446	1.1
7問	525	1.3
8問	608	1.4
9問	715	1.7
10問	804	1.9
11問	922	2.2
12問	962	2.3
13問	975	2.3
14問	1,069	2.5
15問	1,196	2.8
16問	1,274	3.0
17問	1,243	3.0
18問	1,328	3.2
19問	1,460	3.5
20問	1,500	3.6
21問	1,510	3.6
22問	1,638	3.9
23問	1,707	4.1
24問	1,766	4.2
25問	1,862	4.4
26問	1,879	4.5
27問	1,980	4.7
28問	1,999	4.8
29問	1,955	4.7
30問	2,026	4.8
31問	1,938	4.6
32問	1,817	4.3
33問	1,517	3.6
34問	1,206	2.9
35問	787	1.9
36問	329	0.8

平成２７年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査

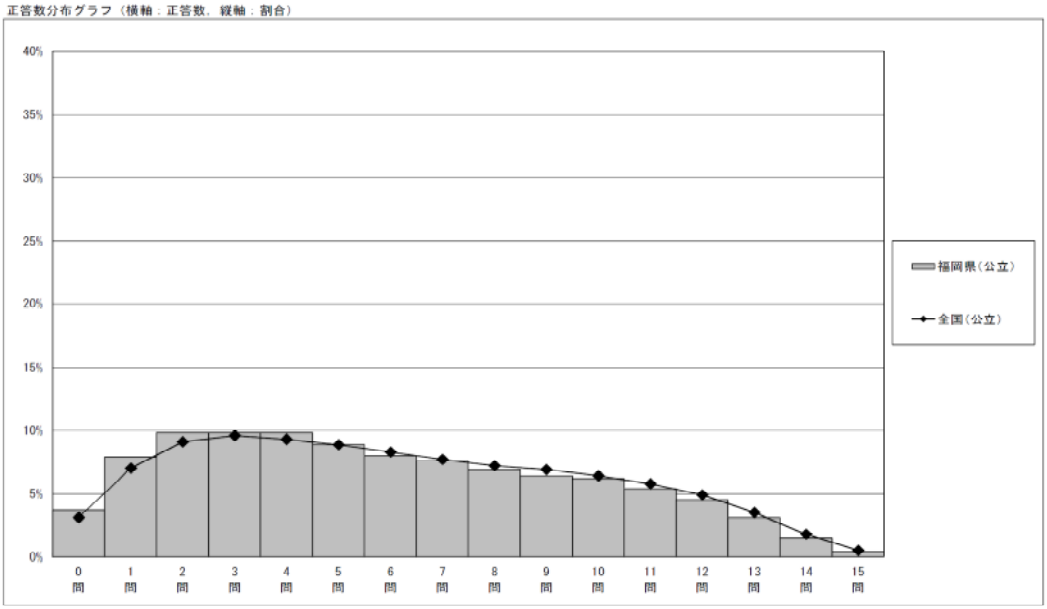
調査結果概況　［数学Ｂ：主として活用］

福岡県－生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月２１日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	41,988	6.0 / 15	39.8	6.0	3.7
全国（公立）	1,016,548	6.2 / 15	41.6	6.0	3.8

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：生徒数　右：割合（%））		
0問	1,571	3.7
1問	3,337	7.9
2問	4,101	9.8
3問	4,115	9.8
4問	4,103	9.8
5問	3,750	8.9
6問	3,361	8.0
7問	3,186	7.6
8問	2,916	6.9
9問	2,702	6.4
10問	2,590	6.2
11問	2,253	5.4
12問	1,887	4.5
13問	1,320	3.1
14問	640	1.5
15問	156	0.4

■　中学校数学Ａ　設問別正答率（前半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１（１）	12：９ と等しい比を選ぶ	比の意味を理解している	93.3	93.6	0.1	0.1
１（２）	12－２×（－６）を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において，計算のきまりにしたがって計算できる	83.3	83.7	1.4	1.2
１（３）	a が正の数のとき，a ×（－２）の計算の結果について，正しい記述を選ぶ	正の数と負の数の乗法について理解している	75.4	75.7	0.3	0.3
１（４）	ある日の最低気温を基準にして，その前日の最低気温との差から，前日の最低気温を求める	正の数と負の数の意味を，実生活の場面に結び付けて理解している	74.6	75.4	1.6	1.3
２（１）	$5x-x$ を計算する	一次式の減法の計算ができる	84.0	85.3	1.9	1.6
２（２）	赤いテープの長さが a cm で，白いテープの長さの３／５倍のとき，白いテープの長さを a を用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	20.4	22.2	10.6	9.0
２（３）	等式 $2x-y=5$ を y について解く	等式を目的に応じて変形することができる	61.4	64.2	7.9	6.8
２（４）	連続する３つの整数のうち最も小さい整数を n とするとき，それらの和が中央の整数の３倍になることを，n を用いた式で表す	文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解している	56.4	57.0	9.1	7.9
３（１）	一元一次方程式 $7x=5x+4$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	76.3	79.4	0.6	0.5
３（２）	一元一次方程式 $1.2x-6=0.5x+1$ を解く	小数を含む一元一次方程式を解くことができる	72.2	73.8	8.1	7.1
３（３）	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ	具体的な事象における数量の関係を捉え，連立二元一次方程式をつくることができる	45.8	44.9	1.0	0.9
３（４）	連立二元一次方程式 $\begin{cases}4x+2y=5\\x+y=2\end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	53.6	56.8	12.4	10.4
４（１）	垂線の作図で利用されている図形の性質を選ぶ	垂線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している	57.1	59.1	1.1	1.0
４（２）	△ＡＢＣを，矢印の方向に４cm 平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかくことができる	47.6	54.5	2.6	2.2
５（１）	直方体において，与えられた辺に垂直な面を書く	空間における直線と平面の垂直について理解している	42.2	47.4	2.3	1.9
５（２）	直角三角形の斜辺を軸として回転させてできる立体を選ぶ	直角三角形の斜辺を軸とする回転によって構成される空間図形の形を理解している	80.7	83.4	0.4	0.3
５（３）	与えられた投影図から立体を読み取り，その立体を選ぶ	与えられた投影図から空間図形を読み取ることができる	82.9	83.8	0.5	0.4
５（４）	与えられた式で体積が求められる立体を全て選ぶ	与えられた式を用いて体積を求めることができる立体を理解している	52.6	56.4	1.6	1.4

■　中学校数学Ａ　設問別正答率（後半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
６（１）	同位角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	同位角の意味を理解している	76.7	80.3	0.5	0.4
６（２）	四角形を五角形に変えたときの，内角の和の変化について正しい記述を選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	69.5	69.7	0.9	0.9
７（１）	ひし形ＡＢＣＤにおいて，ＡＣ⊥ＢＤが表す性質を選ぶ	ひし形の「対角線は垂直に交わる」という性質を，記号を用いた表現から読み取ることができる	74.3	76.1	0.6	0.5
７（２）	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	71.7	76.1	8.2	6.8
７（３）	与えられた方法で作図された四角形が，いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	作図の根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している	47.0	48.1	1.0	0.9
８	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している	23.0	25.8	1.3	1.2
９	y が x の関数でない事象を選ぶ	関数の意味を理解している	79.1	81.5	1.1	0.9
１０（１）	反比例のグラフを選ぶ	反比例のグラフが x 軸，y 軸に限りなく近づく２つのなめらかな曲線であることを理解している	60.9	61.7	1.4	1.2
１０（２）	比例 $y=2x$ のグラフ上の点Ａの x 座標が３のときの y 座標を求める	与えられた比例の式について，そのグラフ上の点の x 座標を基に y 座標を求めることができる	62.3	64.9	12.2	9.8
１０（３）	比例のグラフから，x の変域に対応する y の変域を求める	与えられた比例のグラフから，x の変域に対応する y の変域を求めることができる	44.8	49.3	20.1	17.2
１１	一次関数の表から，x と y の関係を表した式を選ぶ	一次関数の表から，x と y の関係を式で表すことができる	62.6	64.7	1.5	1.4
１２（１）	時間と道のりの関係を表すグラフから，速さが最も速い区間を選ぶ	時間と道のりの関係を表すグラフについて，グラフの傾きが速さを表すことを理解している	48.2	49.9	1.5	1.3
１２（２）	時間と道のりの関係を表すグラフを基に，出発してから１５分後にいる地点までの家からの道のりを求める	時間と道のりの関係を表すグラフから，与えられた時間における道のりを読み取ることができる	82.4	83.8	9.6	8.5
１３	二元一次方程式 $x+y=3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ	二元一次方程式の解を座標とする点の集合は，直線として表されることを理解している	36.3	37.9	2.7	2.3
１４（１）	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	44.4	46.0	10.6	9.7
１４（２）	度数分布表について，ある階級の度数を求める	与えられた資料の度数分布表について，ある階級の度数を求めることができる	73.1	75.9	10.8	9.4
１５（１）	セットメニューの選び方の総数を求める	起こり得る場合を順序よく整理し，場合の数を求めることができる	72.3	74.8	6.1	5.2
１５（２）	さいころを投げるときの確率について正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	51.8	55.4	2.5	2.1

■　中学校数学Ｂ　設問別正答率

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１（１）	投映距離と投映画面の高さの関係を式で表す	与えられた情報から必要な情報を選択し，的確に処理することができる	28.4	29.3	22.2	21.1
１（２）	投映画面がスクリーンに収まり，できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ	必要な情報を選択して的確に処理し，その結果を事象に即して解釈することができる	34.8	35.1	1.0	0.9
１（３）	映像の明るさを２倍にするための投映画面の面積の変え方を選び，その理由を説明する	事象を式の意味に即して解釈し，その結果を数学的な表現を用いて説明することができる	9.8	11.7	5.7	5.6
２（１）	連続する３つの整数が19，20，21のとき，それらの和が中央の整数の３倍になるかどうかを確かめる式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	76.4	78.8	7.9	6.0
２（２）	連続する３つの整数の和が中央の整数の３倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を，構想を立てて説明することができる	42.6	43.1	25.6	24.0
２（３）	連続する５つの整数の和について成り立つ事柄を表現する	発展的に考え，予想した事柄を説明することができる	62.5	63.8	21.0	19.4
３（１）	ポップアップカードを90°に開いたとき，四角形ＥＦＧＨが正方形になる場合のＥＦの長さを求める	平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し，その特徴を的確に捉えることができる	41.4	42.6	10.0	8.7
３（２）	四角形ＥＦＧＨがいつでも平行四辺形になるように点Ｆの位置を決める方法を，平行四辺形になるための条件を用いて説明する	図形に着目して考察した結果を基に，問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することができる	19.6	21.2	50.0	48.2
４（１）	証明で用いた三角形の合同を根拠として，証明したこと以外に新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り，新たな性質を見いだすことができる	39.6	42.5	1.4	1.2
４（２）	正方形ＡＢＣＤを平行四辺形ＡＢＣＤに変えても，ＡＥ＝ＣＦとなることの証明を完成する	発展的に考え，条件を変えた場合について証明することができる	45.3	49.6	21.4	18.6
５（１）	１回目の調査で，落とし物の合計のうち，文房具の占める割合を求める式を答える	与えられた情報から必要な情報を選択し，的確に処理することができる	36.5	39.1	29.8	26.8
５（２）	２回目の調査の方が落とし物の状況がよくなったとは言い切れないと主張することもできる理由を，グラフを基に説明する	資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	21.5	23.3	33.1	29.7
５（３）	記名のある落とし物を１個１点，ない落とし物を１個２点として集計するとき，表彰する学級の決め方として正しい記述を選ぶ	振り返って立てられた構想に沿って，事象を数学的に表現し，その意味を解釈することができる	66.3	67.3	1.6	1.5
６（１）	中心角の大きさ x と半径の長さ y の間にある関係について，正しい記述を選ぶ	与えられた式を基に，事象における２つの数量の関係が比例であることを判断できる	44.9	46.5	1.5	1.3
６（２）	底面になる円の半径の長さが８cmのとき，表や式から，側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する	与えられた表や式を用いて，問題を解決する方法を数学的に説明することができる	28.0	30.8	16.4	17.1

６　中学校理科

○　理科では、次のような課題が見られた。

・　予想や仮説を立ててそれを検証する実験を計画すること
（6（２）　福岡 27.4%　全国 29.9%）

・　溶解度の知識と溶け残りの様子を関係付け、分析して解釈すること
（1（２）　福岡 31.6%　全国 32.6%）

・　電磁誘導に関する科学的な概念（磁界）を使って説明すること
（5（２）　福岡 55.8%　全国 56.8%）

・　キウイフルーツの果実が物質を分解する現象から問題を見出し、それを基に適切な課題を設定すること
（7（３）　福岡 53.3%　全国 57.3%）

※数値は平均正答率を示す

■　平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差、評価の観点別・問題形式別正答率

＜理科＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県(公立)	12.8	51.3	13.0	5.7
全国(公立)	13.3	53.0	13.0	5.7

	評価の観点				問題形式		
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式
福岡県		46.7	44.9	70.1	51.2	60.9	43.7
全国		48.8	46.8	70.6	53.1	61.6	45.8

■　正答率分布　横軸：正答率（問）　縦軸：割合（%）

平成２７年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査

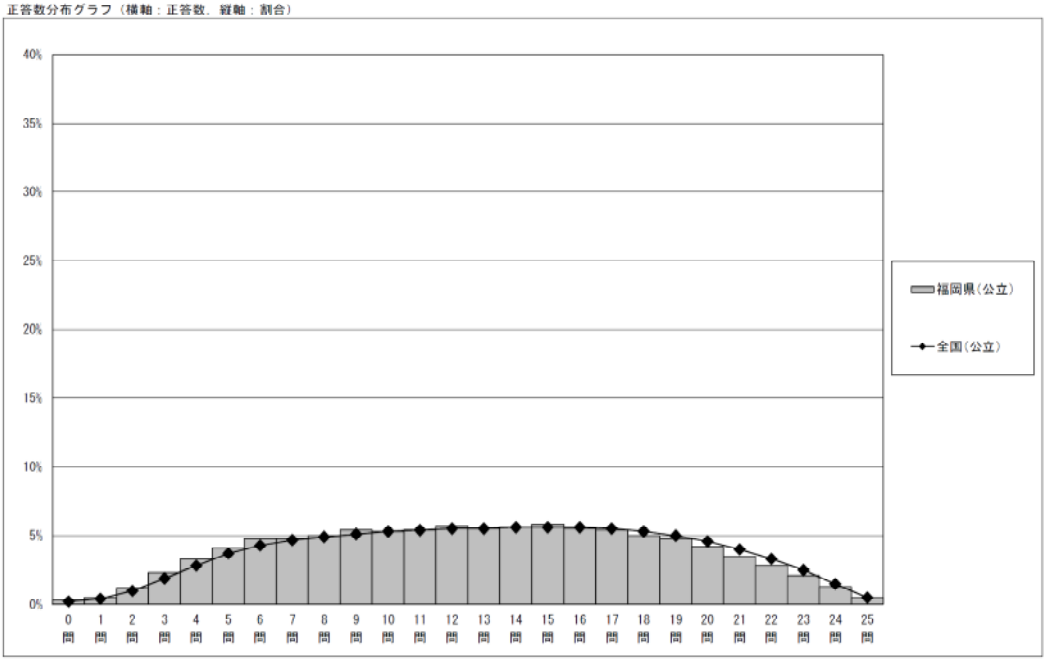
調査結果概況　［理科］

福岡県－生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月２１日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	41,989	12.8 / 25	51.3	13.0	5.7
全国（公立）	1,016,572	13.3 / 25	53.0	13.0	5.7

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：生徒数　右：割合（%））		
０問	117	0.3
１問	219	0.5
２問	501	1.2
３問	962	2.3
４問	1,381	3.3
５問	1,734	4.1
６問	1,998	4.8
７問	2,033	4.8
８問	2,105	5.0
９問	2,262	5.4
１０問	2,245	5.3
１１問	2,265	5.4
１２問	2,378	5.7
１３問	2,316	5.5
１４問	2,354	5.6
１５問	2,445	5.8
１６問	2,292	5.5
１７問	2,261	5.4
１８問	2,115	5.0
１９問	2,005	4.8
２０問	1,763	4.2
２１問	1,467	3.5
２２問	1,181	2.8
２３問	874	2.1
２４問	527	1.3
２５問	189	0.5

■　中学校理科　設問別正答率（前半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１（１）化学式	塩化ナトリウムの化学式を選ぶ	塩化ナトリウムを化学式で表すことができる	80.0	79.6	0.3	0.3
１（１）濃度	濃度５％の塩化ナトリウム水溶液１００ｇをつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることができる	41.9	45.0	18.8	17.6
１（２）	同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき，どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し，炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる	31.6	32.6	0.3	0.3
１（３）	水上置換法では二酸化炭素の体積を正確に量れない理由を説明する	二酸化炭素の体積を量る場面において，水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる	52.9	53.0	20.7	18.8
１（４）	炭酸水素ナトリウムを加熱したときの質量の変化のグラフから，温度と化学変化の記述として適切なものを選ぶ	グラフを分析して解釈し，化学変化について正しく読み取ることができる	71.6	73.6	0.5	0.4
１（５）	ベーキングパウダーの原材料で，気体の発生に関係しているのが，炭酸水素ナトリウムであることを特定するための対照実験を選ぶ	炭酸水素ナトリウムが二酸化炭素の発生に関係することを特定する対照実験を計画することができる	49.3	51.7	0.8	0.8
１（６）	他者の考えを検討して改善し，炭酸水素ナトリウムとクエン酸の混合物を加熱したときの化学変化の説明として最も適切なものを選ぶ	他者の考えを検討して改善し，混合物を加熱したときの化学変化を説明することができる	55.2	57.7	1.4	1.2
２（１）	天気図から風力を読み取る	天気の記号から風力を読み取ることができる	77.6	77.9	10.2	9.0
２（２）	天気図から風向を読み取り，その風向を示している風向計を選ぶ	天気の記号から風向を読み取り，風向計を使って風向を観測することができる	48.0	48.6	0.6	0.5
２（３）	湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について，その成因を説明した他者の考えを検討して，誤っているところを改善する	他者の考察を検討して改善し，水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができる	11.2	14.5	6.4	6.7
２（４）	上空を飛行中の飛行機内での菓子袋の膨らみを検証する実験について，空気を抜く操作に対応する飛行機の状況を推論する	気圧の変化で菓子袋が膨らむことについてモデルを使った実験を計画することができる	60.5	62.2	0.6	0.5
３（１）	１３時から１６時の四つの気象観測の記録から，最も高い湿度を選ぶ	露点を測定する場面において，最も高い湿度の時刻を指摘することができる	34.3	36.5	0.7	0.6
３（２）	上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ	一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することができる	38.3	39.0	1.0	0.8
４（１）	実験の結果から，凸レンズによる実像ができるときの，像の位置や大きさについて適切な説明を選ぶ	凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し，規則性を指摘することができる	41.8	43.7	0.8	0.6
４（２）	ヒトの「目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらない」という条件に合う方法を選ぶ	他者の考えた実験の方法を検討して改善し，適切な方法を説明することができる	48.1	50.3	1.4	1.1
５（１）	抵抗に加わる電圧と流れる電流から，抵抗の大きさを計算して求める	オームの法則を使って，抵抗の値を求めることができる	59.1	59.6	16.3	15.6
５（２）	電磁石を動かさず，スイッチを入れたり切ったりすると，検流計の針が振れる理由を，「磁界」という言葉を使って説明する	技術の仕組みを示す場面において，スイッチの入り切りによる磁界の変化を説明することができる	55.8	56.8	32.5	30.7

■　中学校理科　設問別正答率（後半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
６（１）	音の波形を比較し，音の高さが高くなった根拠として，正しいものを選ぶ	日常生活の場面において，音の高さが高くなったといえる音の波形の特徴を指摘することができる	38.3	40.1	1.0	0.8
６（２）	音の高さは，空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合に得られる結果を予想して選ぶ	音の高さは，「空気の部分の長さ」に関係していることを確かめる実験を計画することができる	27.4	29.9	1.1	1.0
７（１）	消化酵素によって，デンプンが最終的に分解された物質の名称を選ぶ	デンプンが消化酵素によって分解されて，最終的にできる物質の名称を表すことができる	68.9	72.2	1.1	0.9
７（２）	キウイフルーツがゼラチンや寒天を分解する働きを説明した記述として適切なものを選ぶ	実験の結果を分析して解釈し，キウイフルーツはゼラチンを分解することを指摘することができる	73.1	76.4	1.3	1.1
７（３）	キウイフルーツの上に置いたゼリーの崩れ方に違いが見られたという新たな疑問から，適切な課題を記述する	見いだした問題を基に，適切な課題を設定することができる	53.3	57.3	31.4	27.8
８（１）	背骨のある動物の名称を答える	背骨のある動物を，セキツイ動物と表すことができる	64.9	63.9	12.3	10.4
８（２）	えらぶたの開閉回数の平均値を求める理由として適切なものを選ぶ	平均値を求める場面において，平均値を求める理由を説明することができる	53.0	55.7	1.4	1.4
８（３）	課題に対して適切な（課題に正対した）考察になるよう修正する	他者の考察を検討して改善し，課題に対して適切な（課題に正対した）考察を記述することができる	45.4	47.4	28.0	25.5

７　過去の調査問題（同一問題）との正答率比較

※　「本県における過去との比較」は、同一問題について、本年度と過去の本県における正答率を比較し、その差を表す。
（↑：向上、↓：低下、数値は過去の県調査結果と比較した増減値）

※　「全国における過去との比較」は、同一問題について、本年度と過去の全国における正答率を比較し、その差を表す。
（数値は、過去調査結果に対する本年度の増減値）

【小学校国語Ａ】

問題番号	問題の内容	H27 福岡県	H27 全国	H27 全国差	過去の福岡（公立）正答率（実施年度・全国正答率）全国差	本県における過去との比較	全国における過去との比較
1一３	漢字を読む（承知）	92.1	92.5	－0.4	88.9（H20・89.1）－0.2	↑＋3.2	↑＋3.4
1二３	漢字を書く（病院）	73.6	74.9	－1.3	75.0（H21・76.1）－1.1	↓－1.4	↓－1.2

【中学校国語Ａ】

問題番号	問題の内容	H27 福岡県	H27 全国	H27 全国差	過去の福岡（公立）正答率（実施年度・全国正答率）全国差	本県における過去との比較	全国における過去との比較
9三イ	適切な言葉を選択する（口火）	54.9	55.5	－0.6	54.4（H20・54.7）－0.3	↑＋0.5	↑＋0.8
9三オ	適切な言葉を選択する（たなびく）	47.4	49.0	－1.6	45.8（H24・46.9）－1.1	↑＋1.6	↑＋2.1

【小学校算数Ａ】

問題番号	問題の内容	H27 福岡県	H27 全国	H27 全国差	過去の福岡（公立）正答率（実施年度・全国正答率）全国差	本県における過去との比較	全国における過去との比較
2（１）	28＋72	98.4	98.2	＋0.2	98.2（H19 年度同・98.3）－0.1	↑＋0.2	↓－0.1
2（４）	5/6÷７	86.8	84.2	＋2.6	84.7（H24 年度類・82.4）＋2.3	↑＋2.1	↑＋1.8
3	午後３時 10 分までに図書館に着くために家を出発する時間を求める	74.9	74.8	＋0.1	80.8（H24 年度類・81.3）－0.5	↓－5.9	↓－6.5
4（２）	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める。	56.4	58.0	－1.6	77.9（H21 年度類・78.8）－0.9	↓－21.5	↓－20.8
6（２）	作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ	67.3	67.6	－0.3	87.7（H22 年度類・88.3）－0.6	↓－20.4	↓－20.7

【中学校数学Ａ】

問題番号	問題の内容	H27 福岡県	H27 全国	H27 全国差	過去の福岡（公立）正答率（実施年度・全国正答率）全国差	本県における過去との比較	全国における過去との比較
1（２）	12－2×(－6)	83.3	83.7	－0.4	77.4（H19 年度類・77.1）＋0.3	↑＋5.9	↑＋6.6
2（３）	２x－ｙ＝５をｙについて解く	61.4	64.2	－2.8	70.3（H22 年度類・72.1）－1.8	↓－8.9	↓－7.9
3（１）	一元一次方程式を解く際の等式の性質を選ぶ	76.3	79.4	－3.1	76.6（H24 年度類・78.5）－1.9	↓－0.3	↑＋0.9
3（４）	連立二元一次方程式を解く	53.6	56.8	－3.2	77.4（H22 年度類・78.3）－0.9	↓－23.8	↓－21.5
5（１）	直方体において、与えられた辺に垂直な面を書く	42.2	47.4	－5.2	65.7（H20 年度類・65.6）＋0.1	↓－23.5	↓－18.2
5（２）	直角三角形の斜辺を軸として回転してできる立体を選ぶ	80.7	83.4	－2.7	84.9（H21 年度類・87.2）－2.3	↓－4.2	↓－3.8
7（２）	証明で用いられる三角形の合同条件を書く	71.7	76.1	－4.4	70.9（H19 年度類・73.2）－2.3	↑＋0.8	↑＋2.9
7（３）	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	47.0	48.1	－1.1	45.7（H25 年度類・47.7）－2.0	↑＋1.3	↑＋0.4
10（１）	反比例のグラフを選ぶ	60.9	61.7	－0.8	50.5（H24 年度類・52.2）－1.7	↑＋10.4	↑＋9.5
10（２）	ｙ＝２ｘ上の点を求める	62.3	64.9	－2.6	47.6（H24 年度類・49.8）－2.2	↑＋14.7	↑＋15.1
10（３）	比例のグラフからｘの変域に対応するｙの変域を求める	44.8	49.3	－4.5	39.3（H22 年度類・45.0）－5.7	↑＋5.5	↑＋4.3
13	ｘ＋ｙ＝３の解を座標とする点の集合体として正しいものを選ぶ	36.3	37.9	－1.6	55.4（H20 年度類・57.2）－1.8	↓－19.1	↓－19.3

【小学校理科】

問題番号	問題の内容	H27 福岡県	H27 全国	H27 全国差	過去の福岡（公立）正答率（実施年度・全国正答率）全国差	本県における過去との比較	全国における過去との比較
3（１）	水蒸気の状態の説明として当てはまるものを選ぶ	80.2	81.9	－1.7	60.2（H24 類・62.1）－1.9	↑＋20.0	↑＋19.8

【中学校理科】

問題番号	問題の内容	H27 福岡県	H27 全国	H27 全国差	過去の福岡（公立）正答率（実施年度・全国正答率）全国差	本県における過去との比較	全国における過去との比較
1（１）濃度	濃度５％の塩化ナトリウム水溶液 100ｇつくるために必要な塩化ナトリウムと水の質量を求める	41.9	45.0	－3.1	48.6（H24 類・49.8）－1.2	↓－6.7	↓－4.8

Ⅳ　児童生徒質問紙に関する調査結果と分析

1　児童生徒質問紙調査の目的

小学校第６学年の児童及び中学校第３学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問調査を行い、児童生徒の学習意欲や学習習慣の改善・充実のための教育活動や教育施策の改善を図る。

2　本報告書において分析の対象とした質問項目

質問項目	頁番号
○国語の勉強は好きですか。	６６
○算数（数学）の勉強は好きですか。	６８
○理科の勉強は好きですか。	７０
○国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	７２
○算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	７４
○理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。（理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか。）	７６
○国語の授業の内容はよく分かりますか。	７８
○算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。	８０
○理科の授業の内容はよく分かりますか。	８２
○授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。	８４
○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	８６
○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師も含む）。	８８
○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。	９０
○朝食を毎日食べていますか。	９２
○普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）。	９４
○普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（ゲームをする時間は除く）。	９６
○家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。	９８
○学校のきまり（規則）を守っていますか。	１００
○自分には、よいところがあると思いますか。	１０２

3　分析の方法

A　回答状況の経年比較

同一の質問項目に対する本県全体の児童生徒の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２５、２６、２７年度で比較する。

B　回答状況と教科の正答率との相関関係

平成２７年度における質問項目に対する回答状況と教科区分ごとの平均正答率との相関関係を示す。

C　地区別の回答状況

同一の質問項目に対する各地区の児童生徒の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２５、２６、２７年度で比較する。

4　資料を読み取る際の留意点

特定の選択肢を回答した児童生徒が少ない場合には、極端な傾向を示す場合がある。また、質問紙に対する回答状況は、選択肢以外の回答や無回答を除外しているため、合計が１００％にならない場合がある。

１　学習に対する関心・意欲・態度

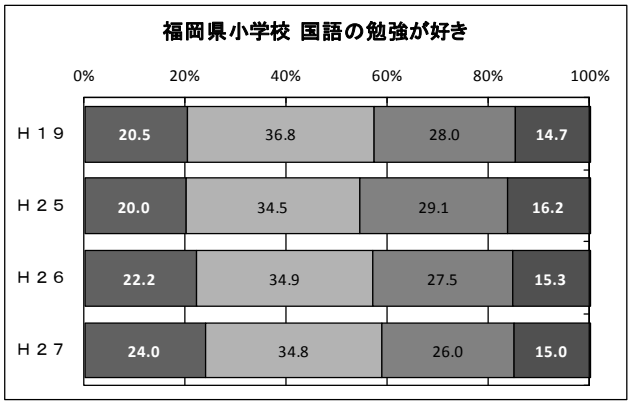
※ 数字は、児童生徒質問紙中の質問番号

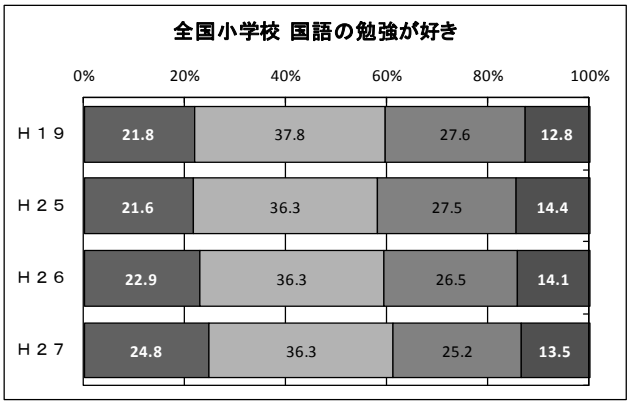
４８	国語の勉強は好きですか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合の合計は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の国語の正答率は、高い傾向にある。

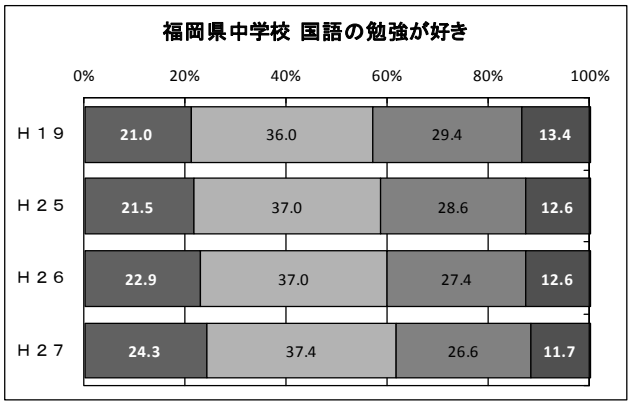
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

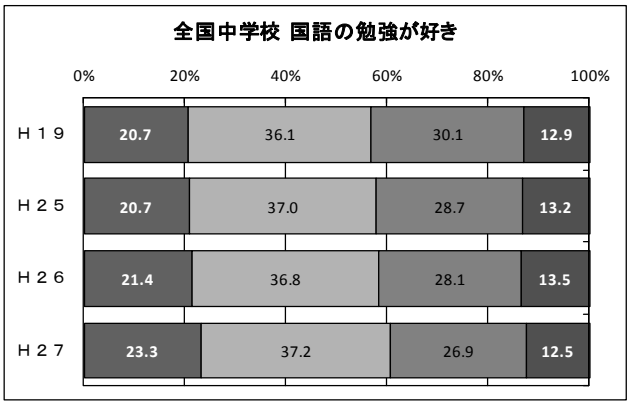
■　小学校回答状況



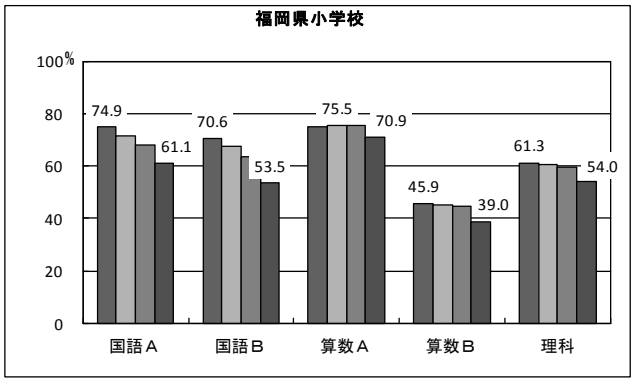


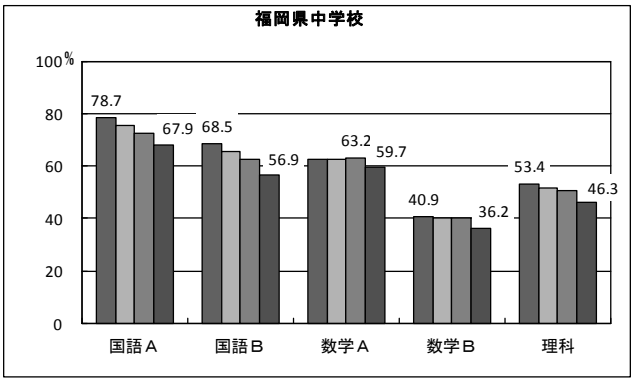
■　中学校回答状況



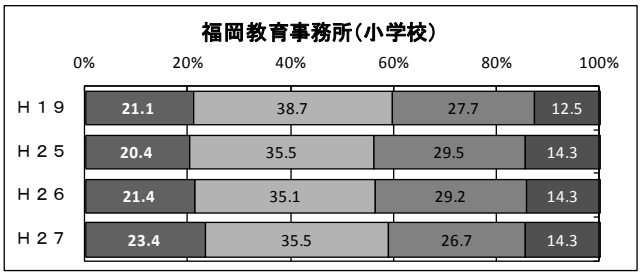


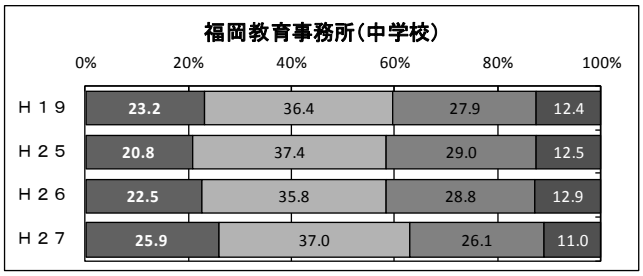
■　教科の正答率との相関関係

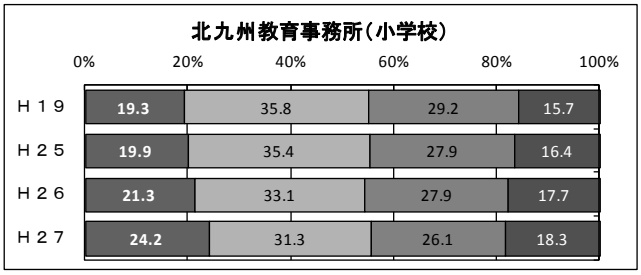


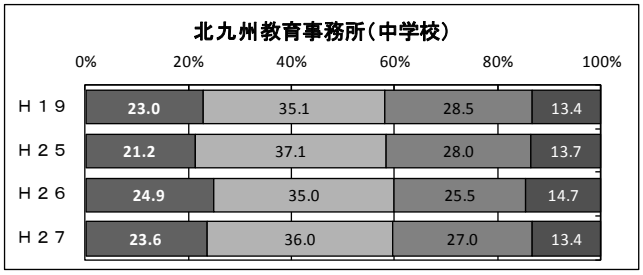


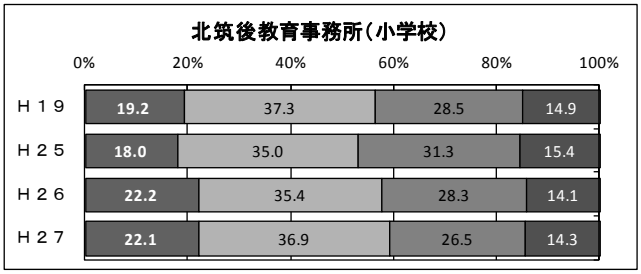
■　地区別回答状況

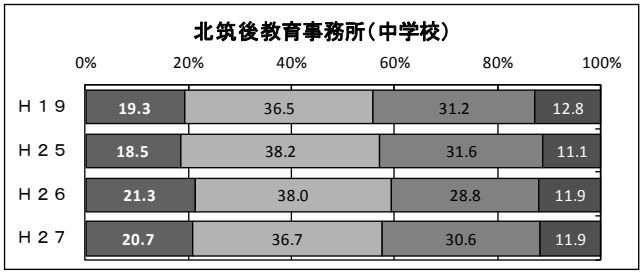

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
21.1
38.7
27.7
12.5
H２５
20.4
35.5
29.5
14.3
H２６
21.4
35.1
29.2
14.3
H２７
23.4
35.5
26.7
14.3

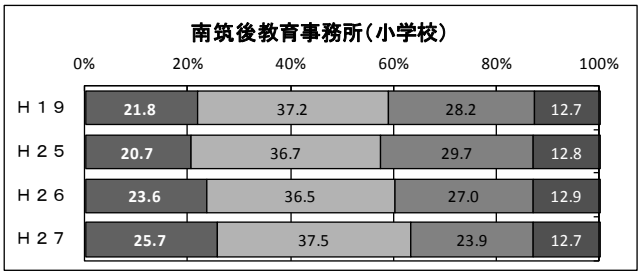

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
23.2
36.4
27.9
12.4
H２５
20.8
37.4
29.0
12.5
H２６
22.5
35.8
28.8
12.9
H２７
25.9
37.0
26.1
11.0

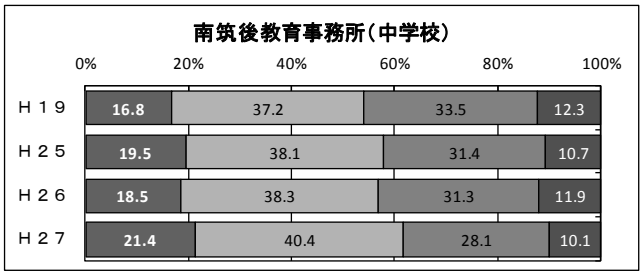

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
19.3
35.8
29.2
15.7
H２５
19.9
35.4
27.9
16.4
H２６
21.3
33.1
27.9
17.7
H２７
24.2
31.3
26.1
18.3

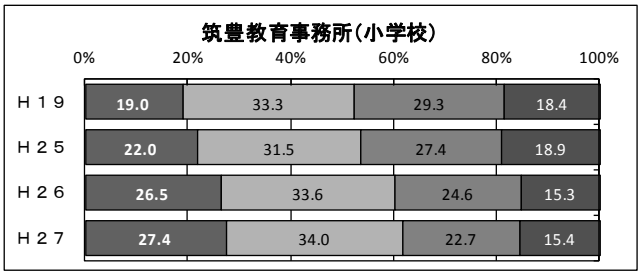

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
23.0
35.1
28.5
13.4
H２５
21.2
37.1
28.0
13.7
H２６
24.9
35.0
25.5
14.7
H２７
23.6
36.0
27.0
13.4

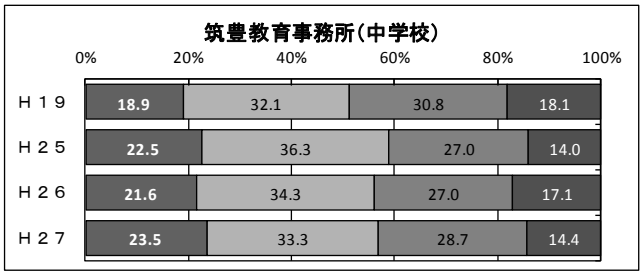

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
19.2
37.3
28.5
14.9
H２５
18.0
35.0
31.3
15.4
H２６
22.2
35.4
28.3
14.1
H２７
22.1
36.9
26.5
14.3

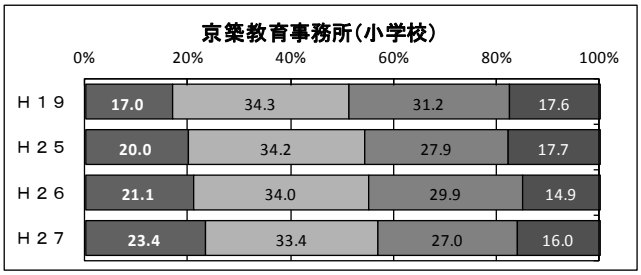

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
19.3
36.5
31.2
12.8
H２５
18.5
38.2
31.6
11.1
H２６
21.3
38.0
28.8
11.9
H２７
20.7
36.7
30.6
11.9

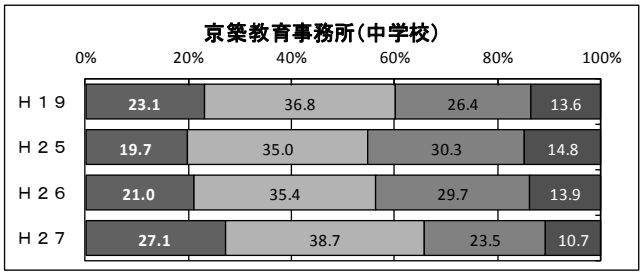

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
21.8
37.2
28.2
12.7
H２５
20.7
36.7
29.7
12.8
H２６
23.6
36.5
27.0
12.9
H２７
25.7
37.5
23.9
12.7

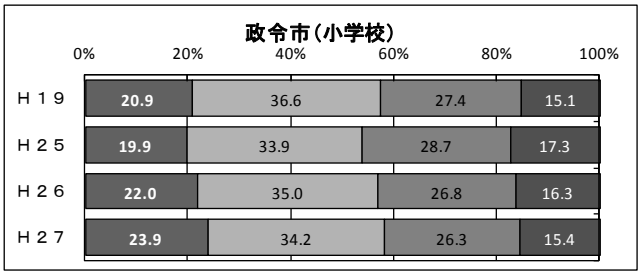

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
16.8
37.2
33.5
12.3
H２５
19.5
38.1
31.4
10.7
H２６
18.5
38.3
31.3
11.9
H２７
21.4
40.4
28.1
10.1

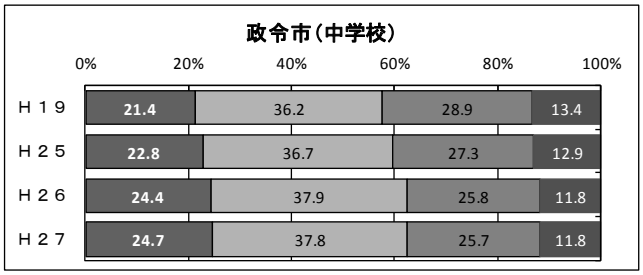

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
19.0
33.3
29.3
18.4
H２５
22.0
31.5
27.4
18.9
H２６
26.5
33.6
24.6
15.3
H２７
27.4
34.0
22.7
15.4


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
18.9
32.1
30.8
18.1
H２５
22.5
36.3
27.0
14.0
H２６
21.6
34.3
27.0
17.1
H２７
23.5
33.3
28.7
14.4


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
17.0
34.3
31.2
17.6
H２５
20.0
34.2
27.9
17.7
H２６
21.1
34.0
29.9
14.9
H２７
23.4
33.4
27.0
16.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
23.1
36.8
26.4
13.6
H２５
19.7
35.0
30.3
14.8
H２６
21.0
35.4
29.7
13.9
H２７
27.1
38.7
23.5
10.7


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
20.9
36.6
27.4
15.1
H２５
19.9
33.9
28.7
17.3
H２６
22.0
35.0
26.8
16.3
H２７
23.9
34.2
26.3
15.4

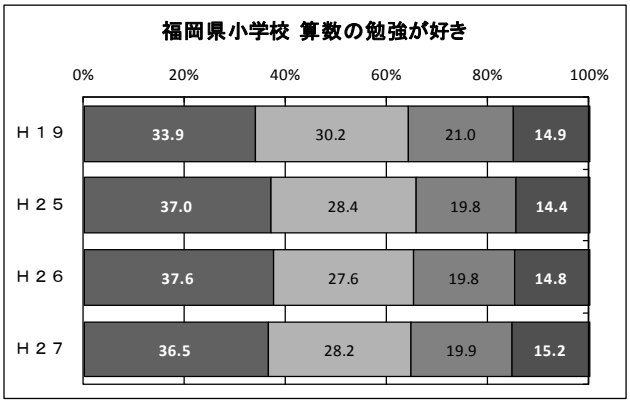

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
21.4
36.2
28.9
13.4
H２５
22.8
36.7
27.3
12.9
H２６
24.4
37.9
25.8
11.8
H２７
24.7
37.8
25.7
11.8

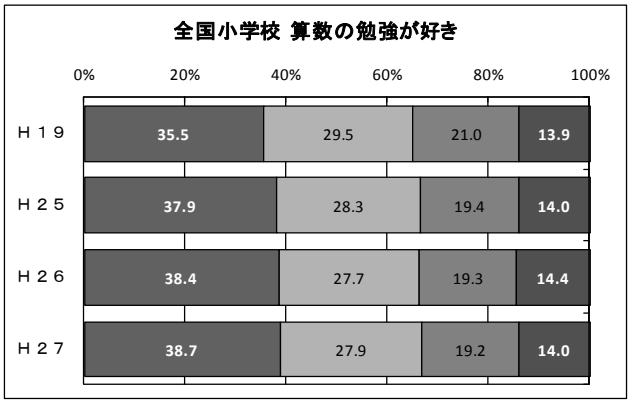
５８	算数（数学）の勉強は好きですか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合の合計は、平成２６年度と比較して小学校は減少しているが、中学校は増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

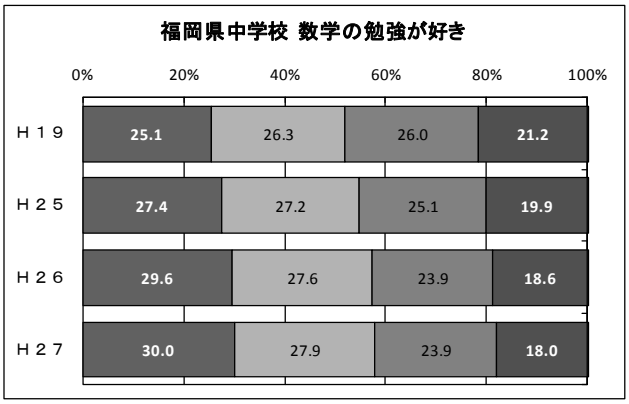
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

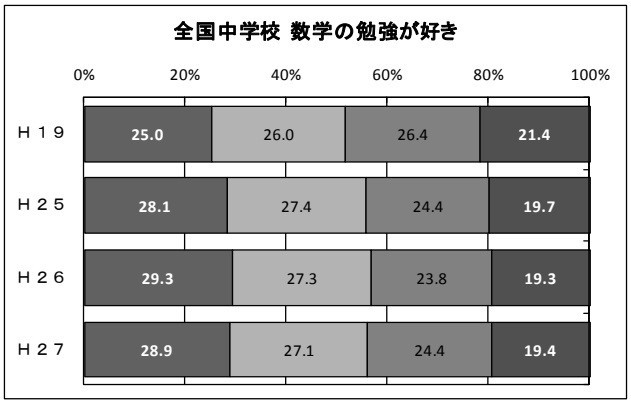
■　小学校回答状況



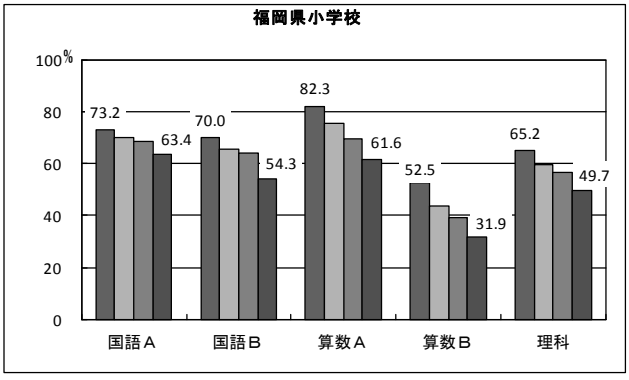


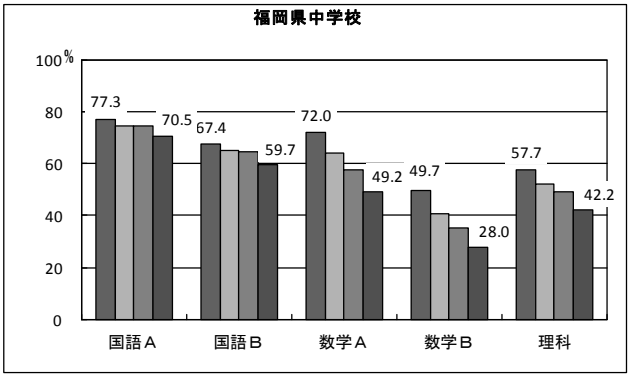
■　中学校回答状況



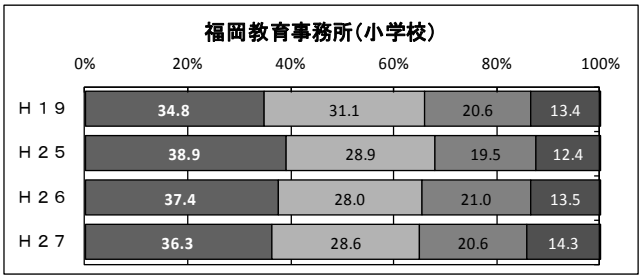


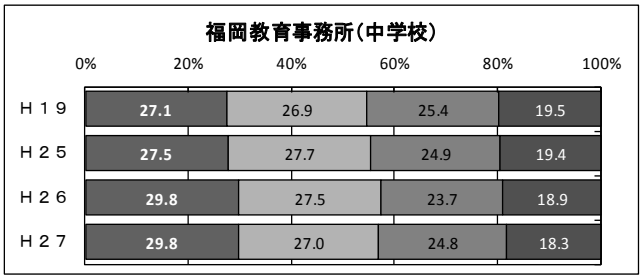
■　教科の正答率との相関関係

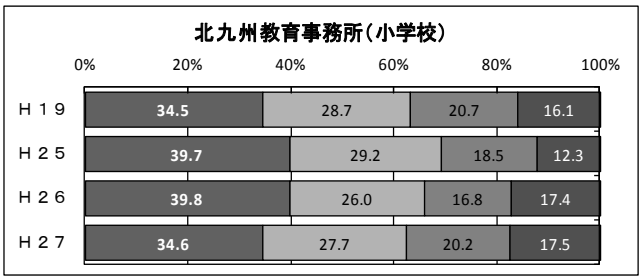


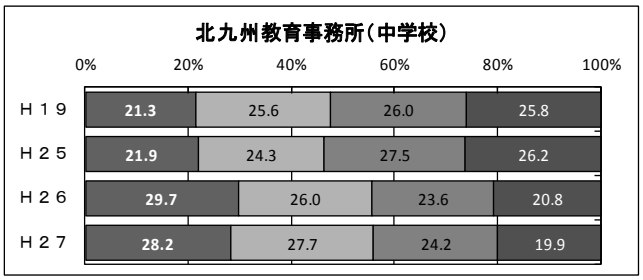


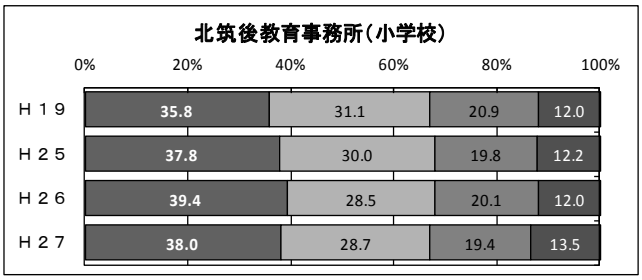
■　地区別回答状況

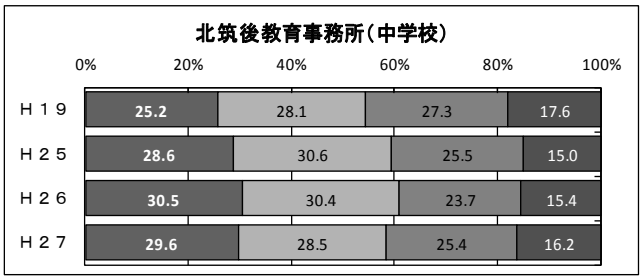

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
34.8
31.1
20.6
13.4
H２５
38.9
28.9
19.5
12.4
H２６
37.4
28.0
21.0
13.5
H２７
36.3
28.6
20.6
14.3

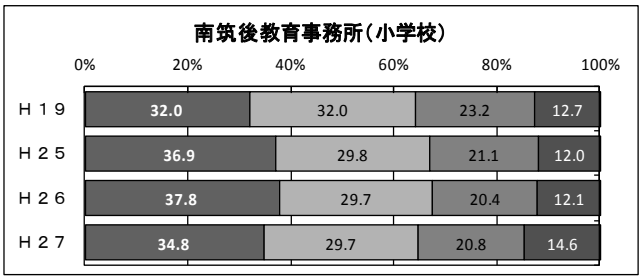

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
27.1
26.9
25.4
19.5
H２５
27.5
27.7
24.9
19.4
H２６
29.8
27.5
23.7
18.9
H２７
29.8
27.0
24.8
18.3

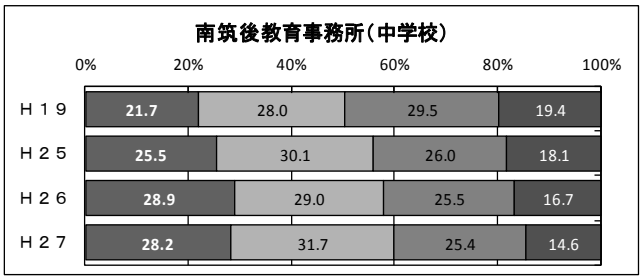

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
34.5
28.7
20.7
16.1
H２５
39.7
29.2
18.5
12.3
H２６
39.8
26.0
16.8
17.4
H２７
34.6
27.7
20.2
17.5

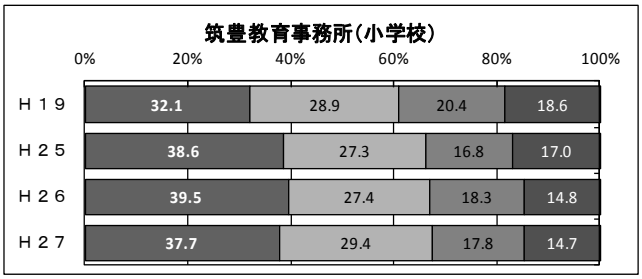

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
21.3
25.6
26.0
25.8
H２５
21.9
24.3
27.5
26.2
H２６
29.7
26.0
23.6
20.8
H２７
28.2
27.7
24.2
19.9

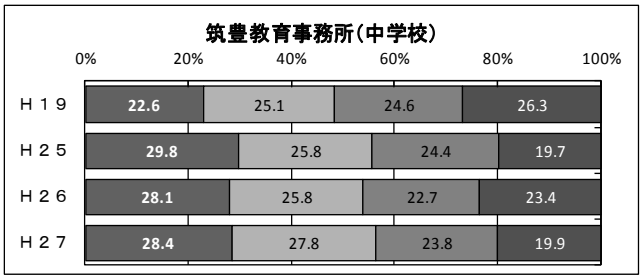

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
35.8
31.1
20.9
12.0
H２５
37.8
30.0
19.8
12.2
H２６
39.4
28.5
20.1
12.0
H２７
38.0
28.7
19.4
13.5

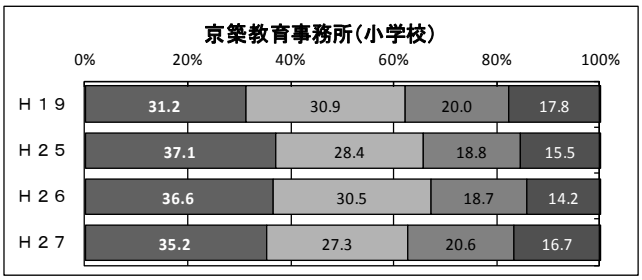

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
25.2
28.1
27.3
17.6
H２５
28.6
30.6
25.5
15.0
H２６
30.5
30.4
23.7
15.4
H２７
29.6
28.5
25.4
16.2

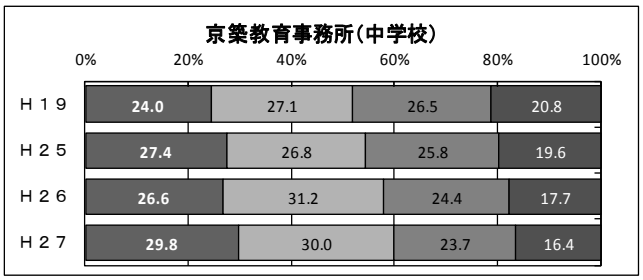

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
32.0
32.0
23.2
12.7
H２５
36.9
29.8
21.1
12.0
H２６
37.8
29.7
20.4
12.1
H２７
34.8
29.7
20.8
14.6

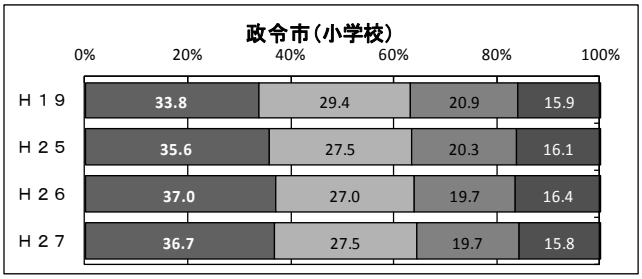

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
21.7
28.0
29.5
19.4
H２５
25.5
30.1
26.0
18.1
H２６
28.9
29.0
25.5
16.7
H２７
28.2
31.7
25.4
14.6

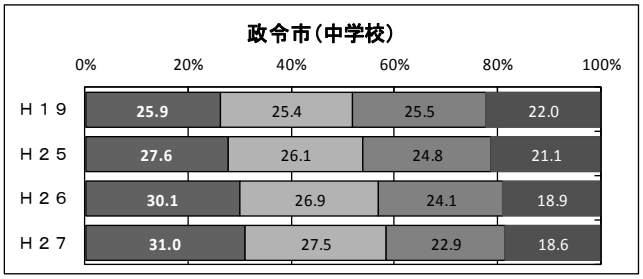

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
32.1
28.9
20.4
18.6
H２５
38.6
27.3
16.8
17.0
H２６
39.5
27.4
18.3
14.8
H２７
37.7
29.4
17.8
14.7


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
22.6
25.1
24.6
26.3
H２５
29.8
25.8
24.4
19.7
H２６
28.1
25.8
22.7
23.4
H２７
28.4
27.8
23.8
19.9


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
31.2
30.9
20.0
17.8
H２５
37.1
28.4
18.8
15.5
H２６
36.6
30.5
18.7
14.2
H２７
35.2
27.3
20.6
16.7


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
24.0
27.1
26.5
20.8
H２５
27.4
26.8
25.8
19.6
H２６
26.6
31.2
24.4
17.7
H２７
29.8
30.0
23.7
16.4


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
33.8
29.4
20.9
15.9
H２５
35.6
27.5
20.3
16.1
H２６
37.0
27.0
19.7
16.4
H２７
36.7
27.5
19.7
15.8

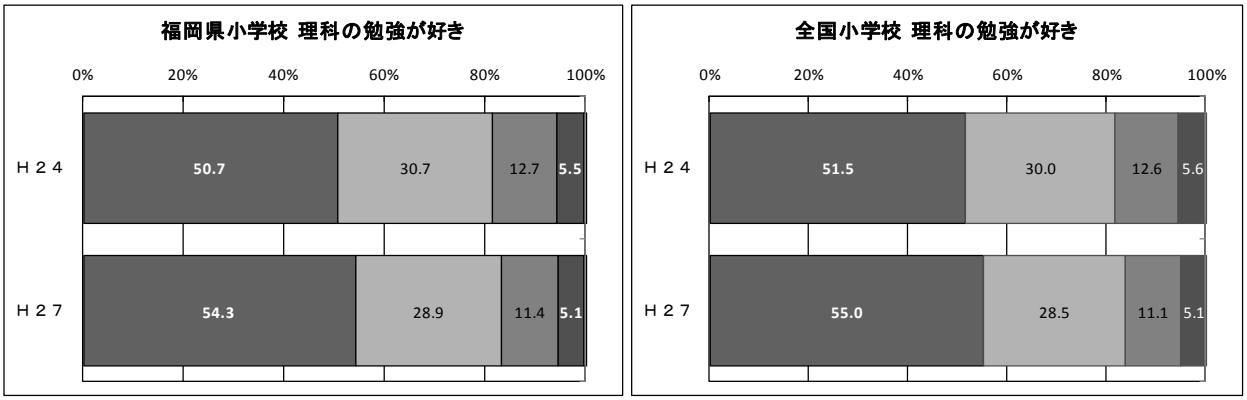

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
25.9
25.4
25.5
22.0
H２５
27.6
26.1
24.8
21.1
H２６
30.1
26.9
24.1
18.9
H２７
31.0
27.5
22.9
18.6

６９	理科の勉強は好きですか。

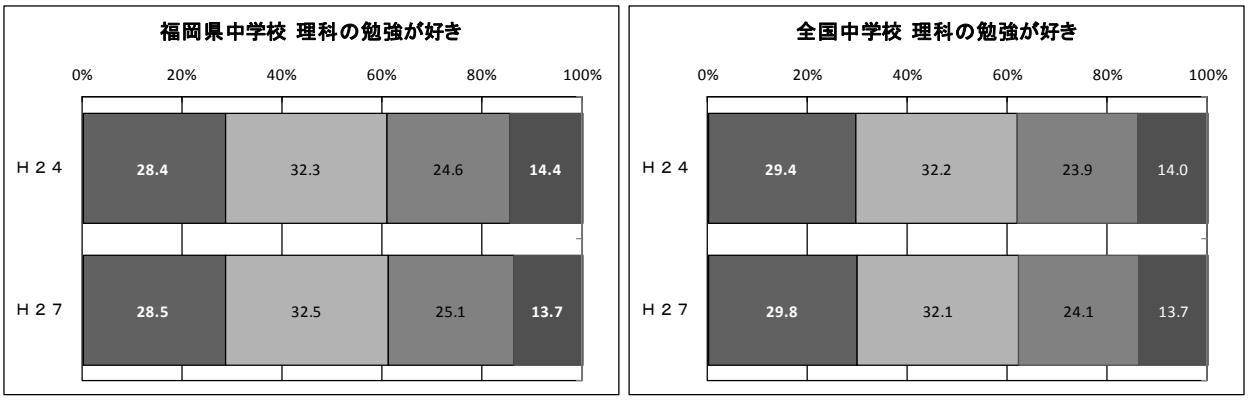
※平成２４年度の理科調査実施に伴い、加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合の合計は、平成２４年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の理科の正答率は、高い傾向にある。

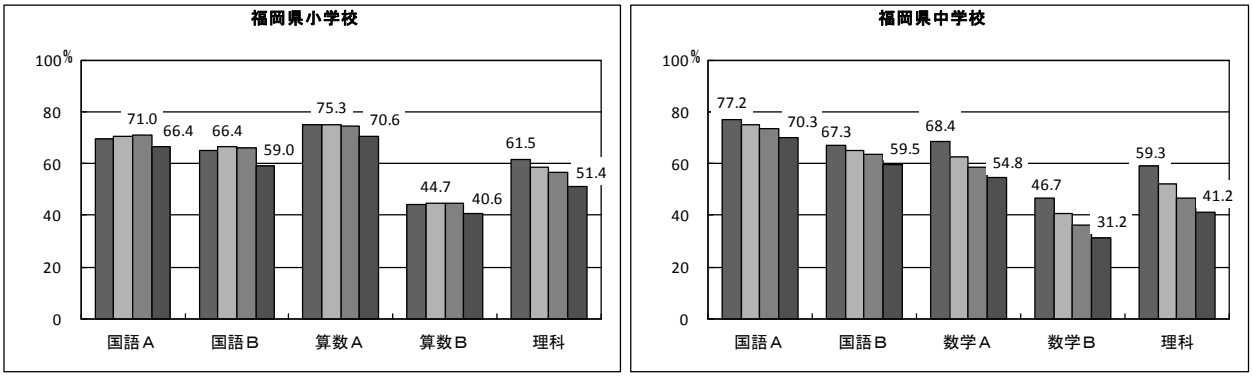
■　小学校回答状況



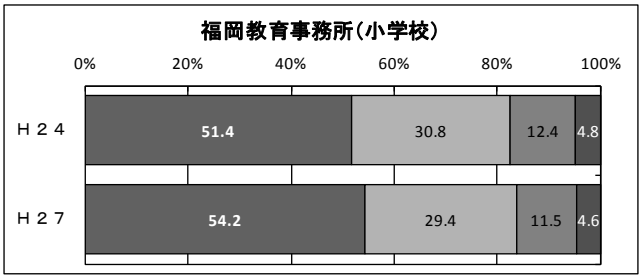
■　中学校回答状況

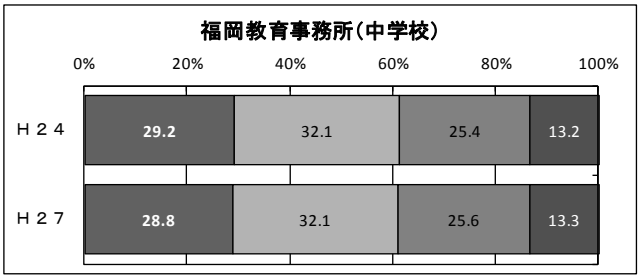


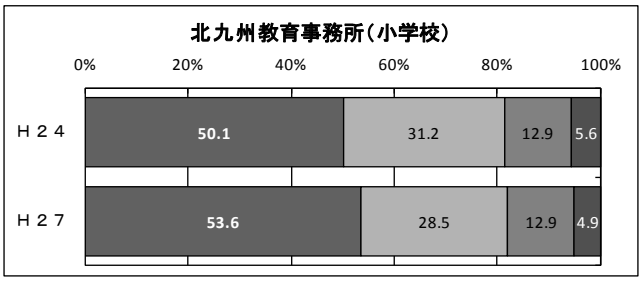
■　教科の正答率との相関関係

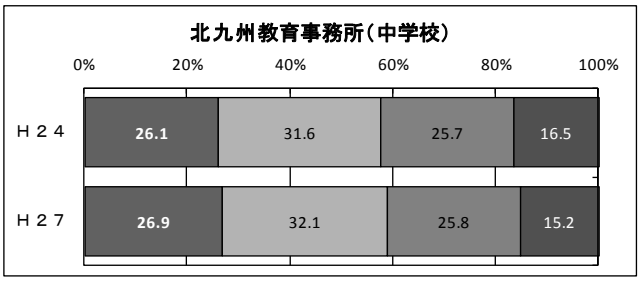


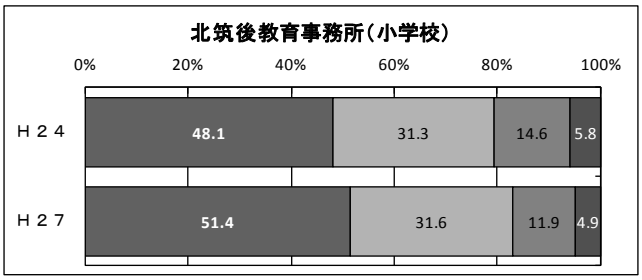
■　地区別回答状況

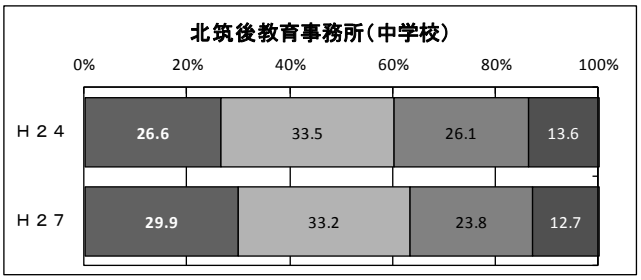

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
51.4
30.8
12.4
4.8
H２７
54.2
29.4
11.5
4.6

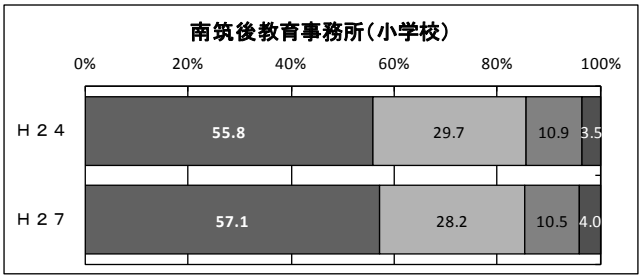

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
29.2
32.1
25.4
13.2
H２７
28.8
32.1
25.6
13.3

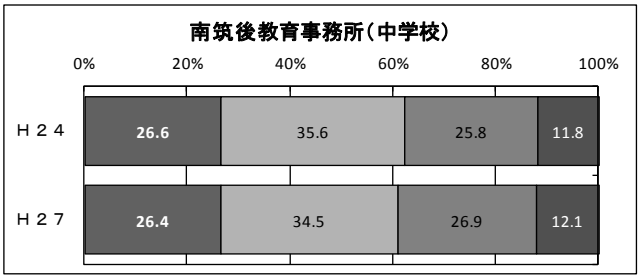

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
50.1
31.2
12.9
5.6
H２７
53.6
28.5
12.9
4.9

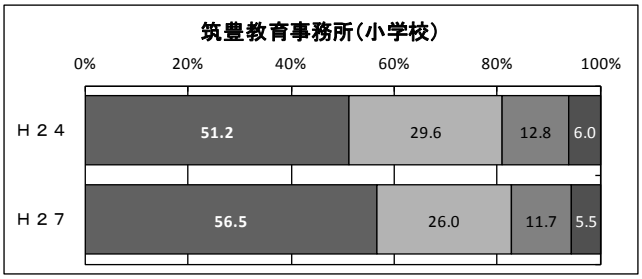

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
26.1
31.6
25.7
16.5
H２７
26.9
32.1
25.8
15.2

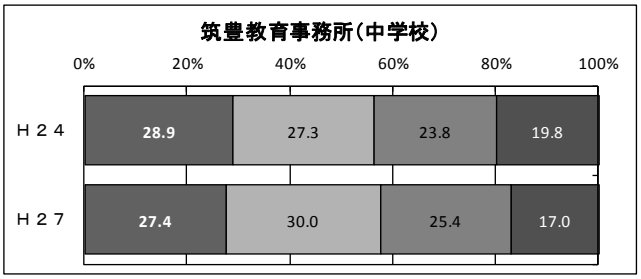

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
48.1
31.3
14.6
5.8
H２７
51.4
31.6
11.9
4.9

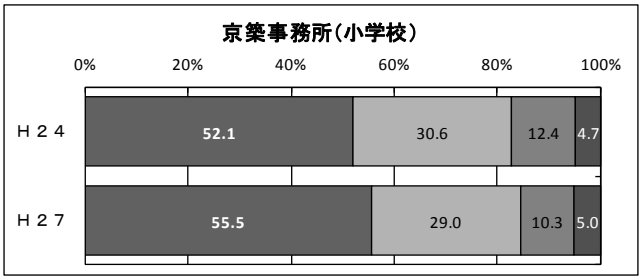

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
26.6
33.5
26.1
13.6
H２７
29.9
33.2
23.8
12.7

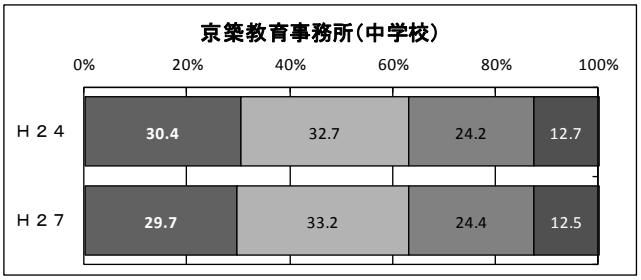

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
55.8
29.7
10.9
3.5
H２７
57.1
28.2
10.5
4.0

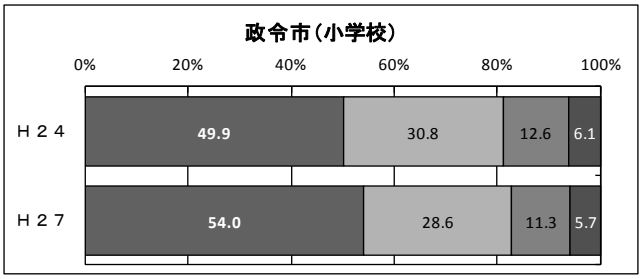

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
26.6
35.6
25.8
11.8
H２７
26.4
34.5
26.9
12.1

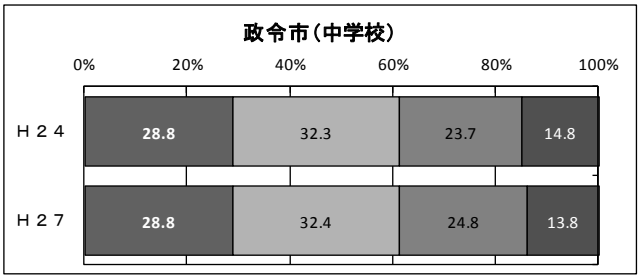

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
51.2
29.6
12.8
6.0
H２７
56.5
26.0
11.7
5.5


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
28.9
27.3
23.8
19.8
H２７
27.4
30.0
25.4
17.0


京築事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
52.1
30.6
12.4
4.7
H２７
55.5
29.0
10.3
5.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
30.4
32.7
24.2
12.7
H２７
29.7
33.2
24.4
12.5


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
49.9
30.8
12.6
6.1
H２７
54.0
28.6
11.3
5.7

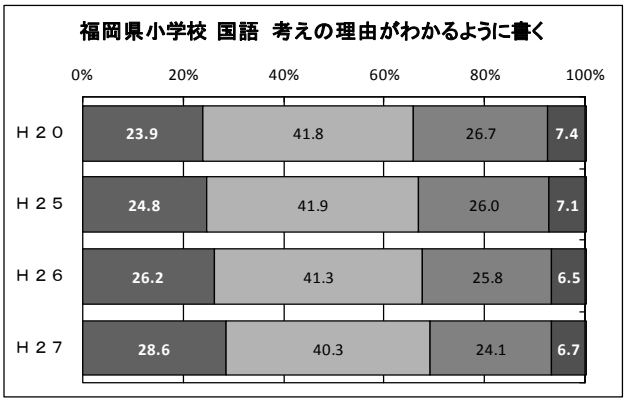

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
28.8
32.3
23.7
14.8
H２７
28.8
32.4
24.8
13.8

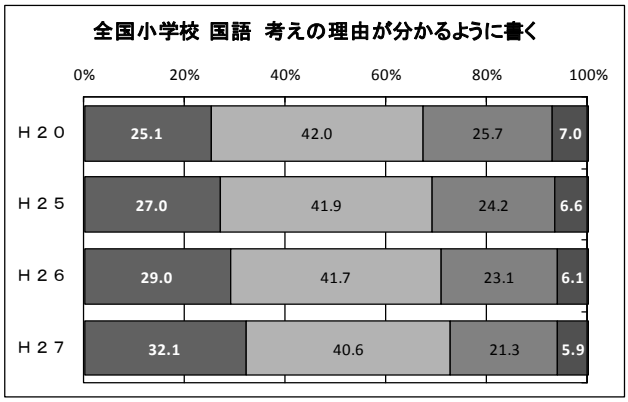
５５	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合の合計は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

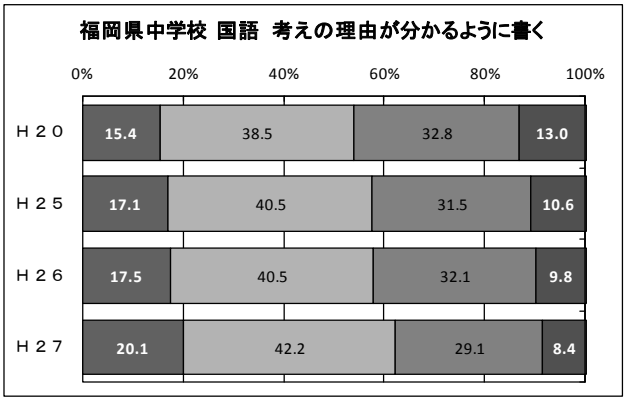
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

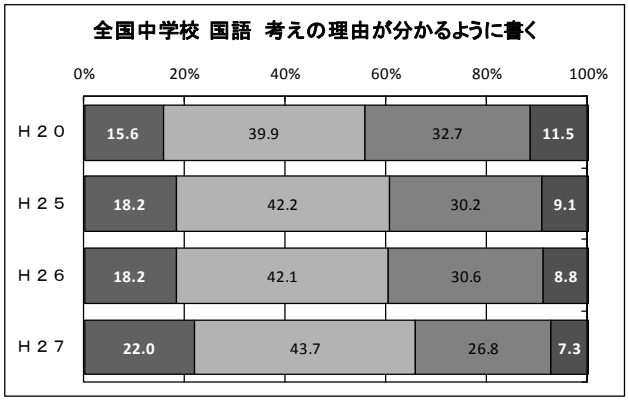
■　小学校回答状況



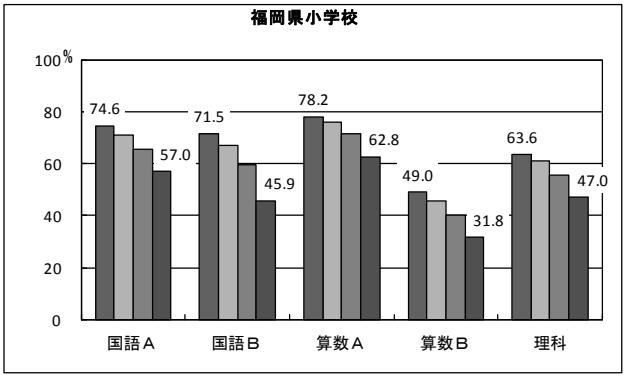


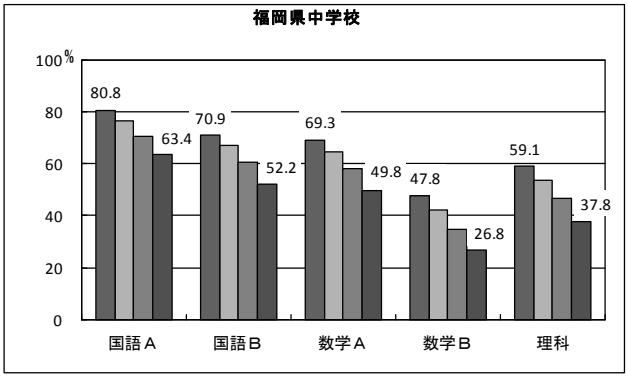
■　中学校回答状況



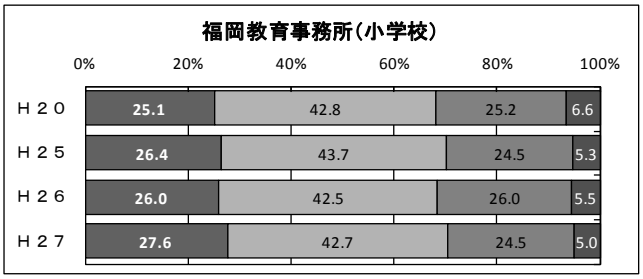


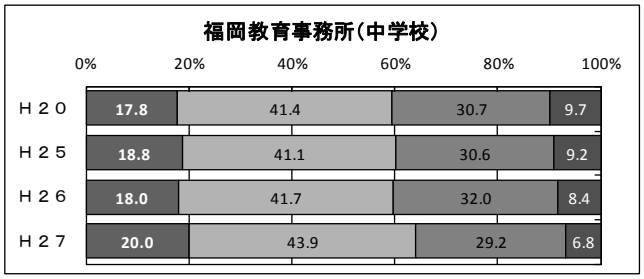
■　教科の正答率との相関関係

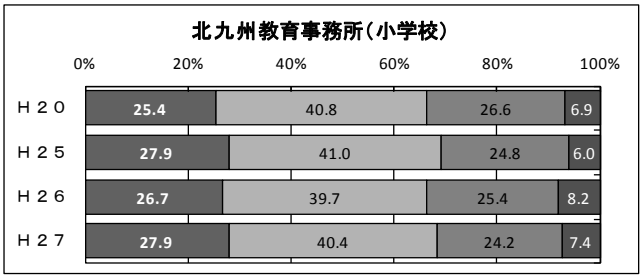


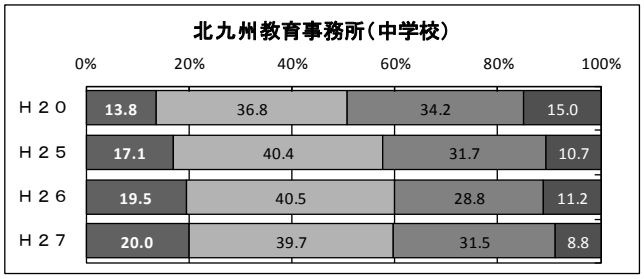


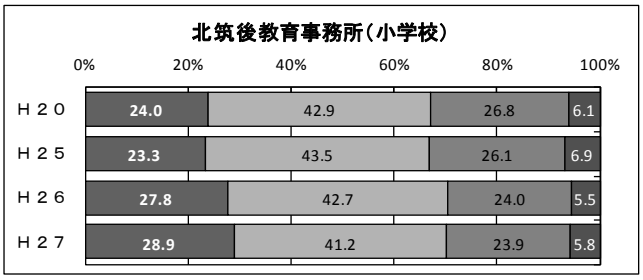
■　地区別回答状況

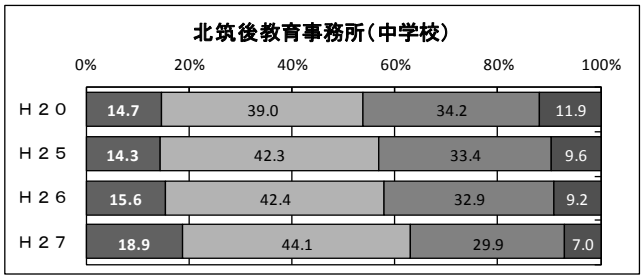

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 25.1 42.8 25.2 6.6
H２５ 26.4 43.7 24.5 5.3
H２６ 26.0 42.5 26.0 5.5
H２７ 27.6 42.7 24.5 5.0

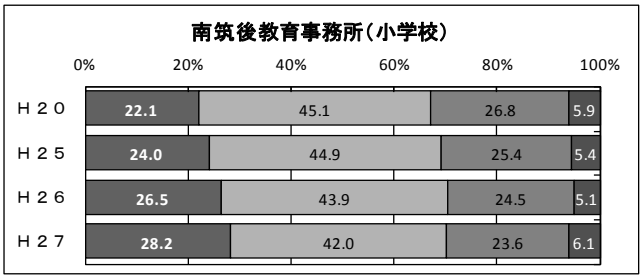

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 17.8 41.4 30.7 9.7
H２５ 18.8 41.1 30.6 9.2
H２６ 18.0 41.7 32.0 8.4
H２７ 20.0 43.9 29.2 6.8

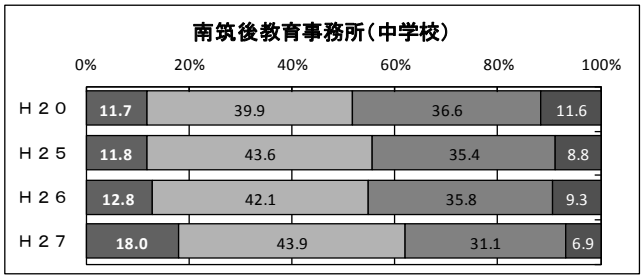

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 25.4 40.8 26.6 6.9
H２５ 27.9 41.0 24.8 6.0
H２６ 26.7 39.7 25.4 8.2
H２７ 27.9 40.4 24.2 7.4

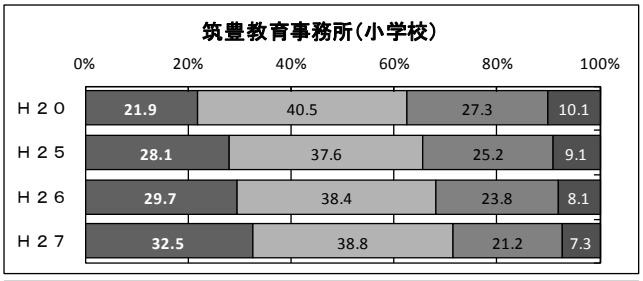

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 13.8 36.8 34.2 15.0
H２５ 17.1 40.4 31.7 10.7
H２６ 19.5 40.5 28.8 11.2
H２７ 20.0 39.7 31.5 8.8

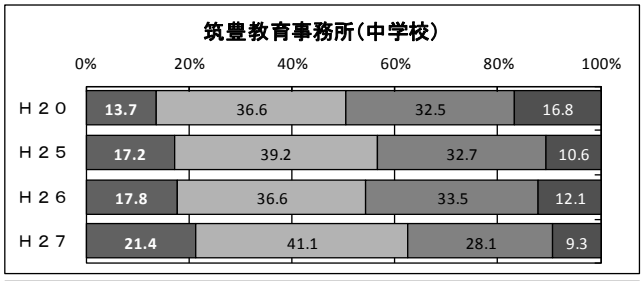

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 24.0 42.9 26.8 6.1
H２５ 23.3 43.5 26.1 6.9
H２６ 27.8 42.7 24.0 5.5
H２７ 28.9 41.2 23.9 5.8

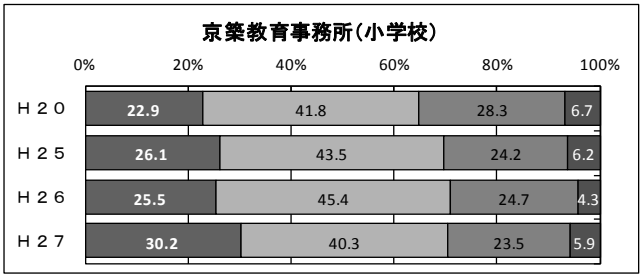

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 14.7 39.0 34.2 11.9
H２５ 14.3 42.3 33.4 9.6
H２６ 15.6 42.4 32.9 9.2
H２７ 18.9 44.1 29.9 7.0

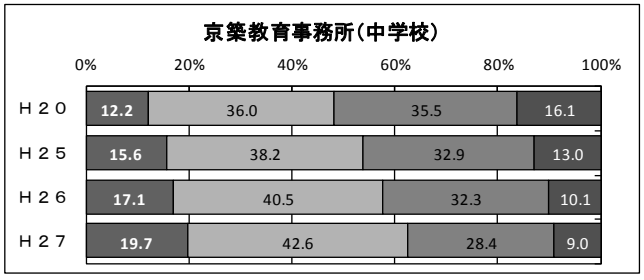

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 22.1 45.1 26.8 5.9
H２５ 24.0 44.9 25.4 5.4
H２６ 26.5 43.9 24.5 5.1
H２７ 28.2 42.0 23.6 6.1

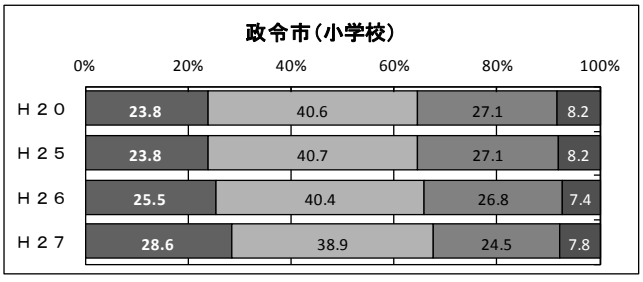

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 11.7 39.9 36.6 11.6
H２５ 11.8 43.6 35.4 8.8
H２６ 12.8 42.1 35.8 9.3
H２７ 18.0 43.9 31.1 6.9

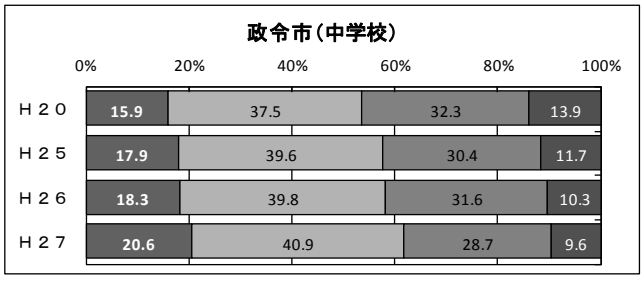

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 21.9 40.5 27.3 10.1
H２５ 28.1 37.6 25.2 9.1
H２６ 29.7 38.4 23.8 8.1
H２７ 32.5 38.8 21.2 7.3


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 13.7 36.6 32.5 16.8
H２５ 17.2 39.2 32.7 10.6
H２６ 17.8 36.6 33.5 12.1
H２７ 21.4 41.1 28.1 9.3


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 22.9 41.8 28.3 6.7
H２５ 26.1 43.5 24.2 6.2
H２６ 25.5 45.4 24.7 4.3
H２７ 30.2 40.3 23.5 5.9


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 12.2 36.0 35.5 16.1
H２５ 15.6 38.2 32.9 13.0
H２６ 17.1 40.5 32.3 10.1
H２７ 19.7 42.6 28.4 9.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 23.8 40.6 27.1 8.2
H２５ 23.8 40.7 27.1 8.2
H２６ 25.5 40.4 26.8 7.4
H２７ 28.6 38.9 24.5 7.8

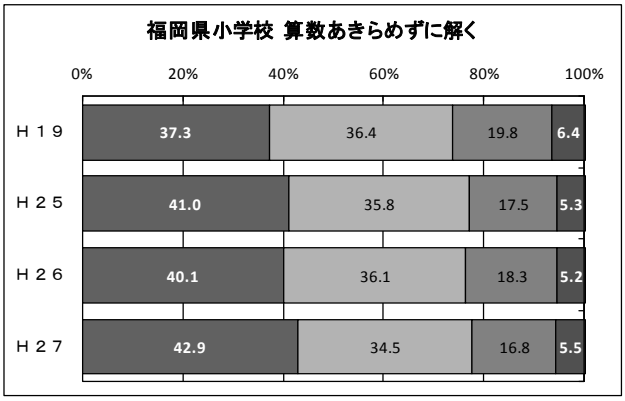

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 15.9 37.5 32.3 13.9
H２５ 17.9 39.6 30.4 11.7
H２６ 18.3 39.8 31.6 10.3
H２７ 20.6 40.9 28.7 9.6

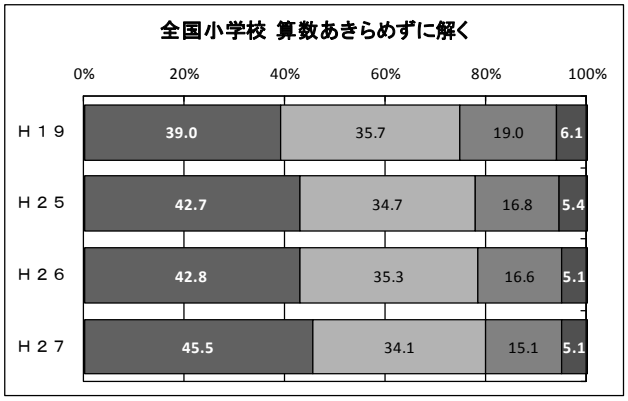
６２	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

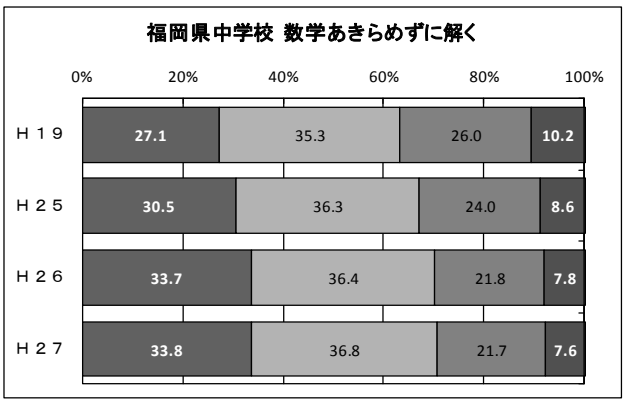
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

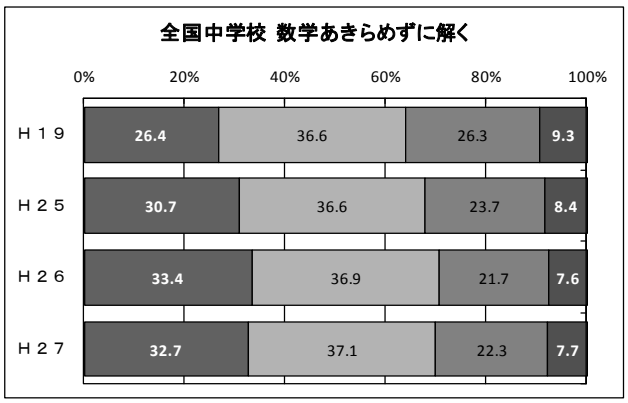
■　小学校回答状況



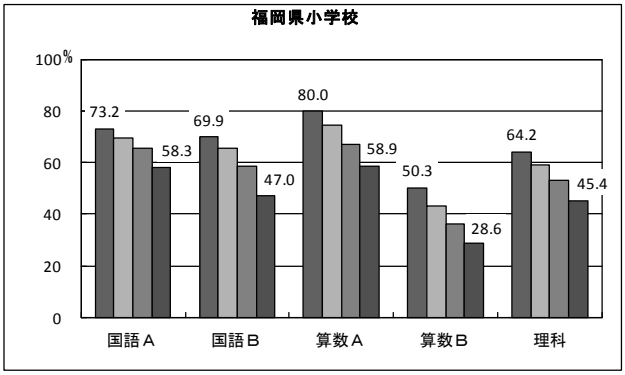


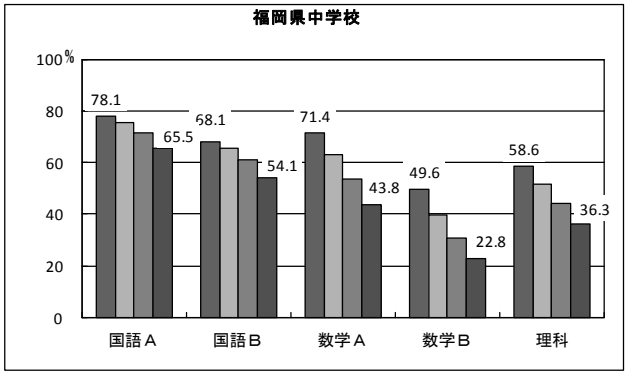
■　中学校回答状況



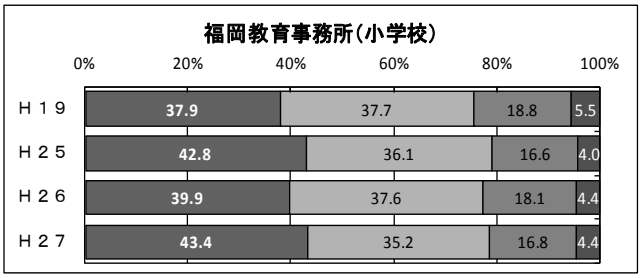


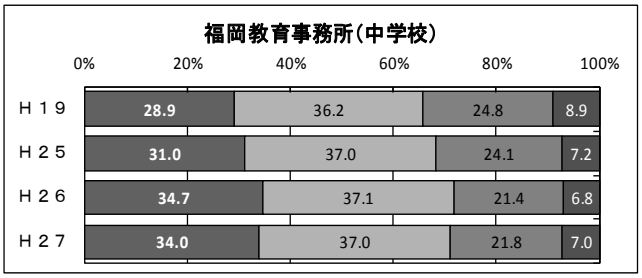
■　教科の正答率との相関関係

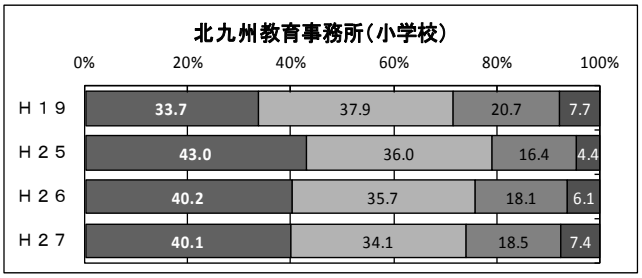


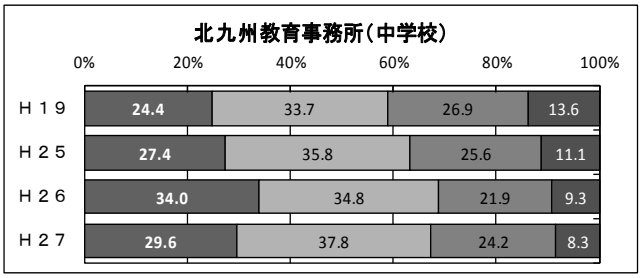


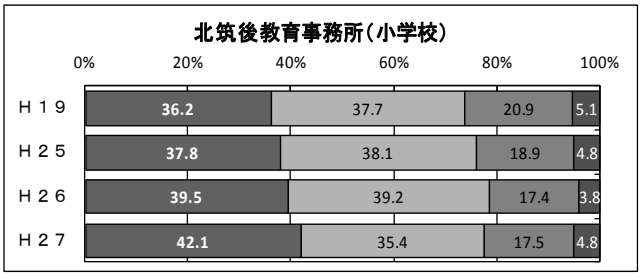
■　地区別回答状況

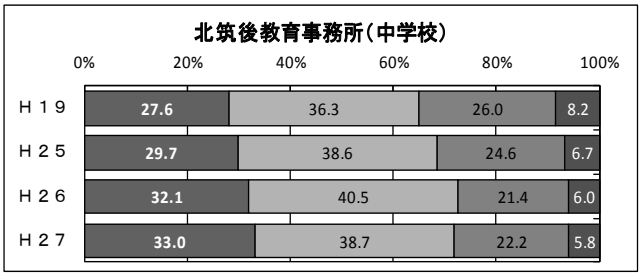

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 37.9 37.7 18.8 5.5
H25 42.8 36.1 16.6 4.0
H26 39.9 37.6 18.1 4.4
H27 43.4 35.2 16.8 4.4

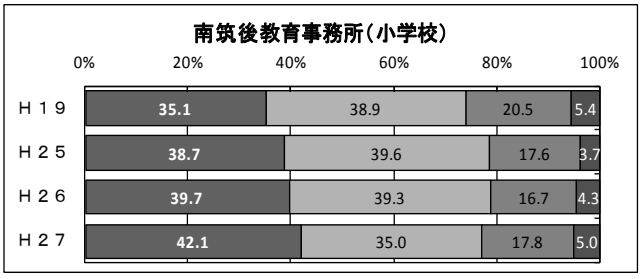

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.9 36.2 24.8 8.9
H25 31.0 37.0 24.1 7.2
H26 34.7 37.1 21.4 6.8
H27 34.0 37.0 21.8 7.0

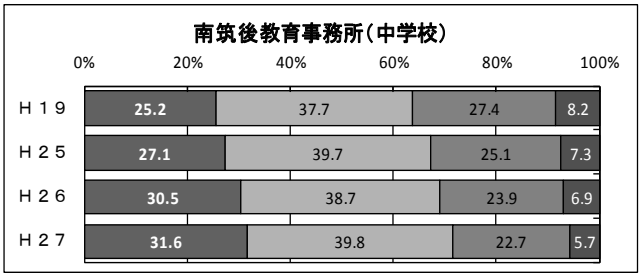

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.7 37.9 20.7 7.7
H25 43.0 36.0 16.4 4.4
H26 40.2 35.7 18.1 6.1
H27 40.1 34.1 18.5 7.4

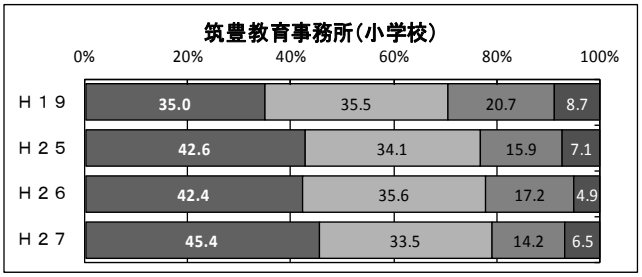

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.4 33.7 26.9 13.6
H25 27.4 35.8 25.6 11.1
H26 34.0 34.8 21.9 9.3
H27 29.6 37.8 24.2 8.3

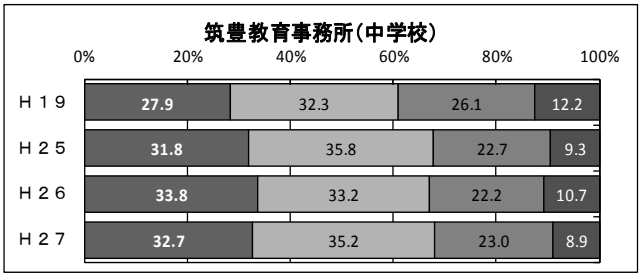

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.2 37.7 20.9 5.1
H25 37.8 38.1 18.9 4.8
H26 39.5 39.2 17.4 3.8
H27 42.1 35.4 17.5 4.8

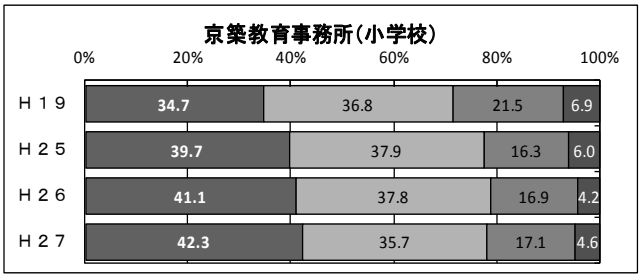

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.6 36.3 26.0 8.2
H25 29.7 38.6 24.6 6.7
H26 32.1 40.5 21.4 6.0
H27 33.0 38.7 22.2 5.8

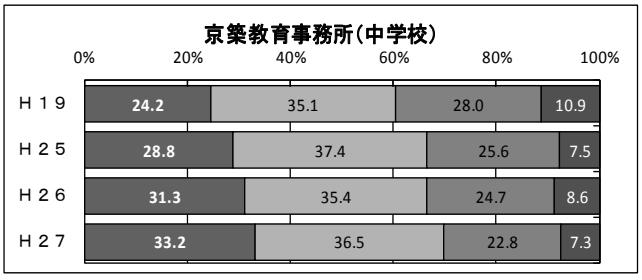

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.1 38.9 20.5 5.4
H25 38.7 39.6 17.6 3.7
H26 39.7 39.3 16.7 4.3
H27 42.1 35.0 17.8 5.0

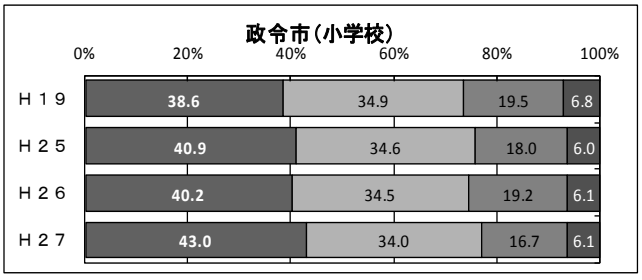

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.2 37.7 27.4 8.2
H25 27.1 39.7 25.1 7.3
H26 30.5 38.7 23.9 6.9
H27 31.6 39.8 22.7 5.7

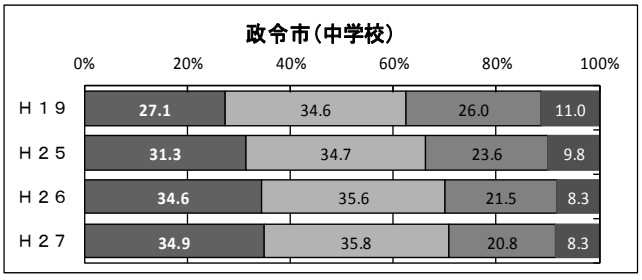

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.0 35.5 20.7 8.7
H25 42.6 34.1 15.9 7.1
H26 42.4 35.6 17.2 4.9
H27 45.4 33.5 14.2 6.5


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.9 32.3 26.1 12.2
H25 31.8 35.8 22.7 9.3
H26 33.8 33.2 22.2 10.7
H27 32.7 35.2 23.0 8.9


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 34.7 36.8 21.5 6.9
H25 39.7 37.9 16.3 6.0
H26 41.1 37.8 16.9 4.2
H27 42.3 35.7 17.1 4.6


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.2 35.1 28.0 10.9
H25 28.8 37.4 25.6 7.5
H26 31.3 35.4 24.7 8.6
H27 33.2 36.5 22.8 7.3


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.6 34.9 19.5 6.8
H25 40.9 34.6 18.0 6.0
H26 40.2 34.5 19.2 6.1
H27 43.0 34.0 16.7 6.1

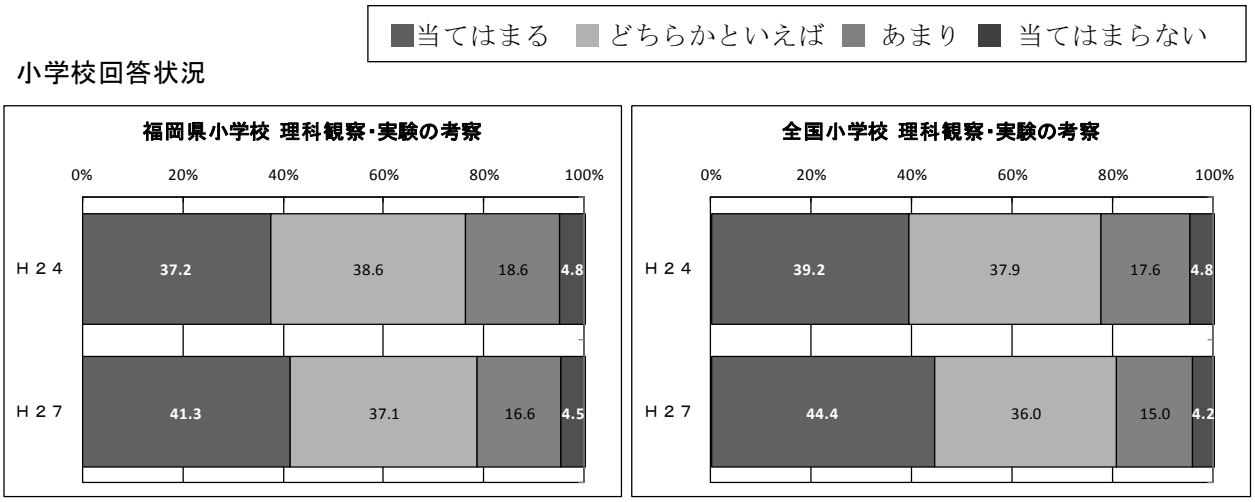

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.1 34.6 26.0 11.0
H25 31.3 34.7 23.6 9.8
H26 34.6 35.6 21.5 8.3
H27 34.9 35.8 20.8 8.3

８０	小：理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。 中：理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか。

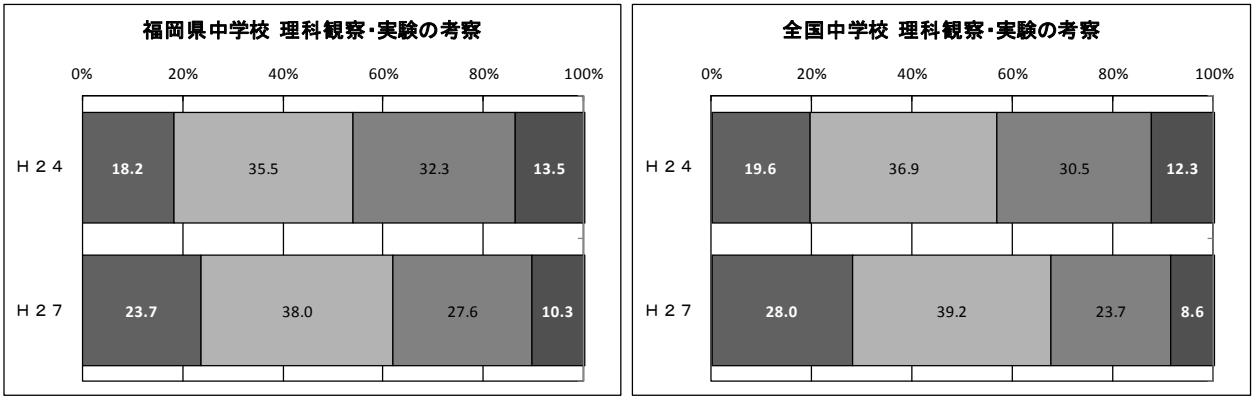
※平成２４年度の理科調査実施に伴い、加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２４年度と比較して、小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

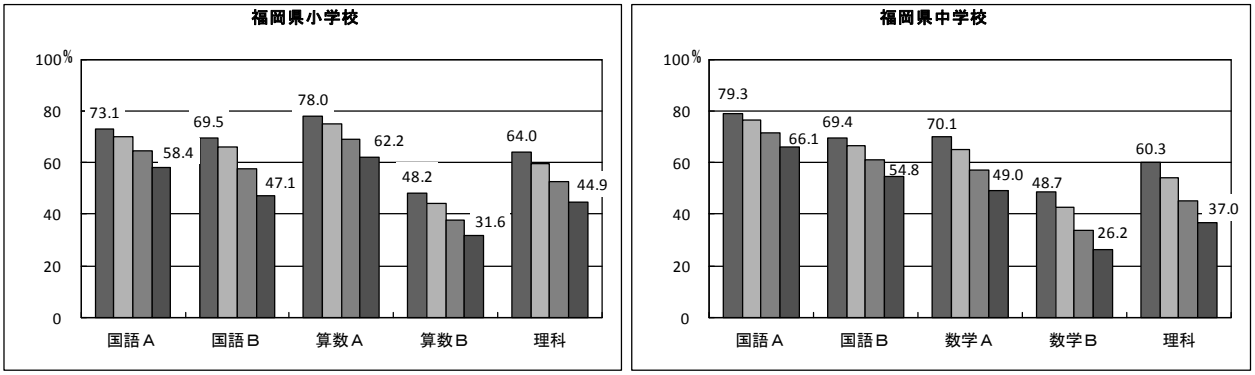
■　小学校回答状況



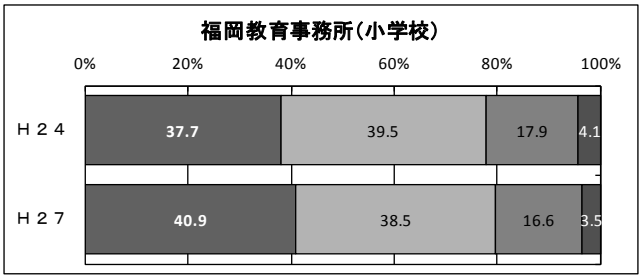
■　中学校回答状況

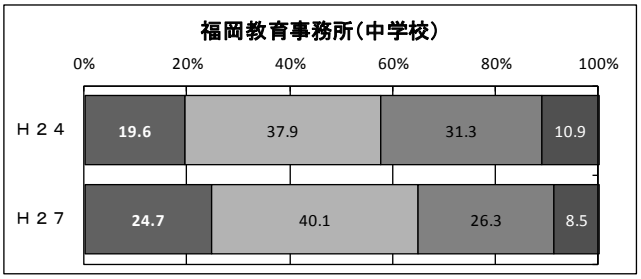


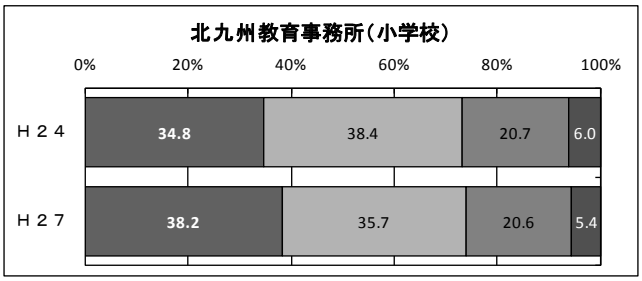
■　教科の正答率との相関関係

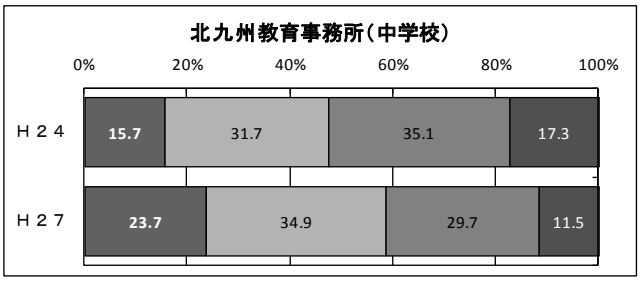


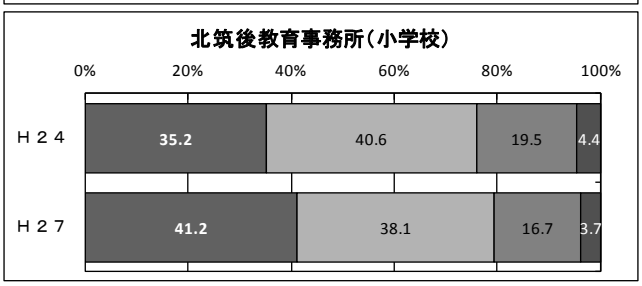
■　地区別回答状況

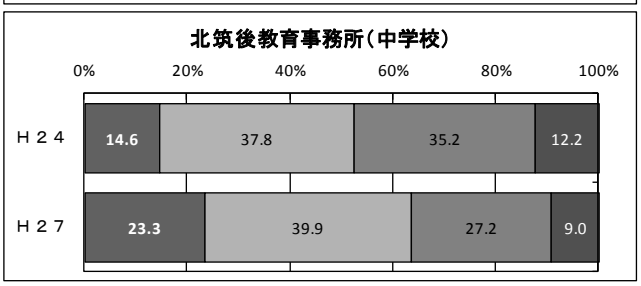

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
37.7
39.5
17.9
4.1
H２７
40.9
38.5
16.6
3.5

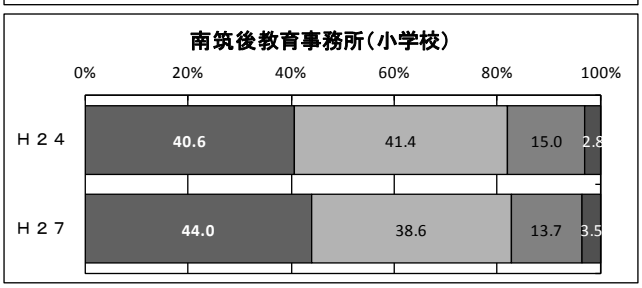

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
19.6
37.9
31.3
10.9
H２７
24.7
40.1
26.3
8.5

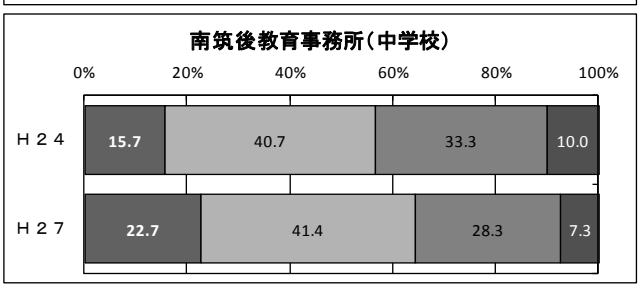

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
34.8
38.4
20.7
6.0
H２７
38.2
35.7
20.6
5.4

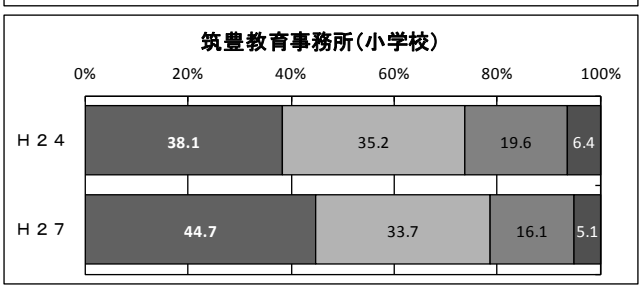

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
15.7
31.7
35.1
17.3
H２７
23.7
34.9
29.7
11.5

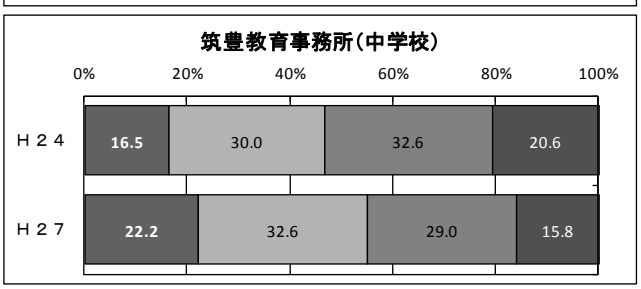

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
35.2
40.6
19.5
4.4
H２７
41.2
38.1
16.7
3.7

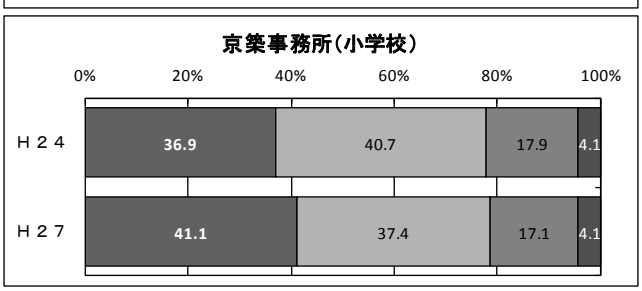

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
14.6
37.8
35.2
12.2
H２７
23.3
39.9
27.2
9.0

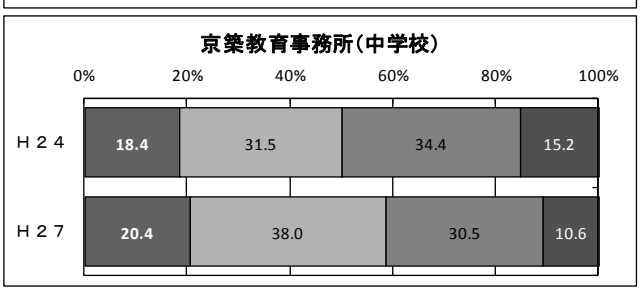

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
40.6
41.4
15.0
2.8
H２７
44.0
38.6
13.7
3.5

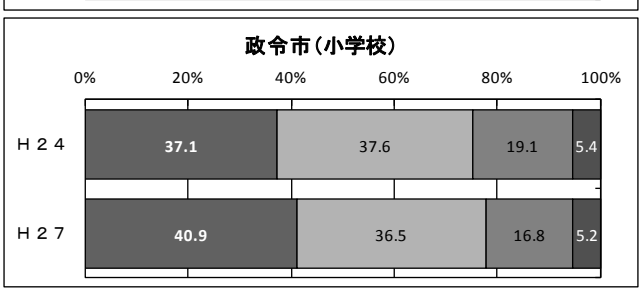

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
15.7
40.7
33.3
10.0
H２７
22.7
41.4
28.3
7.3

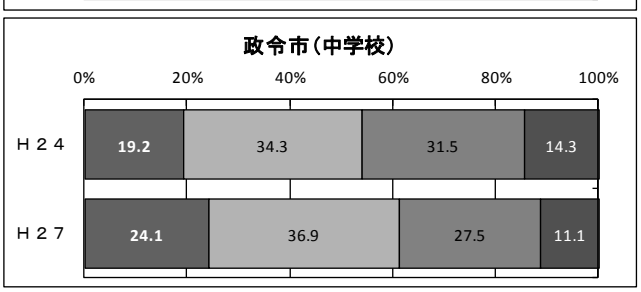

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
38.1
35.2
19.6
6.4
H２７
44.7
33.7
16.1
5.1


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
16.5
30.0
32.6
20.6
H２７
22.2
32.6
29.0
15.8


京築事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
36.9
40.7
17.9
4.1
H２７
41.1
37.4
17.1
4.1


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
18.4
31.5
34.4
15.2
H２７
20.4
38.0
30.5
10.6


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
37.1
37.6
19.1
5.4
H２７
40.9
36.5
16.8
5.2


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
19.2
34.3
31.5
14.3
H２７
24.1
36.9
27.5
11.1

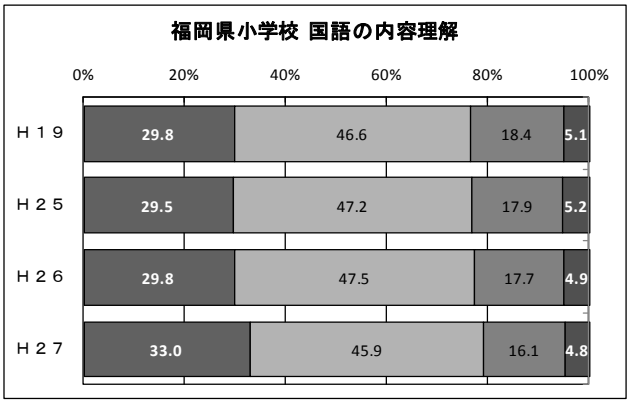
２　各教科の内容理解

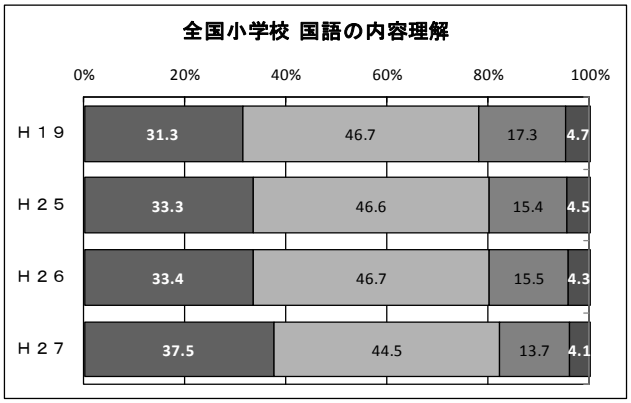
５０	国語の授業の内容はよく分かりますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

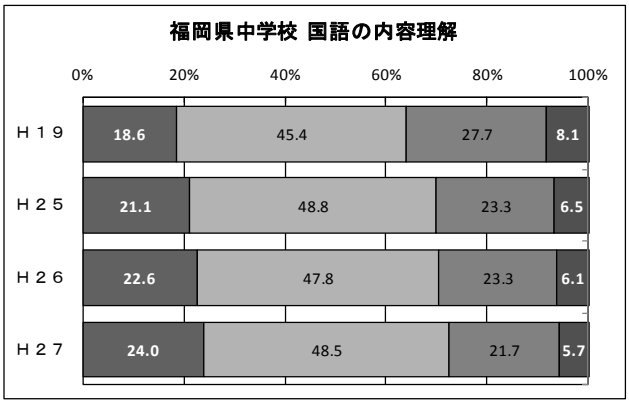
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

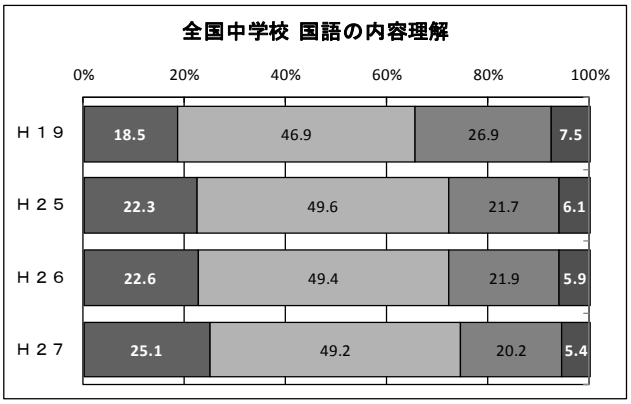
■　小学校回答状況



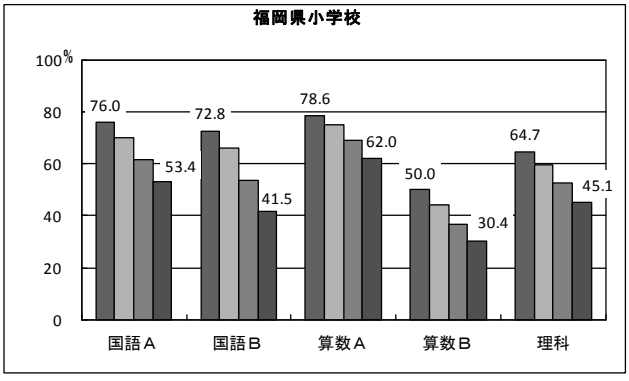


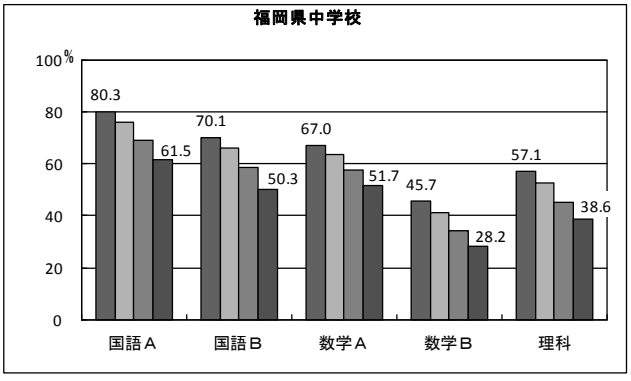
■　中学校回答状況



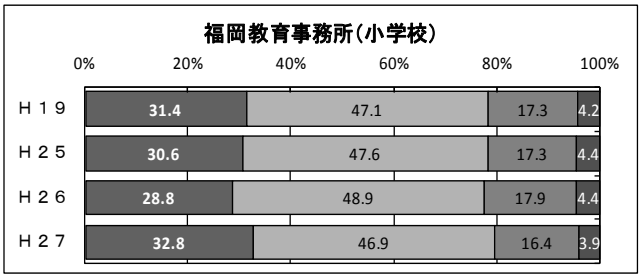


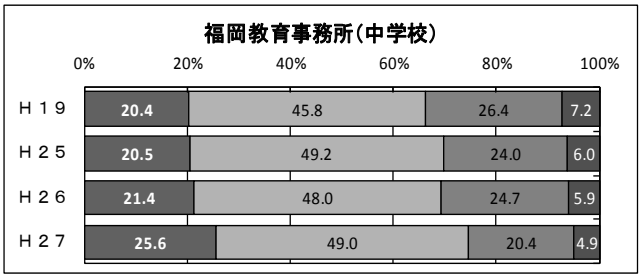
■　教科の正答率との相関関係

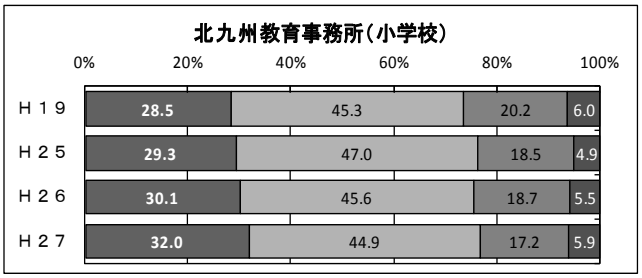


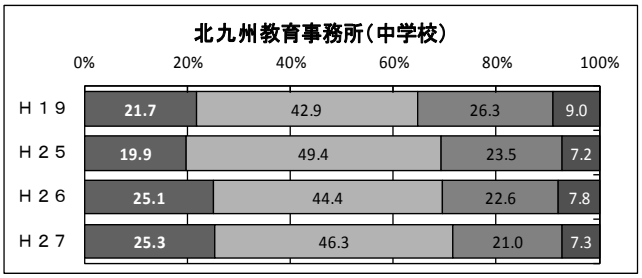


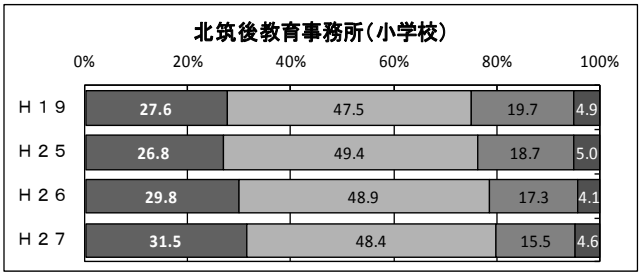
■　地区別回答状況

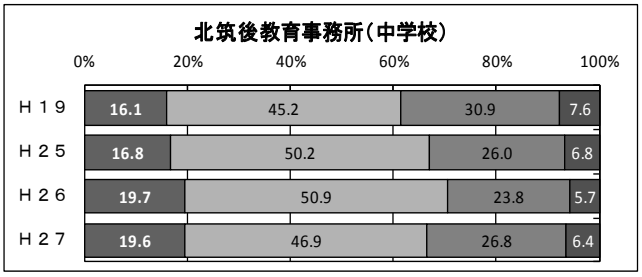

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
31.4
47.1
17.3
4.2
H２５
30.6
47.6
17.3
4.4
H２６
28.8
48.9
17.9
4.4
H２７
32.8
46.9
16.4
3.9

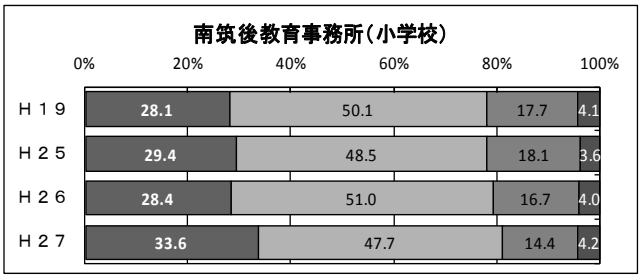

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
20.4
45.8
26.4
7.2
H２５
20.5
49.2
24.0
6.0
H２６
21.4
48.0
24.7
5.9
H２７
25.6
49.0
20.4
4.9

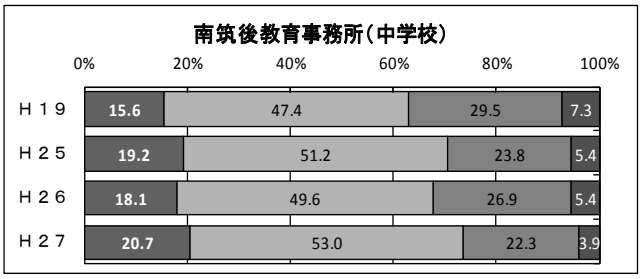

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
28.5
45.3
20.2
6.0
H２５
29.3
47.0
18.5
4.9
H２６
30.1
45.6
18.7
5.5
H２７
32.0
44.9
17.2
5.9

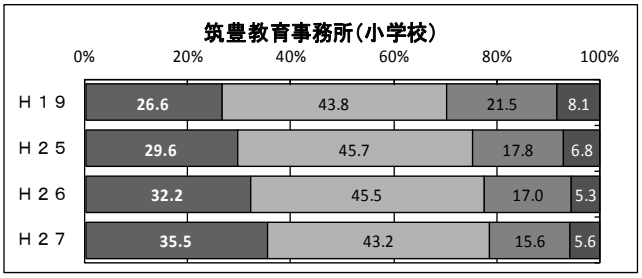

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
21.7
42.9
26.3
9.0
H２５
19.9
49.4
23.5
7.2
H２６
25.1
44.4
22.6
7.8
H２７
25.3
46.3
21.0
7.3

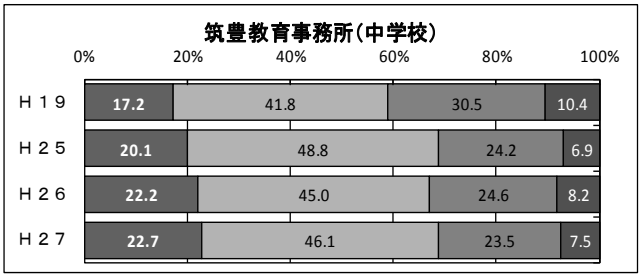

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
27.6
47.5
19.7
4.9
H２５
26.8
49.4
18.7
5.0
H２６
29.8
48.9
17.3
4.1
H２７
31.5
48.4
15.5
4.6

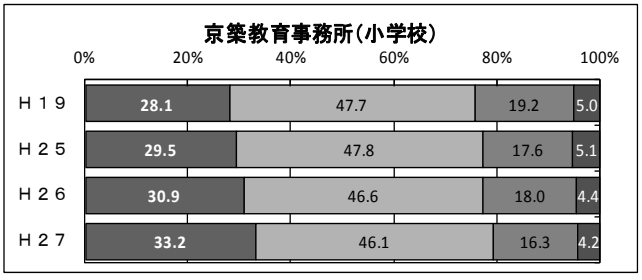

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
16.1
45.2
30.9
7.6
H２５
16.8
50.2
26.0
6.8
H２６
19.7
50.9
23.8
5.7
H２７
19.6
46.9
26.8
6.4

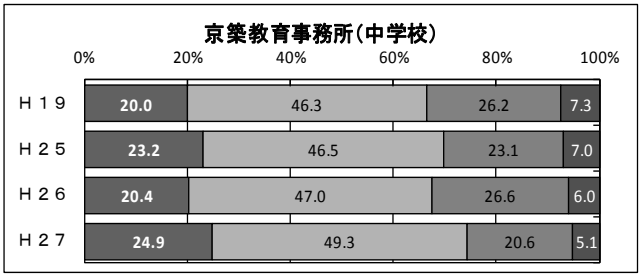

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
28.1
50.1
17.7
4.1
H２５
29.4
48.5
18.1
3.6
H２６
28.4
51.0
16.7
4.0
H２７
33.6
47.7
14.4
4.2

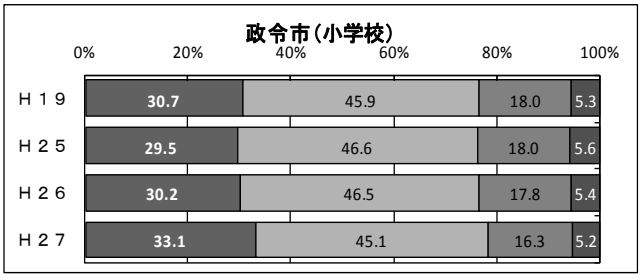

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
15.6
47.4
29.5
7.3
H２５
19.2
51.2
23.8
5.4
H２６
18.1
49.6
26.9
5.4
H２７
20.7
53.0
22.3
3.9

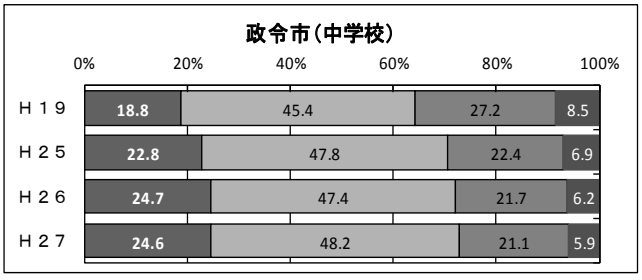

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
26.6
43.8
21.5
8.1
H２５
29.6
45.7
17.8
6.8
H２６
32.2
45.5
17.0
5.3
H２７
35.5
43.2
15.6
5.6


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
17.2
41.8
30.5
10.4
H２５
20.1
48.8
24.2
6.9
H２６
22.2
45.0
24.6
8.2
H２７
22.7
46.1
23.5
7.5


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
28.1
47.7
19.2
5.0
H２５
29.5
47.8
17.6
5.1
H２６
30.9
46.6
18.0
4.4
H２７
33.2
46.1
16.3
4.2


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
20.0
46.3
26.2
7.3
H２５
23.2
46.5
23.1
7.0
H２６
20.4
47.0
26.6
6.0
H２７
24.9
49.3
20.6
5.1


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
30.7
45.9
18.0
5.3
H２５
29.5
46.6
18.0
5.6
H２６
30.2
46.5
17.8
5.4
H２７
33.1
45.1
16.3
5.2

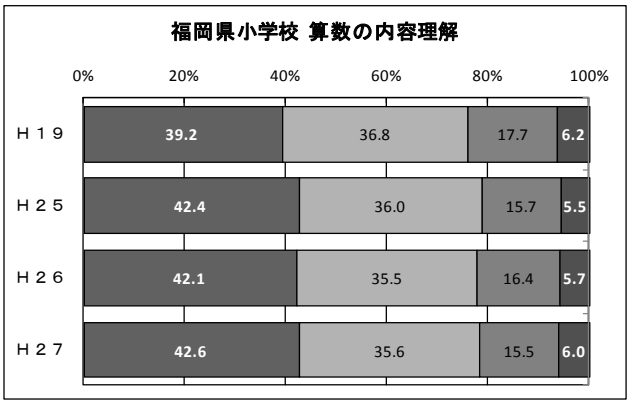

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
18.8
45.4
27.2
8.5
H２５
22.8
47.8
22.4
6.9
H２６
24.7
47.4
21.7
6.2
H２７
24.6
48.2
21.1
5.9

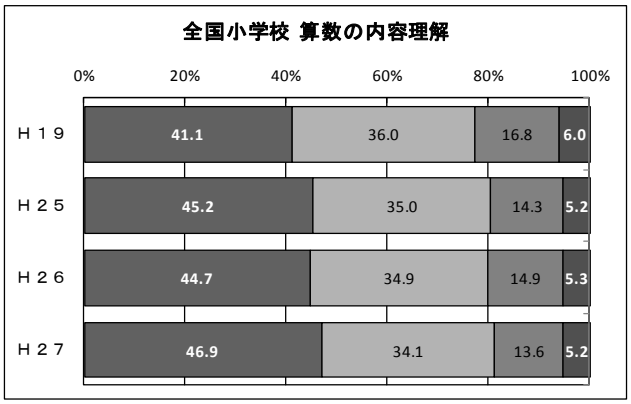
６０	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

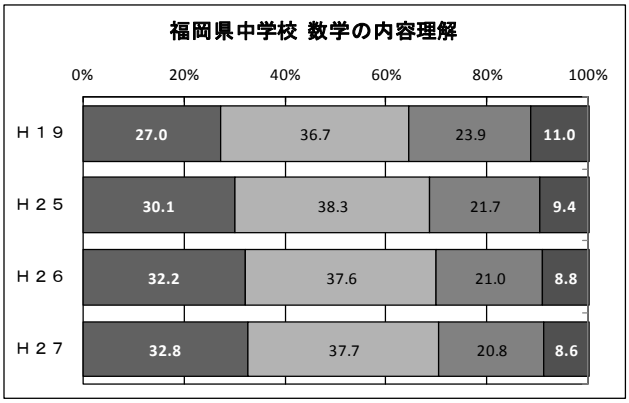
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

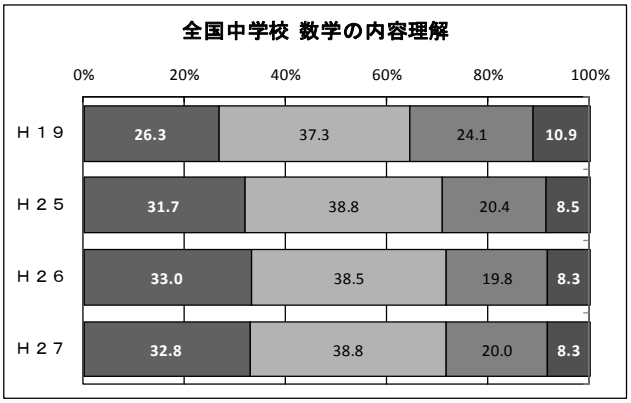
■　小学校回答状況



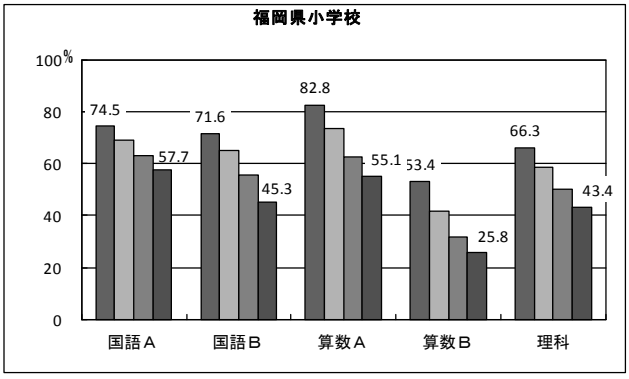


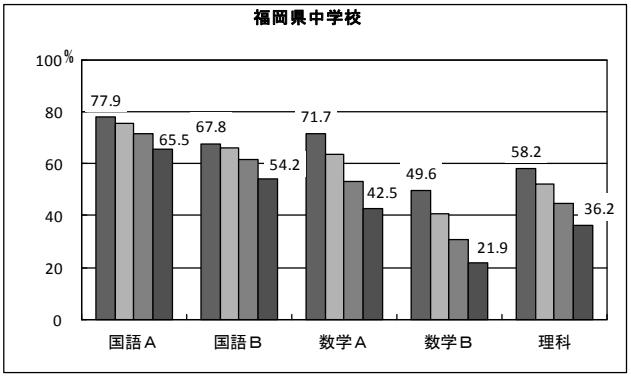
■　中学校回答状況



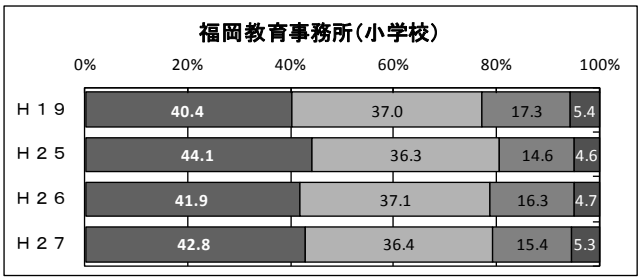


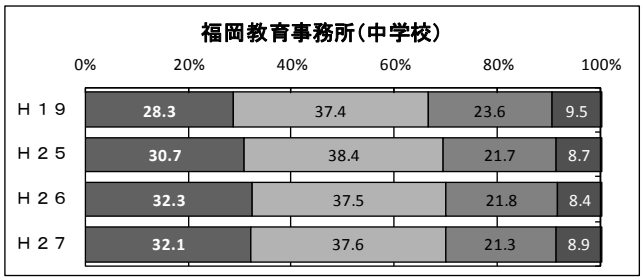
■　教科の正答率との相関関係

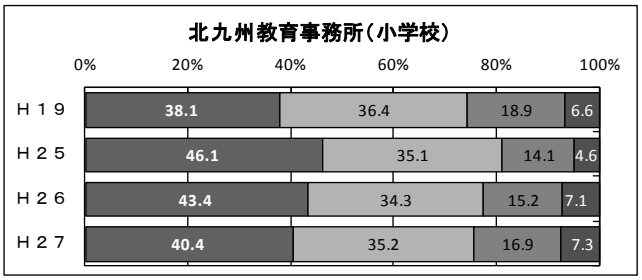


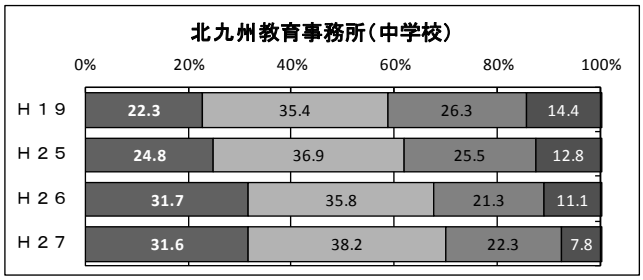


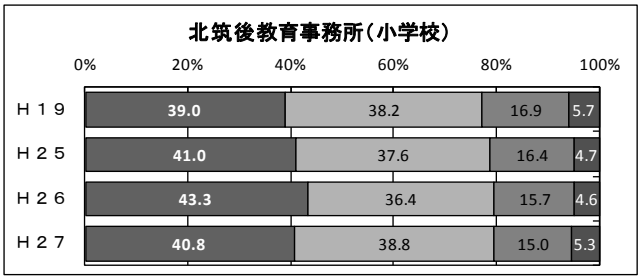
■　地区別回答状況

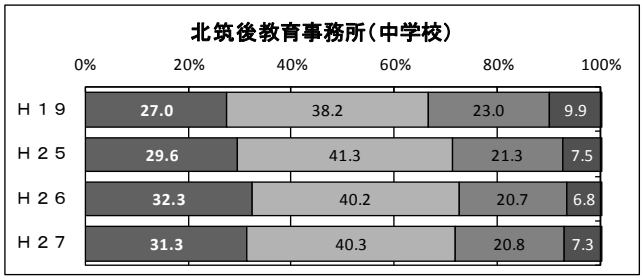

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 40.4 37.0 17.3 5.4
H25 44.1 36.3 14.6 4.6
H26 41.9 37.1 16.3 4.7
H27 42.8 36.4 15.4 5.3

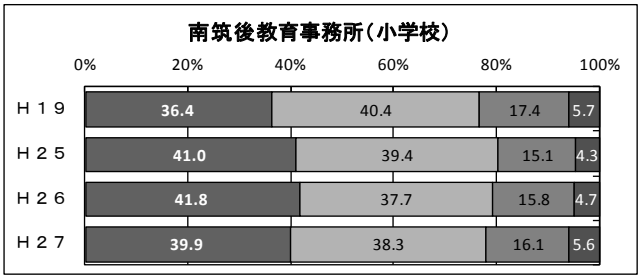

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.3 37.4 23.6 9.5
H25 30.7 38.4 21.7 8.7
H26 32.3 37.5 21.8 8.4
H27 32.1 37.6 21.3 8.9

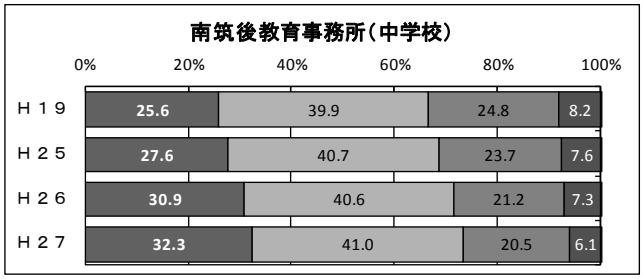

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.1 36.4 18.9 6.6
H25 46.1 35.1 14.1 4.6
H26 43.4 34.3 15.2 7.1
H27 40.4 35.2 16.9 7.3

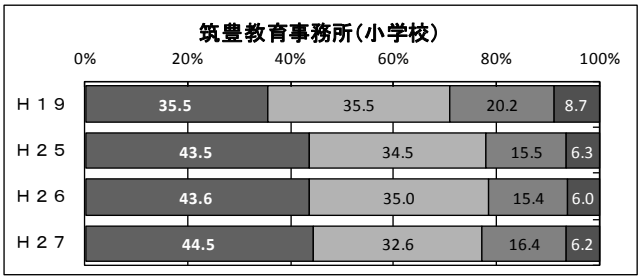

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.3 35.4 26.3 14.4
H25 24.8 36.9 25.5 12.8
H26 31.7 35.8 21.3 11.1
H27 31.6 38.2 22.3 7.8

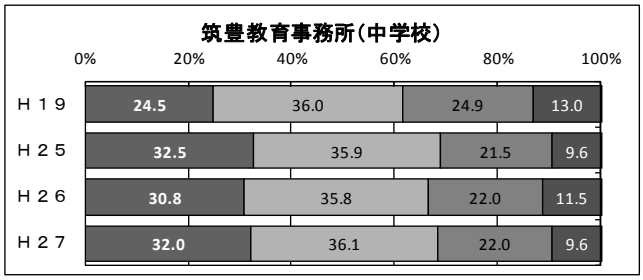

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.0 38.2 16.9 5.7
H25 41.0 37.6 16.4 4.7
H26 43.3 36.4 15.7 4.6
H27 40.8 38.8 15.0 5.3

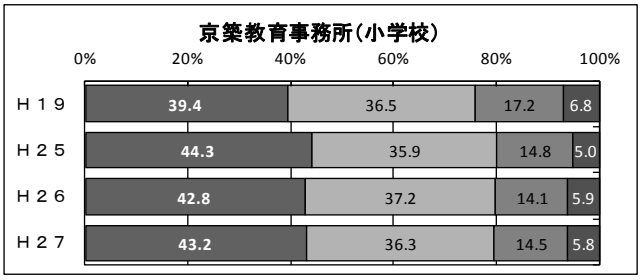

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.0 38.2 23.0 9.9
H25 29.6 41.3 21.3 7.5
H26 32.3 40.2 20.7 6.8
H27 31.3 40.3 20.8 7.3

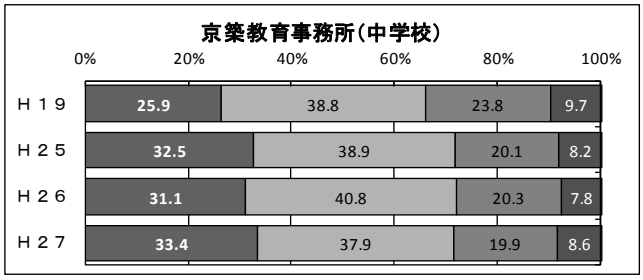

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.4 40.4 17.4 5.7
H25 41.0 39.4 15.1 4.3
H26 41.8 37.7 15.8 4.7
H27 39.9 38.3 16.1 5.6

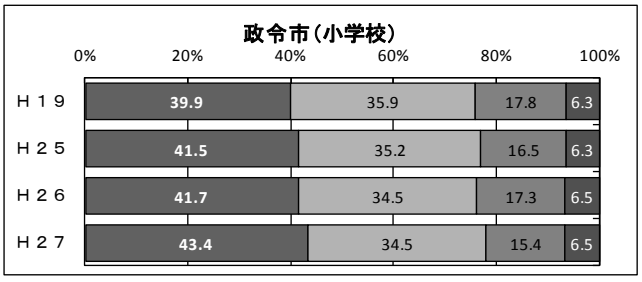

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.6 39.9 24.8 8.2
H25 27.6 40.7 23.7 7.6
H26 30.9 40.6 21.2 7.3
H27 32.3 41.0 20.5 6.1

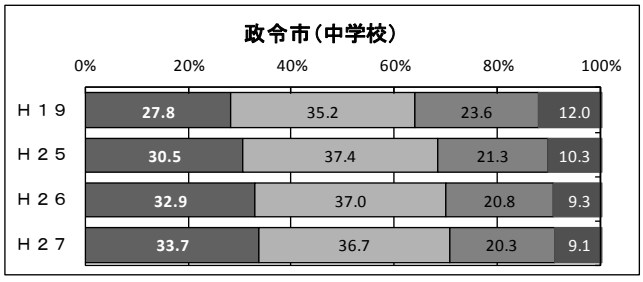

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.5 35.5 20.2 8.7
H25 43.5 34.5 15.5 6.3
H26 43.6 35.0 15.4 6.0
H27 44.5 32.6 16.4 6.2


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.5 36.0 24.9 13.0
H25 32.5 35.9 21.5 9.6
H26 30.8 35.8 22.0 11.5
H27 32.0 36.1 22.0 9.6


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.4 36.5 17.2 6.8
H25 44.3 35.9 14.8 5.0
H26 42.8 37.2 14.1 5.9
H27 43.2 36.3 14.5 5.8


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.9 38.8 23.8 9.7
H25 32.5 38.9 20.1 8.2
H26 31.1 40.8 20.3 7.8
H27 33.4 37.9 19.9 8.6


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.9 35.9 17.8 6.3
H25 41.5 35.2 16.5 6.3
H26 41.7 34.5 17.3 6.5
H27 43.4 34.5 15.4 6.5


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.8 35.2 23.6 12.0
H25 30.5 37.4 21.3 10.3
H26 32.9 37.0 20.8 9.3
H27 33.7 36.7 20.3 9.1

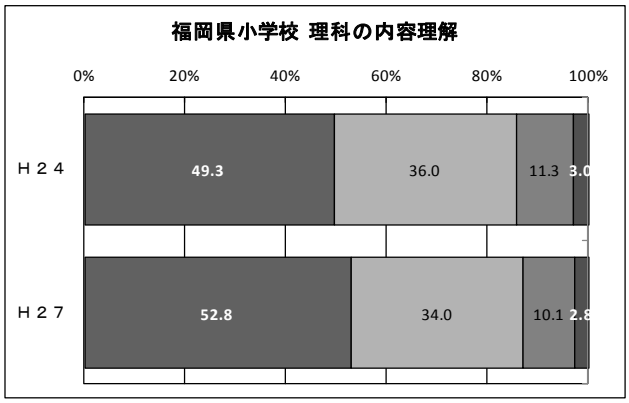
７１	理科の授業の内容はよく分かりますか。

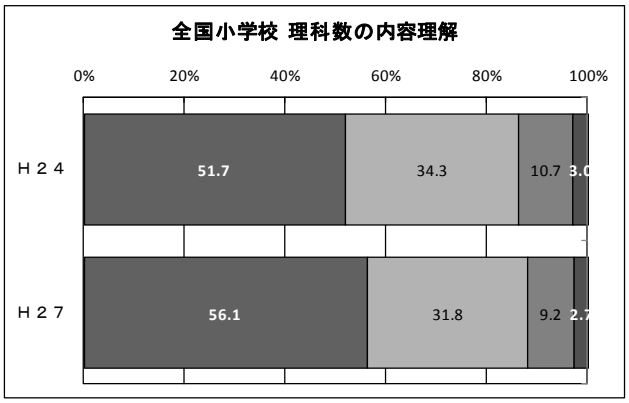
※平成２４年度の理科調査実施に伴い、加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２４年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

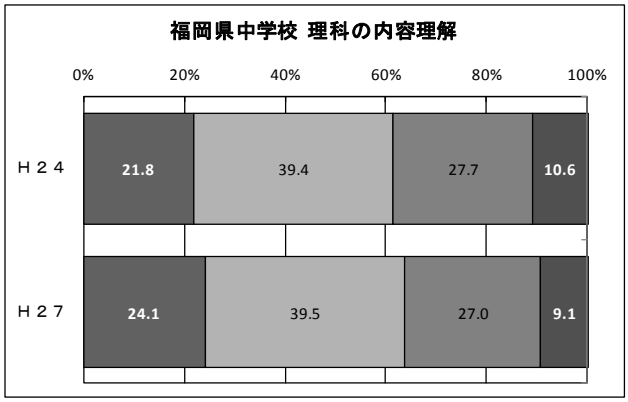
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

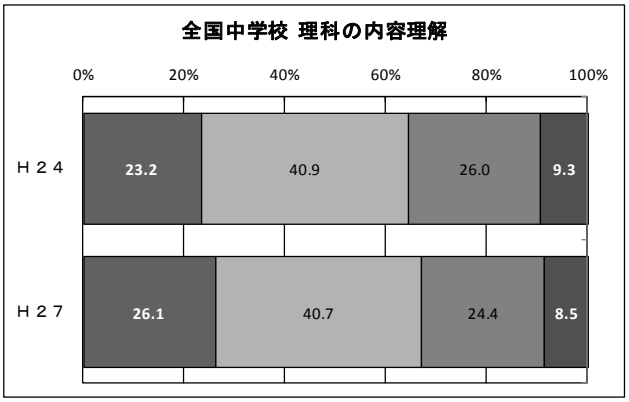
■　小学校回答状況



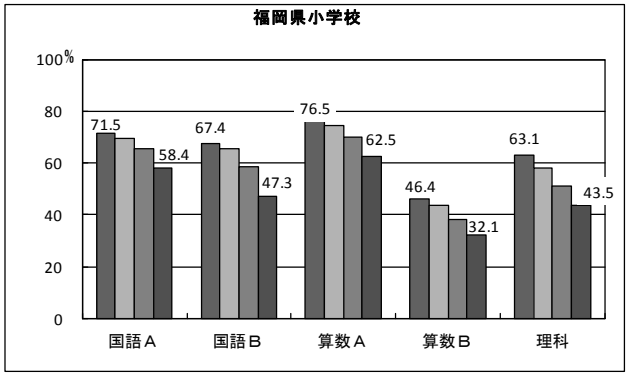


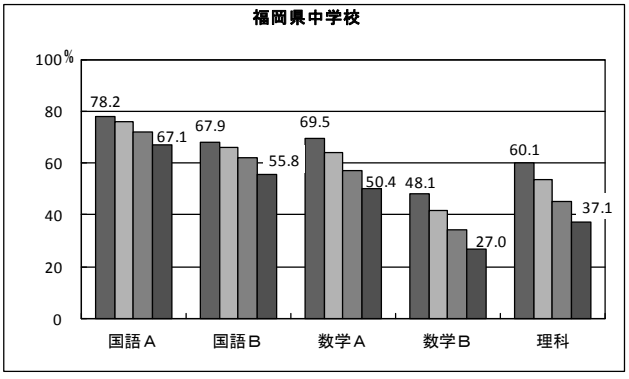
■　中学校回答状況



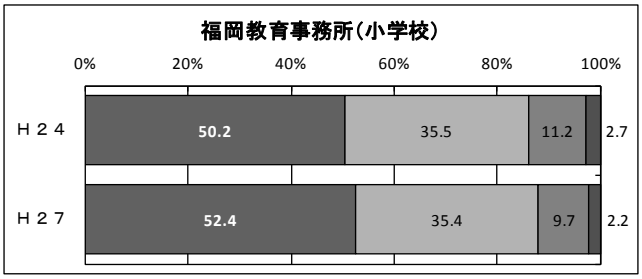


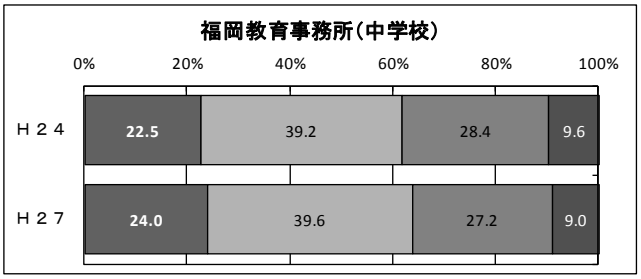
■　教科の正答率との相関関係

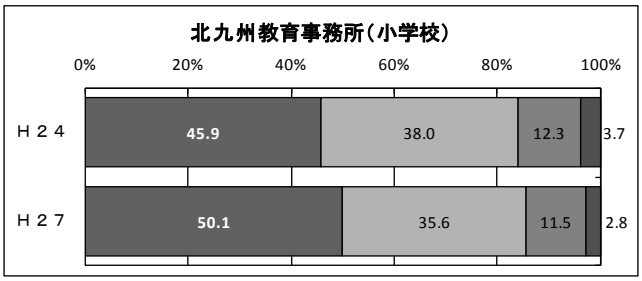


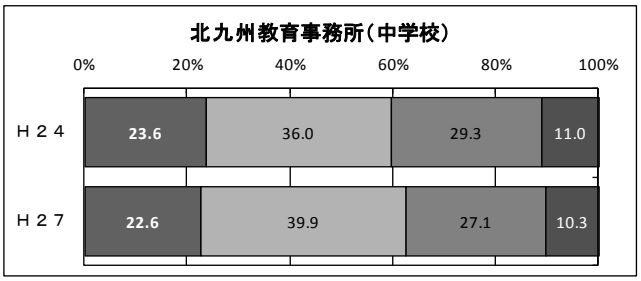


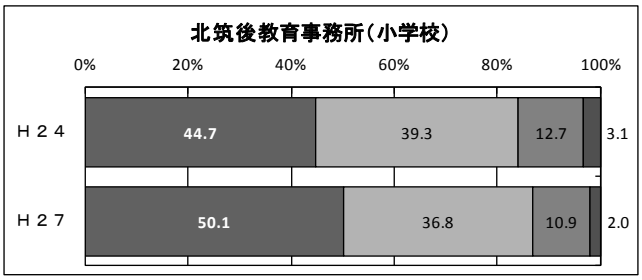
■　地区別回答状況

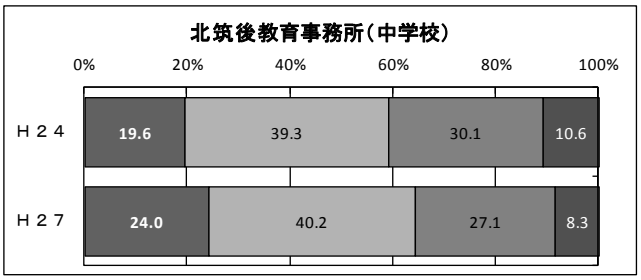

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
50.2
35.5
11.2
2.7
H２７
52.4
35.4
9.7
2.2

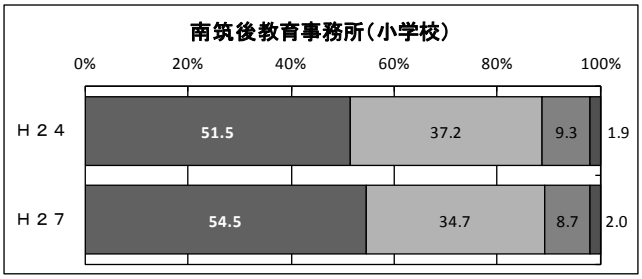

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
22.5
39.2
28.4
9.6
H２７
24.0
39.6
27.2
9.0

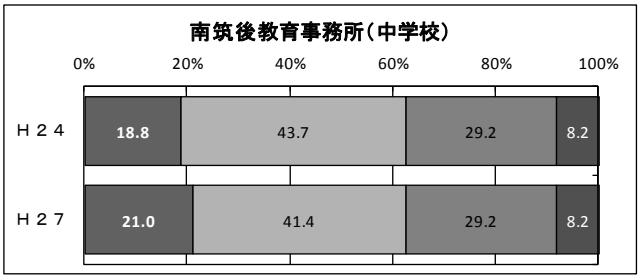

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
45.9
38.0
12.3
3.7
H２７
50.1
35.6
11.5
2.8

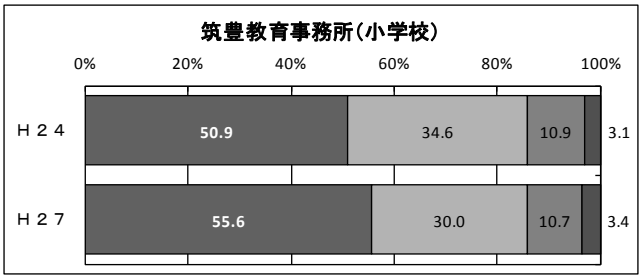

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
23.6
36.0
29.3
11.0
H２７
22.6
39.9
27.1
10.3

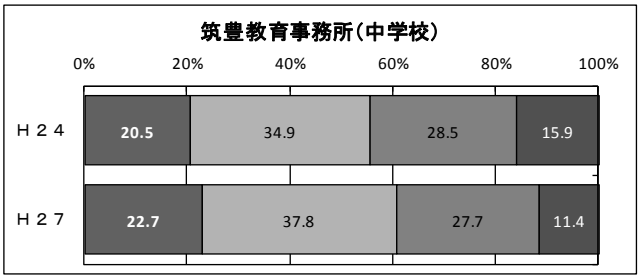

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
44.7
39.3
12.7
3.1
H２７
50.1
36.8
10.9
2.0

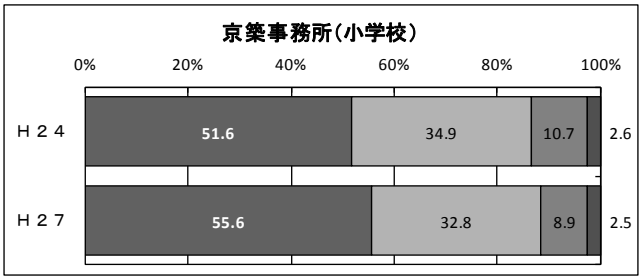

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
19.6
39.3
30.1
10.6
H２７
24.0
40.2
27.1
8.3

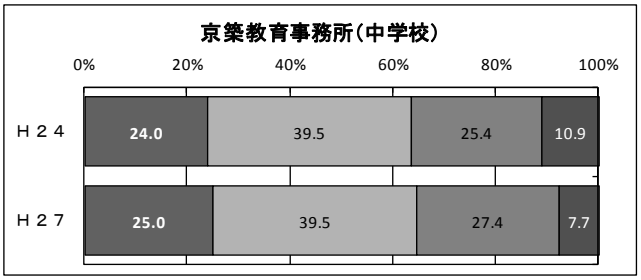

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
51.5
37.2
9.3
1.9
H２７
54.5
34.7
8.7
2.0

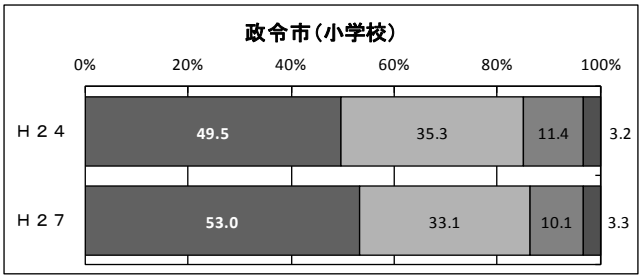

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
18.8
43.7
29.2
8.2
H２７
21.0
41.4
29.2
8.2

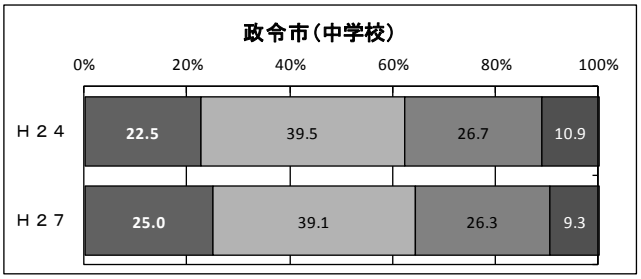

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
50.9
34.6
10.9
3.1
H２７
55.6
30.0
10.7
3.4


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
20.5
34.9
28.5
15.9
H２７
22.7
37.8
27.7
11.4


京築事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
51.6
34.9
10.7
2.6
H２７
55.6
32.8
8.9
2.5


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
24.0
39.5
25.4
10.9
H２７
25.0
39.5
27.4
7.7


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
49.5
35.3
11.4
3.2
H２７
53.0
33.1
10.1
3.3


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２４
22.5
39.5
26.7
10.9
H２７
25.0
39.1
26.3
9.3

３　発表の機会

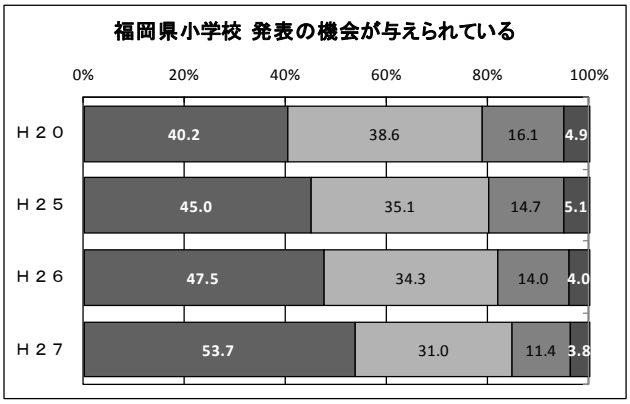
３８	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。

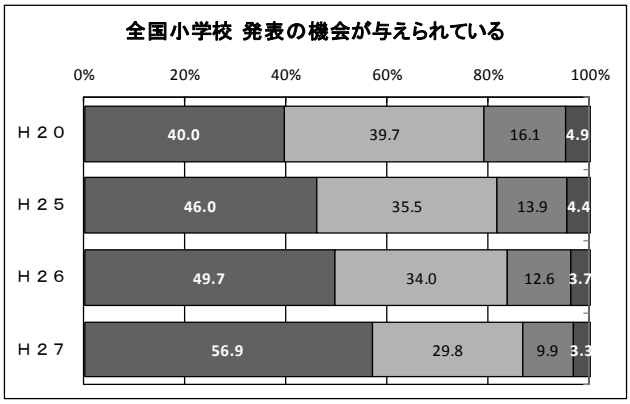
※平成２０年度から加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う」「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思う」といった質問項目においても同様に見られる。

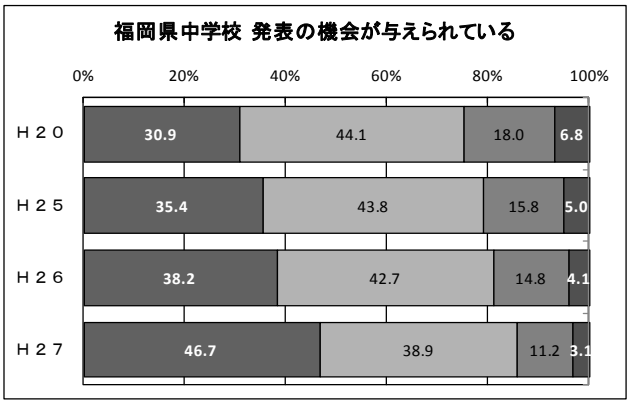
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

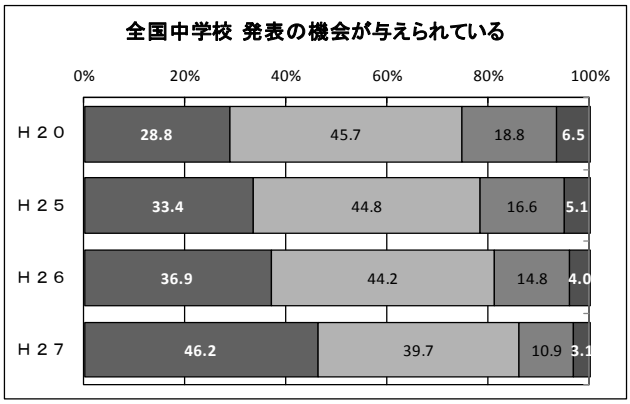
■　小学校回答状況



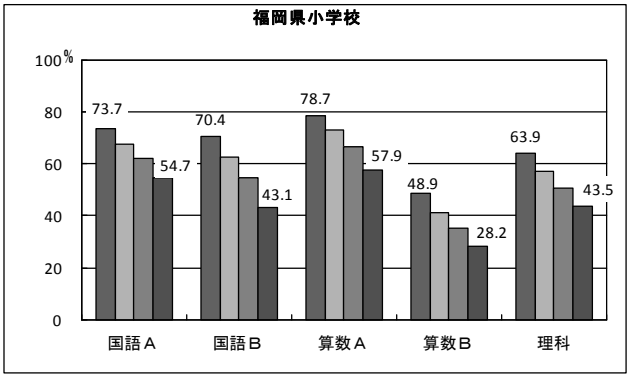


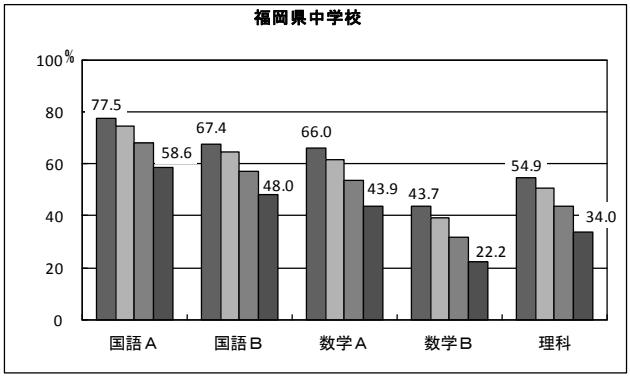
■　中学校回答状況



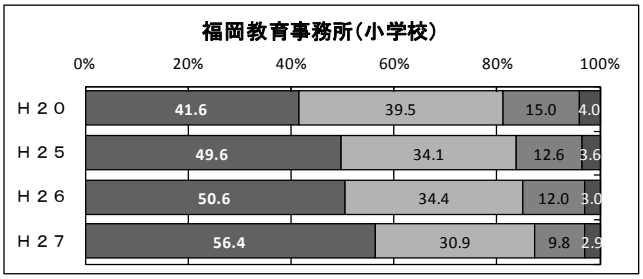


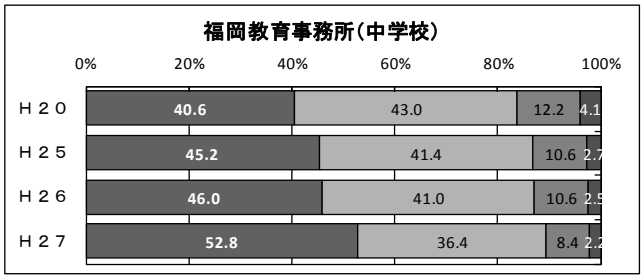
■　教科の正答率との相関関係

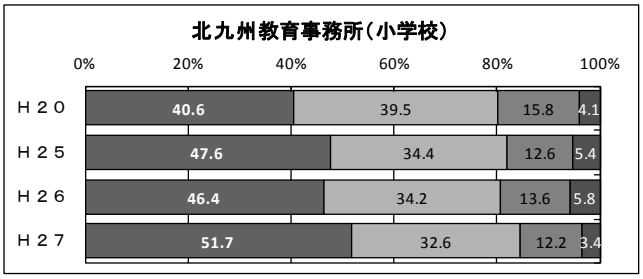


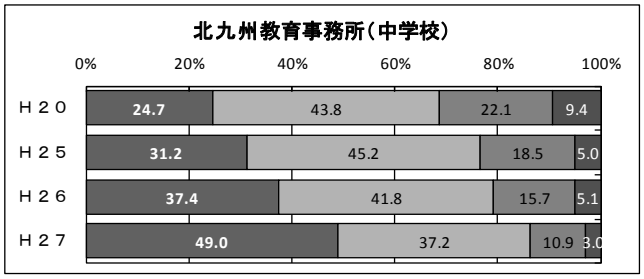


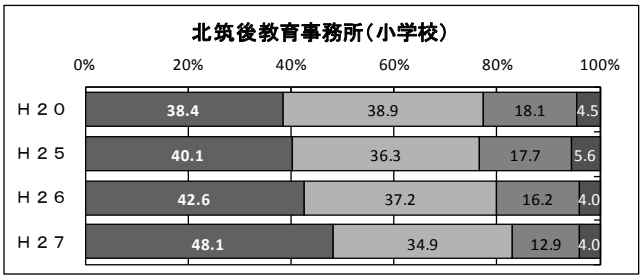
■　地区別回答状況

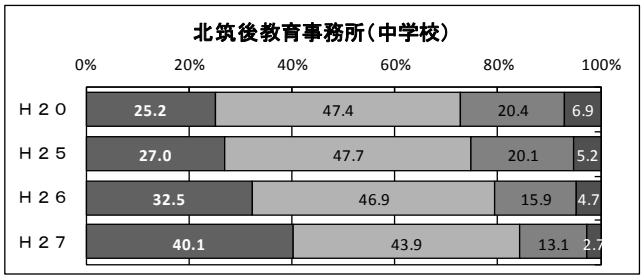

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
41.6
39.5
15.0
4.0
H２５
49.6
34.1
12.6
3.6
H２６
50.6
34.4
12.0
3.0
H２７
56.4
30.9
9.8
2.9

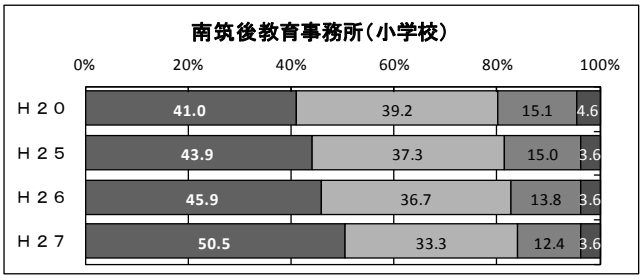

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
40.6
43.0
12.2
4.1
H２５
45.2
41.4
10.6
2.7
H２６
46.0
41.0
10.6
2.5
H２７
52.8
36.4
8.4
2.2

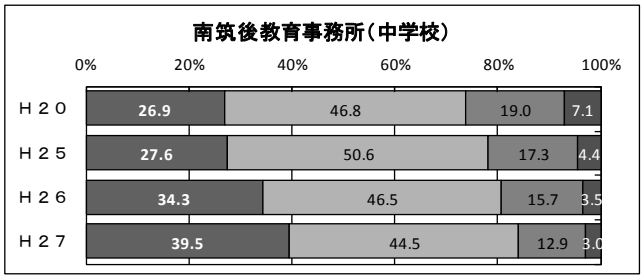

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
40.6
39.5
15.8
4.1
H２５
47.6
34.4
12.6
5.4
H２６
46.4
34.2
13.6
5.8
H２７
51.7
32.6
12.2
3.4

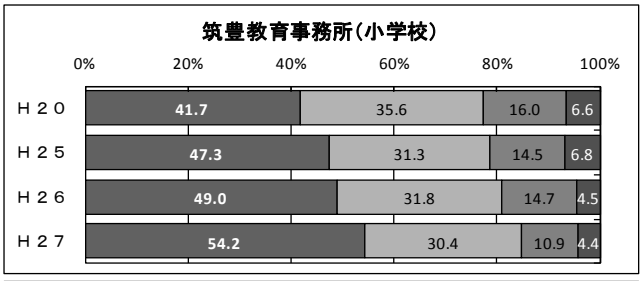

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
24.7
43.8
22.1
9.4
H２５
31.2
45.2
18.5
5.0
H２６
37.4
41.8
15.7
5.1
H２７
49.0
37.2
10.9
3.0

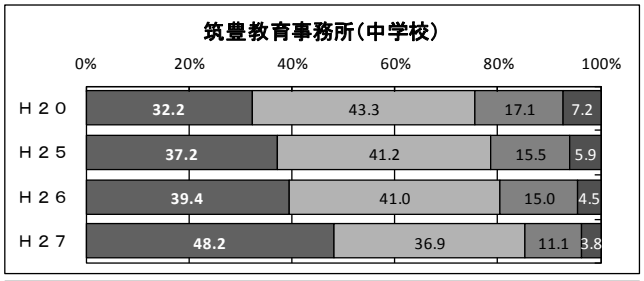

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
38.4
38.9
18.1
4.5
H２５
40.1
36.3
17.7
5.6
H２６
42.6
37.2
16.2
4.0
H２７
48.1
34.9
12.9
4.0

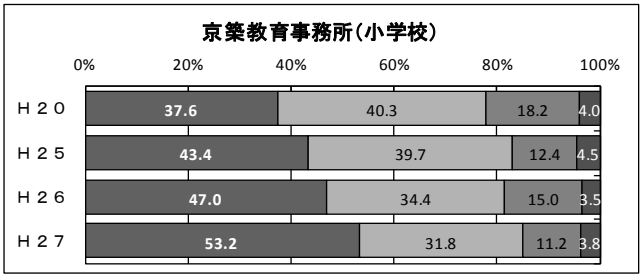

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
25.2
47.4
20.4
6.9
H２５
27.0
47.7
20.1
5.2
H２６
32.5
46.9
15.9
4.7
H２７
40.1
43.9
13.1
2.7

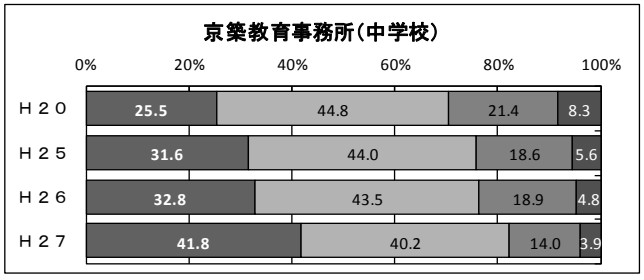

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
41.0
39.2
15.1
4.6
H２５
43.9
37.3
15.0
3.6
H２６
45.9
36.7
13.8
3.6
H２７
50.5
33.3
12.4
3.6

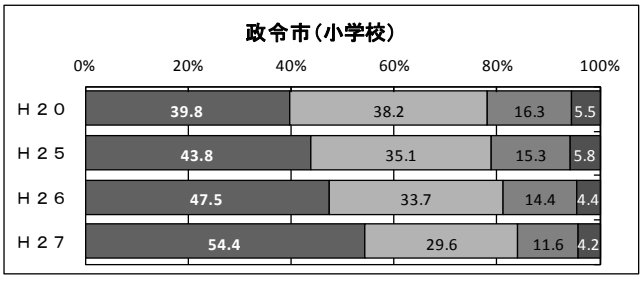

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
26.9
46.8
19.0
7.1
H２５
27.6
50.6
17.3
4.4
H２６
34.3
46.5
15.7
3.5
H２７
39.5
44.5
12.9
3.0

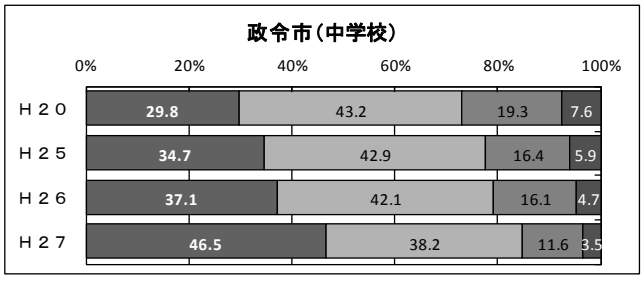

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
41.7
35.6
16.0
6.6
H２５
47.3
31.3
14.5
6.8
H２６
49.0
31.8
14.7
4.5
H２７
54.2
30.4
10.9
4.4


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
32.2
43.3
17.1
7.2
H２５
37.2
41.2
15.5
5.9
H２６
39.4
41.0
15.0
4.5
H２７
48.2
36.9
11.1
3.8


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
37.6
40.3
18.2
4.0
H２５
43.4
39.7
12.4
4.5
H２６
47.0
34.4
15.0
3.5
H２７
53.2
31.8
11.2
3.8


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
25.5
44.8
21.4
8.3
H２５
31.6
44.0
18.6
5.6
H２６
32.8
43.5
18.9
4.8
H２７
41.8
40.2
14.0
3.9


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
39.8
38.2
16.3
5.5
H２５
43.8
35.1
15.3
5.8
H２６
47.5
33.7
14.4
4.4
H２７
54.4
29.6
11.6
4.2


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２０
29.8
43.2
19.3
7.6
H２５
34.7
42.9
16.4
5.9
H２６
37.1
42.1
16.1
4.7
H２７
46.5
38.2
11.6
3.5

４　家庭学習

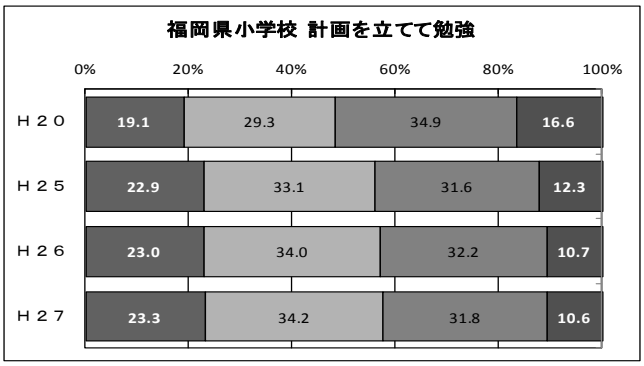
２０	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

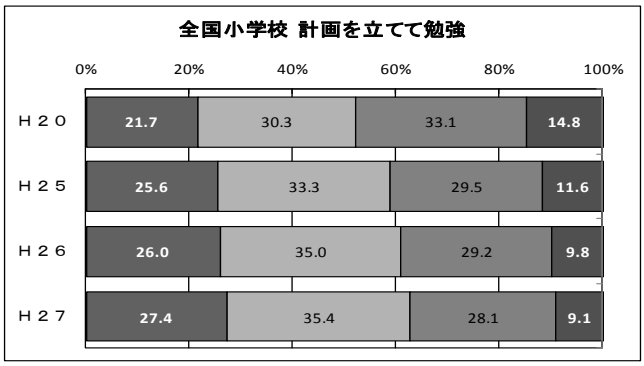
※平成２０年度から加えられた質問

○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに増加している。
○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「家で、学校の宿題をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」といった質問項目においても同様に見られる。

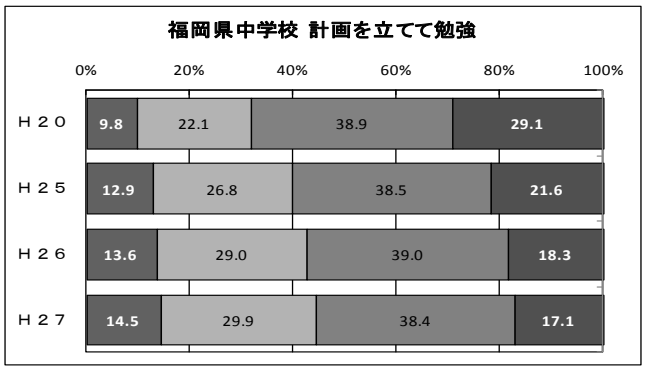
■している　■どちらかといえば　■あまり　■していない

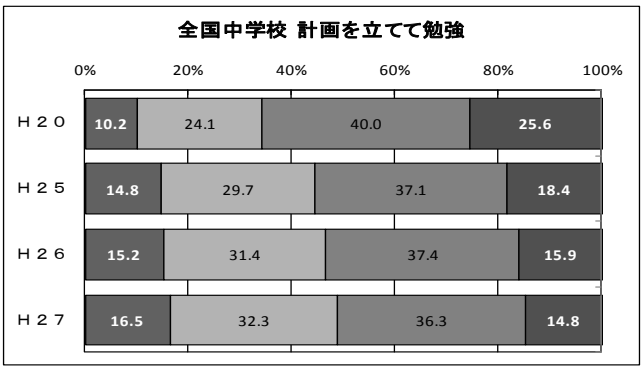
■　小学校回答状況



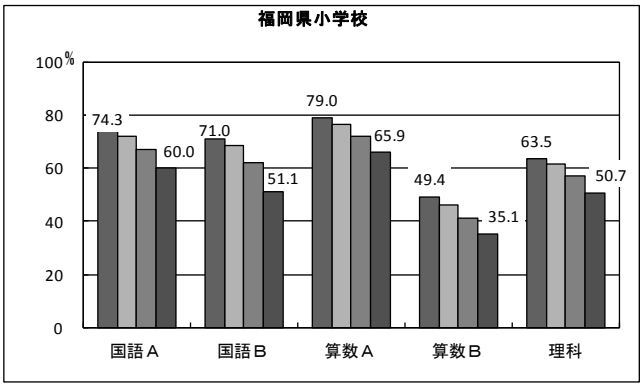


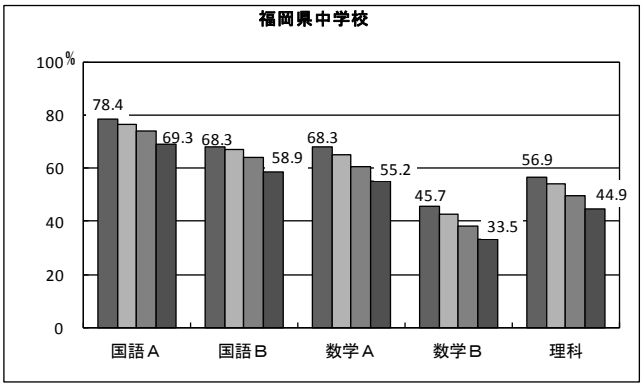
■　中学校回答状況



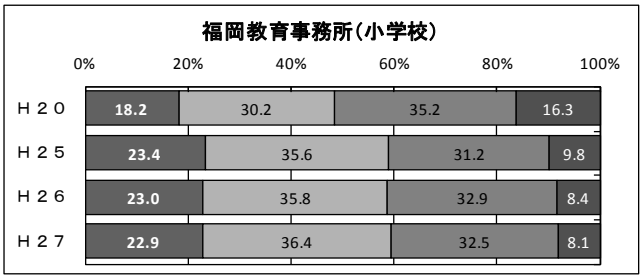


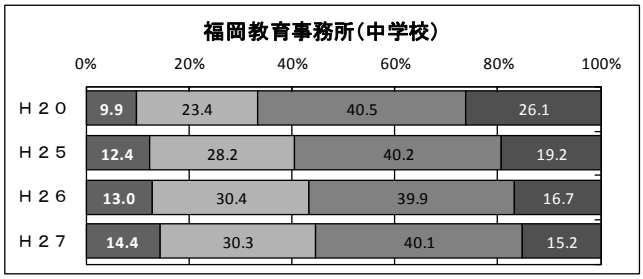
■　教科の正答率との相関関係

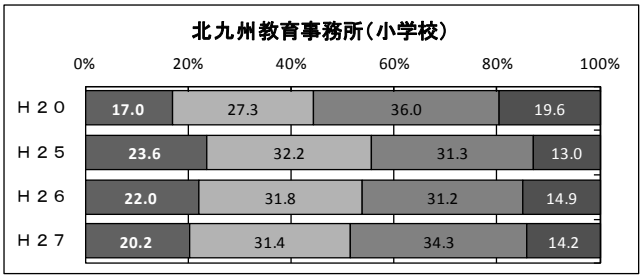


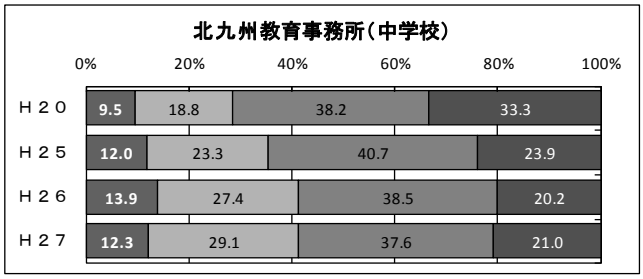


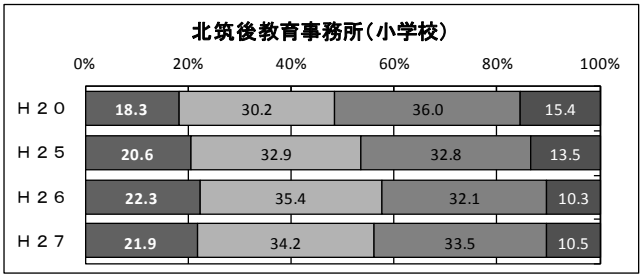
■　地区別回答状況

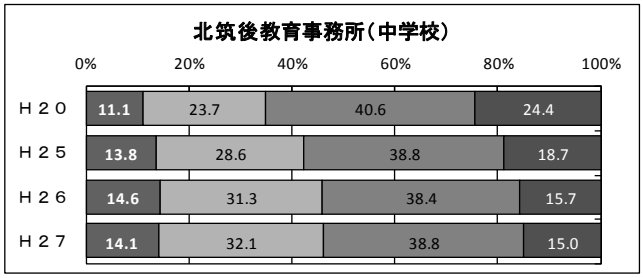

福岡教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 18.2 30.2 35.2 16.3
H２５ 23.4 35.6 31.2 9.8
H２６ 23.0 35.8 32.9 8.4
H２７ 22.9 36.4 32.5 8.1

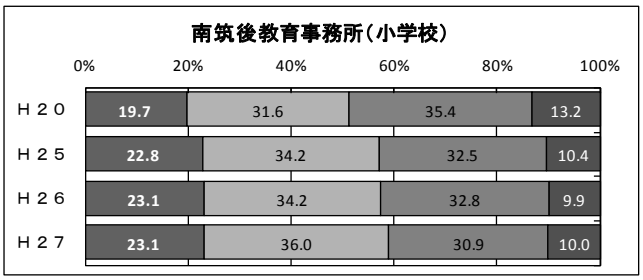

福岡教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 9.9 23.4 40.5 26.1
H２５ 12.4 28.2 40.2 19.2
H２６ 13.0 30.4 39.9 16.7
H２７ 14.4 30.3 40.1 15.2

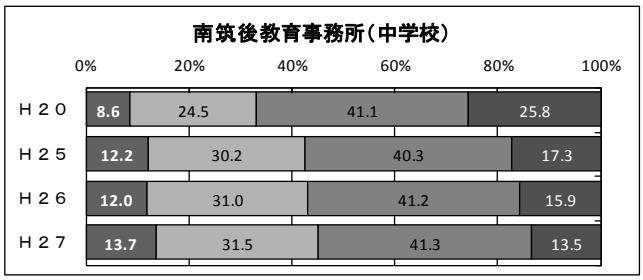

北九州教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 17.0 27.3 36.0 19.6
H２５ 23.6 32.2 31.3 13.0
H２６ 22.0 31.8 31.2 14.9
H２７ 20.2 31.4 34.3 14.2

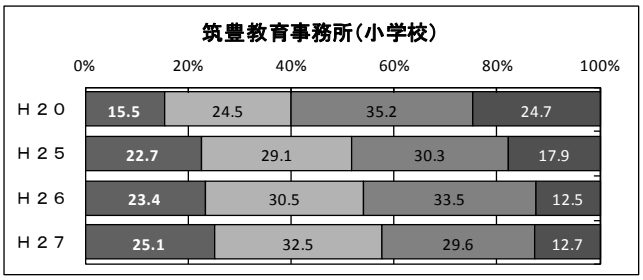

北九州教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 9.5 18.8 38.2 33.3
H２５ 12.0 23.3 40.7 23.9
H２６ 13.9 27.4 38.5 20.2
H２７ 12.3 29.1 37.6 21.0

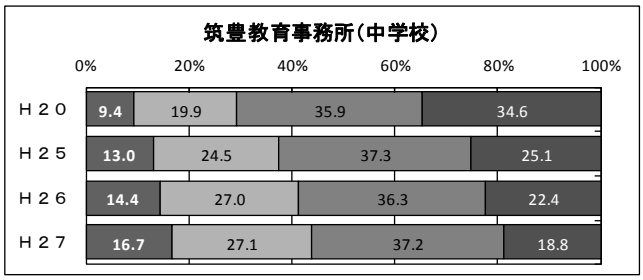

北筑後教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 18.3 30.2 36.0 15.4
H２５ 20.6 32.9 32.8 13.5
H２６ 22.3 35.4 32.1 10.3
H２７ 21.9 34.2 33.5 10.5

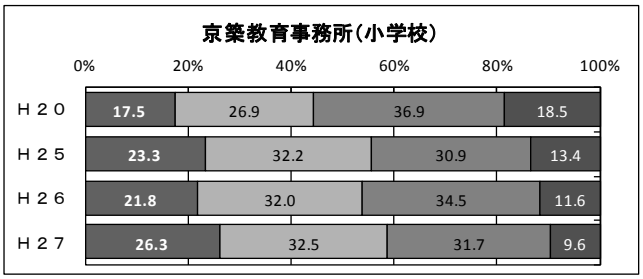

北筑後教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 11.1 23.7 40.6 24.4
H２５ 13.8 28.6 38.8 18.7
H２６ 14.6 31.3 38.4 15.7
H２７ 14.1 32.1 38.8 15.0

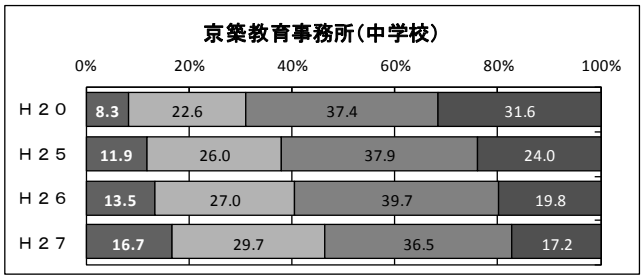

南筑後教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 19.7 31.6 35.4 13.2
H２５ 22.8 34.2 32.5 10.4
H２６ 23.1 34.2 32.8 9.9
H２７ 23.1 36.0 30.9 10.0

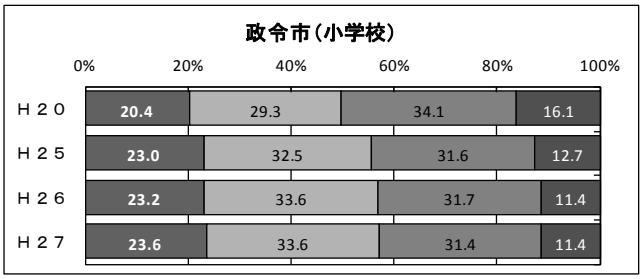

南筑後教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 8.6 24.5 41.1 25.8
H２５ 12.2 30.2 40.3 17.3
H２６ 12.0 31.0 41.2 15.9
H２７ 13.7 31.5 41.3 13.5

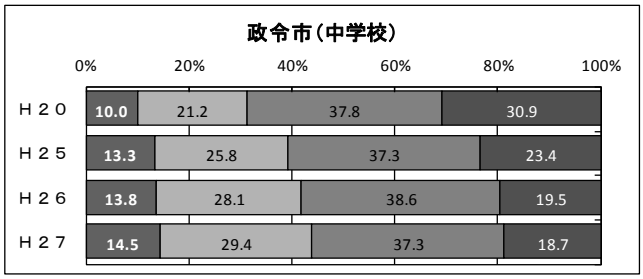

筑豊教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 15.5 24.5 35.2 24.7
H２５ 22.7 29.1 30.3 17.9
H２６ 23.4 30.5 33.5 12.5
H２７ 25.1 32.5 29.6 12.7


筑豊教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 9.4 19.9 35.9 34.6
H２５ 13.0 24.5 37.3 25.1
H２６ 14.4 27.0 36.3 22.4
H２７ 16.7 27.1 37.2 18.8


京築教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 17.5 26.9 36.9 18.5
H２５ 23.3 32.2 30.9 13.4
H２６ 21.8 32.0 34.5 11.6
H２７ 26.3 32.5 31.7 9.6


京築教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 8.3 22.6 37.4 31.6
H２５ 11.9 26.0 37.9 24.0
H２６ 13.5 27.0 39.7 19.8
H２７ 16.7 29.7 36.5 17.2


政令市（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 20.4 29.3 34.1 16.1
H２５ 23.0 32.5 31.6 12.7
H２６ 23.2 33.6 31.7 11.4
H２７ 23.6 33.6 31.4 11.4

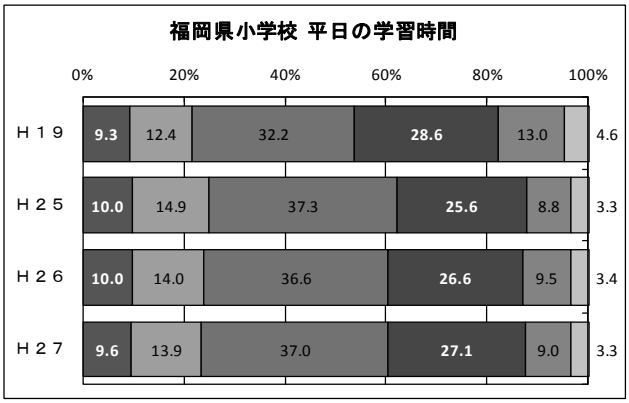

政令市（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 10.0 21.2 37.8 30.9
H２５ 13.3 25.8 37.3 23.4
H２６ 13.8 28.1 38.6 19.5
H２７ 14.5 29.4 37.3 18.7

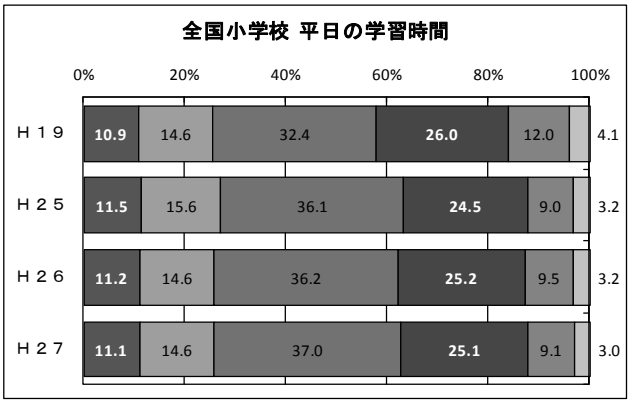
１３	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師も含む）。

○　平日に家庭学習を小学校１時間以上、中学校２時間以上する児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校はほぼ変化がなく、中学校は増加している。
○　平日の家庭学習の時間が多い児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「休みの日の勉強時間」の質問項目においても同様に見られる。

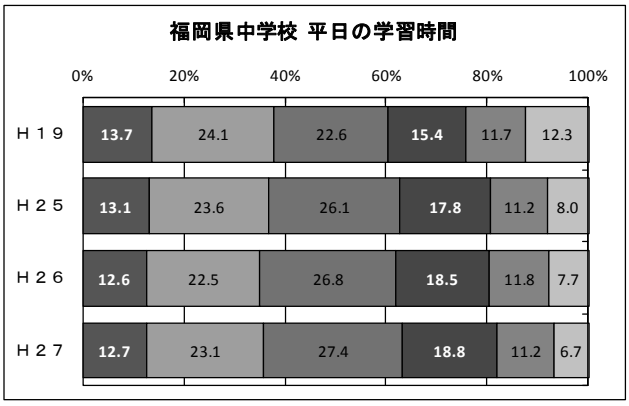
■3時間以上 ■2時間以上 ■1時間以上 ■30分以上 ■30分未満 ■全く

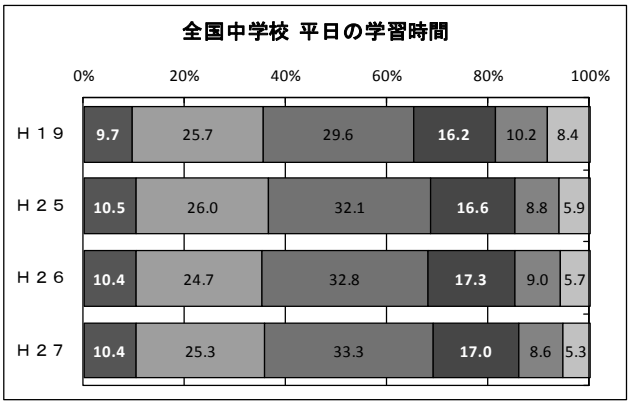
■　小学校回答状況



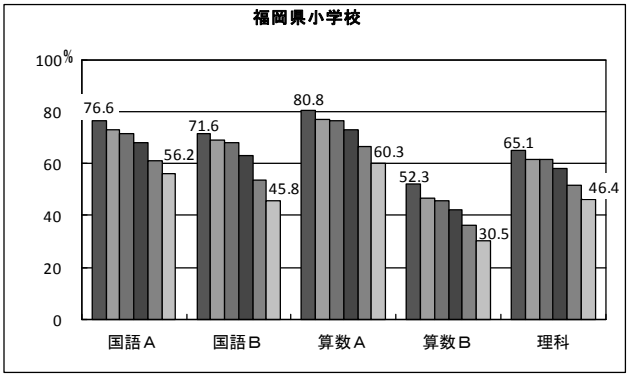


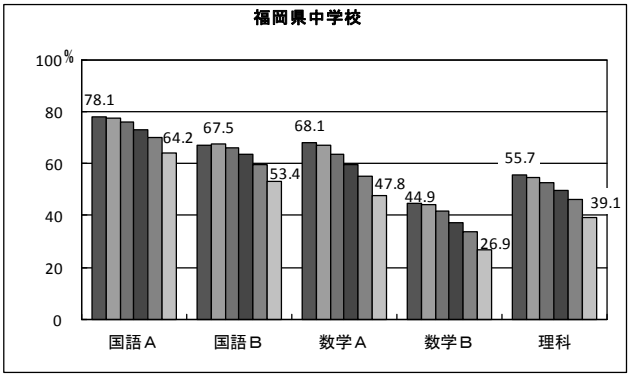
■　中学校回答状況



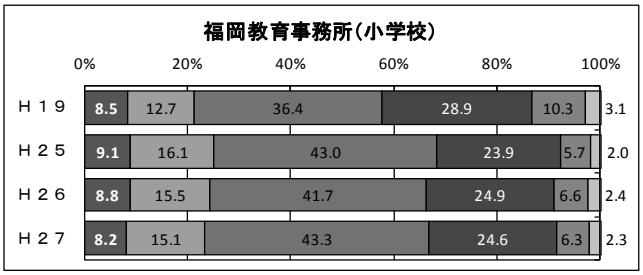


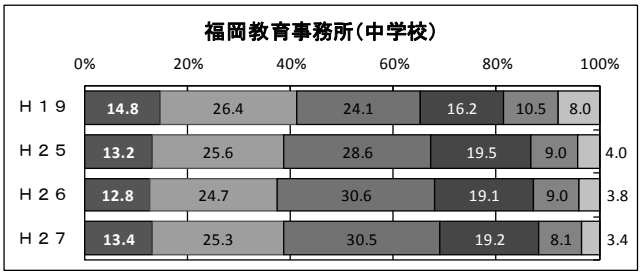
■　教科の正答率との相関関係

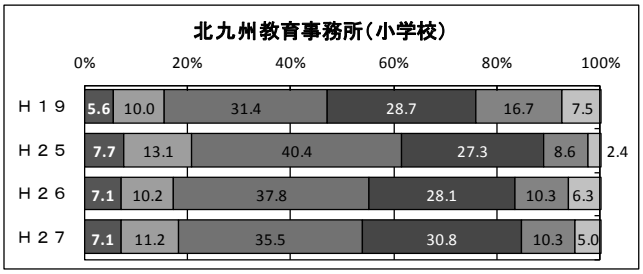


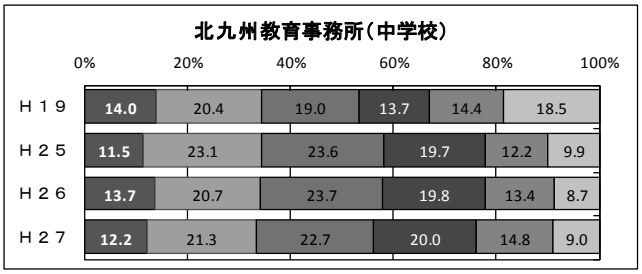


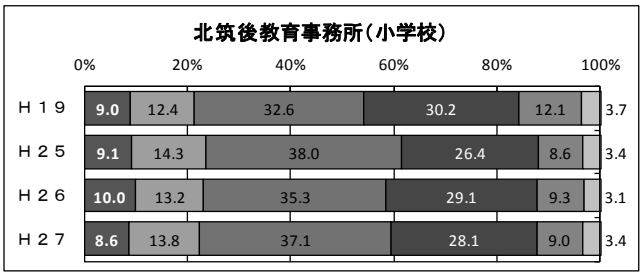
■　地区別回答状況

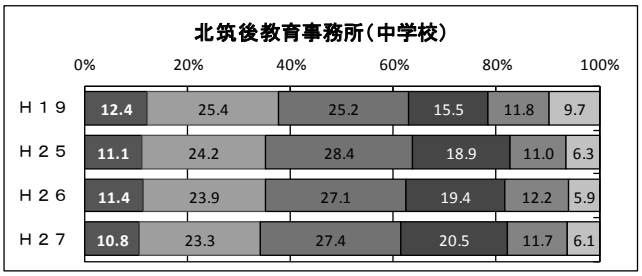

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 8.5 12.7 36.4 28.9 10.3 3.1
H２５ 9.1 16.1 43.0 23.9 5.7 2.0
H２６ 8.8 15.5 41.7 24.9 6.6 2.4
H２７ 8.2 15.1 43.3 24.6 6.3 2.3

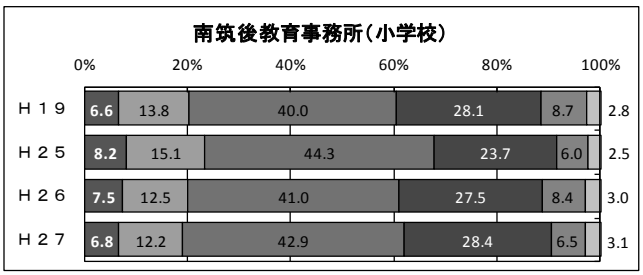

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 14.8 26.4 24.1 16.2 10.5 8.0
H２５ 13.2 25.6 28.6 19.5 9.0 4.0
H２６ 12.8 24.7 30.6 19.1 9.0 3.8
H２７ 13.4 25.3 30.5 19.2 8.1 3.4

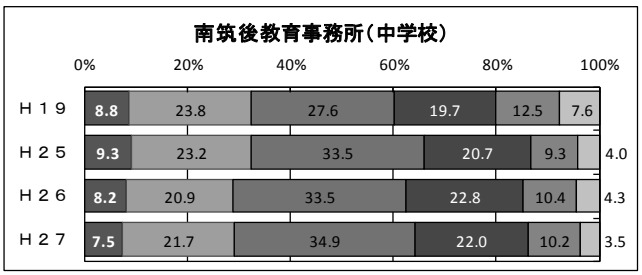

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 5.6 10.0 31.4 28.7 16.7 7.5
H２５ 7.7 13.1 40.4 27.3 8.6 2.4
H２６ 7.1 10.2 37.8 28.1 10.3 6.3
H２７ 7.1 11.2 35.5 30.8 10.3 5.0

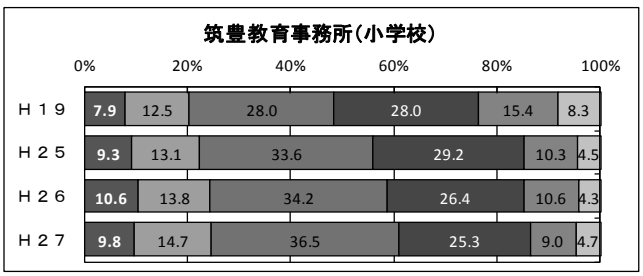

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 14.0 20.4 19.0 13.7 14.4 18.5
H２５ 11.5 23.1 23.6 19.7 12.2 9.9
H２６ 13.7 20.7 23.7 19.8 13.4 8.7
H２７ 12.2 21.3 22.7 20.0 14.8 9.0

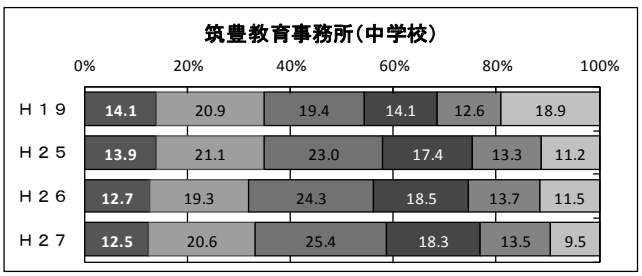

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 9.0 12.4 32.6 30.2 12.1 3.7
H２５ 9.1 14.3 38.0 26.4 8.6 3.4
H２６ 10.0 13.2 35.3 29.1 9.3 3.1
H２７ 8.6 13.8 37.1 28.1 9.0 3.4

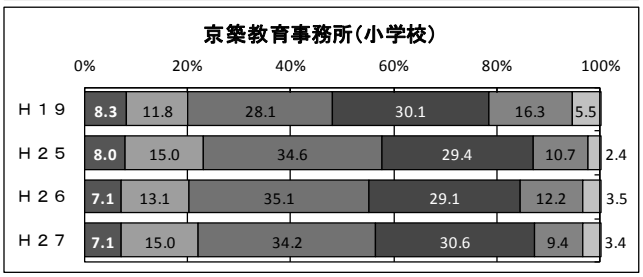

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 12.4 25.4 25.2 15.5 11.8 9.7
H２５ 11.1 24.2 28.4 18.9 11.0 6.3
H２６ 11.4 23.9 27.1 19.4 12.2 5.9
H２７ 10.8 23.3 27.4 20.5 11.7 6.1

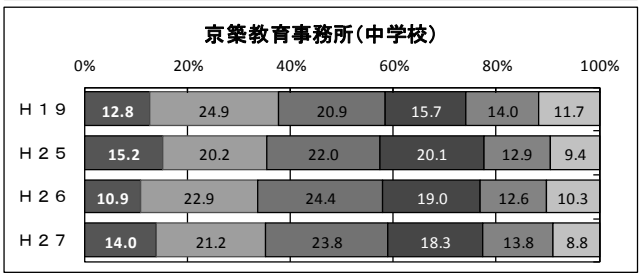

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 6.6 13.8 40.0 28.1 8.7 2.8
H２５ 8.2 15.1 44.3 23.7 6.0 2.5
H２６ 7.5 12.5 41.0 27.5 8.4 3.0
H２７ 6.8 12.2 42.9 28.4 6.5 3.1

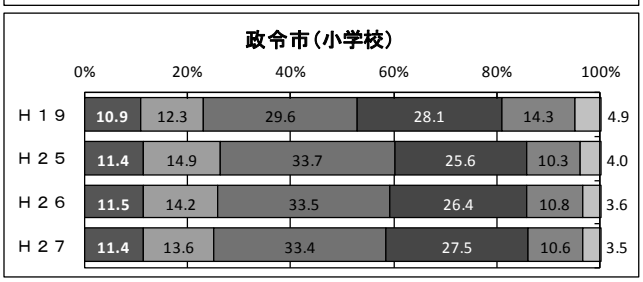

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 8.8 23.8 27.6 19.7 12.5 7.6
H２５ 9.3 23.2 33.5 20.7 9.3 4.0
H２６ 8.2 20.9 33.5 22.8 10.4 4.3
H２７ 7.5 21.7 34.9 22.0 10.2 3.5

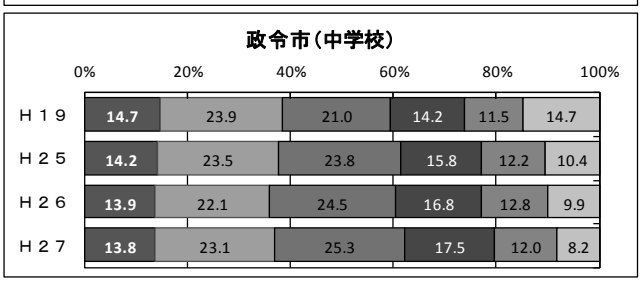

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 7.9 12.5 28.0 28.0 15.4 8.3
H２５ 9.3 13.1 33.6 29.2 10.3 4.5
H２６ 10.6 13.8 34.2 26.4 10.6 4.3
H２７ 9.8 14.7 36.5 25.3 9.0 4.7


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 14.1 20.9 19.4 14.1 12.6 18.9
H２５ 13.9 21.1 23.0 17.4 13.3 11.2
H２６ 12.7 19.3 24.3 18.5 13.7 11.5
H２７ 12.5 20.6 25.4 18.3 13.5 9.5


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 8.3 11.8 28.1 30.1 16.3 5.5
H２５ 8.0 15.0 34.6 29.4 10.7 2.4
H２６ 7.1 13.1 35.1 29.1 12.2 3.5
H２７ 7.1 15.0 34.2 30.6 9.4 3.4


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 12.8 24.9 20.9 15.7 14.0 11.7
H２５ 15.2 20.2 22.0 20.1 12.9 9.4
H２６ 10.9 22.9 24.4 19.0 12.6 10.3
H２７ 14.0 21.2 23.8 18.3 13.8 8.8


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 10.9 12.3 29.6 28.1 14.3 4.9
H２５ 11.4 14.9 33.7 25.6 10.3 4.0
H２６ 11.5 14.2 33.5 26.4 10.8 3.6
H２７ 11.4 13.6 33.4 27.5 10.6 3.5


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H１９ 14.7 23.9 21.0 14.2 11.5 14.7
H２５ 14.2 23.5 23.8 15.8 12.2 10.4
H２６ 13.9 22.1 24.5 16.8 12.8 9.9
H２７ 13.8 23.1 25.3 17.5 12.0 8.2

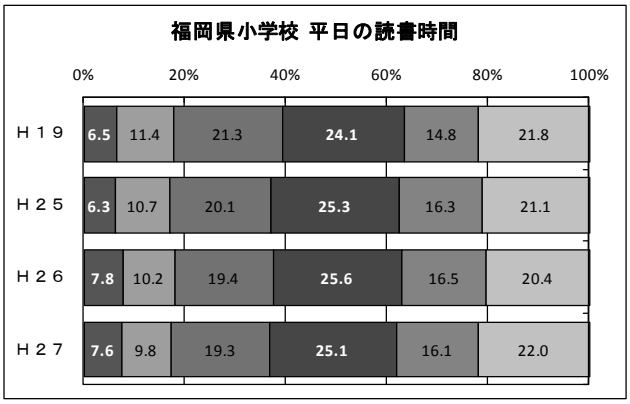
５　読書

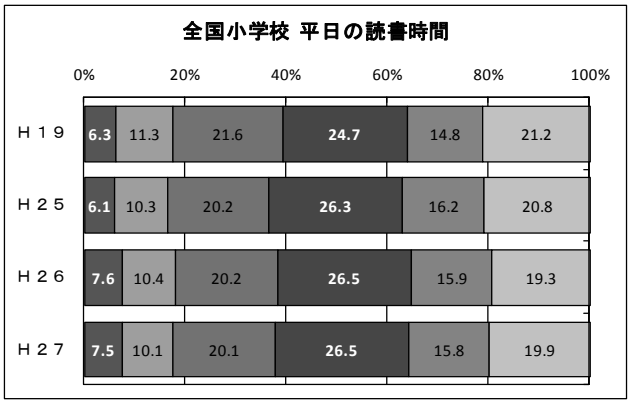
１６	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

○　３０分以上読書をしていると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　全く読書をしないと回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において低い傾向にある。

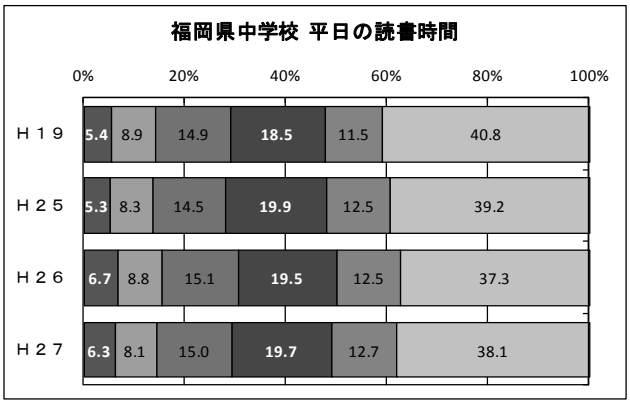
■2時間以上 ■1時間以上 ■３０分以上 ■１０分以上 ■１０分未満 ■全く

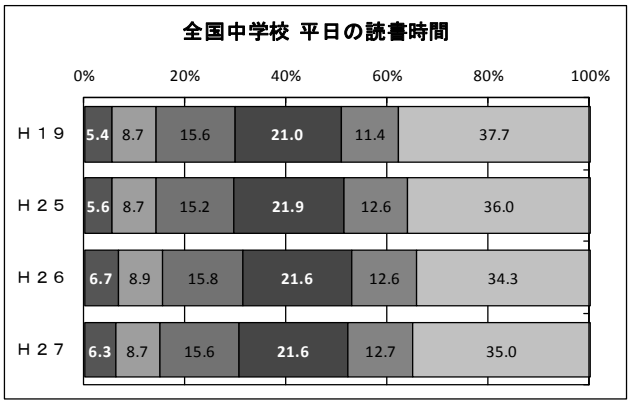
■　小学校回答状況



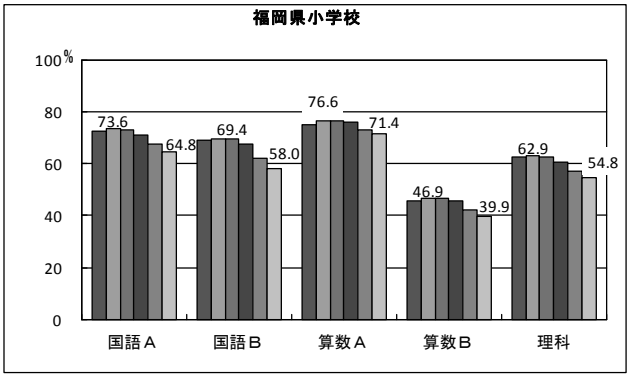


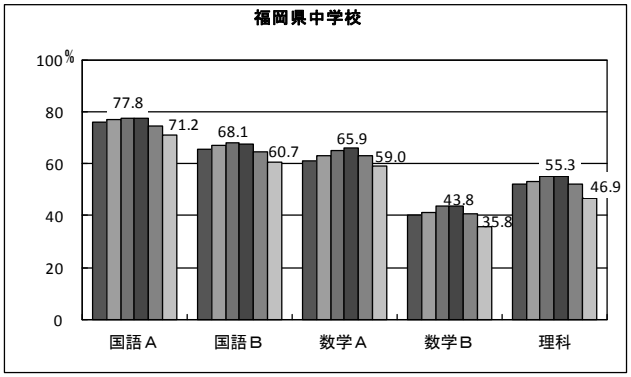
■　中学校回答状況



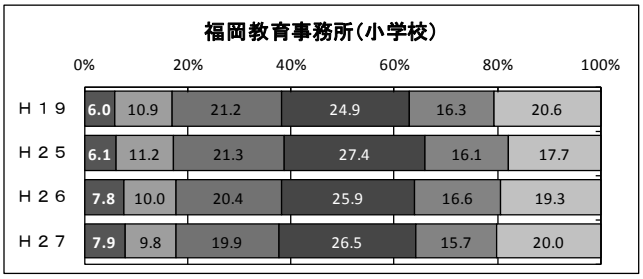


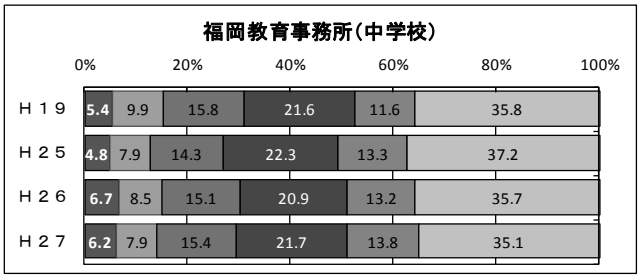
■　教科の正答率との相関関係

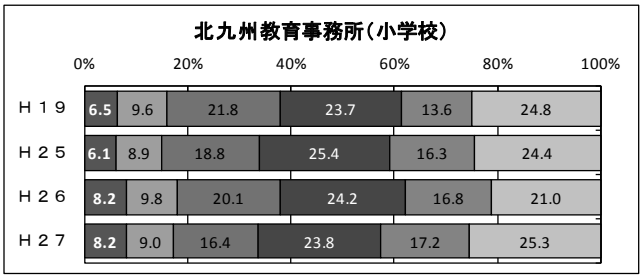


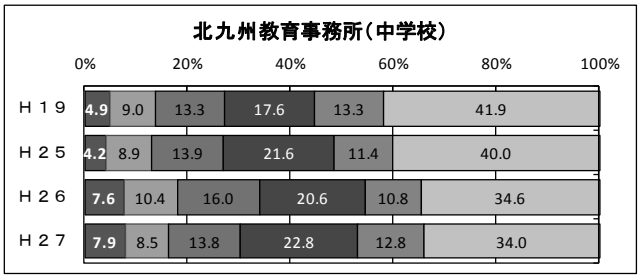


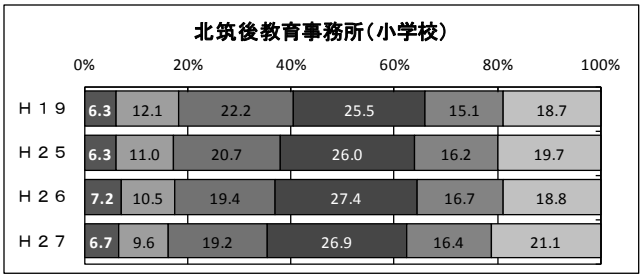
■　地区別回答状況

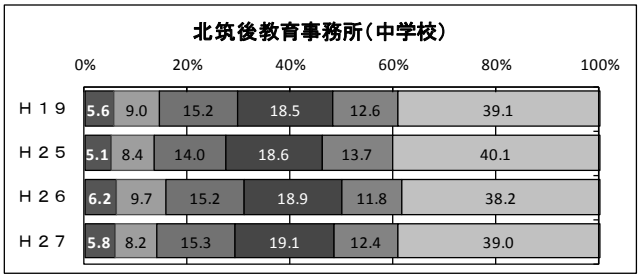

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.0 10.9 21.2 24.9 16.3 20.6
H25 6.1 11.2 21.3 27.4 16.1 17.7
H26 7.8 10.0 20.4 25.9 16.6 19.3
H27 7.9 9.8 19.9 26.5 15.7 20.0

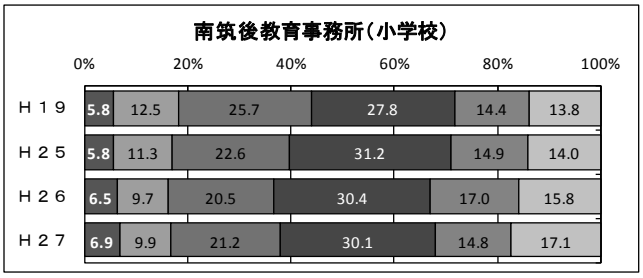

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.4 9.9 15.8 21.6 11.6 35.8
H25 4.8 7.9 14.3 22.3 13.3 37.2
H26 6.7 8.5 15.1 20.9 13.2 35.7
H27 6.2 7.9 15.4 21.7 13.8 35.1

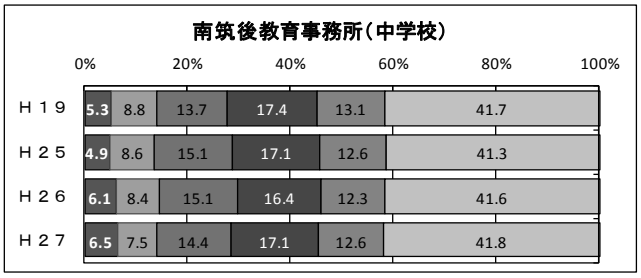

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.5 9.6 21.8 23.7 13.6 24.8
H25 6.1 8.9 18.8 25.4 16.3 24.4
H26 8.2 9.8 20.1 24.2 16.8 21.0
H27 8.2 9.0 16.4 23.8 17.2 25.3

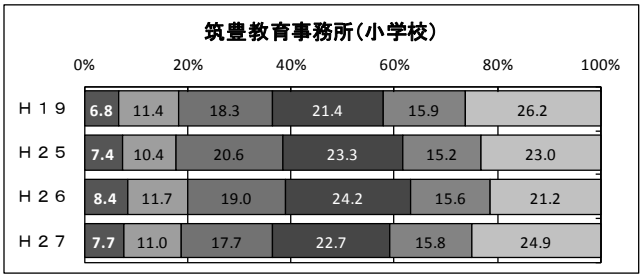

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 4.9 9.0 13.3 17.6 13.3 41.9
H25 4.2 8.9 13.9 21.6 11.4 40.0
H26 7.6 10.4 16.0 20.6 10.8 34.6
H27 7.9 8.5 13.8 22.8 12.8 34.0

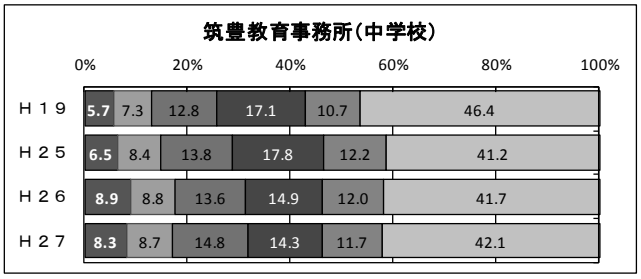

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.3 12.1 22.2 25.5 15.1 18.7
H25 6.3 11.0 20.7 26.0 16.2 19.7
H26 7.2 10.5 19.4 27.4 16.7 18.8
H27 6.7 9.6 19.2 26.9 16.4 21.1

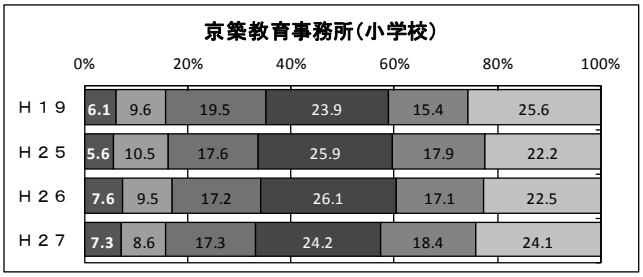

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.6 9.0 15.2 18.5 12.6 39.1
H25 5.1 8.4 14.0 18.6 13.7 40.1
H26 6.2 9.7 15.2 18.9 11.8 38.2
H27 5.8 8.2 15.3 19.1 12.4 39.0

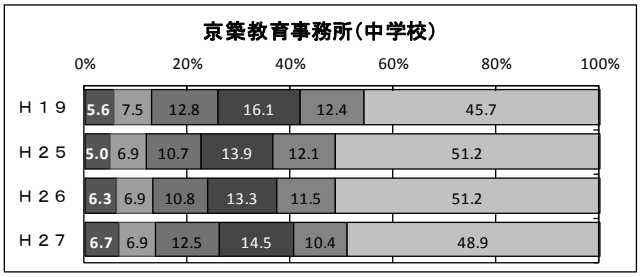

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.8 12.5 25.7 27.8 14.4 13.8
H25 5.8 11.3 22.6 31.2 14.9 14.0
H26 6.5 9.7 20.5 30.4 17.0 15.8
H27 6.9 9.9 21.2 30.1 14.8 17.1

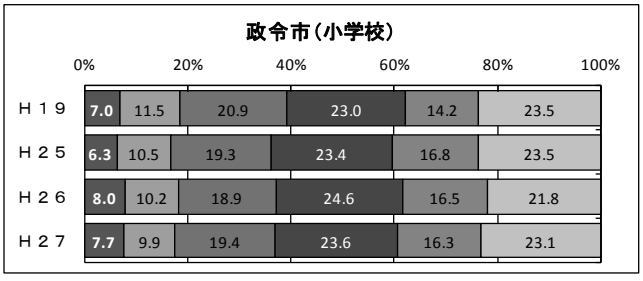

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.3 8.8 13.7 17.4 13.1 41.7
H25 4.9 8.6 15.1 17.1 12.6 41.3
H26 6.1 8.4 15.1 16.4 12.3 41.6
H27 6.5 7.5 14.4 17.1 12.6 41.8

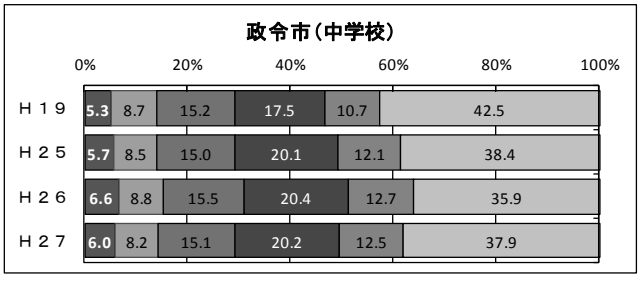

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.8 11.4 18.3 21.4 15.9 26.2
H25 7.4 10.4 20.6 23.3 15.2 23.0
H26 8.4 11.7 19.0 24.2 15.6 21.2
H27 7.7 11.0 17.7 22.7 15.8 24.9


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.7 7.3 12.8 17.1 10.7 46.4
H25 6.5 8.4 13.8 17.8 12.2 41.2
H26 8.9 8.8 13.6 14.9 12.0 41.7
H27 8.3 8.7 14.8 14.3 11.7 42.1


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.1 9.6 19.5 23.9 15.4 25.6
H25 5.6 10.5 17.6 25.9 17.9 22.2
H26 7.6 9.5 17.2 26.1 17.1 22.5
H27 7.3 8.6 17.3 24.2 18.4 24.1


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.6 7.5 12.8 16.1 12.4 45.7
H25 5.0 6.9 10.7 13.9 12.1 51.2
H26 6.3 6.9 10.8 13.3 11.5 51.2
H27 6.7 6.9 12.5 14.5 10.4 48.9


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 7.0 11.5 20.9 23.0 14.2 23.5
H25 6.3 10.5 19.3 23.4 16.8 23.5
H26 8.0 10.2 18.9 24.6 16.5 21.8
H27 7.7 9.9 19.4 23.6 16.3 23.1

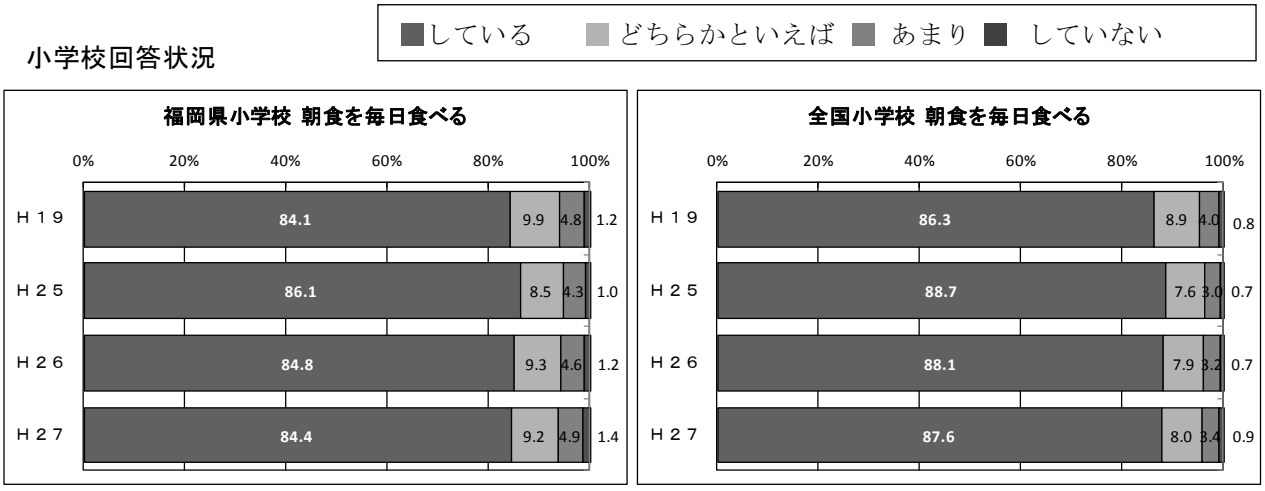

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.3 8.7 15.2 17.5 10.7 42.5
H25 5.7 8.5 15.0 20.1 12.1 38.4
H26 6.6 8.8 15.5 20.4 12.7 35.9
H27 6.0 8.2 15.1 20.2 12.5 37.9

６　基本的な生活習慣

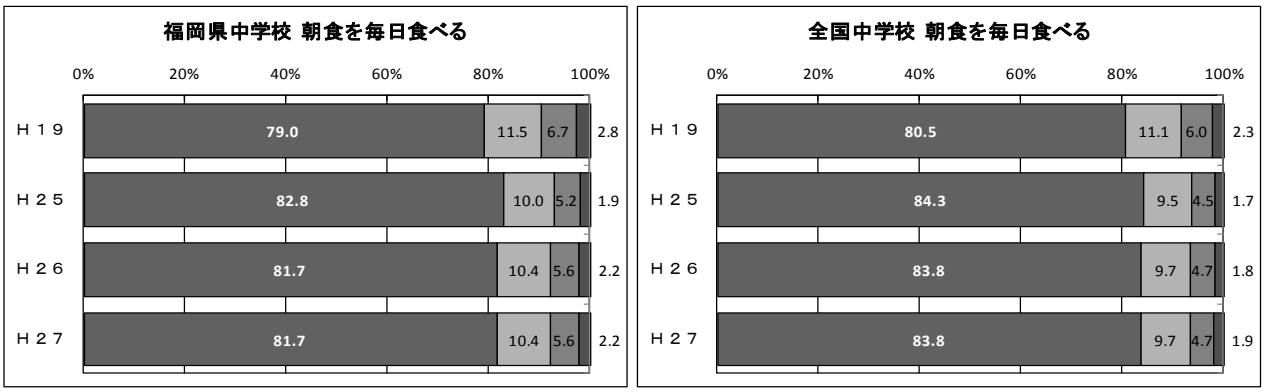
１	朝食を毎日食べていますか。

○　していると回答した児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校は減少し、中学校は変化が見られなかった。また、していないと回答している児童生徒の割合は、小学校は増加し、中学校は変化が見られなかった。
○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、基本的な生活習慣に関する「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に、起きていますか」の質問項目においても同様に見られる。

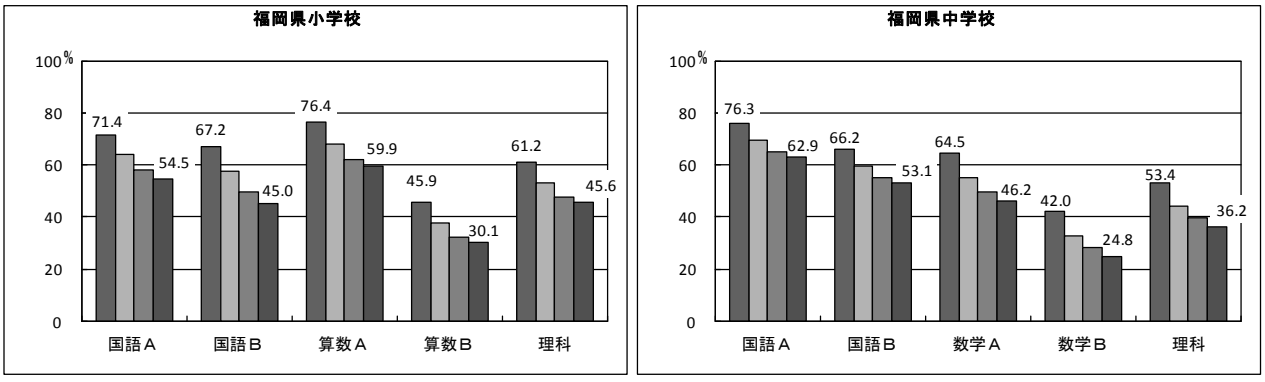
■　小学校回答状況



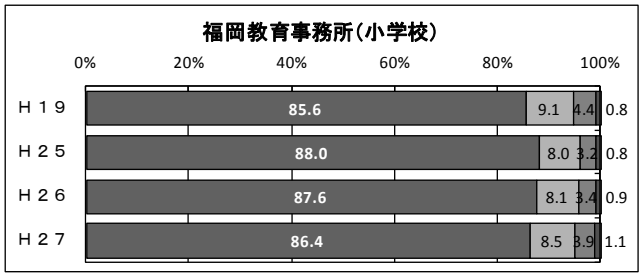
■　中学校回答状況

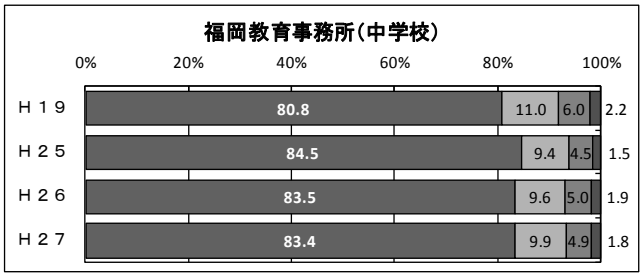


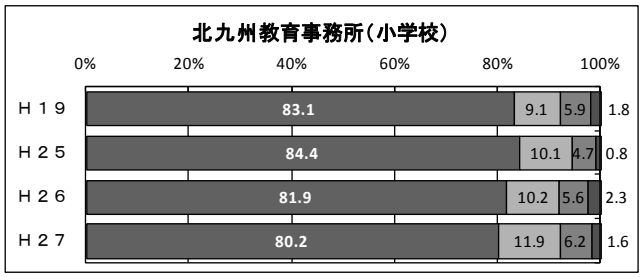
■　教科の正答率との相関関係

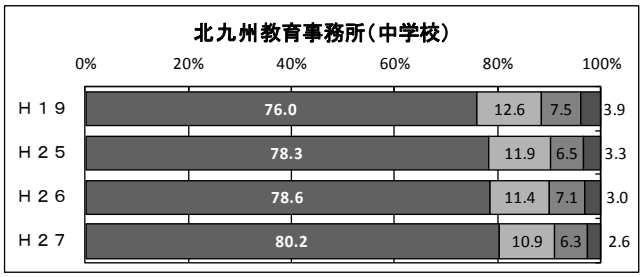


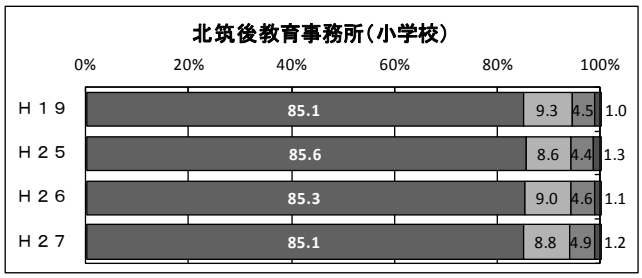
■　地区別回答状況

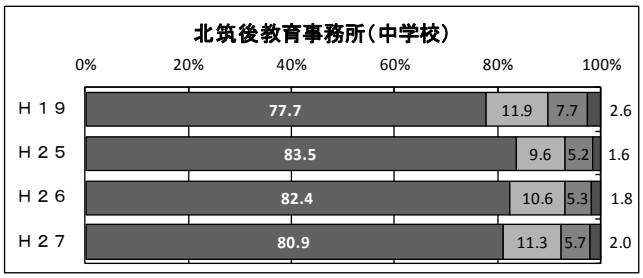

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
85.6
9.1
4.4
0.8
H25
88.0
8.0
3.2
0.8
H26
87.6
8.1
3.4
0.9
H27
86.4
8.5
3.9
1.1

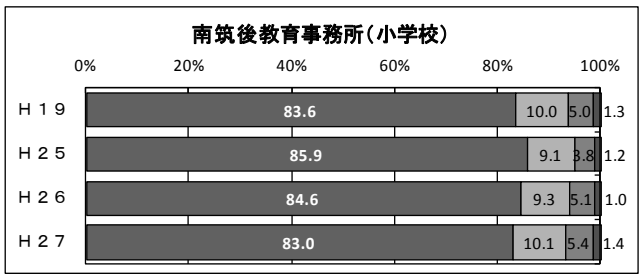

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
80.8
11.0
6.0
2.2
H25
84.5
9.4
4.5
1.5
H26
83.5
9.6
5.0
1.9
H27
83.4
9.9
4.9
1.8

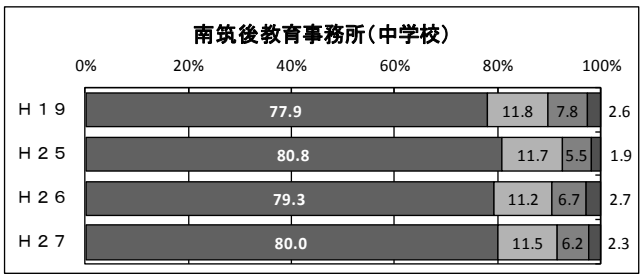

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
83.1
9.1
5.9
1.8
H25
84.4
10.1
4.7
0.8
H26
81.9
10.2
5.6
2.3
H27
80.2
11.9
6.2
1.6

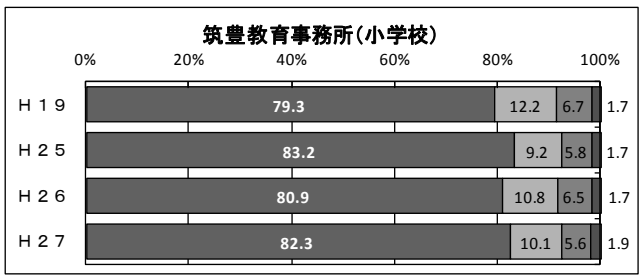

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
76.0
12.6
7.5
3.9
H25
78.3
11.9
6.5
3.3
H26
78.6
11.4
7.1
3.0
H27
80.2
10.9
6.3
2.6

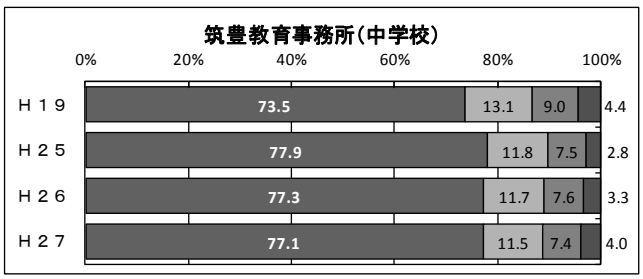

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
85.1
9.3
4.5
1.0
H25
85.6
8.6
4.4
1.3
H26
85.3
9.0
4.6
1.1
H27
85.1
8.8
4.9
1.2

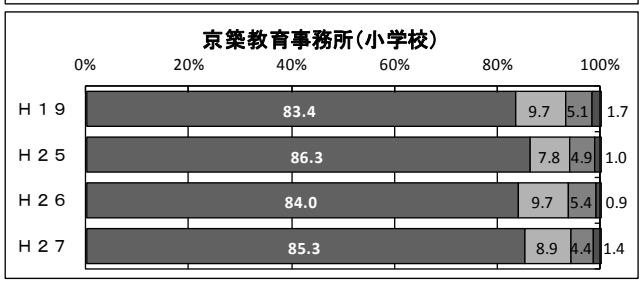

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
77.7
11.9
7.7
2.6
H25
83.5
9.6
5.2
1.6
H26
82.4
10.6
5.3
1.8
H27
80.9
11.3
5.7
2.0

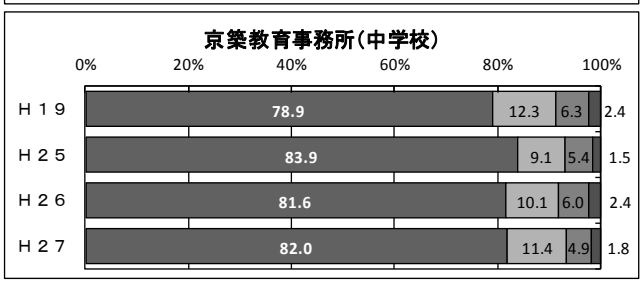

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
83.6
10.0
5.0
1.3
H25
85.9
9.1
3.8
1.2
H26
84.6
9.3
5.1
1.0
H27
83.0
10.1
5.4
1.4

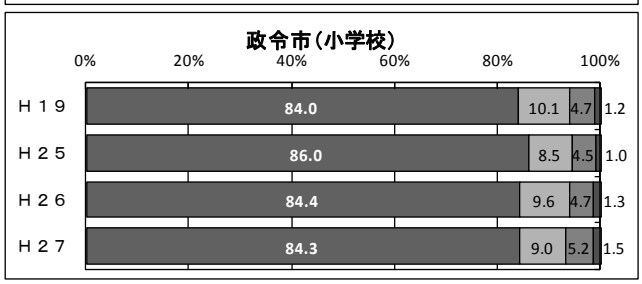

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
77.9
11.8
7.8
2.6
H25
80.8
11.7
5.5
1.9
H26
79.3
11.2
6.7
2.7
H27
80.0
11.5
6.2
2.3

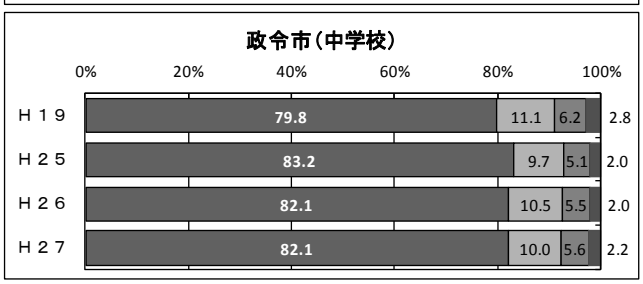

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
79.3
12.2
6.7
1.7
H25
83.2
9.2
5.8
1.7
H26
80.9
10.8
6.5
1.7
H27
82.3
10.1
5.6
1.9


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
73.5
13.1
9.0
4.4
H25
77.9
11.8
7.5
2.8
H26
77.3
11.7
7.6
3.3
H27
77.1
11.5
7.4
4.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
83.4
9.7
5.1
1.7
H25
86.3
7.8
4.9
1.0
H26
84.0
9.7
5.4
0.9
H27
85.3
8.9
4.4
1.4


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
78.9
12.3
6.3
2.4
H25
83.9
9.1
5.4
1.5
H26
81.6
10.1
6.0
2.4
H27
82.0
11.4
4.9
1.8


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
84.0
10.1
4.7
1.2
H25
86.0
8.5
4.5
1.0
H26
84.4
9.6
4.7
1.3
H27
84.3
9.0
5.2
1.5

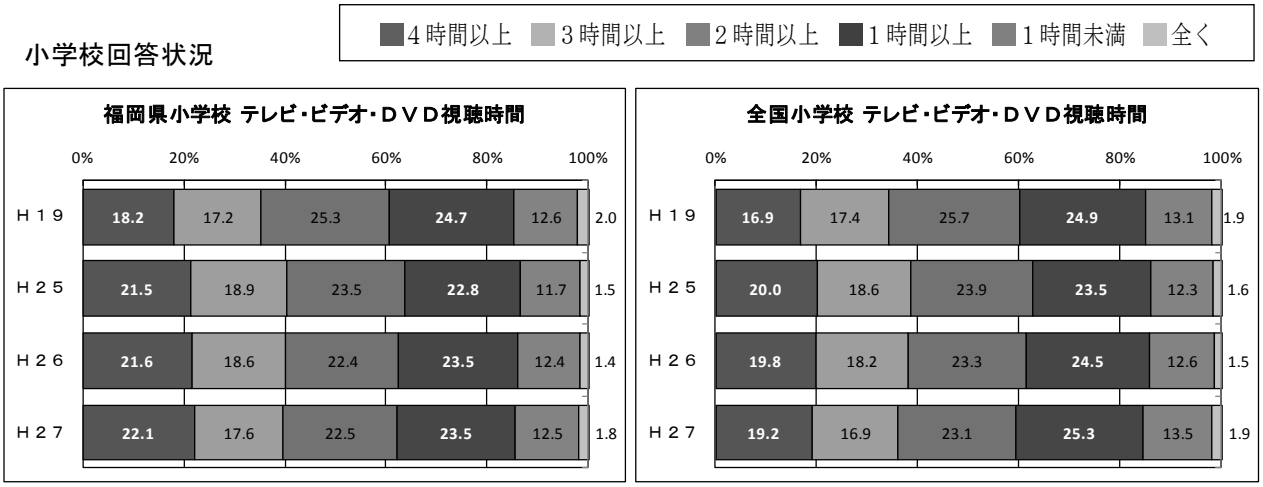

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
79.8
11.1
6.2
2.8
H25
83.2
9.7
5.1
2.0
H26
82.1
10.5
5.5
2.0
H27
82.1
10.0
5.6
2.2

７　テレビやビデオ・ＤＶＤ

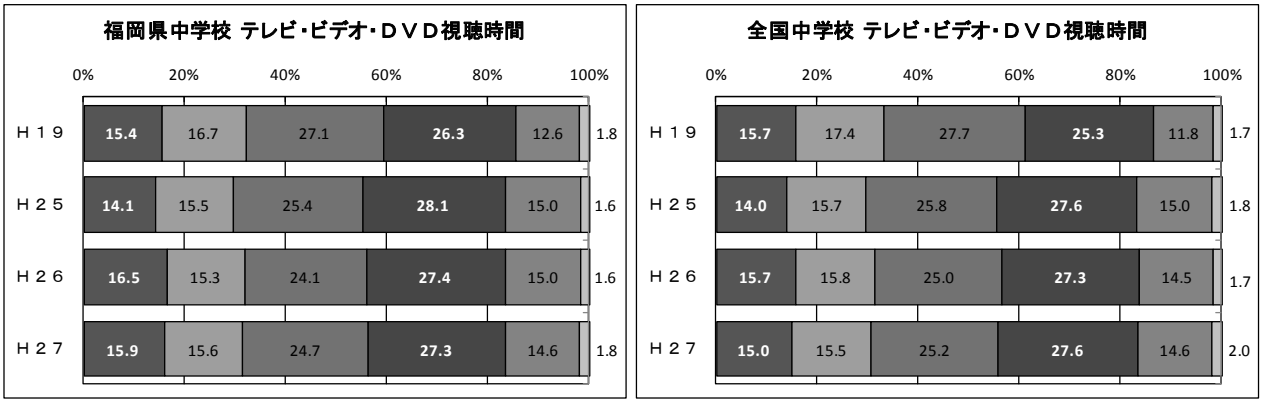
１０	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）。

○　３時間以上視聴する児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに減少している。
○　視聴時間が１時間未満の児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「テレビゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンのゲームをする時間」の質問項目においても同様に見られる。

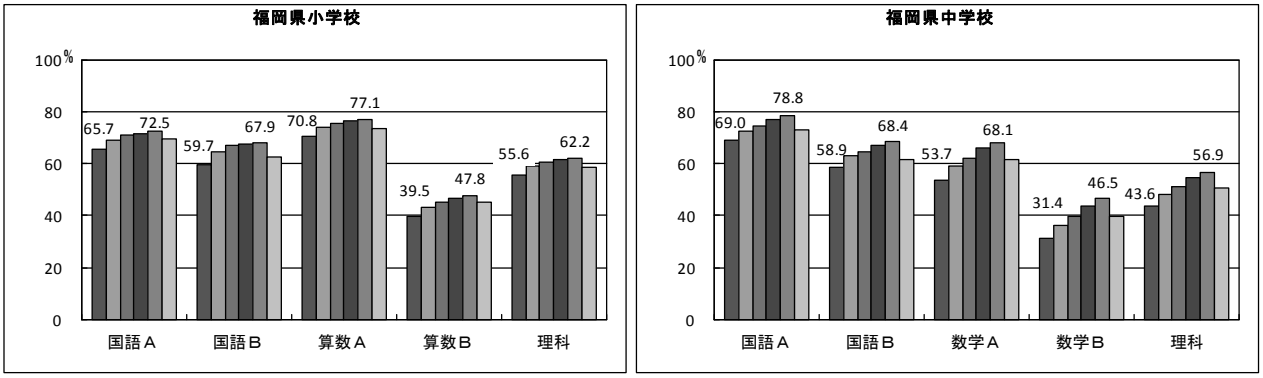
■　小学校回答状況



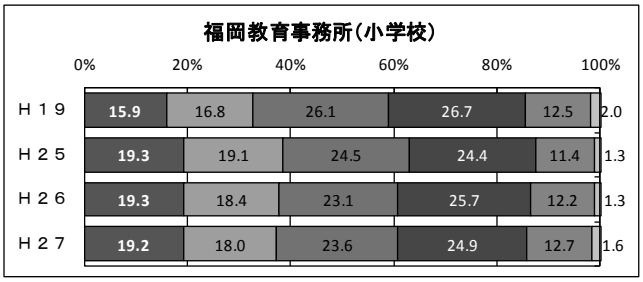
■　中学校回答状況

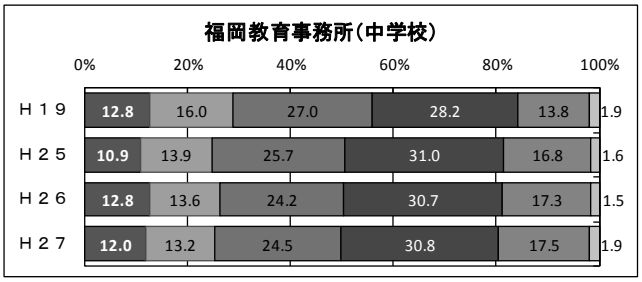


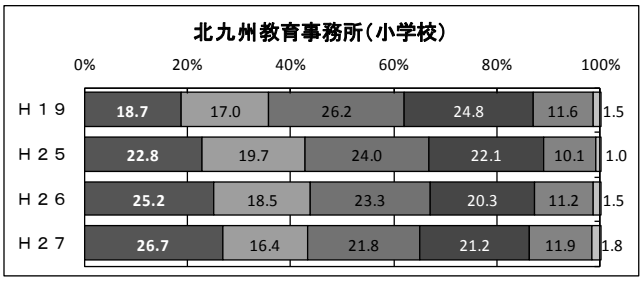
■　教科の正答率との相関関係

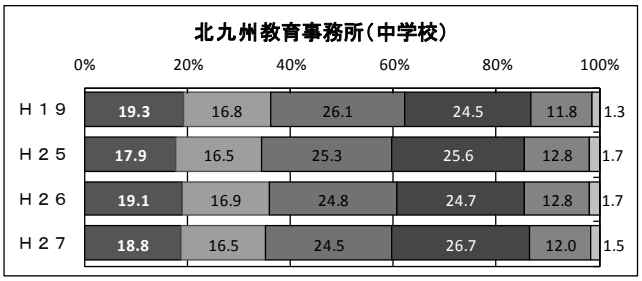


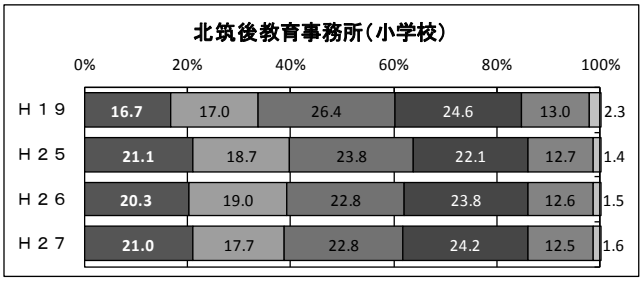
■　地区別回答状況

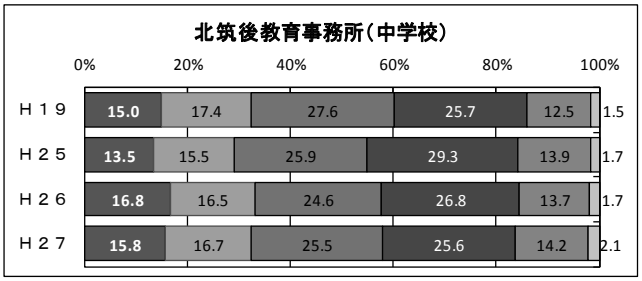

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.9 16.8 26.1 26.7 12.5 2.0
H25 19.3 19.1 24.5 24.4 11.4 1.3
H26 19.3 18.4 23.1 25.7 12.2 1.3
H27 19.2 18.0 23.6 24.9 12.7 1.6

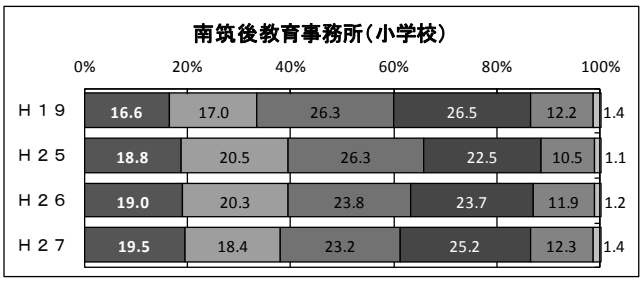

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 12.8 16.0 27.0 28.2 13.8 1.9
H25 10.9 13.9 25.7 31.0 16.8 1.6
H26 12.8 13.6 24.2 30.7 17.3 1.5
H27 12.0 13.2 24.5 30.8 17.5 1.9

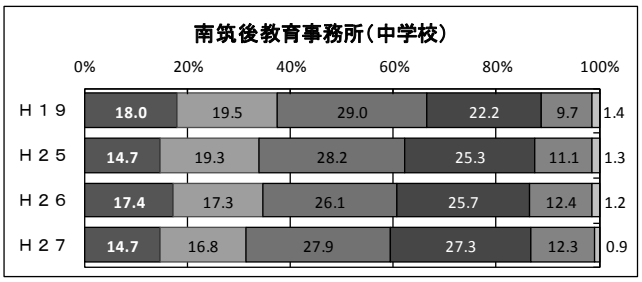

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 18.7 17.0 26.2 24.8 11.6 1.5
H25 22.8 19.7 24.0 22.1 10.1 1.0
H26 25.2 18.5 23.3 20.3 11.2 1.5
H27 26.7 16.4 21.8 21.2 11.9 1.8

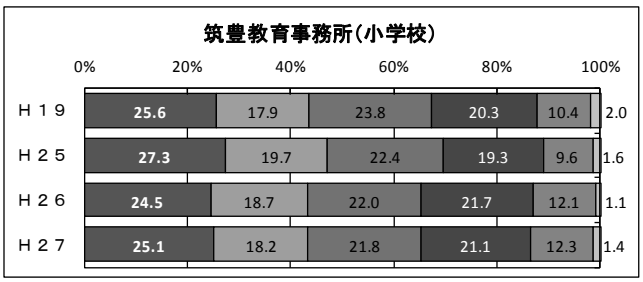

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.3 16.8 26.1 24.5 11.8 1.3
H25 17.9 16.5 25.3 25.6 12.8 1.7
H26 19.1 16.9 24.8 24.7 12.8 1.7
H27 18.8 16.5 24.5 26.7 12.0 1.5

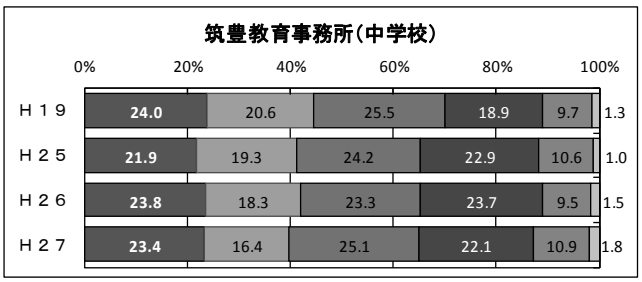

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 16.7 17.0 26.4 24.6 13.0 2.3
H25 21.1 18.7 23.8 22.1 12.7 1.4
H26 20.3 19.0 22.8 23.8 12.6 1.5
H27 21.0 17.7 22.8 24.2 12.5 1.6

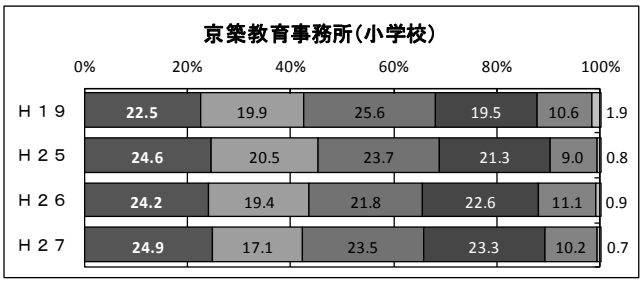

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.0 17.4 27.6 25.7 12.5 1.5
H25 13.5 15.5 25.9 29.3 13.9 1.7
H26 16.8 16.5 24.6 26.8 13.7 1.7
H27 15.8 16.7 25.5 25.6 14.2 2.1

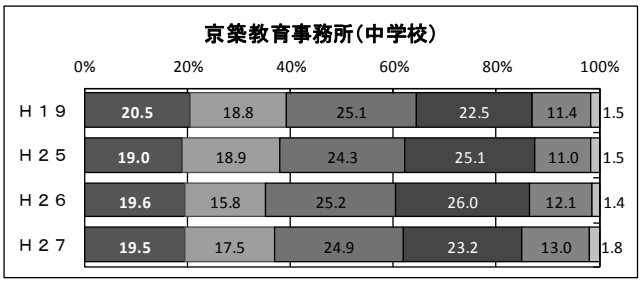

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 16.6 17.0 26.3 26.5 12.2 1.4
H25 18.8 20.5 26.3 22.5 10.5 1.1
H26 19.0 20.3 23.8 23.7 11.9 1.2
H27 19.5 18.4 23.2 25.2 12.3 1.4

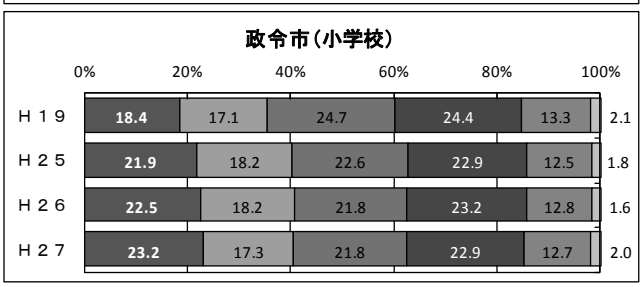

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 18.0 19.5 29.0 22.2 9.7 1.4
H25 14.7 19.3 28.2 25.3 11.1 1.3
H26 17.4 17.3 26.1 25.7 12.4 1.2
H27 14.7 16.8 27.9 27.3 12.3 0.9

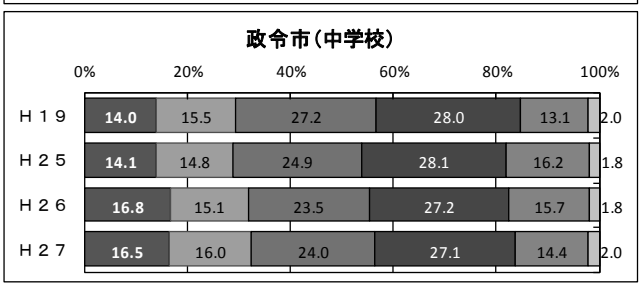

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.6 17.9 23.8 20.3 10.4 2.0
H25 27.3 19.7 22.4 19.3 9.6 1.6
H26 24.5 18.7 22.0 21.7 12.1 1.1
H27 25.1 18.2 21.8 21.1 12.3 1.4


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.0 20.6 25.5 18.9 9.7 1.3
H25 21.9 19.3 24.2 22.9 10.6 1.0
H26 23.8 18.3 23.3 23.7 9.5 1.5
H27 23.4 16.4 25.1 22.1 10.9 1.8


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.5 19.9 25.6 19.5 10.6 1.9
H25 24.6 20.5 23.7 21.3 9.0 0.8
H26 24.2 19.4 21.8 22.6 11.1 0.9
H27 24.9 17.1 23.5 23.3 10.2 0.7


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.5 18.8 25.1 22.5 11.4 1.5
H25 19.0 18.9 24.3 25.1 11.0 1.5
H26 19.6 15.8 25.2 26.0 12.1 1.4
H27 19.5 17.5 24.9 23.2 13.0 1.8


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 18.4 17.1 24.7 24.4 13.3 2.1
H25 21.9 18.2 22.6 22.9 12.5 1.8
H26 22.5 18.2 21.8 23.2 12.8 1.6
H27 23.2 17.3 21.8 22.9 12.7 2.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.0 15.5 27.2 28.0 13.1 2.0
H25 14.1 14.8 24.9 28.1 16.2 1.8
H26 16.8 15.1 23.5 27.2 15.7 1.8
H27 16.5 16.0 24.0 27.1 14.4 2.0

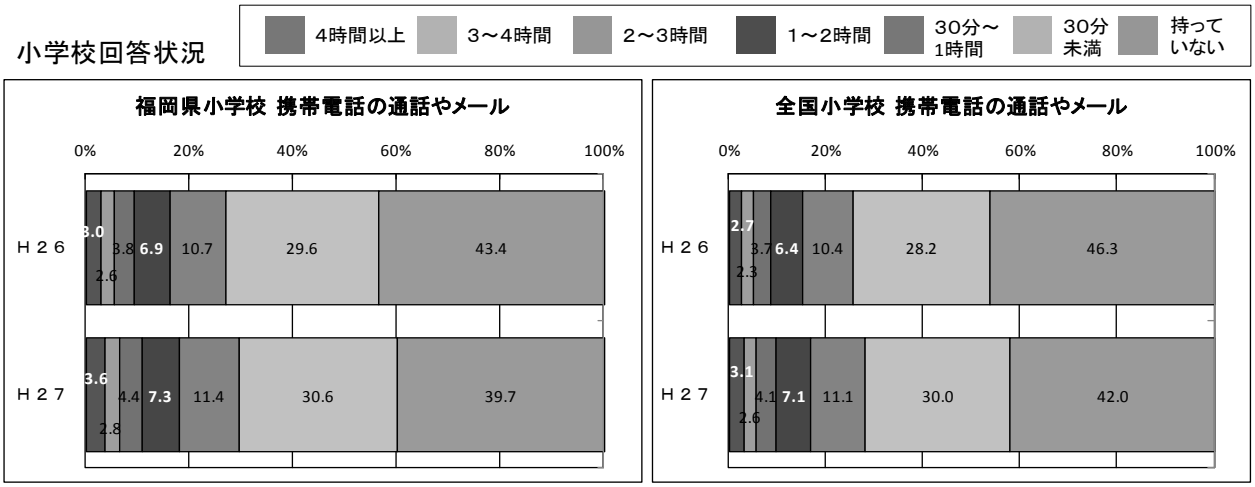
８　携帯電話やスマートフォンの使用時間

※平成２６年度から加えられた質問

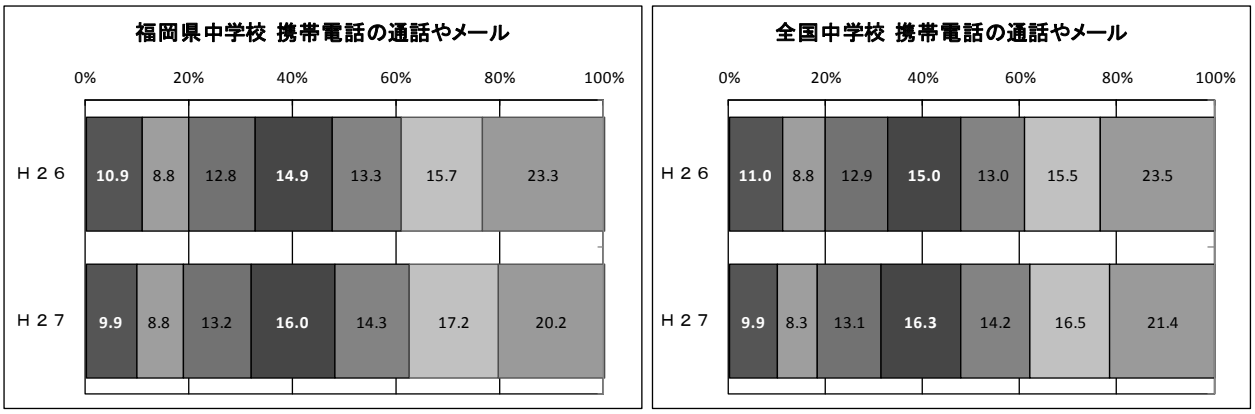
１２	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（ゲームをする時間は除く）。

○　１時間以上していると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに増加した。
○　している時間が３０分未満、持っていないと回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

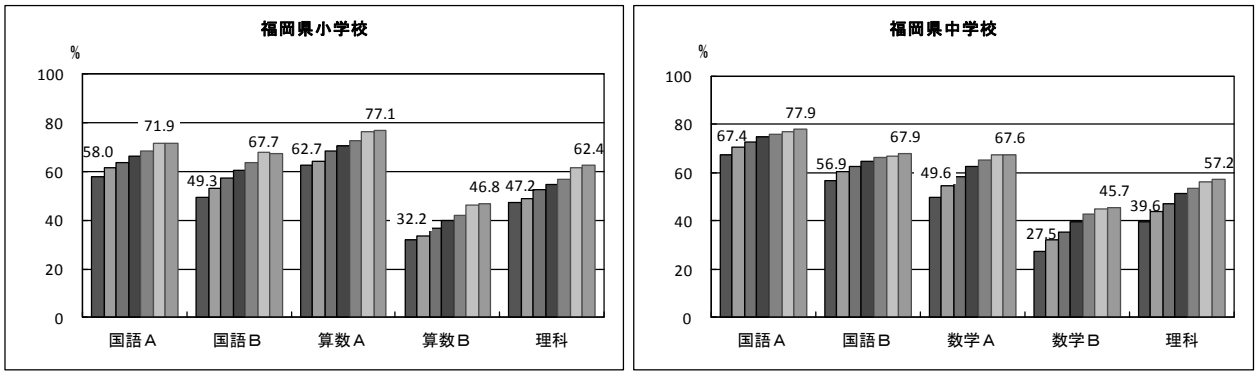
■　小学校回答状況



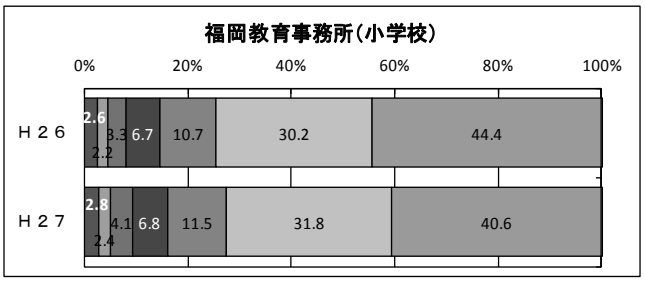
■　中学校回答状況

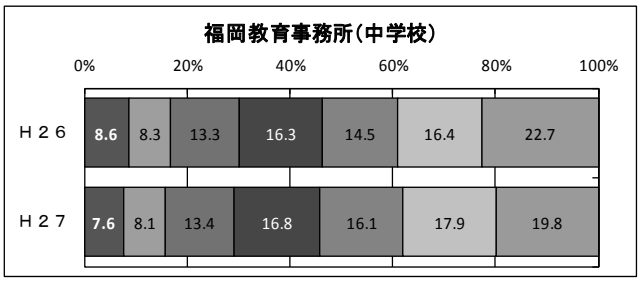


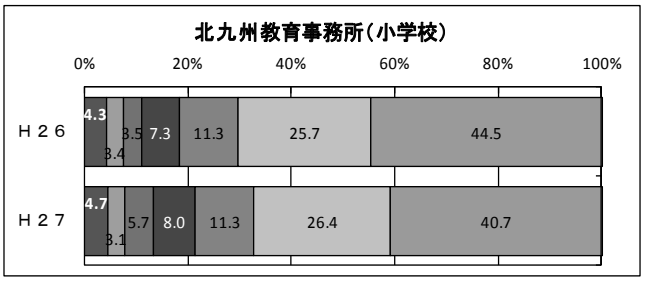
■　教科の正答率との相関関係

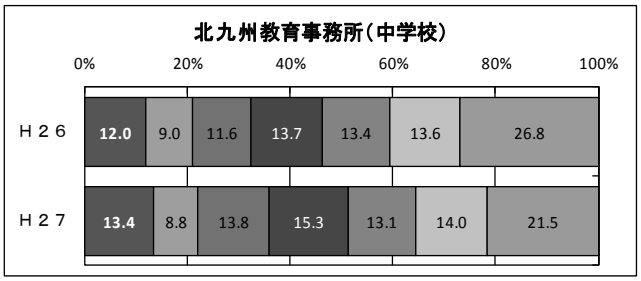


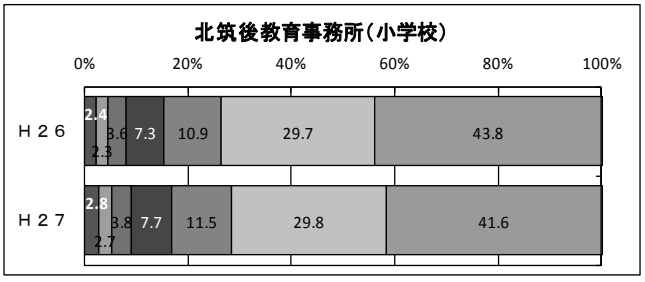
■　地区別回答状況

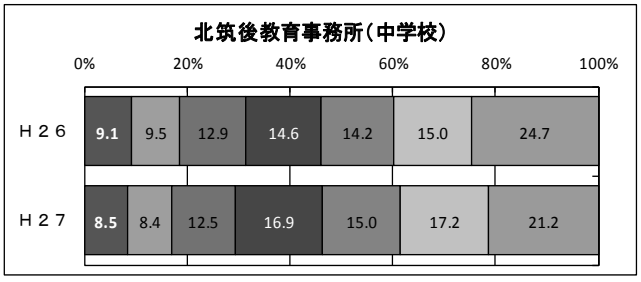

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
2.6
2.2
3.3
6.7
10.7
30.2
44.4
H２７
2.8
2.4
4.1
6.8
11.5
31.8
40.6

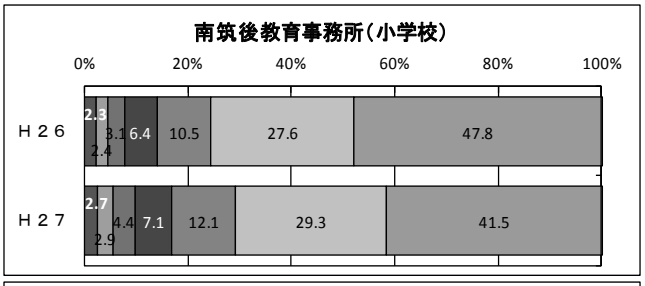

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
8.6
8.3
13.3
16.3
14.5
16.4
22.7
H２７
7.6
8.1
13.4
16.8
16.1
17.9
19.8

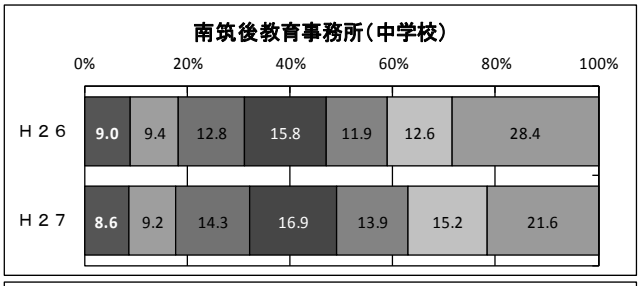

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
4.3
3.4
3.5
7.3
11.3
25.7
44.5
H２７
4.7
3.1
5.7
8.0
11.3
26.4
40.7

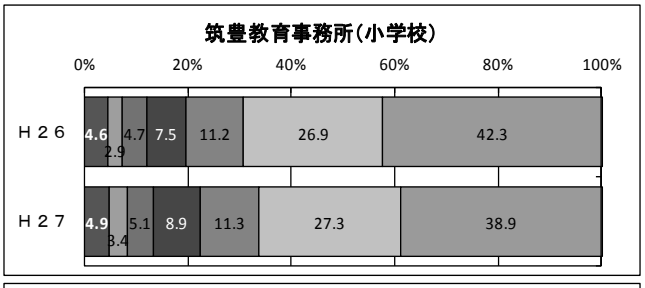

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
12.0
9.0
11.6
13.7
13.4
13.6
26.8
H２７
13.4
8.8
13.8
15.3
13.1
14.0
21.5

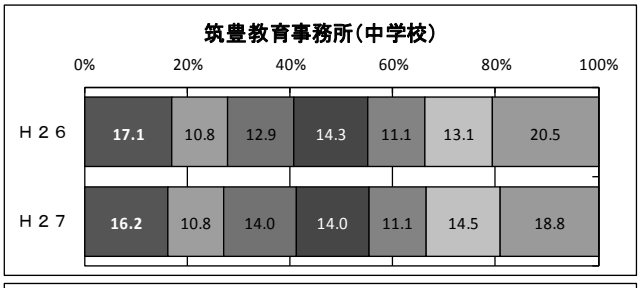

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
2.4
2.3
3.6
7.3
10.9
29.7
43.8
H２７
2.8
2.7
3.8
7.7
11.5
29.8
41.6

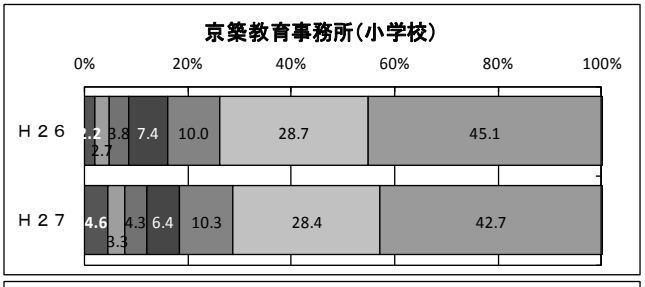

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
9.1
9.5
12.9
14.6
14.2
15.0
24.7
H２７
8.5
8.4
12.5
16.9
15.0
17.2
21.2

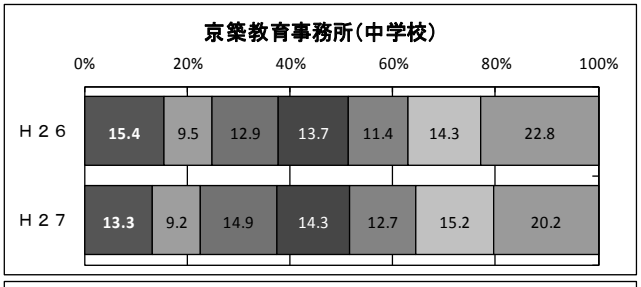

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
2.3
2.4
3.1
6.4
10.5
27.6
47.8
H２７
2.7
2.9
4.4
7.1
12.1
29.3
41.5

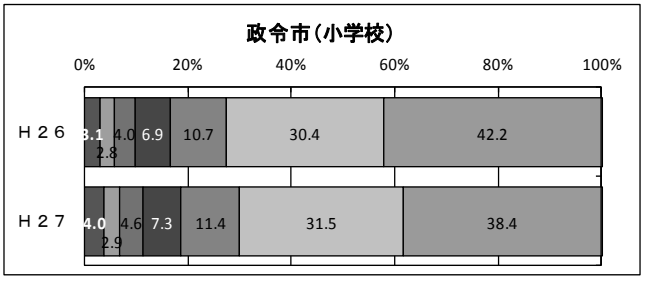

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
9.0
9.4
12.8
15.8
11.9
12.6
28.4
H２７
8.6
9.2
14.3
16.9
13.9
15.2
21.6

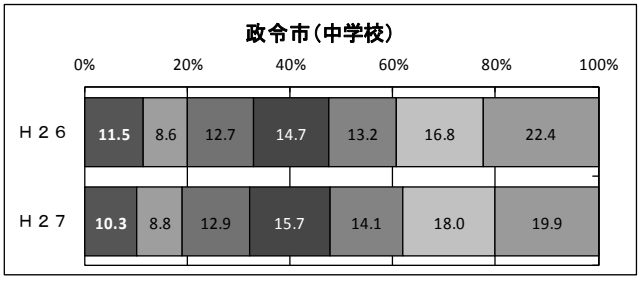

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
4.6
2.9
4.7
7.5
11.2
26.9
42.3
H２７
4.9
3.4
5.1
8.9
11.3
27.3
38.9


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
17.1
10.8
12.9
14.3
11.1
13.1
20.5
H２７
16.2
10.8
14.0
14.0
11.1
14.5
18.8


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
2.2
2.7
3.8
7.4
10.0
28.7
45.1
H２７
4.6
3.3
4.3
6.4
10.3
28.4
42.7


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
15.4
9.5
12.9
13.7
11.4
14.3
22.8
H２７
13.3
9.2
14.9
14.3
12.7
15.2
20.2


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
3.1
2.8
4.0
6.9
10.7
30.4
42.2
H２７
4.0
2.9
4.6
7.3
11.4
31.5
38.4


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
11.5
8.6
12.7
14.7
13.2
16.8
22.4
H２７
10.3
8.8
12.9
15.7
14.1
18.0
19.9

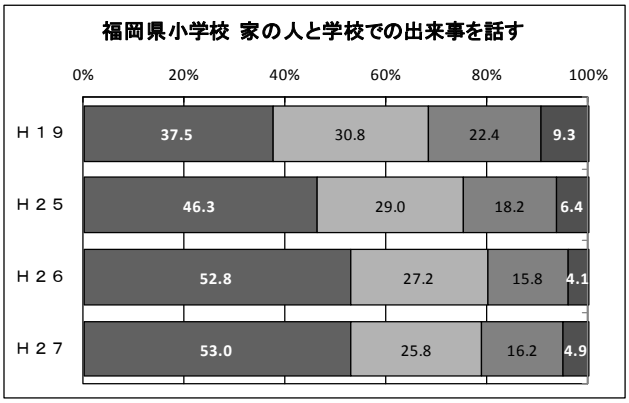
９　家庭でのコミュニケーション

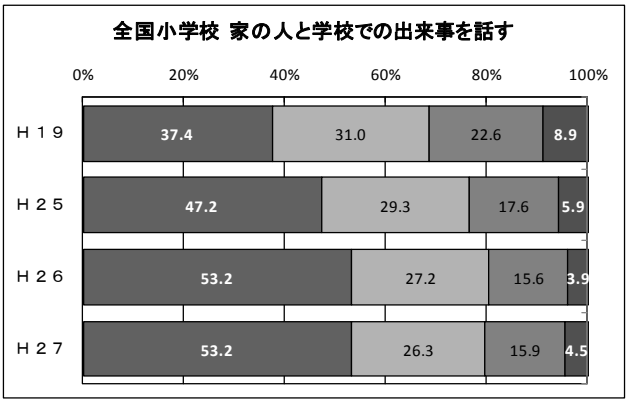
１８	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校は減少し、中学校は増加した。
○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

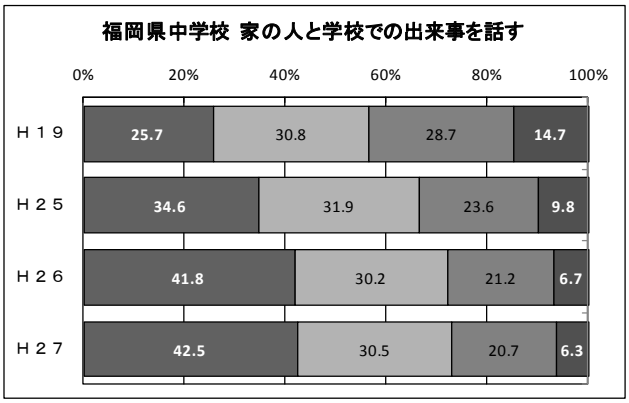
■している　■どちらかといえば　■あまり　■していない

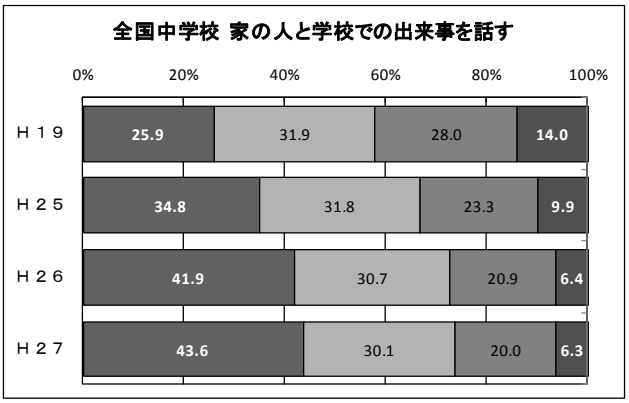
■　小学校回答状況



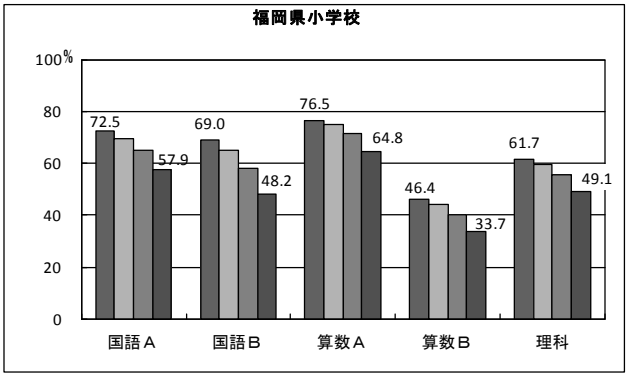


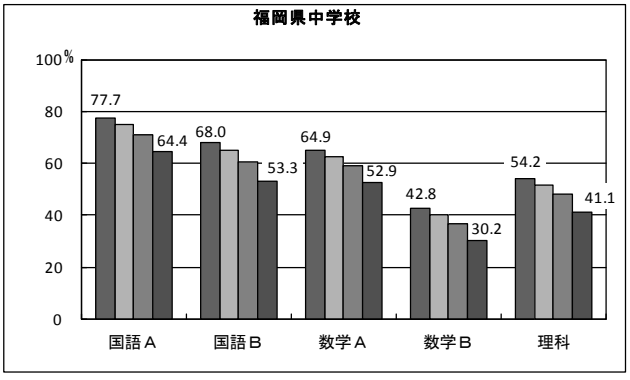
■　中学校回答状況



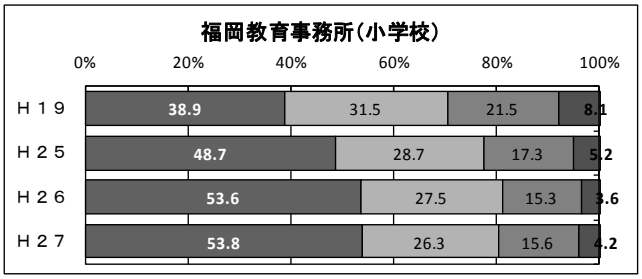


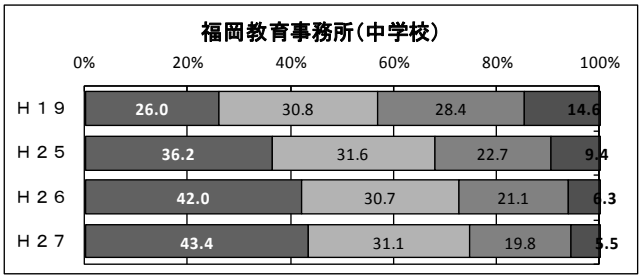
■　教科の正答率との相関関係

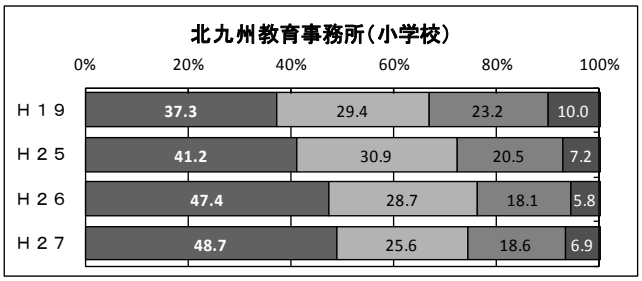


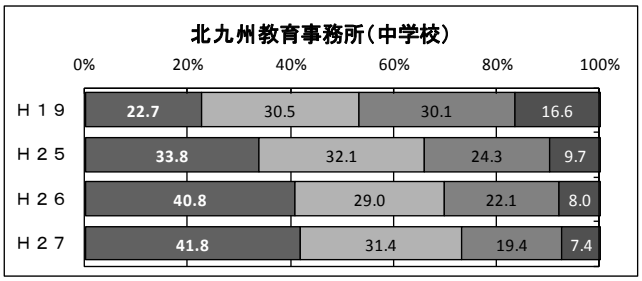


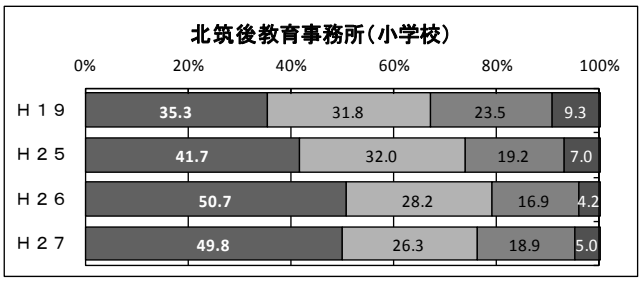
■　地区別回答状況

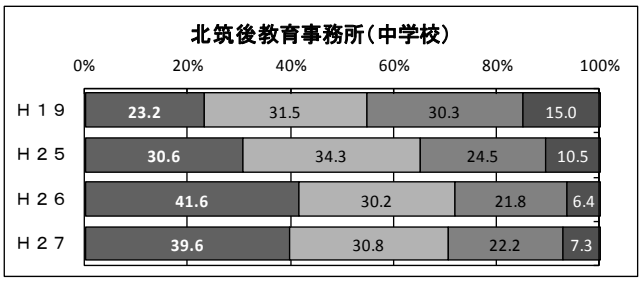

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.9 31.5 21.5 8.1
H25 48.7 28.7 17.3 5.2
H26 53.6 27.5 15.3 3.6
H27 53.8 26.3 15.6 4.2

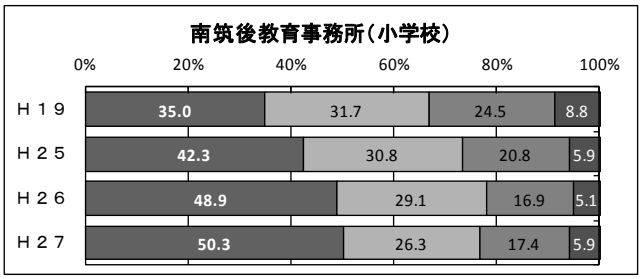

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 26.0 30.8 28.4 14.6
H25 36.2 31.6 22.7 9.4
H26 42.0 30.7 21.1 6.3
H27 43.4 31.1 19.8 5.5

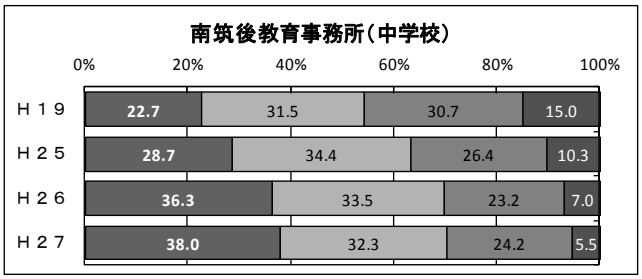

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 37.3 29.4 23.2 10.0
H25 41.2 30.9 20.5 7.2
H26 47.4 28.7 18.1 5.8
H27 48.7 25.6 18.6 6.9

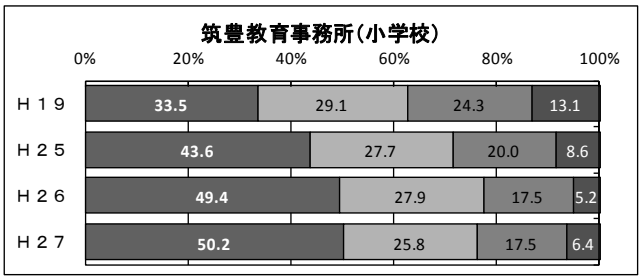

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.7 30.5 30.1 16.6
H25 33.8 32.1 24.3 9.7
H26 40.8 29.0 22.1 8.0
H27 41.8 31.4 19.4 7.4

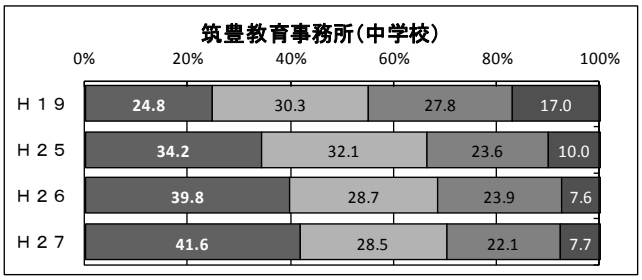

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.3 31.8 23.5 9.3
H25 41.7 32.0 19.2 7.0
H26 50.7 28.2 16.9 4.2
H27 49.8 26.3 18.9 5.0

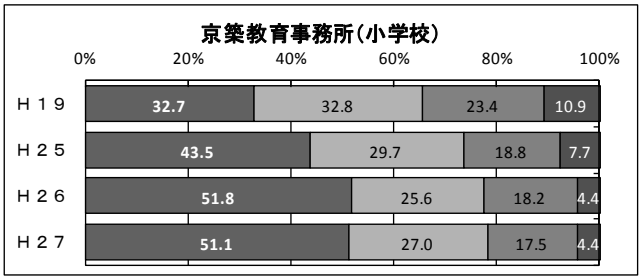

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 23.2 31.5 30.3 15.0
H25 30.6 34.3 24.5 10.5
H26 41.6 30.2 21.8 6.4
H27 39.6 30.8 22.2 7.3

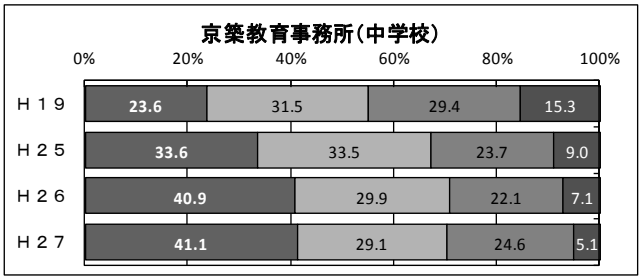

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.0 31.7 24.5 8.8
H25 42.3 30.8 20.8 5.9
H26 48.9 29.1 16.9 5.1
H27 50.3 26.3 17.4 5.9

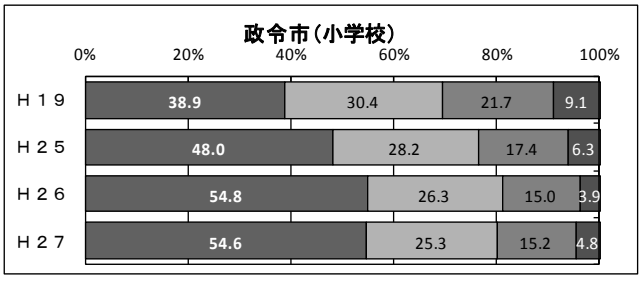

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.7 31.5 30.7 15.0
H25 28.7 34.4 26.4 10.3
H26 36.3 33.5 23.2 7.0
H27 38.0 32.3 24.2 5.5

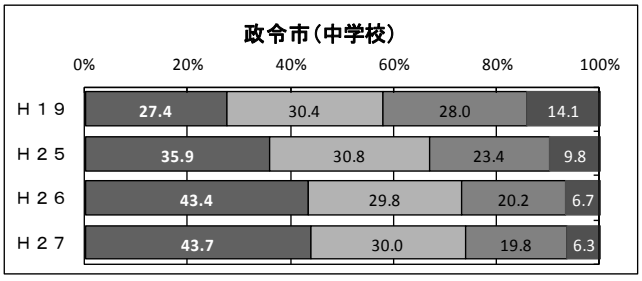

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.5 29.1 24.3 13.1
H25 43.6 27.7 20.0 8.6
H26 49.4 27.9 17.5 5.2
H27 50.2 25.8 17.5 6.4


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.8 30.3 27.8 17.0
H25 34.2 32.1 23.6 10.0
H26 39.8 28.7 23.9 7.6
H27 41.6 28.5 22.1 7.7


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 32.7 32.8 23.4 10.9
H25 43.5 29.7 18.8 7.7
H26 51.8 25.6 18.2 4.4
H27 51.1 27.0 17.5 4.4


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 23.6 31.5 29.4 15.3
H25 33.6 33.5 23.7 9.0
H26 40.9 29.9 22.1 7.1
H27 41.1 29.1 24.6 5.1


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.9 30.4 21.7 9.1
H25 48.0 28.2 17.4 6.3
H26 54.8 26.3 15.0 3.9
H27 54.6 25.3 15.2 4.8


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.4 30.4 28.0 14.1
H25 35.9 30.8 23.4 9.8
H26 43.4 29.8 20.2 6.7
H27 43.7 30.0 19.8 6.3

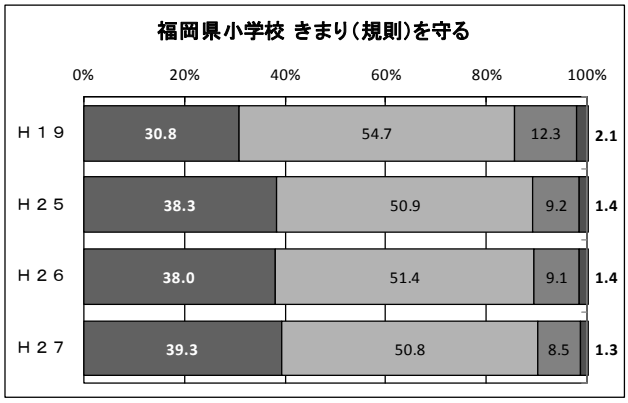
１０　規範意識

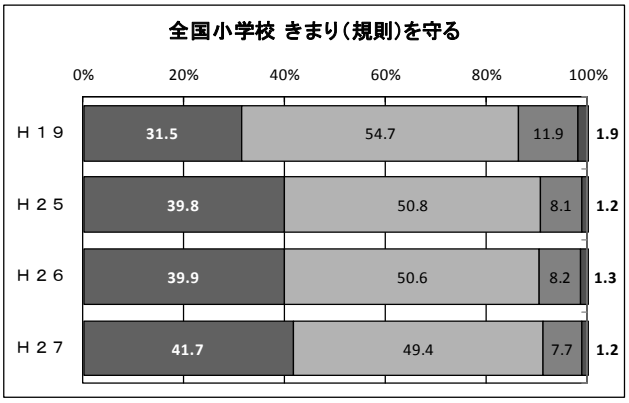
３２	学校のきまり（規則）を守っていますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合の合計は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は全教科区分において高い傾向にある。

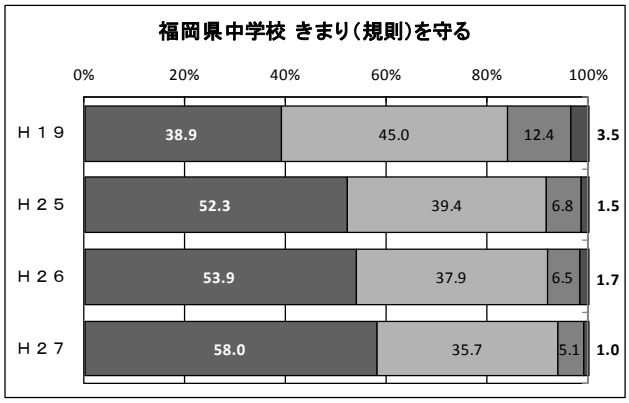
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

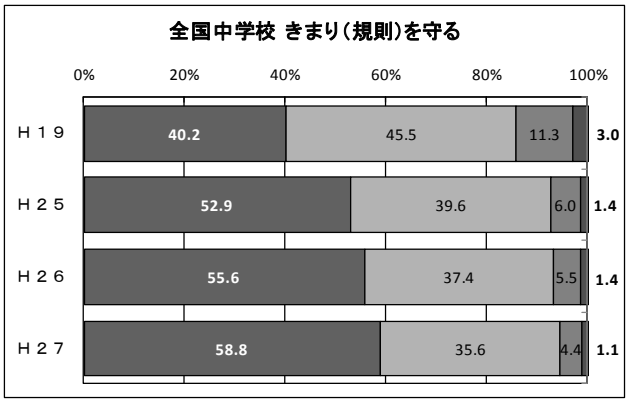
■　小学校回答状況



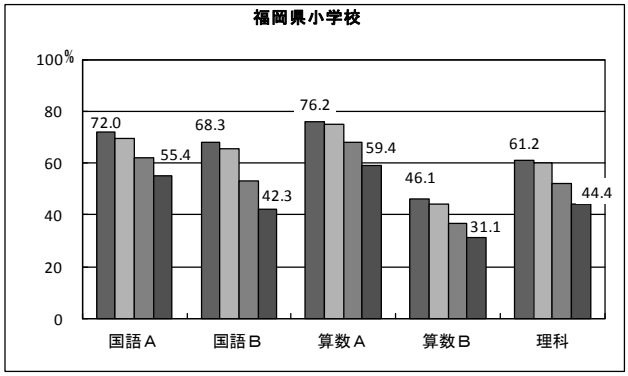


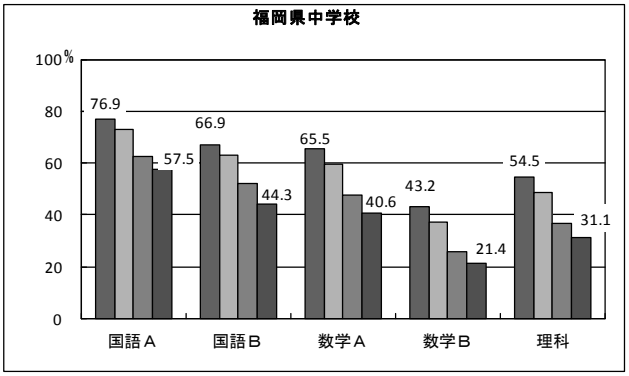
■　中学校回答状況



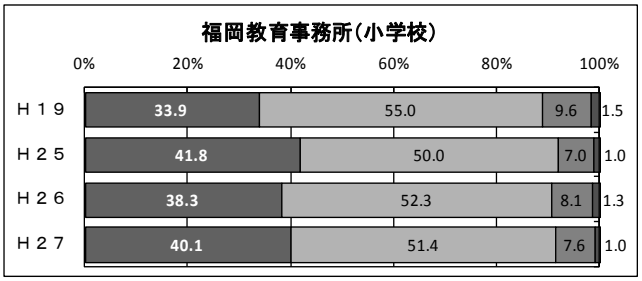


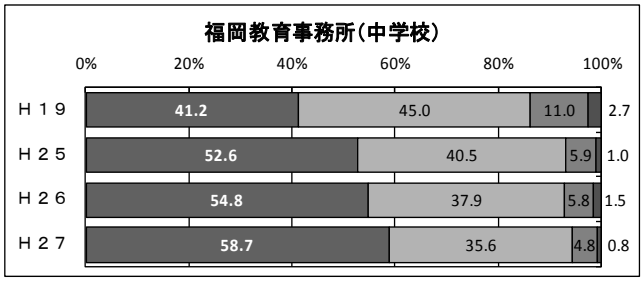
■　教科の正答率との相関関係

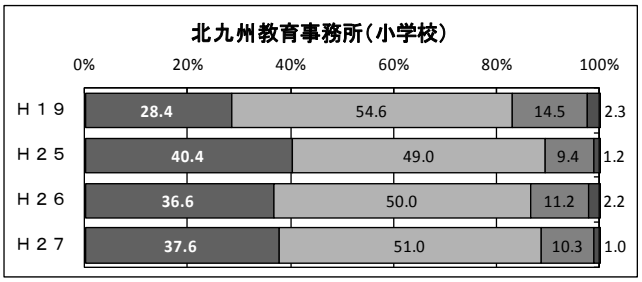


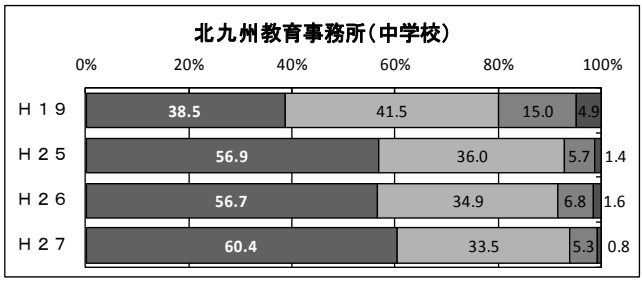


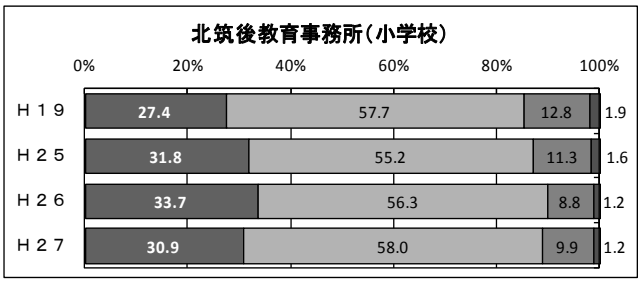
■　地区別回答状況

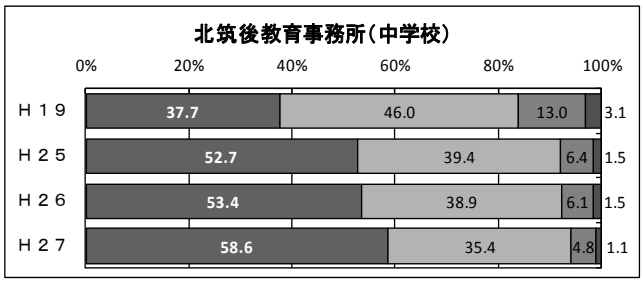

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.9 55.0 9.6 1.5
H25 41.8 50.0 7.0 1.0
H26 38.3 52.3 8.1 1.3
H27 40.1 51.4 7.6 1.0

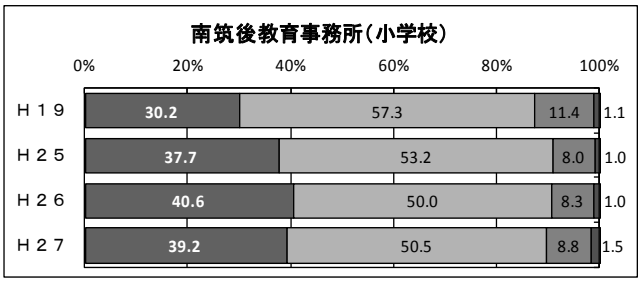

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 41.2 45.0 11.0 2.7
H25 52.6 40.5 5.9 1.0
H26 54.8 37.9 5.8 1.5
H27 58.7 35.6 4.8 0.8

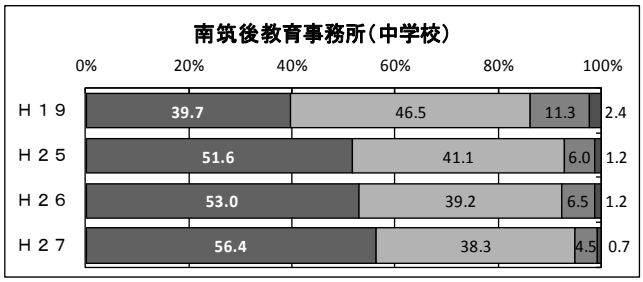

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.4 54.6 14.5 2.3
H25 40.4 49.0 9.4 1.2
H26 36.6 50.0 11.2 2.2
H27 37.6 51.0 10.3 1.0

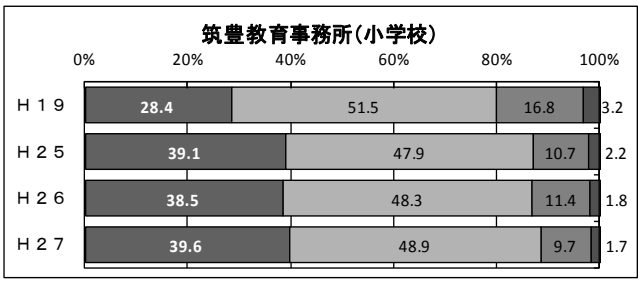

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.5 41.5 15.0 4.9
H25 56.9 36.0 5.7 1.4
H26 56.7 34.9 6.8 1.6
H27 60.4 33.5 5.3 0.8

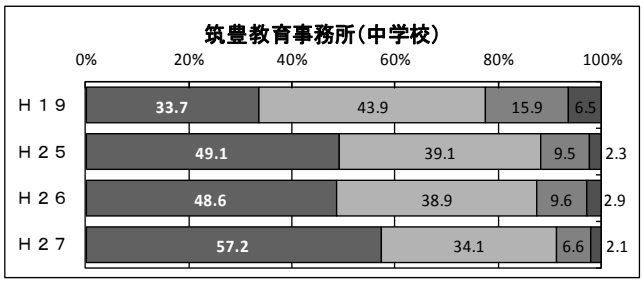

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.4 57.7 12.8 1.9
H25 31.8 55.2 11.3 1.6
H26 33.7 56.3 8.8 1.2
H27 30.9 58.0 9.9 1.2

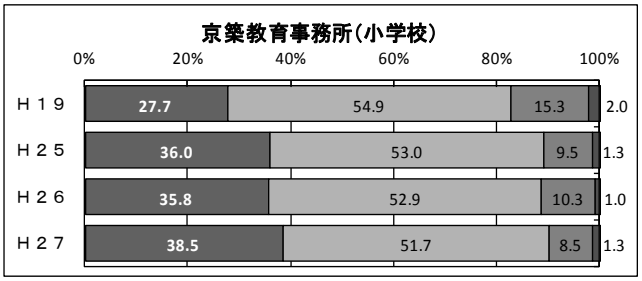

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 37.7 46.0 13.0 3.1
H25 52.7 39.4 6.4 1.5
H26 53.4 38.9 6.1 1.5
H27 58.6 35.4 4.8 1.1

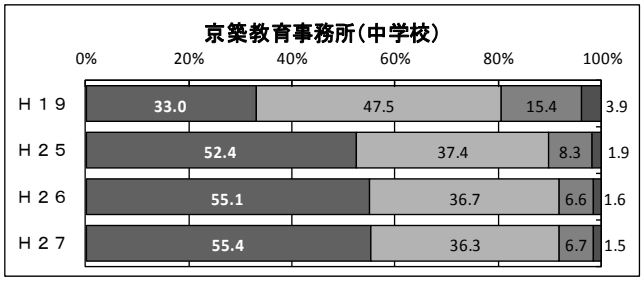

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 30.2 57.3 11.4 1.1
H25 37.7 53.2 8.0 1.0
H26 40.6 50.0 8.3 1.0
H27 39.2 50.5 8.8 1.5

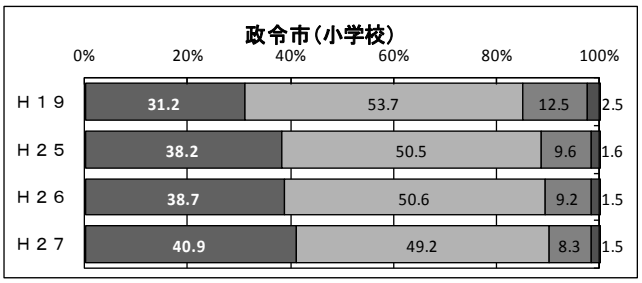

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.7 46.5 11.3 2.4
H25 51.6 41.1 6.0 1.2
H26 53.0 39.2 6.5 1.2
H27 56.4 38.3 4.5 0.7

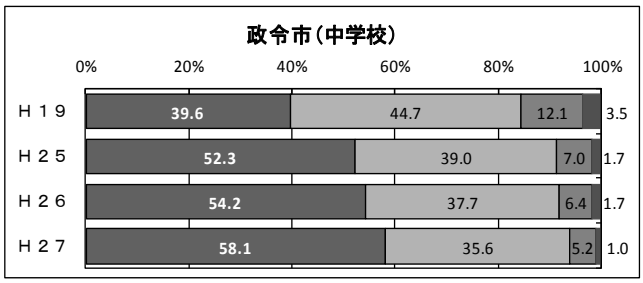

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.4 51.5 16.8 3.2
H25 39.1 47.9 10.7 2.2
H26 38.5 48.3 11.4 1.8
H27 39.6 48.9 9.7 1.7


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.7 43.9 15.9 6.5
H25 49.1 39.1 9.5 2.3
H26 48.6 38.9 9.6 2.9
H27 57.2 34.1 6.6 2.1


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.7 54.9 15.3 2.0
H25 36.0 53.0 9.5 1.3
H26 35.8 52.9 10.3 1.0
H27 38.5 51.7 8.5 1.3


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.0 47.5 15.4 3.9
H25 52.4 37.4 8.3 1.9
H26 55.1 36.7 6.6 1.6
H27 55.4 36.3 6.7 1.5


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.2 53.7 12.5 2.5
H25 38.2 50.5 9.6 1.6
H26 38.7 50.6 9.2 1.5
H27 40.9 49.2 8.3 1.5


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.6 44.7 12.1 3.5
H25 52.3 39.0 7.0 1.7
H26 54.2 37.7 6.4 1.7
H27 58.1 35.6 5.2 1.0

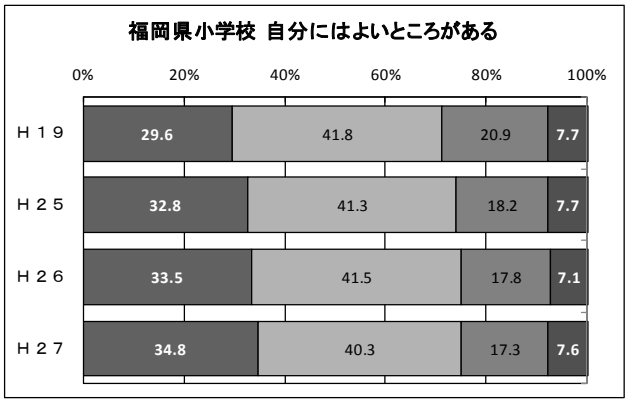
11　自尊意識

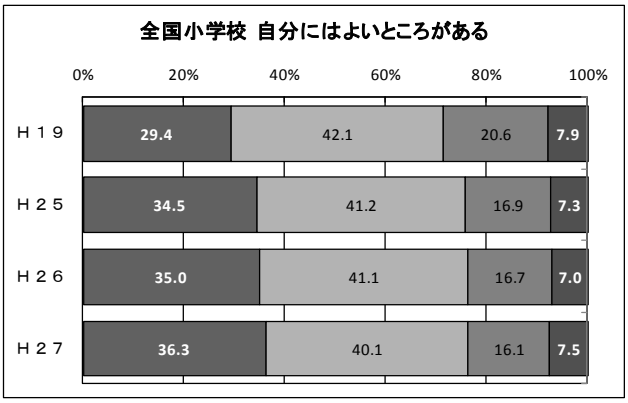
６	自分には、よいところがあると思いますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校はほぼ変化がなく、中学校は増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問項目においても、同様に見られる。

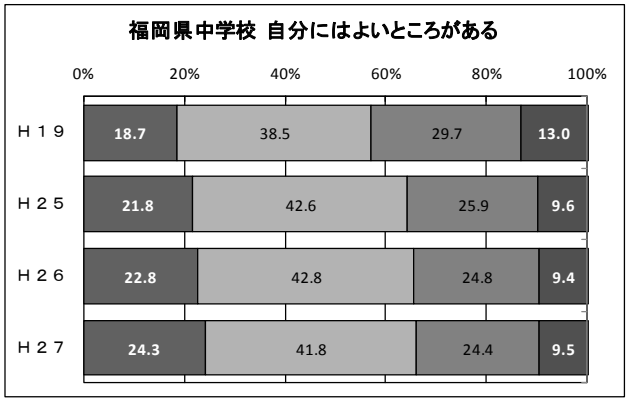
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

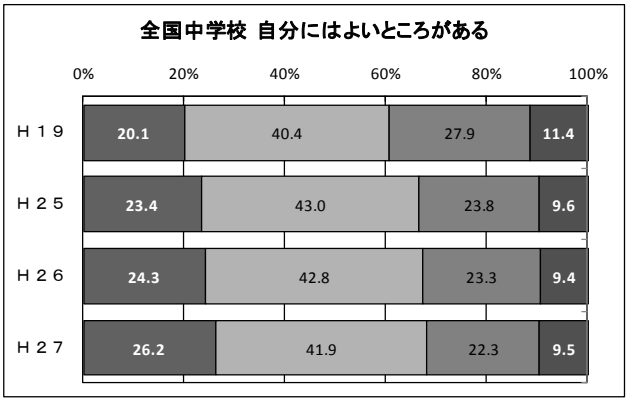
■　小学校回答状況



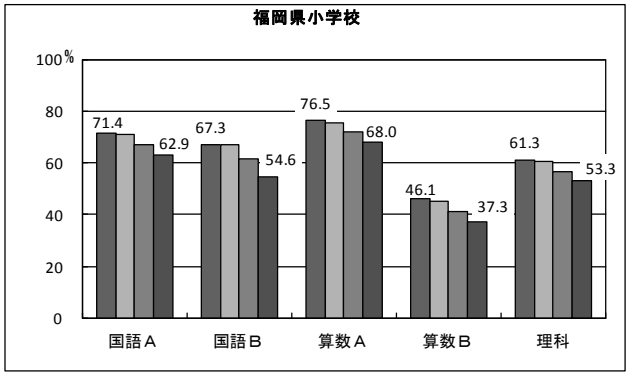


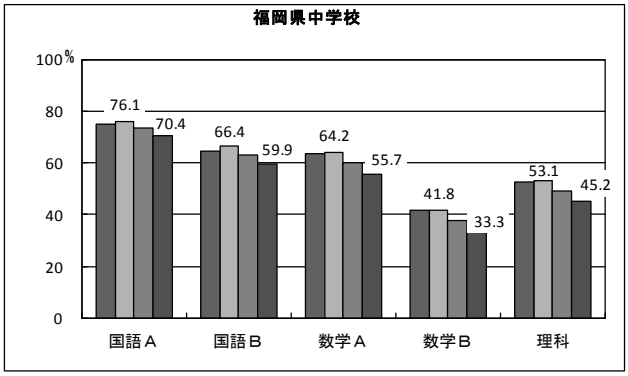
■　中学校回答状況



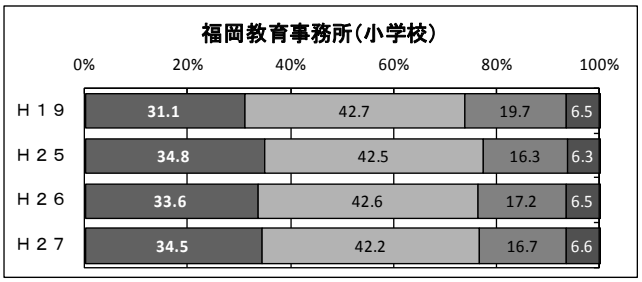


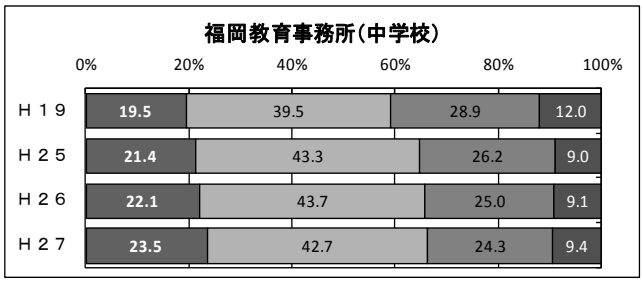
■　教科の正答率との相関関係

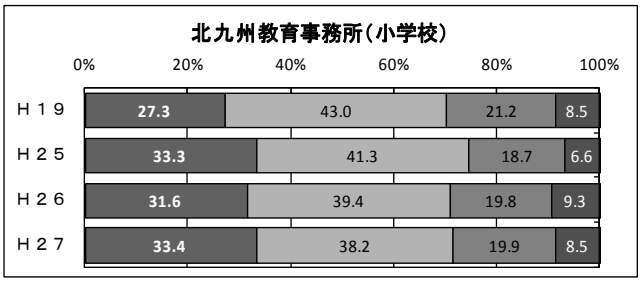


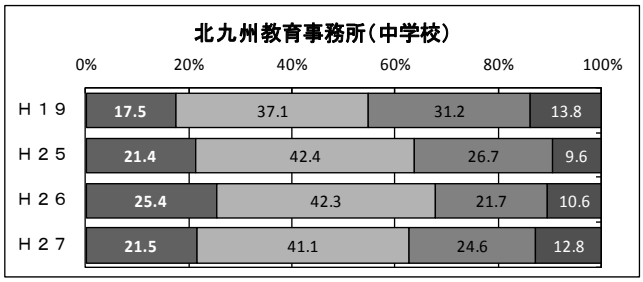


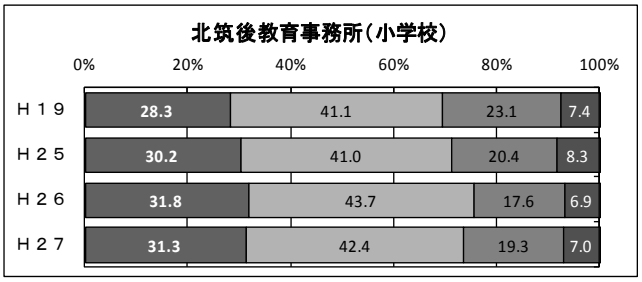
■　地区別回答状況

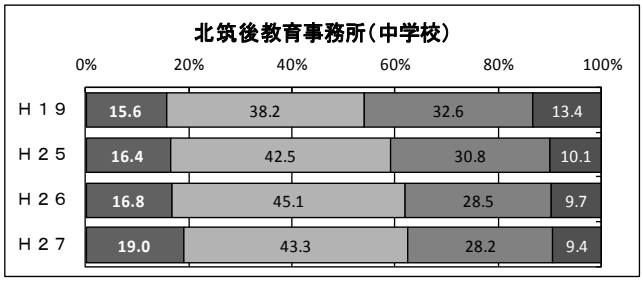

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.1 42.7 19.7 6.5
H25 34.8 42.5 16.3 6.3
H26 33.6 42.6 17.2 6.5
H27 34.5 42.2 16.7 6.6

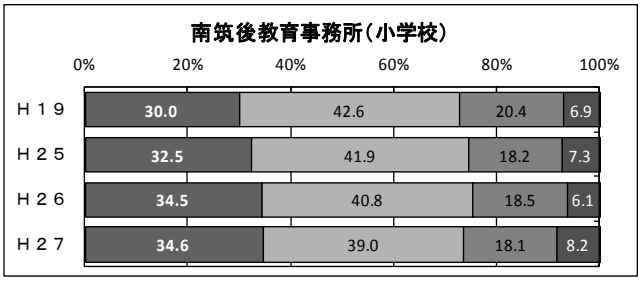

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.5 39.5 28.9 12.0
H25 21.4 43.3 26.2 9.0
H26 22.1 43.7 25.0 9.1
H27 23.5 42.7 24.3 9.4

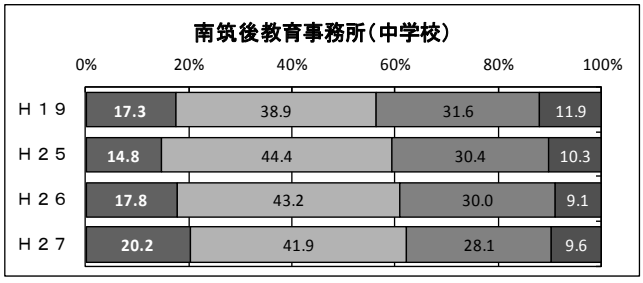

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.3 43.0 21.2 8.5
H25 33.3 41.3 18.7 6.6
H26 31.6 39.4 19.8 9.3
H27 33.4 38.2 19.9 8.5

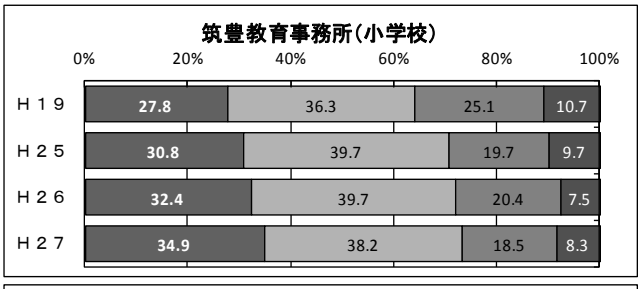

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.5 37.1 31.2 13.8
H25 21.4 42.4 26.7 9.6
H26 25.4 42.3 21.7 10.6
H27 21.5 41.1 24.6 12.8

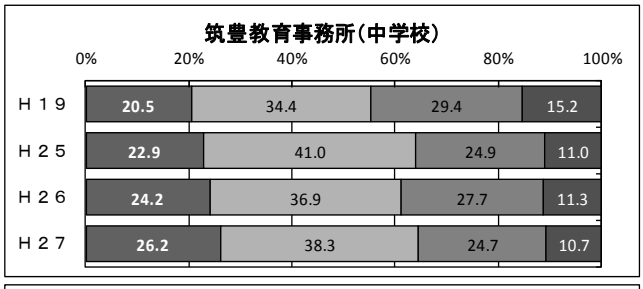

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.3 41.1 23.1 7.4
H25 30.2 41.0 20.4 8.3
H26 31.8 43.7 17.6 6.9
H27 31.3 42.4 19.3 7.0

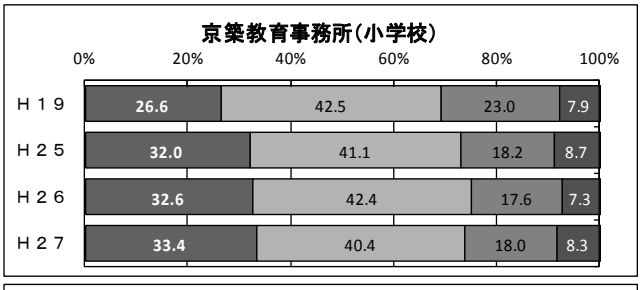

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.6 38.2 32.6 13.4
H25 16.4 42.5 30.8 10.1
H26 16.8 45.1 28.5 9.7
H27 19.0 43.3 28.2 9.4

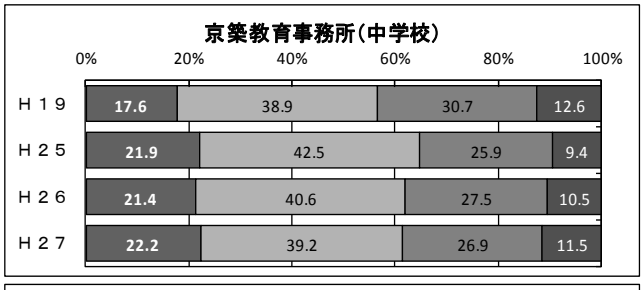

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 30.0 42.6 20.4 6.9
H25 32.5 41.9 18.2 7.3
H26 34.5 40.8 18.5 6.1
H27 34.6 39.0 18.1 8.2

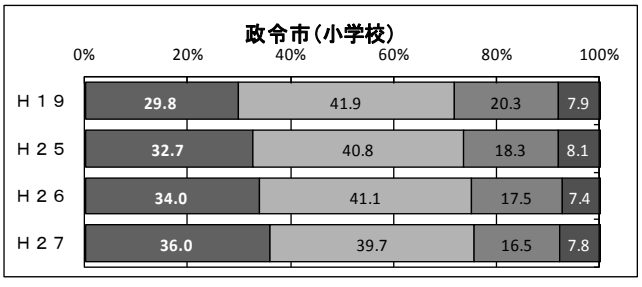

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.3 38.9 31.6 11.9
H25 14.8 44.4 30.4 10.3
H26 17.8 43.2 30.0 9.1
H27 20.2 41.9 28.1 9.6

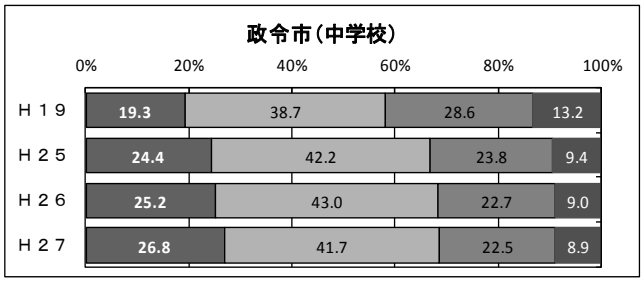

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.8 36.3 25.1 10.7
H25 30.8 39.7 19.7 9.7
H26 32.4 39.7 20.4 7.5
H27 34.9 38.2 18.5 8.3


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.5 34.4 29.4 15.2
H25 22.9 41.0 24.9 11.0
H26 24.2 36.9 27.7 11.3
H27 26.2 38.3 24.7 10.7


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 26.6 42.5 23.0 7.9
H25 32.0 41.1 18.2 8.7
H26 32.6 42.4 17.6 7.3
H27 33.4 40.4 18.0 8.3


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.6 38.9 30.7 12.6
H25 21.9 42.5 25.9 9.4
H26 21.4 40.6 27.5 10.5
H27 22.2 39.2 26.9 11.5


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 29.8 41.9 20.3 7.9
H25 32.7 40.8 18.3 8.1
H26 34.0 41.1 17.5 7.4
H27 36.0 39.7 16.5 7.8


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.3 38.7 28.6 13.2
H25 24.4 42.2 23.8 9.4
H26 25.2 43.0 22.7 9.0
H27 26.8 41.7 22.5 8.9

Ⅴ　学校質問紙に関する調査結果と分析

１　学校質問紙調査の目的

学校における指導内容、指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等を調査することにより、市町村教育委員会や学校の教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

２　本報告書において分析の対象とした質問項目

質問項目	頁番号
○授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。	１０６
○前年度までに、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。	１０８
○前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。	１１０
○言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、(外国語活動)、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。	１１２
○前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。	１１４
○前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。	１１６
○前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか。(国、算・数共通)	１１８
○ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	１２０
○平成２６年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。	１２２
○学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか。	１２４
○学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し，学校として組織的に取り組んでいますか。	１２６
○学校全体の学力傾向や課題について，全教職員の間で共有していますか。	１２８
○就学援助を受けている児童生徒の割合	１３０
○国語の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。	１３２
○算数（数学）の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。	１３４
○理科の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。	１３６

３　分析の目的と方法

Ａ　回答状況の経年比較

同一の質問項目に対する本県全体の学校の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２５、２６、２７年度で比較する。

Ｂ　回答状況と教科の正答率との相関関係

平成２７年度における質問項目に対する回答状況と教科区分ごとの平均正答率との相関関係を示す。

Ｃ　地区別の回答状況

同一の質問項目に対する各地区の学校の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２５、２６、２７年度で比較する。

４　資料を読み取る際の留意点

特定の選択肢を回答した学校が少ない場合には、極端な傾向を示す場合がある。また、質問紙に対する回答状況は、選択肢以外の回答や無回答を除外しているため、合計が１００％にならない場合がある。

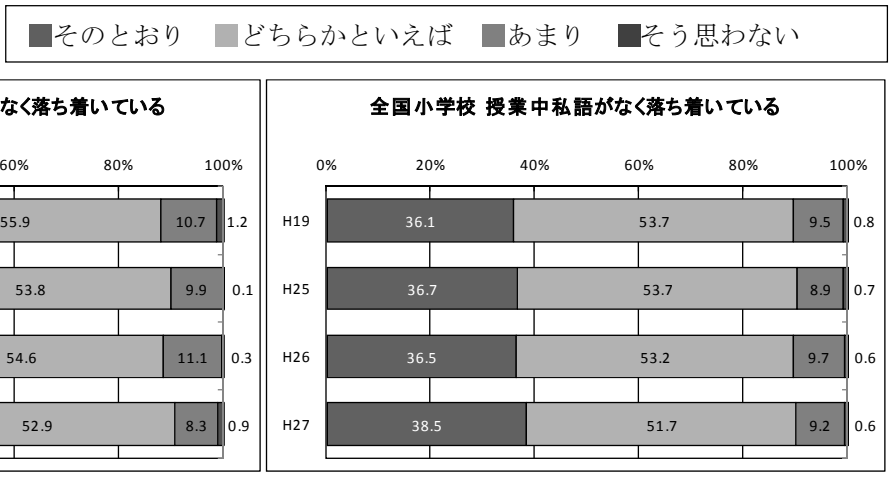
１　学習態度

※　数字は、学校質問紙中の質問番号

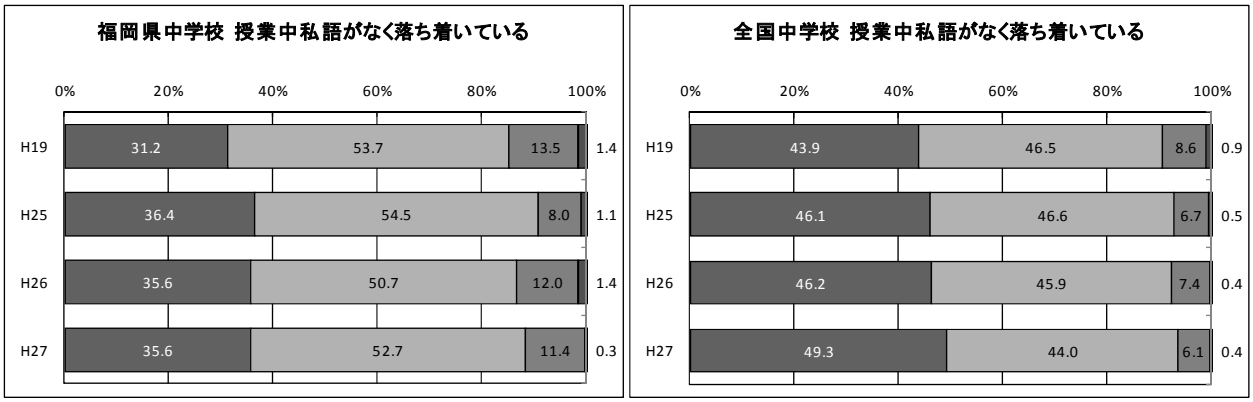
小 17・中 17	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

○　そのとおりだと思う、どちらかといえばそう思うと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　そのとおりと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は同程度だが、中学校は 13.7 ポイント下回っている。
○　そのとおりだと思う、どちらかといえばそう思うと回答している学校の正答率は、全ての教科区分において高い傾向にある。

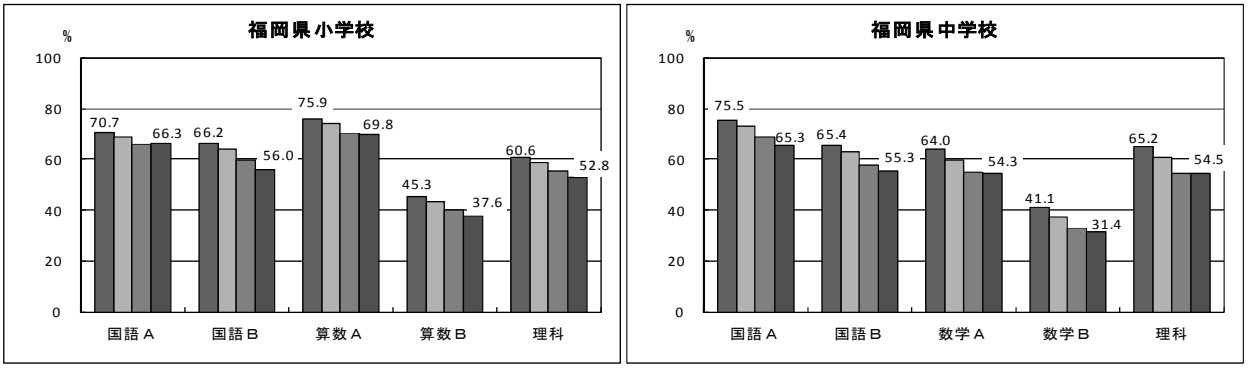
■　小学校回答状況



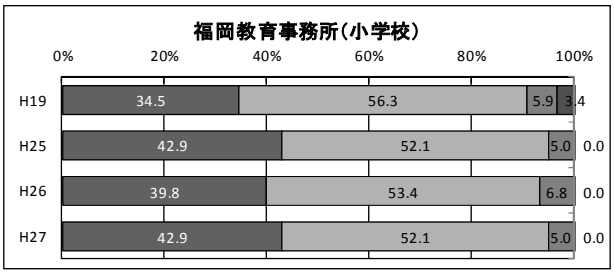
■　中学校回答状況

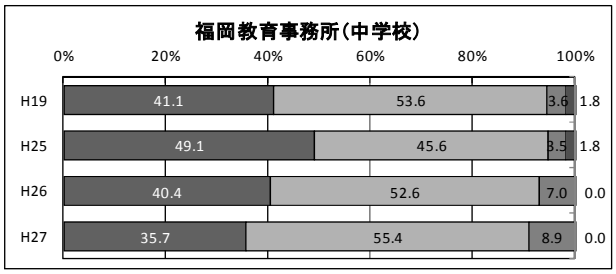


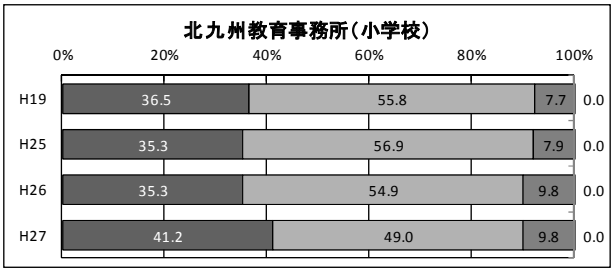
■　教科の正答率との相関関係

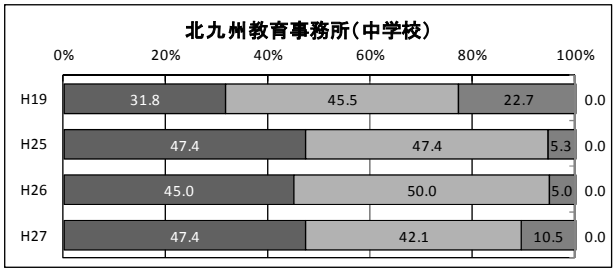


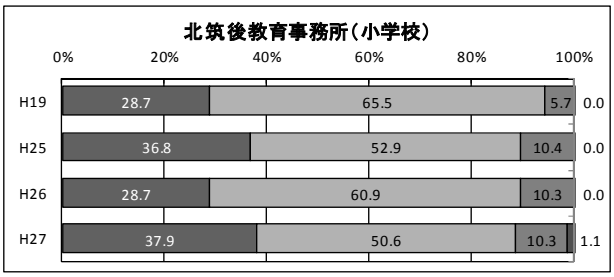
■　地区別回答状況

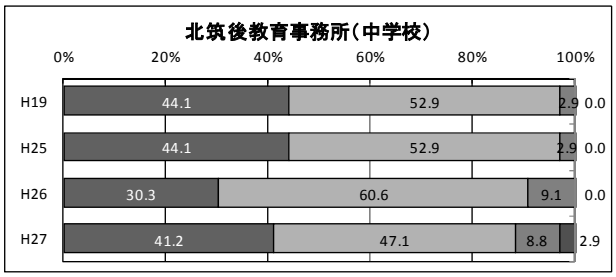

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 34.5 56.3 5.9 3.4
H25 42.9 52.1 5.0 0.0
H26 39.8 53.4 6.8 0.0
H27 42.9 52.1 5.0 0.0

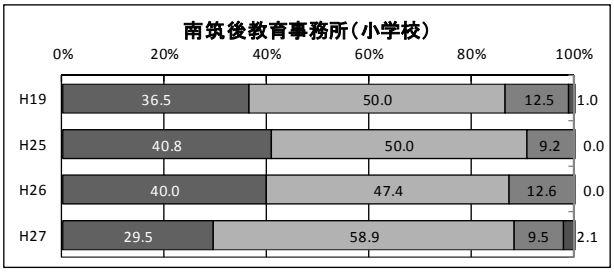

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 41.1 53.6 3.6 1.8
H25 49.1 45.6 3.5 1.8
H26 40.4 52.6 7.0 0.0
H27 35.7 55.4 8.9 0.0

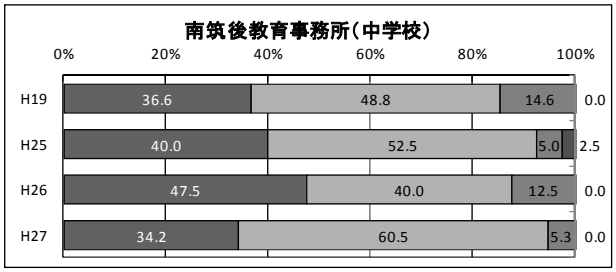

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.5 55.8 7.7 0.0
H25 35.3 56.9 7.9 0.0
H26 35.3 54.9 9.8 0.0
H27 41.2 49.0 9.8 0.0

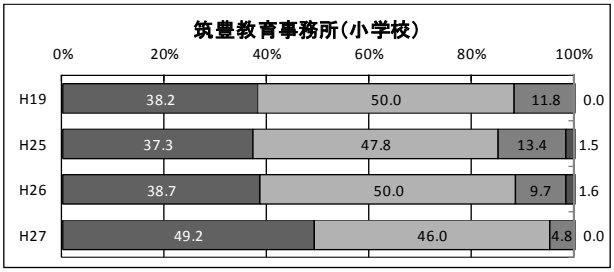

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.8 45.5 22.7 0.0
H25 47.4 47.4 5.3 0.0
H26 45.0 50.0 5.0 0.0
H27 47.4 42.1 10.5 0.0

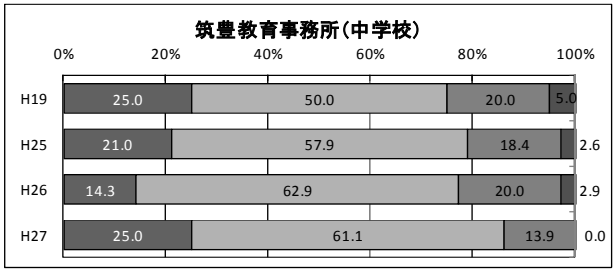

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.7 65.5 5.7 0.0
H25 36.8 52.9 10.4 0.0
H26 28.7 60.9 10.3 0.0
H27 37.9 50.6 10.3 1.1

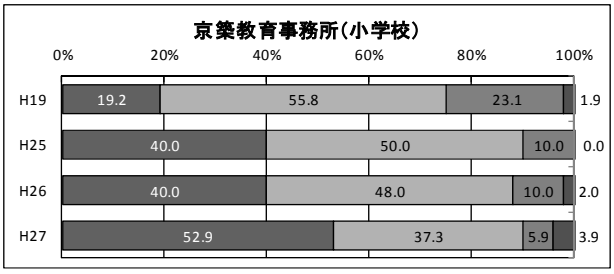

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 44.1 52.9 2.9 0.0
H25 44.1 52.9 2.9 0.0
H26 30.3 60.6 9.1 0.0
H27 41.2 47.1 8.8 2.9

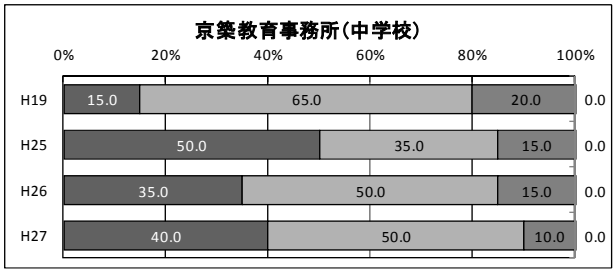

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.5 50.0 12.5 1.0
H25 40.8 50.0 9.2 0.0
H26 40.0 47.4 12.6 0.0
H27 29.5 58.9 9.5 2.1

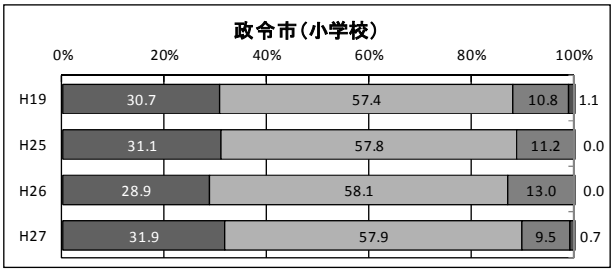

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.6 48.8 14.6 0.0
H25 40.0 52.5 5.0 2.5
H26 47.5 40.0 12.5 0.0
H27 34.2 60.5 5.3 0.0

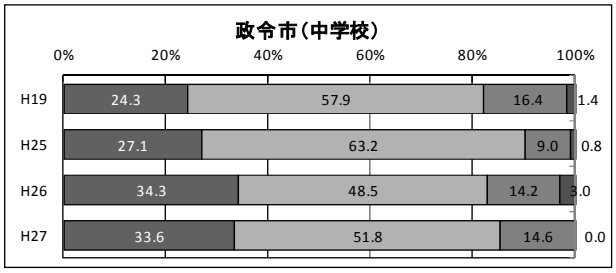

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.2 50.0 11.8 0.0
H25 37.3 47.8 13.4 1.5
H26 38.7 50.0 9.7 1.6
H27 49.2 46.0 4.8 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.0 50.0 20.0 5.0
H25 21.0 57.9 18.4 2.6
H26 14.3 62.9 20.0 2.9
H27 25.0 61.1 13.9 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.2 55.8 23.1 1.9
H25 40.0 50.0 10.0 0.0
H26 40.0 48.0 10.0 2.0
H27 52.9 37.3 5.9 3.9


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.0 65.0 20.0 0.0
H25 50.0 35.0 15.0 0.0
H26 35.0 50.0 15.0 0.0
H27 40.0 50.0 10.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 30.7 57.4 10.8 1.1
H25 31.1 57.8 11.2 0.0
H26 28.9 58.1 13.0 0.0
H27 31.9 57.9 9.5 0.7


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.3 57.9 16.4 1.4
H25 27.1 63.2 9.0 0.8
H26 34.3 48.5 14.2 3.0
H27 33.6 51.8 14.6 0.0

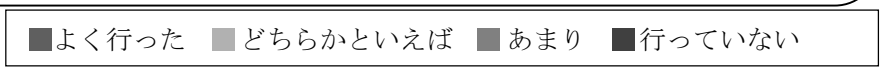
２　指導方法

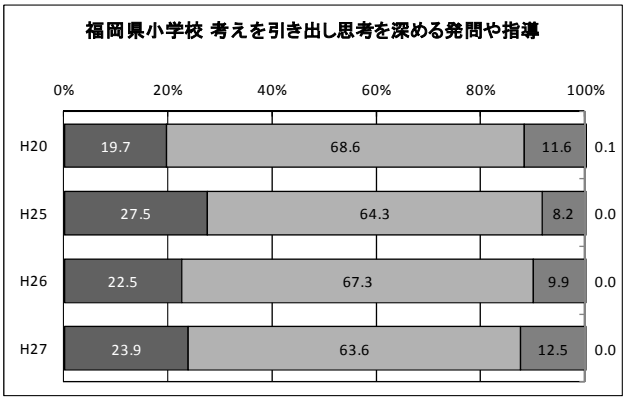
小 32・中 32	前年度までに、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。

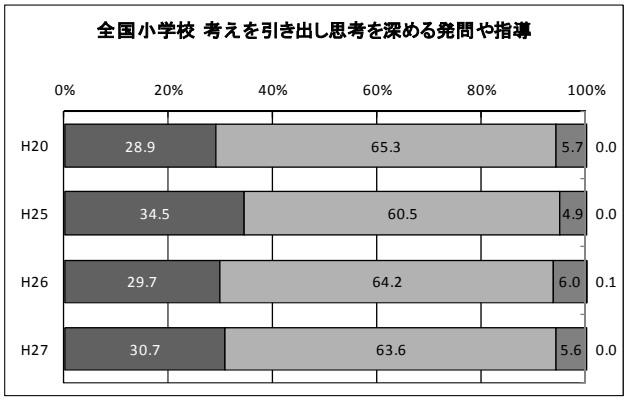
※平成２０年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 6.8 ポイント、中学校は 5.2 ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

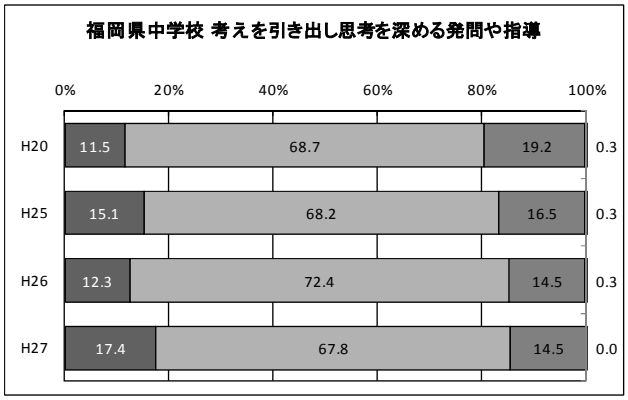
■　小学校回答状況

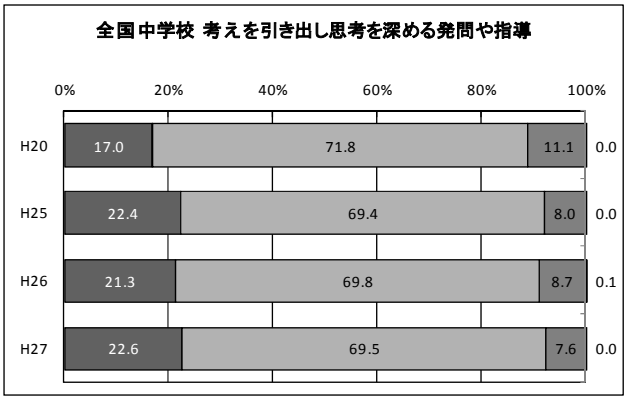




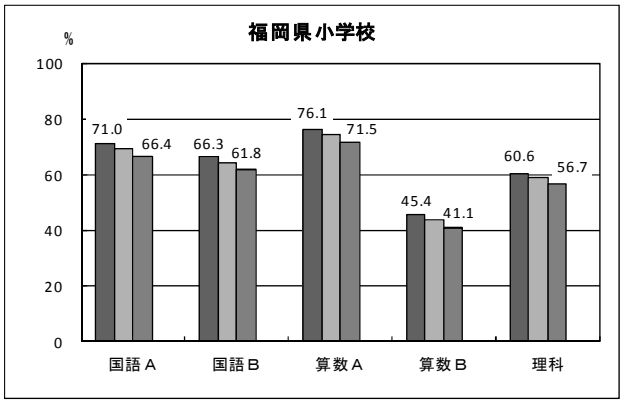


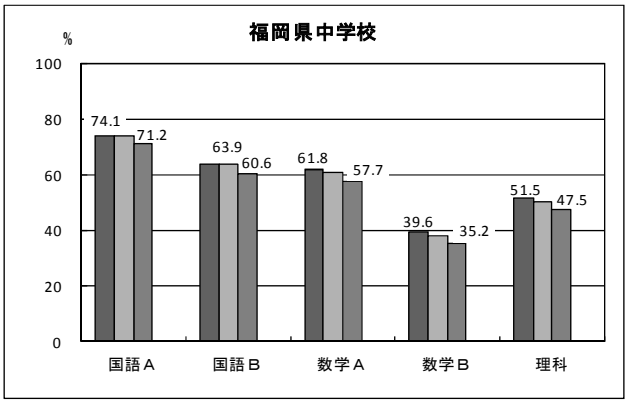
■　中学校回答状況



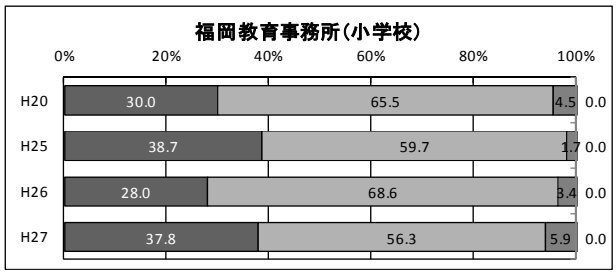


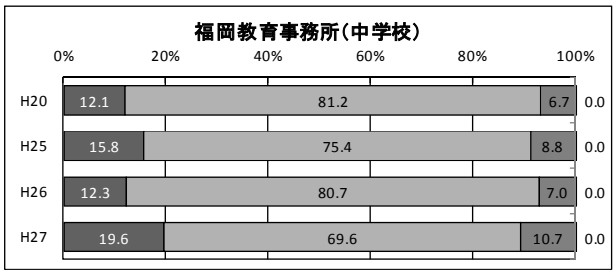
■　教科の正答率との相関関係

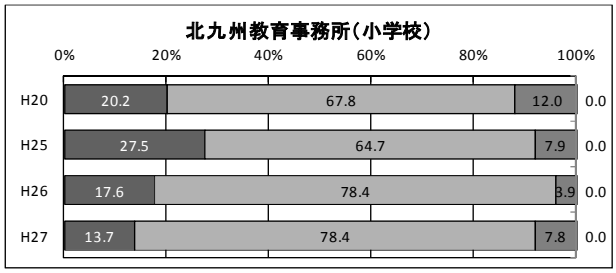


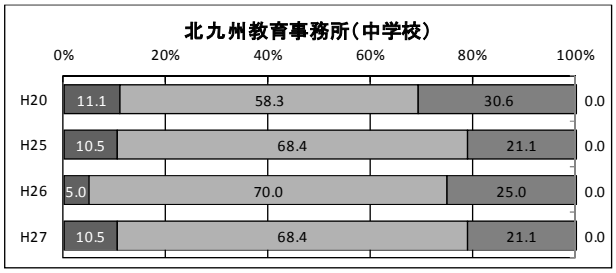


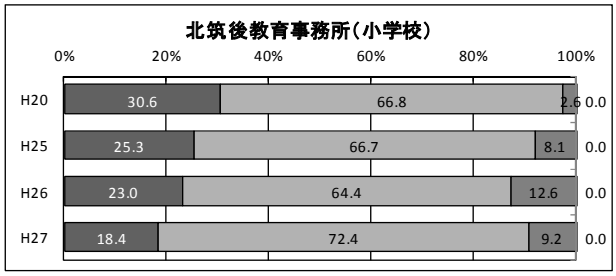
■　地区別回答状況

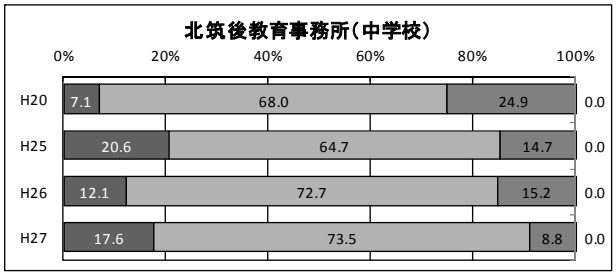

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
30.0
65.5
4.5
0.0
H25
38.7
59.7
1.7
0.0
H26
28.0
68.6
3.4
0.0
H27
37.8
56.3
5.9
0.0

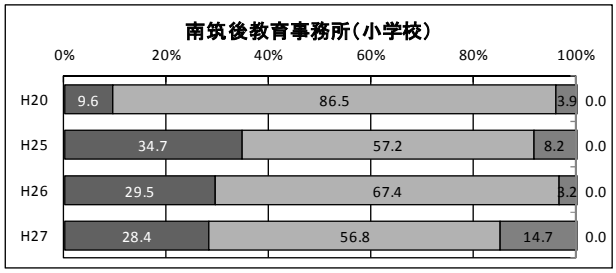

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
12.1
81.2
6.7
0.0
H25
15.8
75.4
8.8
0.0
H26
12.3
80.7
7.0
0.0
H27
19.6
69.6
10.7
0.0

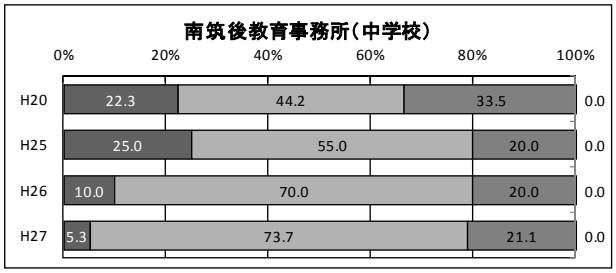

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
20.2
67.8
12.0
0.0
H25
27.5
64.7
7.9
0.0
H26
17.6
78.4
3.9
0.0
H27
13.7
78.4
7.8
0.0

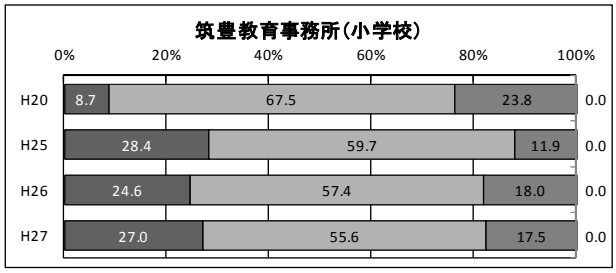

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
11.1
58.3
30.6
0.0
H25
10.5
68.4
21.1
0.0
H26
5.0
70.0
25.0
0.0
H27
10.5
68.4
21.1
0.0

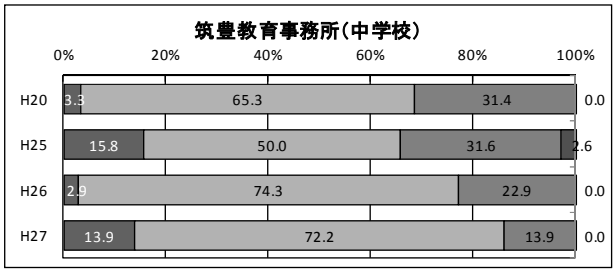

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
30.6
66.8
2.6
0.0
H25
25.3
66.7
8.1
0.0
H26
23.0
64.4
12.6
0.0
H27
18.4
72.4
9.2
0.0

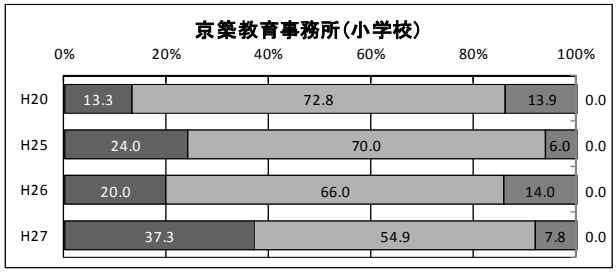

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
7.1
68.0
24.9
0.0
H25
20.6
64.7
14.7
0.0
H26
12.1
72.7
15.2
0.0
H27
17.6
73.5
8.8
0.0

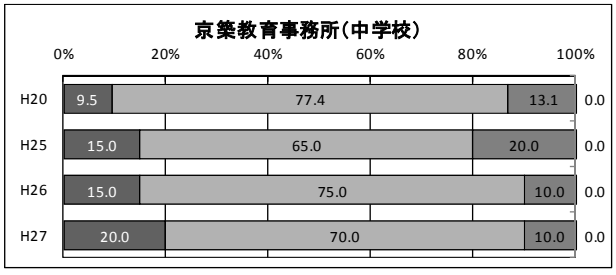

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
9.6
86.5
3.9
0.0
H25
34.7
57.2
8.2
0.0
H26
29.5
67.4
3.2
0.0
H27
28.4
56.8
14.7
0.0

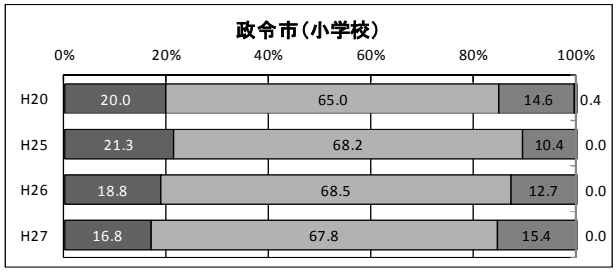

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
22.3
44.2
33.5
0.0
H25
25.0
55.0
20.0
0.0
H26
10.0
70.0
20.0
0.0
H27
5.3
73.7
21.1
0.0

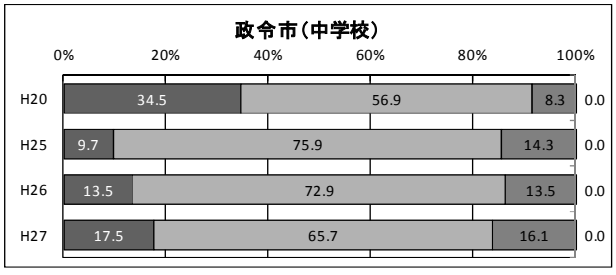

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
8.7
67.5
23.8
0.0
H25
28.4
59.7
11.9
0.0
H26
24.6
57.4
18.0
0.0
H27
27.0
55.6
17.5
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
3.3
65.3
31.4
0.0
H25
15.8
50.0
31.6
2.6
H26
2.9
74.3
22.9
0.0
H27
13.9
72.2
13.9
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
13.3
72.8
13.9
0.0
H25
24.0
70.0
6.0
0.0
H26
20.0
66.0
14.0
0.0
H27
37.3
54.9
7.8
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
9.5
77.4
13.1
0.0
H25
15.0
65.0
20.0
0.0
H26
15.0
75.0
10.0
0.0
H27
20.0
70.0
10.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
20.0
65.0
14.6
0.4
H25
21.3
68.2
10.4
0.0
H26
18.8
68.5
12.7
0.0
H27
16.8
67.8
15.4
0.0

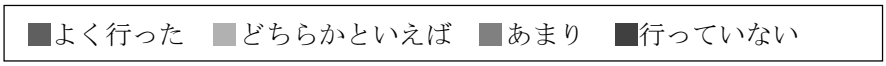

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
34.5
56.9
8.3
0.0
H25
9.7
75.9
14.3
0.0
H26
13.5
72.9
13.5
0.0
H27
17.5
65.7
16.1
0.0

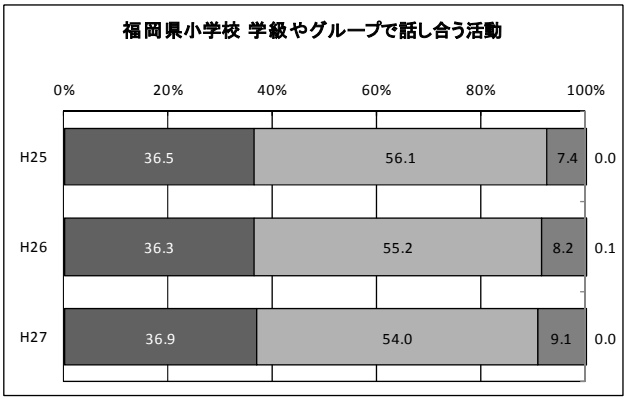
小 35・中 35	前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

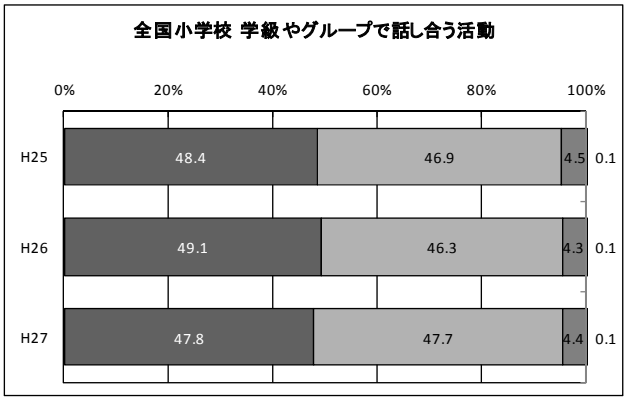
※平成２５年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 10.9 ポイント、中学校は 10.6 ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

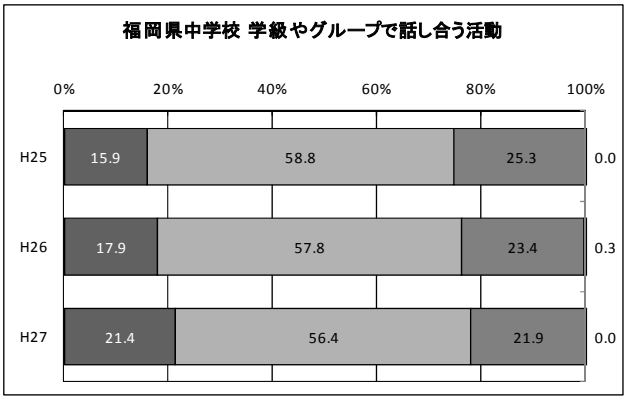
■　小学校回答状況

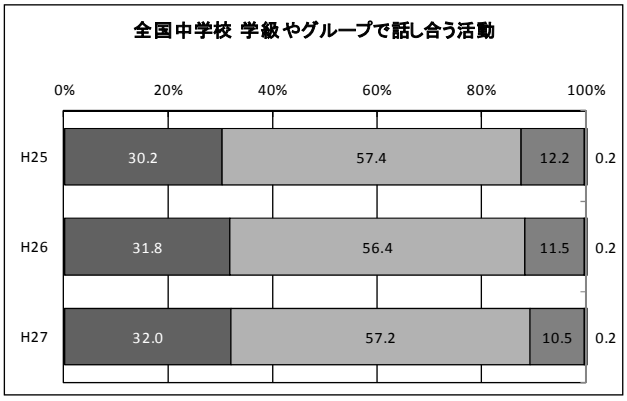




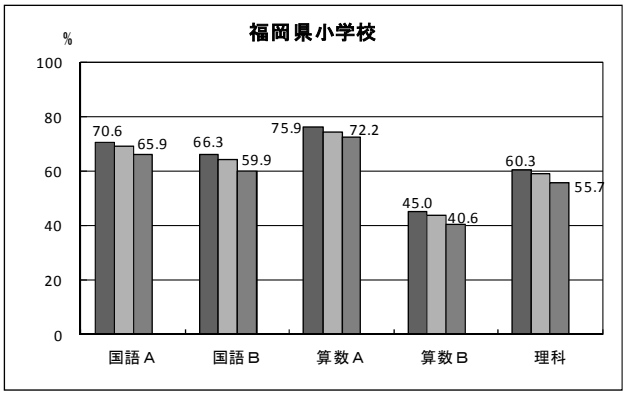


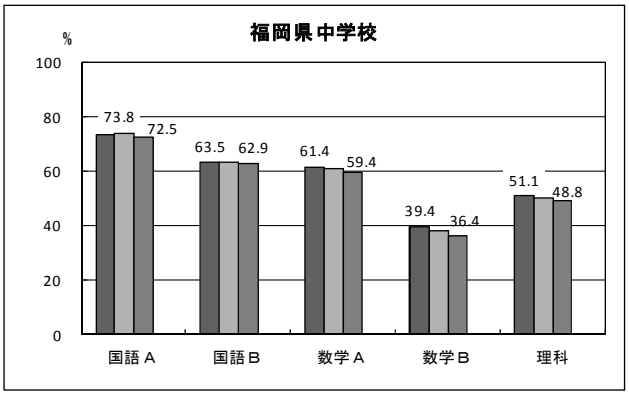
■　中学校回答状況



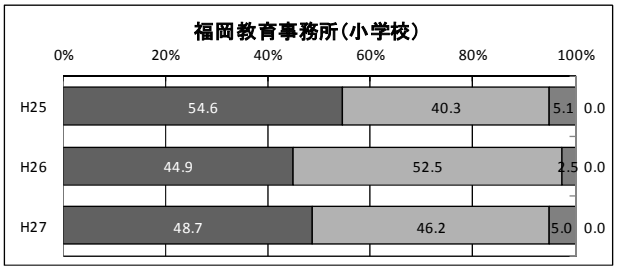


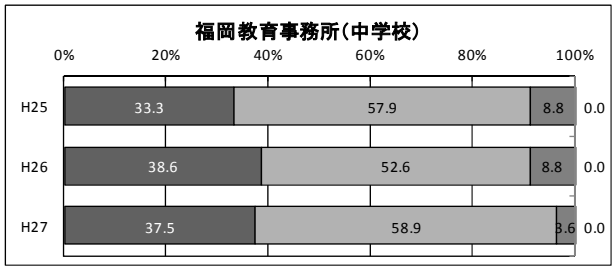
■　教科の正答率との相関関係

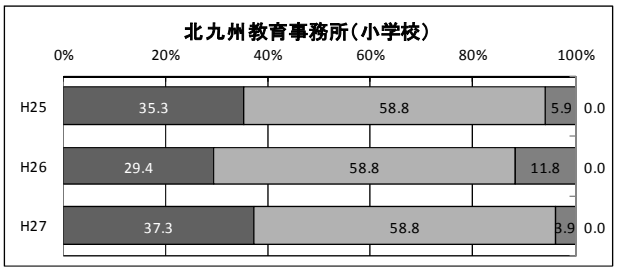


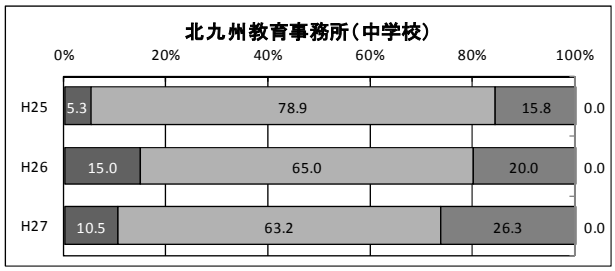


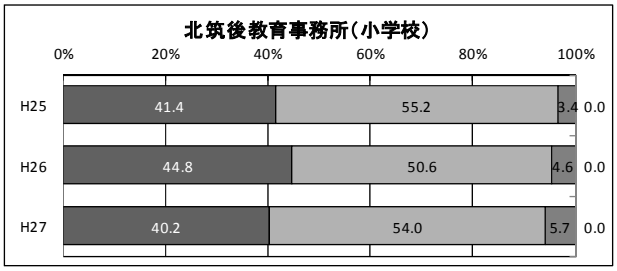
■　地区別回答状況

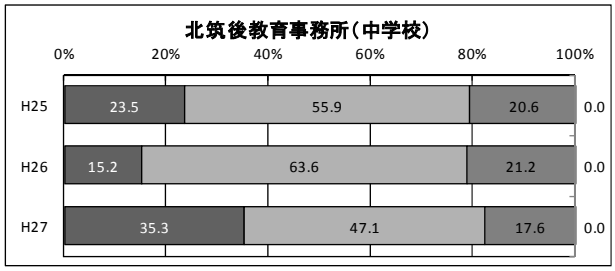

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
54.6
40.3
5.1
0.0
H26
44.9
52.5
2.5
0.0
H27
48.7
46.2
5.0
0.0

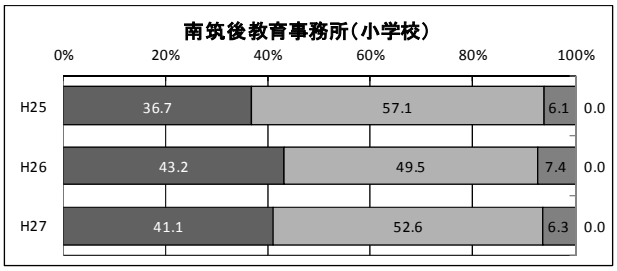

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
33.3
57.9
8.8
0.0
H26
38.6
52.6
8.8
0.0
H27
37.5
58.9
3.6
0.0

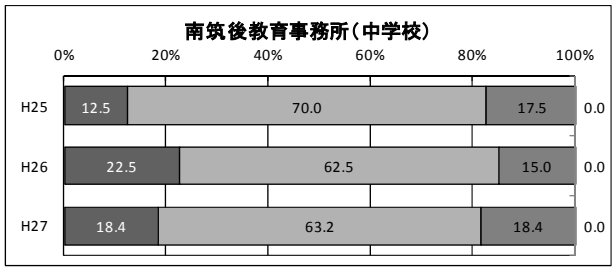

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
35.3
58.8
5.9
0.0
H26
29.4
58.8
11.8
0.0
H27
37.3
58.8
3.9
0.0

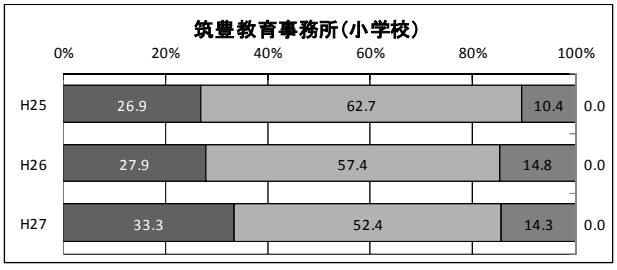

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
5.3
78.9
15.8
0.0
H26
15.0
65.0
20.0
0.0
H27
10.5
63.2
26.3
0.0

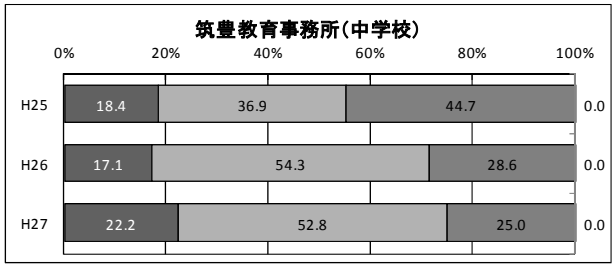

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
41.4
55.2
3.4
0.0
H26
44.8
50.6
4.6
0.0
H27
40.2
54.0
5.7
0.0

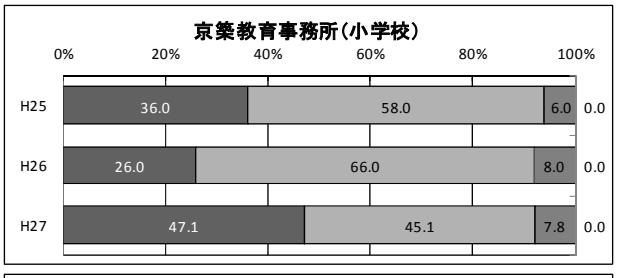

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
23.5
55.9
20.6
0.0
H26
15.2
63.6
21.2
0.0
H27
35.3
47.1
17.6
0.0

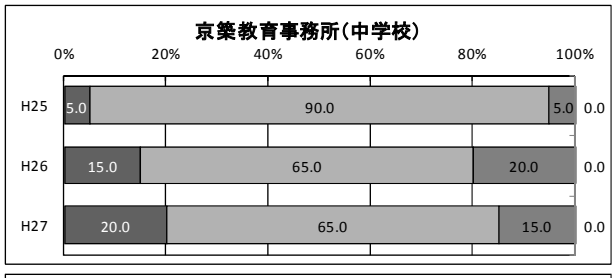

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
36.7
57.1
6.1
0.0
H26
43.2
49.5
7.4
0.0
H27
41.1
52.6
6.3
0.0

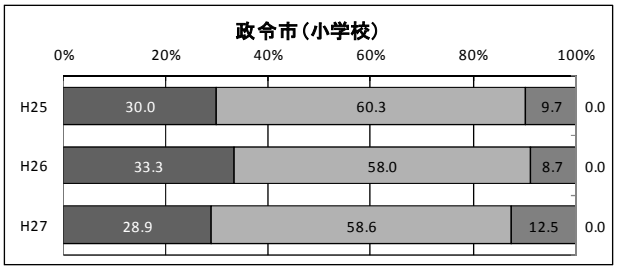

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
12.5
70.0
17.5
0.0
H26
22.5
62.5
15.0
0.0
H27
18.4
63.2
18.4
0.0

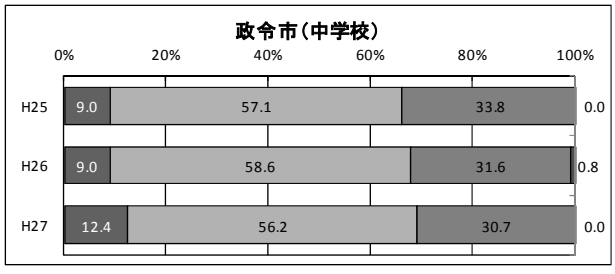

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
26.9
62.7
10.4
0.0
H26
27.9
57.4
14.8
0.0
H27
33.3
52.4
14.3
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
18.4
36.9
44.7
0.0
H26
17.1
54.3
28.6
0.0
H27
22.2
52.8
25.0
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
36.0
58.0
6.0
0.0
H26
26.0
66.0
8.0
0.0
H27
47.1
45.1
7.8
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
5.0
90.0
5.0
0.0
H26
15.0
65.0
20.0
0.0
H27
20.0
65.0
15.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
30.0
60.3
9.7
0.0
H26
33.3
58.0
8.7
0.0
H27
28.9
58.6
12.5
0.0

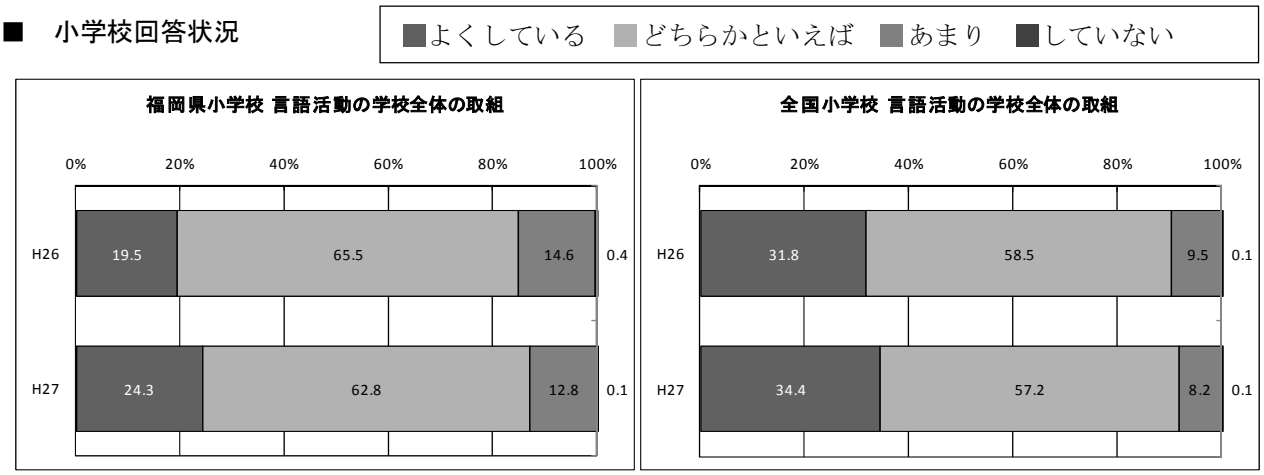

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
9.0
57.1
33.8
0.0
H26
9.0
58.6
31.6
0.8
H27
12.4
56.2
30.7
0.0

小 109・中 107	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、（外国語活動）、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。

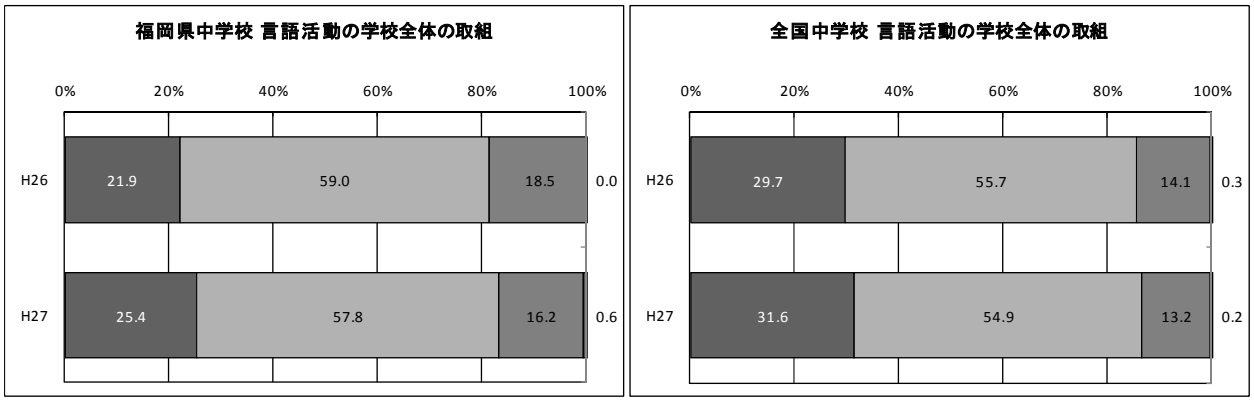
※平成２６年度から加えられた質問

○　よくしていると回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よくしていると回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 10.1 ポイント、中学校は 6.2 ポイント下回っている。
○　よくしていると回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。
※「全くしていない」と回答した小学校は１校、中学校は２校であったため、分析の対象から除外した。

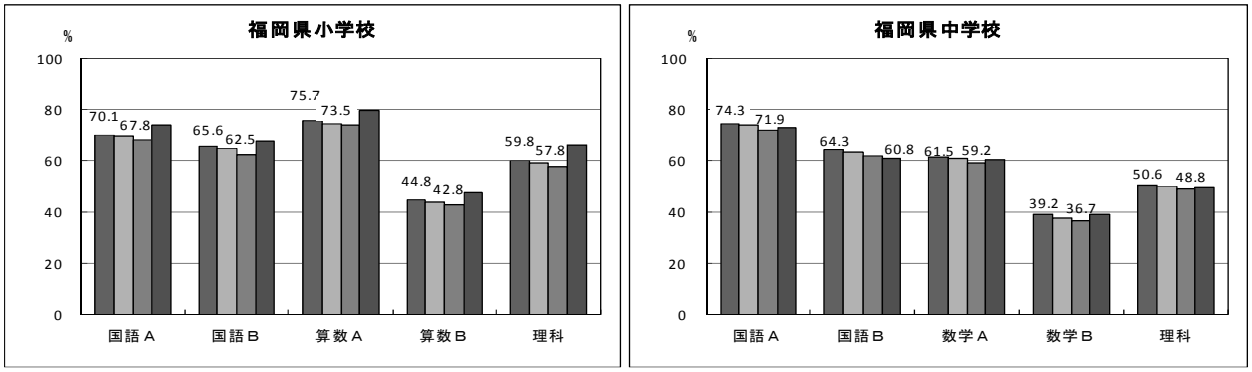
■　小学校回答状況



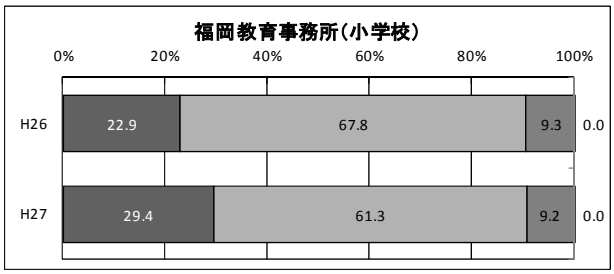
■　中学校回答状況

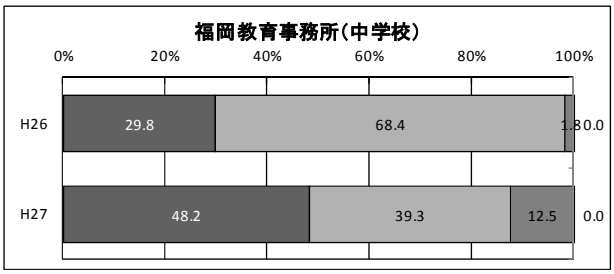


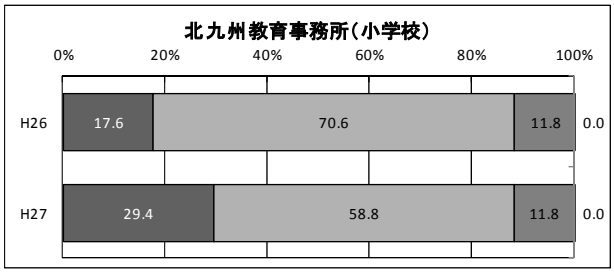
■　教科の正答率との相関関係

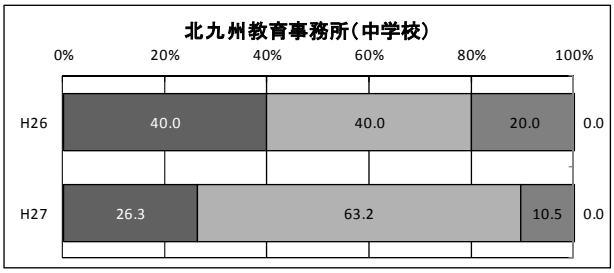


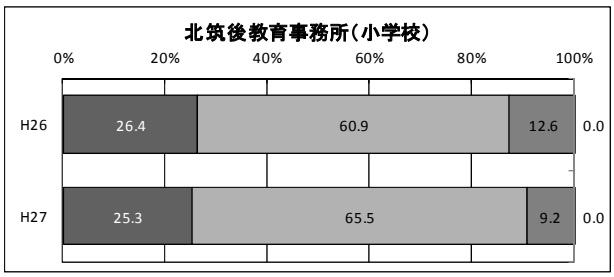
■　地区別回答状況

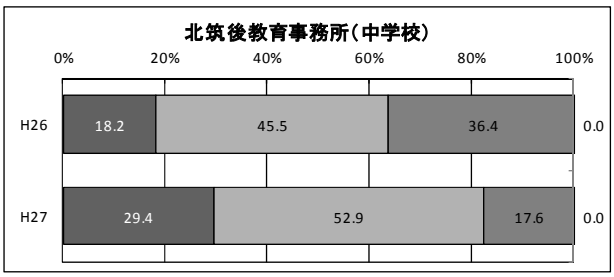

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
22.9
67.8
9.3
0.0
H27
29.4
61.3
9.2
0.0

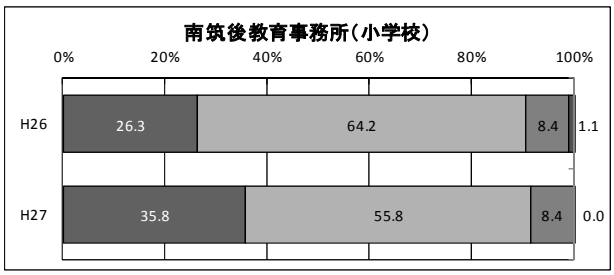

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
29.8
68.4
1.8
0.0
H27
48.2
39.3
12.5
0.0

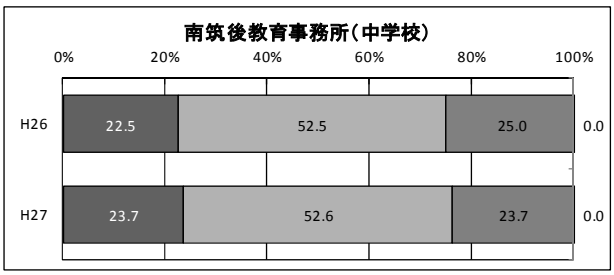

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
17.6
70.6
11.8
0.0
H27
29.4
58.8
11.8
0.0

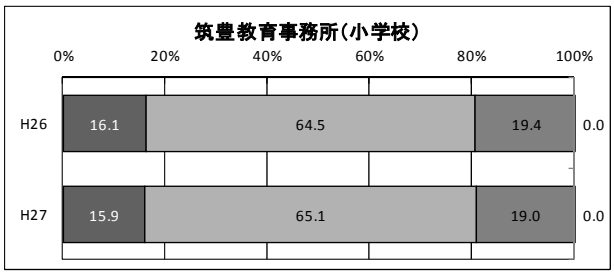

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
40.0
40.0
20.0
0.0
H27
26.3
63.2
10.5
0.0

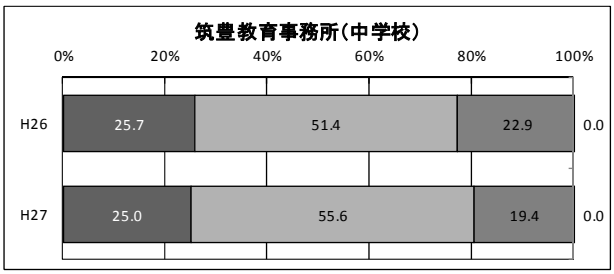

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
26.4
60.9
12.6
0.0
H27
25.3
65.5
9.2
0.0

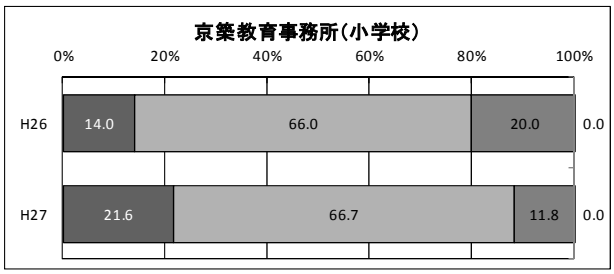

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
18.2
45.5
36.4
0.0
H27
29.4
52.9
17.6
0.0

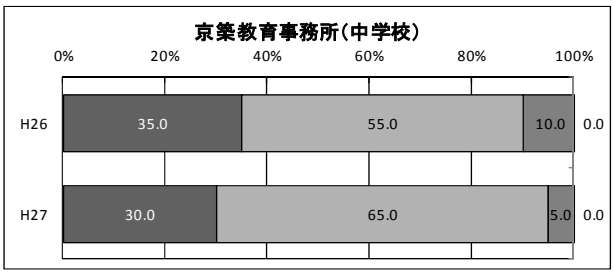

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
26.3
64.2
8.4
1.1
H27
35.8
55.8
8.4
0.0

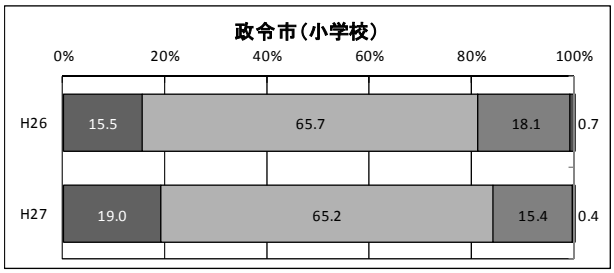

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
22.5
52.5
25.0
0.0
H27
23.7
52.6
23.7
0.0

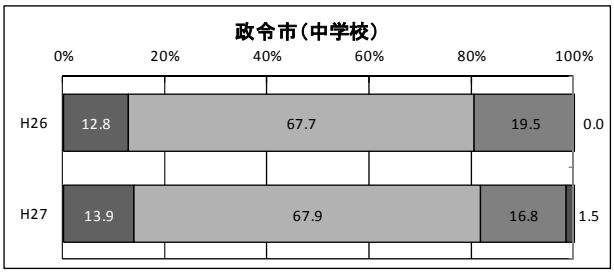

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
16.1
64.5
19.4
0.0
H27
15.9
65.1
19.0
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
25.7
51.4
22.9
0.0
H27
25.0
55.6
19.4
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
14.0
66.0
20.0
0.0
H27
21.6
66.7
11.8
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
35.0
55.0
10.0
0.0
H27
30.0
65.0
5.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
15.5
65.7
18.1
0.7
H27
19.0
65.2
15.4
0.4


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
12.8
67.7
19.5
0.0
H27
13.9
67.9
16.8
1.5

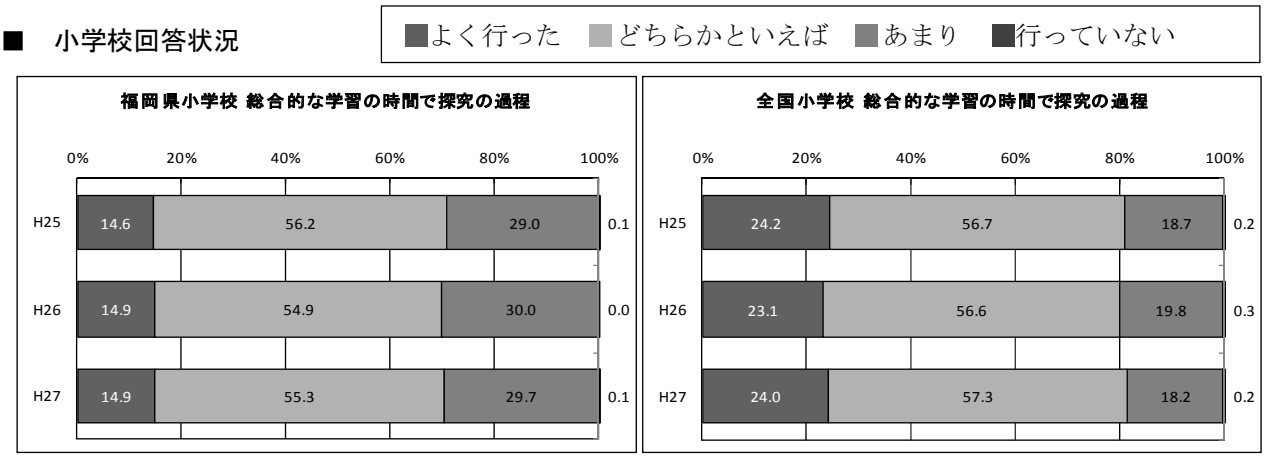
小 36・中 36	前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。

※平成２５年度から加えられた質問

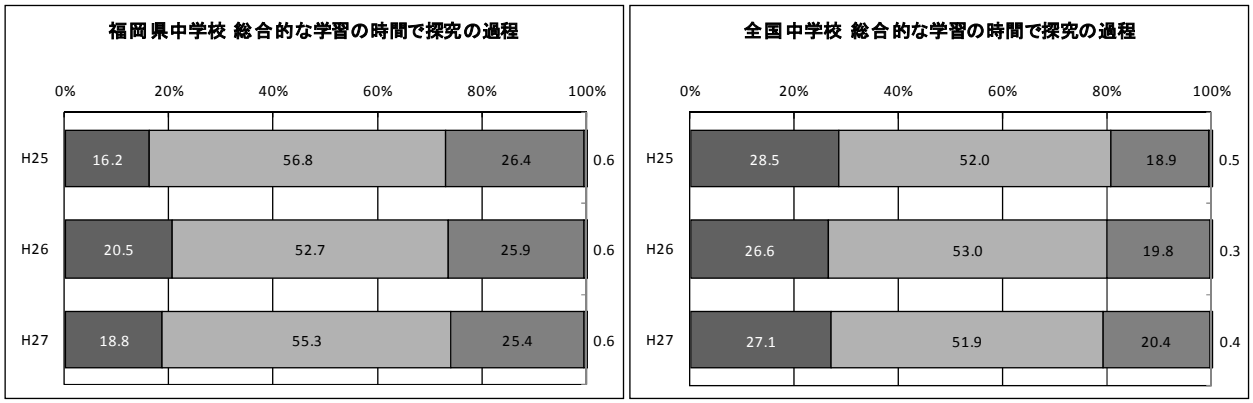
○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して、小学校は同じ、中学校は減少している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 9.1 ポイント、中学校は 8.3 ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、小学校の全教科区分において高い傾向にある。

※「全くしていない」と回答した小学校は１校、中学校は２校であったため、分析の対象から除外した。

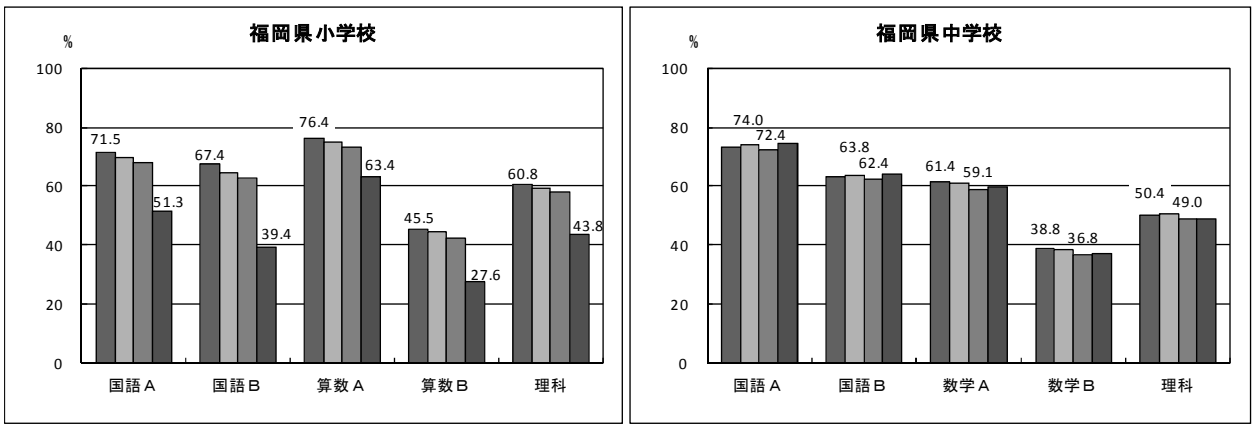
■　小学校回答状況



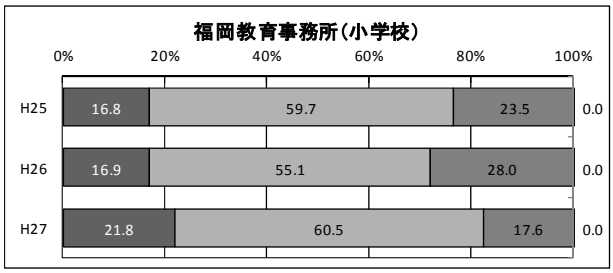
■　中学校回答状況

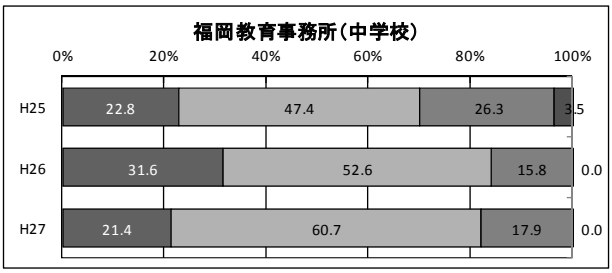


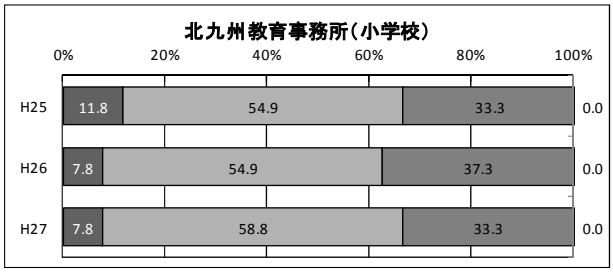
■　教科の正答率との相関関係

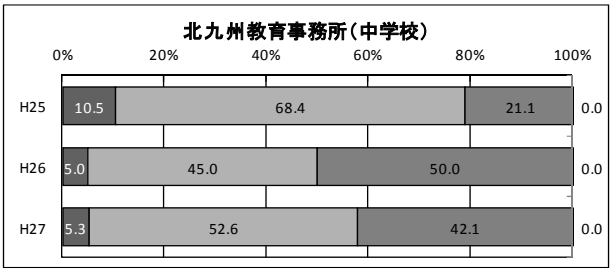


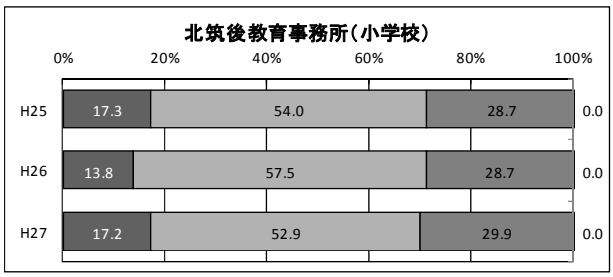
■　地区別回答状況

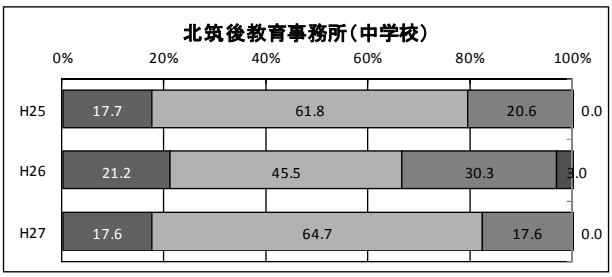

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
16.8
59.7
23.5
0.0
H26
16.9
55.1
28.0
0.0
H27
21.8
60.5
17.6
0.0

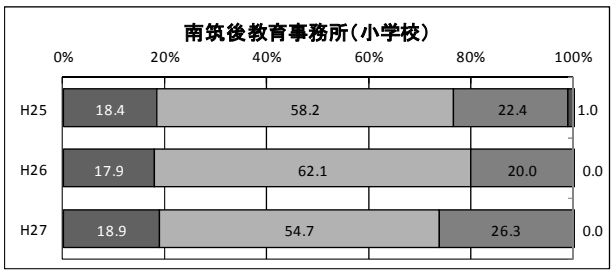

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
22.8
47.4
26.3
3.5
H26
31.6
52.6
15.8
0.0
H27
21.4
60.7
17.9
0.0

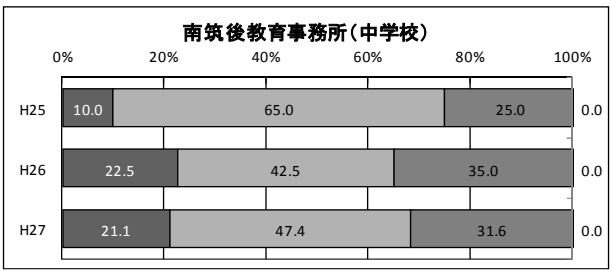

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
11.8
54.9
33.3
0.0
H26
7.8
54.9
37.3
0.0
H27
7.8
58.8
33.3
0.0

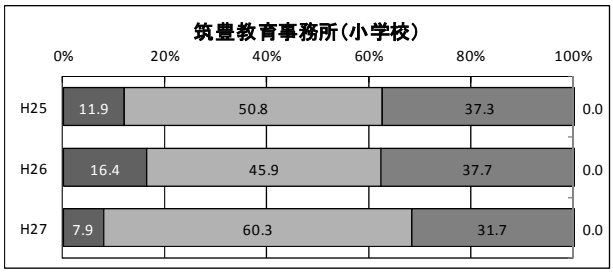

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
10.5
68.4
21.1
0.0
H26
5.0
45.0
50.0
0.0
H27
5.3
52.6
42.1
0.0

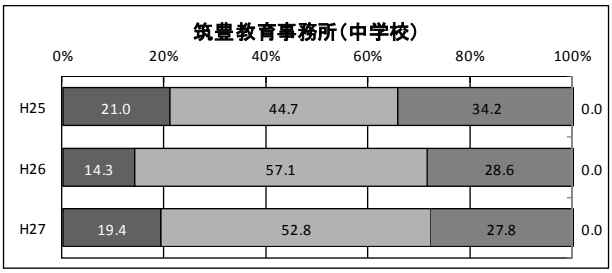

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
17.3
54.0
28.7
0.0
H26
13.8
57.5
28.7
0.0
H27
17.2
52.9
29.9
0.0

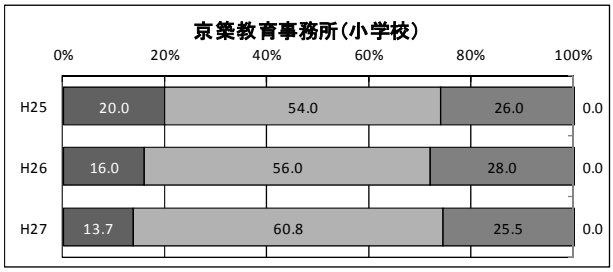

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
17.7
61.8
20.6
0.0
H26
21.2
45.5
30.3
3.0
H27
17.6
64.7
17.6
0.0

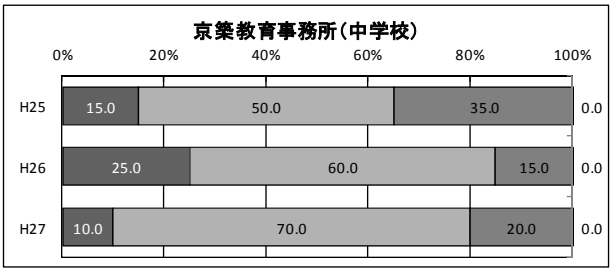

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
18.4
58.2
22.4
1.0
H26
17.9
62.1
20.0
0.0
H27
18.9
54.7
26.3
0.0

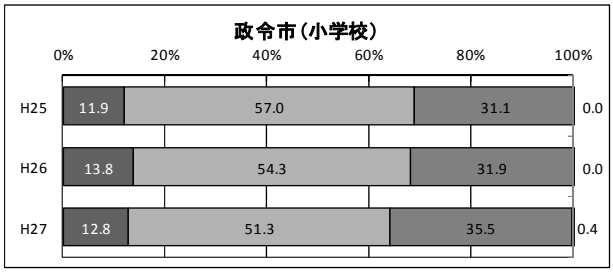

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
10.0
65.0
25.0
0.0
H26
22.5
42.5
35.0
0.0
H27
21.1
47.4
31.6
0.0

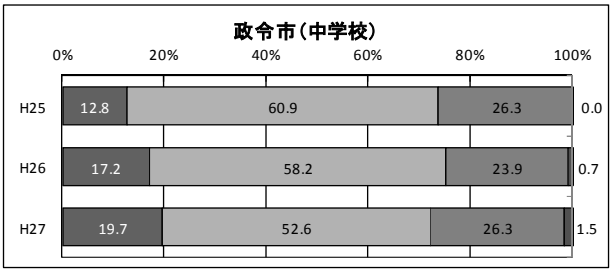

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
11.9
50.8
37.3
0.0
H26
16.4
45.9
37.7
0.0
H27
7.9
60.3
31.7
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
21.0
44.7
34.2
0.0
H26
14.3
57.1
28.6
0.0
H27
19.4
52.8
27.8
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
20.0
54.0
26.0
0.0
H26
16.0
56.0
28.0
0.0
H27
13.7
60.8
25.5
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
15.0
50.0
35.0
0.0
H26
25.0
60.0
15.0
0.0
H27
10.0
70.0
20.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
11.9
57.0
31.1
0.0
H26
13.8
54.3
31.9
0.0
H27
12.8
51.3
35.5
0.4


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H25
12.8
60.9
26.3
0.0
H26
17.2
58.2
23.9
0.7
H27
19.7
52.6
26.3
1.5

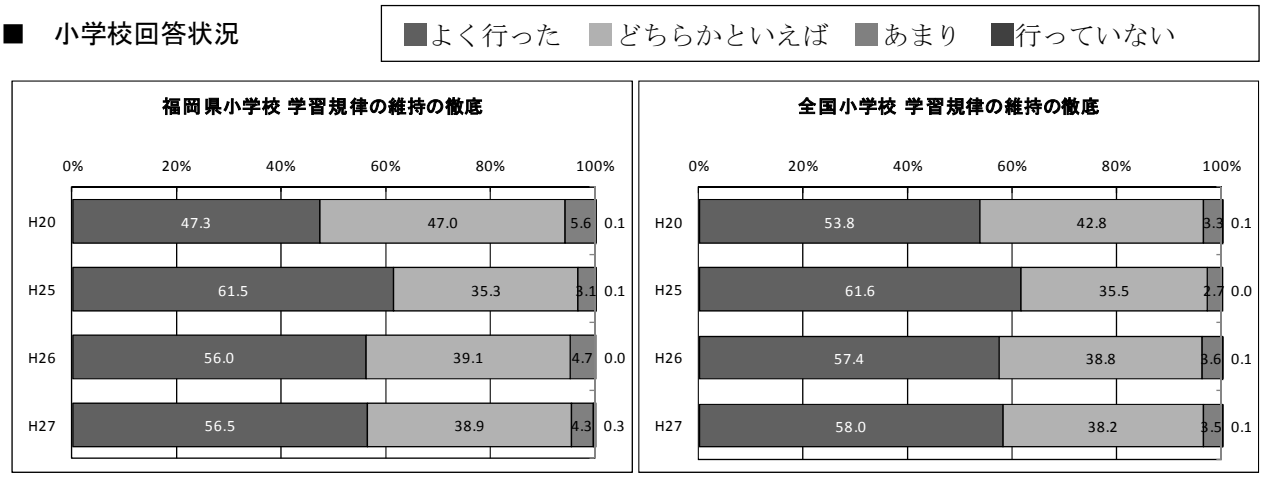
3　学習規律の指導

小 44・中 44	前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。

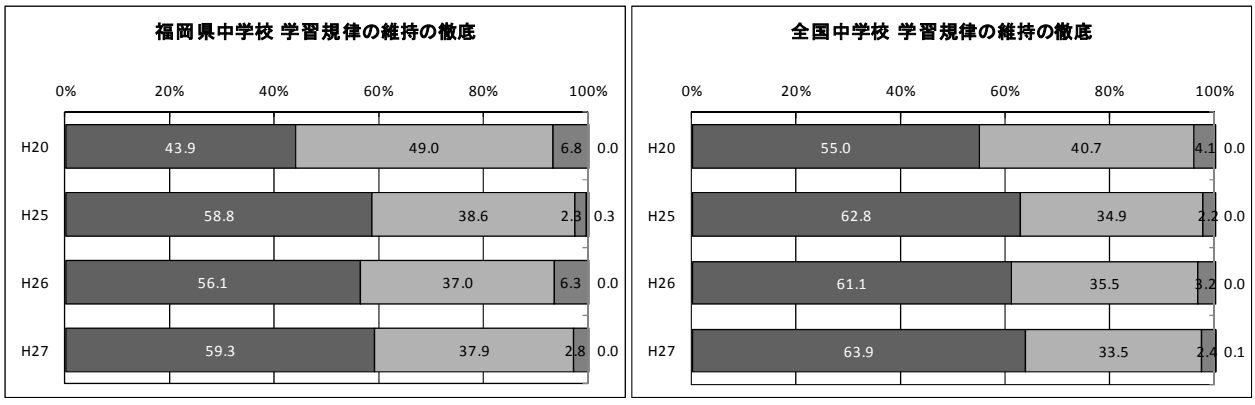
※平成２０年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校とも増加している。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、中学校数学Ｂを除いて高い傾向にある。

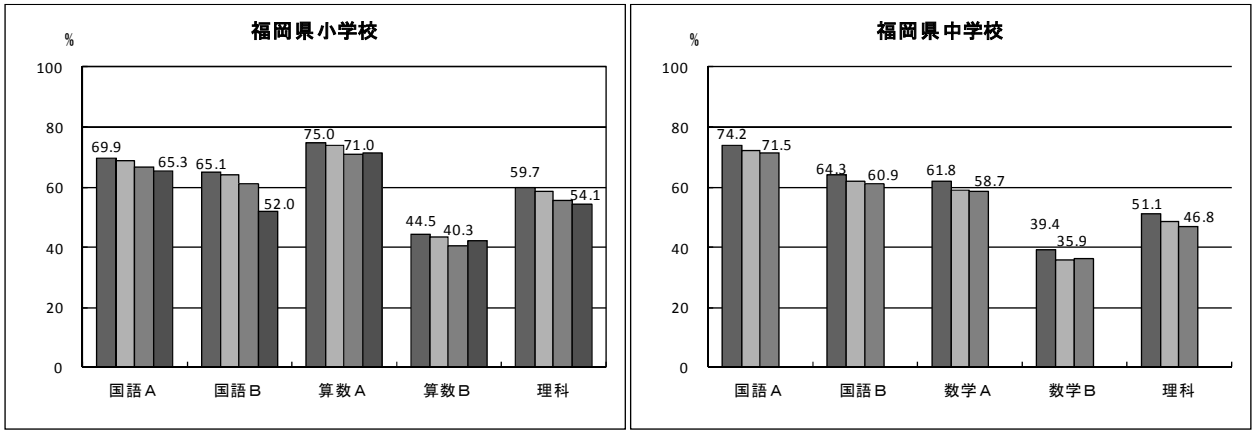
■　小学校回答状況



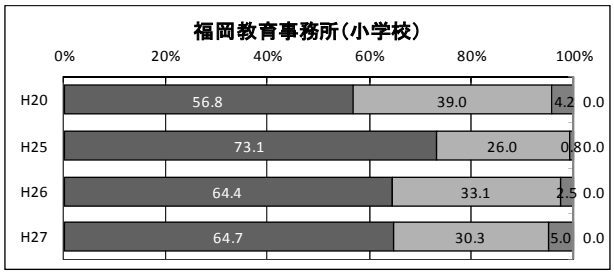
■　中学校回答状況

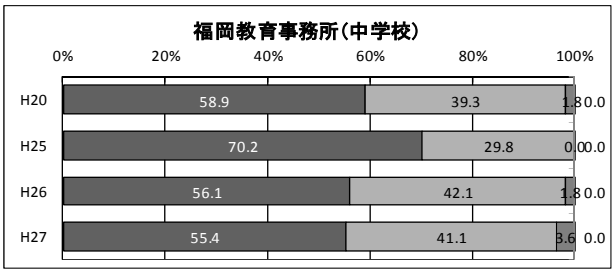


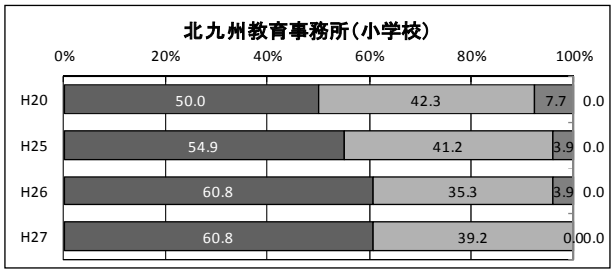
■　教科の正答率との相関関係

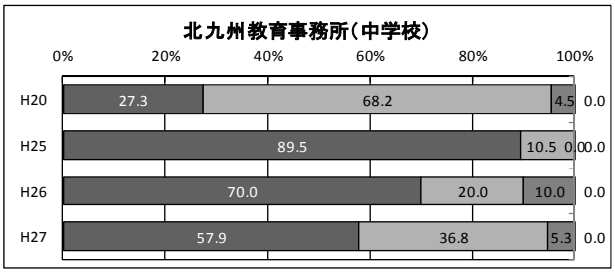


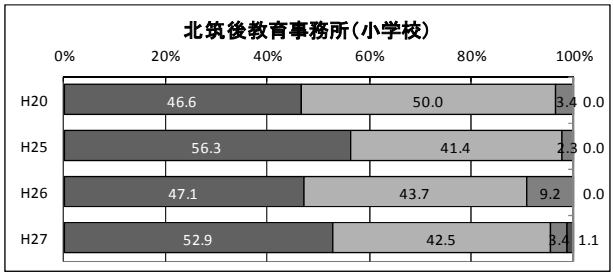
■　地区別回答状況

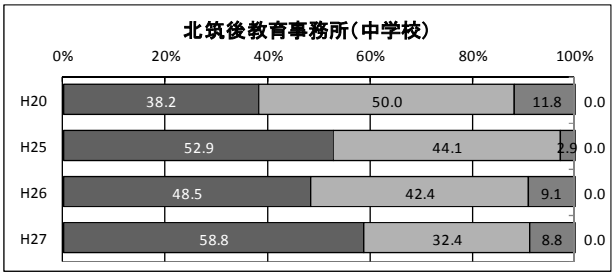

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 56.8 39.0 4.2 0.0
H25 73.1 26.0 0.8 0.0
H26 64.4 33.1 2.5 0.0
H27 64.7 30.3 5.0 0.0

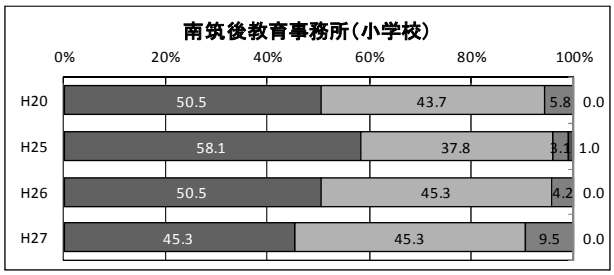

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 58.9 39.3 1.8 0.0
H25 70.2 29.8 0.0 0.0
H26 56.1 42.1 1.8 0.0
H27 55.4 41.1 3.6 0.0

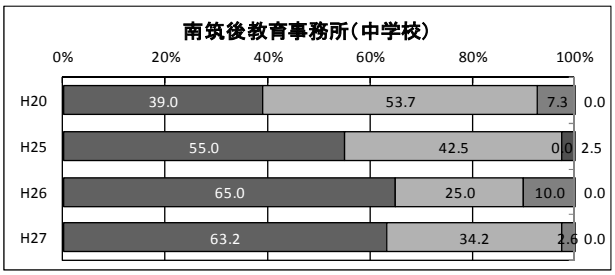

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 50.0 42.3 7.7 0.0
H25 54.9 41.2 3.9 0.0
H26 60.8 35.3 3.9 0.0
H27 60.8 39.2 0.0 0.0

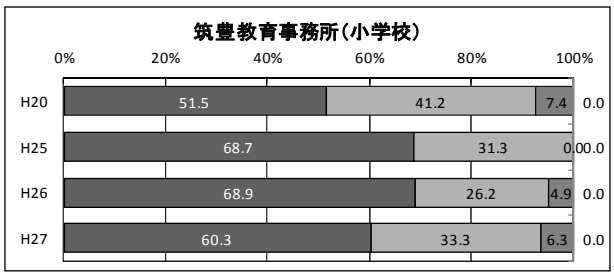

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 27.3 68.2 4.5 0.0
H25 89.5 10.5 0.0 0.0
H26 70.0 20.0 10.0 0.0
H27 57.9 36.8 5.3 0.0

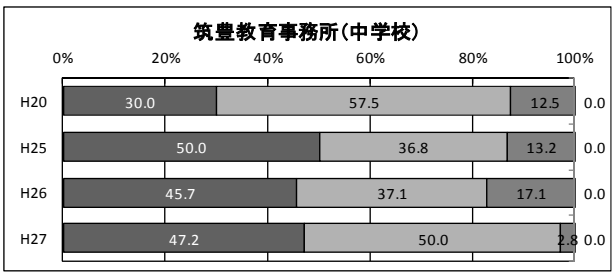

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 46.6 50.0 3.4 0.0
H25 56.3 41.4 2.3 0.0
H26 47.1 43.7 9.2 0.0
H27 52.9 42.5 3.4 1.1

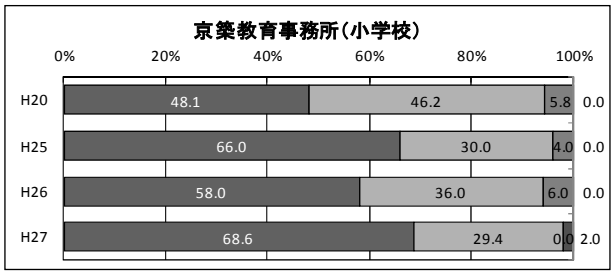

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 38.2 50.0 11.8 0.0
H25 52.9 44.1 2.9 0.0
H26 48.5 42.4 9.1 0.0
H27 58.8 32.4 8.8 0.0

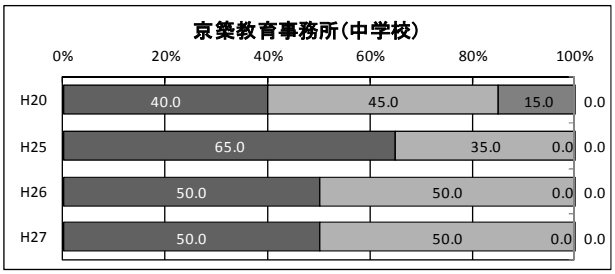

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 50.5 43.7 5.8 0.0
H25 58.1 37.8 3.1 1.0
H26 50.5 45.3 4.2 0.0
H27 45.3 45.3 9.5 0.0

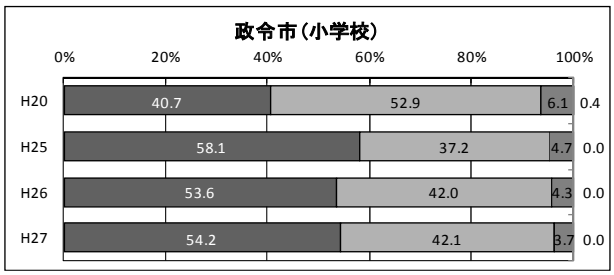

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 39.0 53.7 7.3 0.0
H25 55.0 42.5 0.0 2.5
H26 65.0 25.0 10.0 0.0
H27 63.2 34.2 2.6 0.0

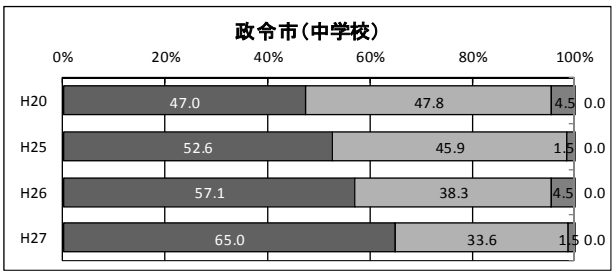

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 51.5 41.2 7.4 0.0
H25 68.7 31.3 0.0 0.0
H26 68.9 26.2 4.9 0.0
H27 60.3 33.3 6.3 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 30.0 57.5 12.5 0.0
H25 50.0 36.8 13.2 0.0
H26 45.7 37.1 17.1 0.0
H27 47.2 50.0 2.8 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 48.1 46.2 5.8 0.0
H25 66.0 30.0 4.0 0.0
H26 58.0 36.0 6.0 0.0
H27 68.6 29.4 0.0 2.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 40.0 45.0 15.0 0.0
H25 65.0 35.0 0.0 0.0
H26 50.0 50.0 0.0 0.0
H27 50.0 50.0 0.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 40.7 52.9 6.1 0.4
H25 58.1 37.2 4.7 0.0
H26 53.6 42.0 4.3 0.0
H27 54.2 42.1 3.7 0.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 47.0 47.8 4.5 0.0
H25 52.6 45.9 1.5 0.0
H26 57.1 38.3 4.5 0.0
H27 65.0 33.6 1.5 0.0

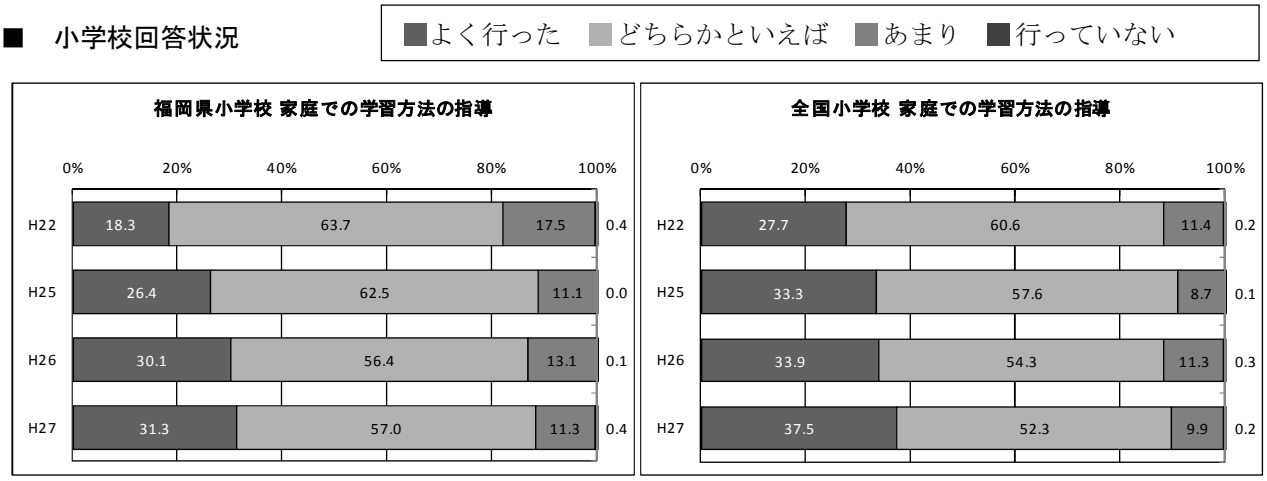
４　家庭での学習方法の指導

小 96・中 94	前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか。（国、算・数共通）

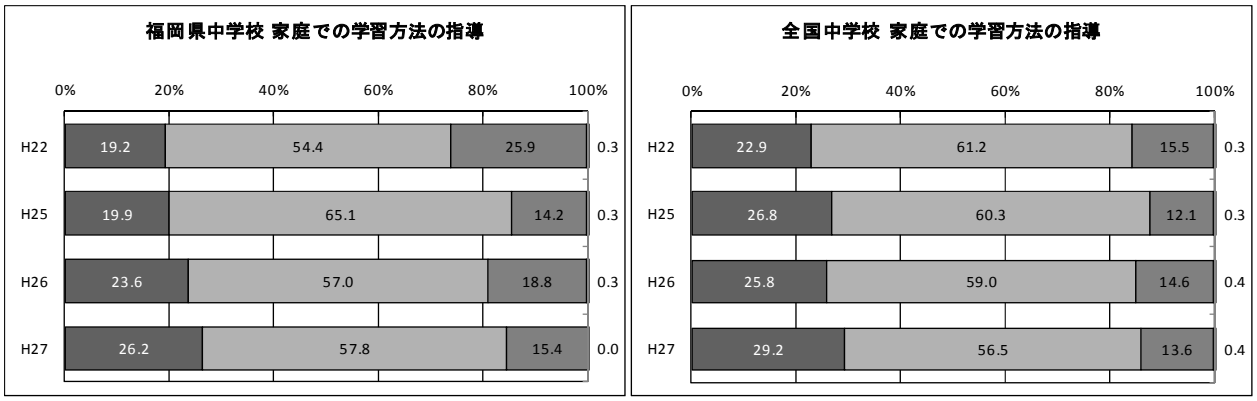
※平成２２年度から加えられた質問

○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校とも増加している。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、中学校数学Ａ、中学校理科を除いて高い傾向にある。
※　「まったく行っていない」と回答した小学校は３校であったため、分析の対象から除外した。

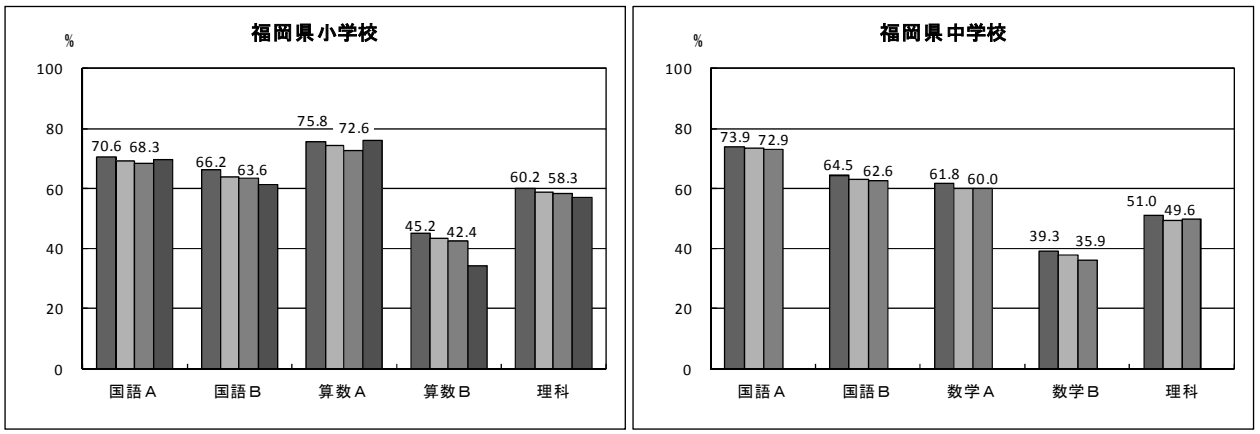
■　小学校回答状況



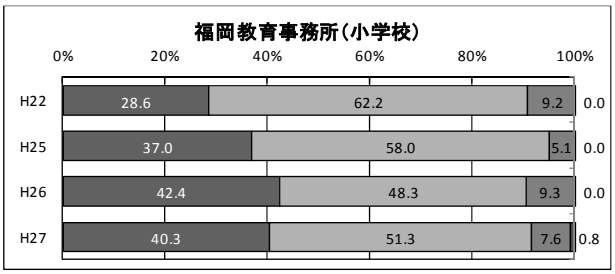
■　中学校回答状況

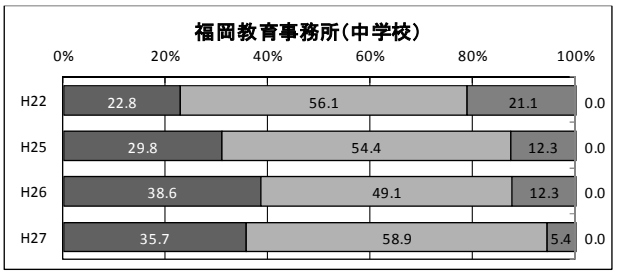


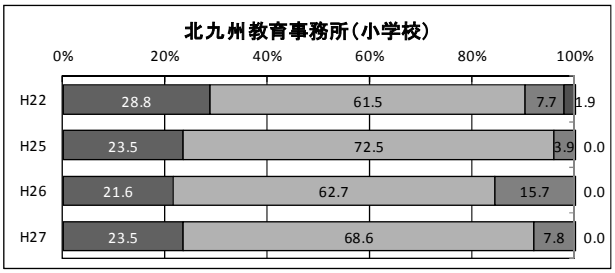
■　教科の正答率との相関関係

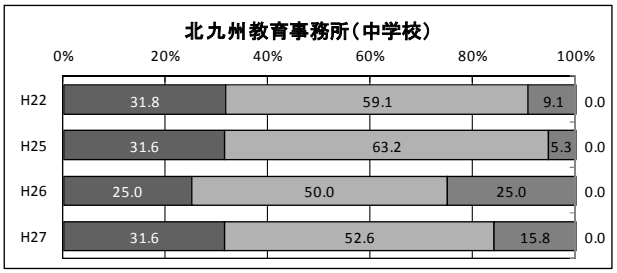


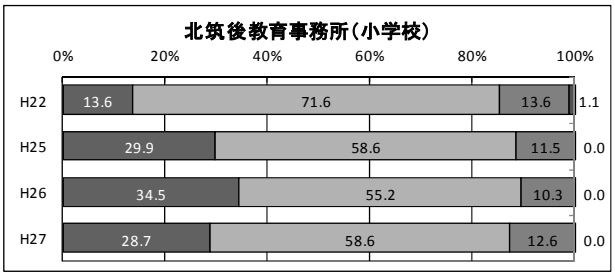
■　地区別回答状況

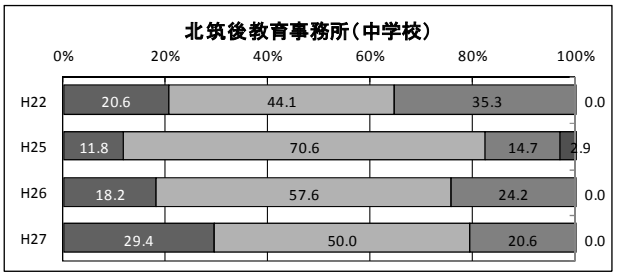

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 28.6 62.2 9.2 0.0
H25 37.0 58.0 5.1 0.0
H26 42.4 48.3 9.3 0.0
H27 40.3 51.3 7.6 0.8

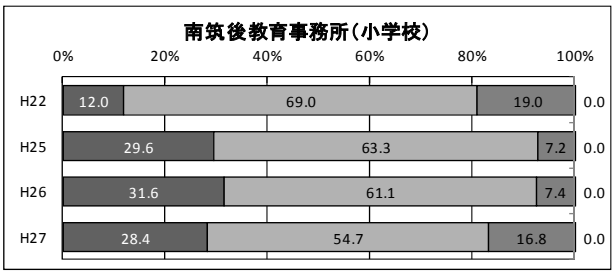

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 22.8 56.1 21.1 0.0
H25 29.8 54.4 12.3 0.0
H26 38.6 49.1 12.3 0.0
H27 35.7 58.9 5.4 0.0

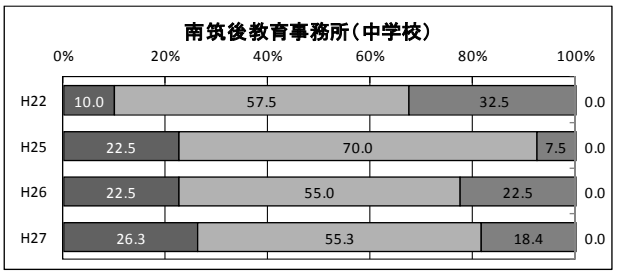

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 28.8 61.5 7.7 1.9
H25 23.5 72.5 3.9 0.0
H26 21.6 62.7 15.7 0.0
H27 23.5 68.6 7.8 0.0

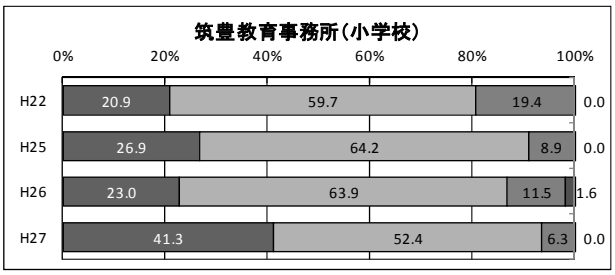

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 31.8 59.1 9.1 0.0
H25 31.6 63.2 5.3 0.0
H26 25.0 50.0 25.0 0.0
H27 31.6 52.6 15.8 0.0

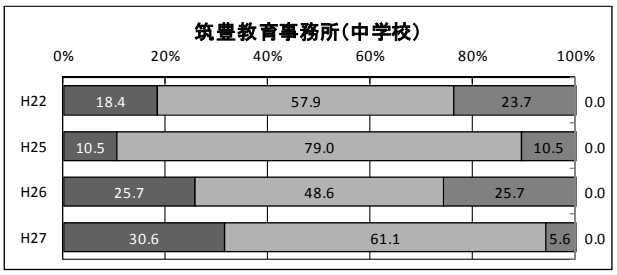

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 13.6 71.6 13.6 1.1
H25 29.9 58.6 11.5 0.0
H26 34.5 55.2 10.3 0.0
H27 28.7 58.6 12.6 0.0

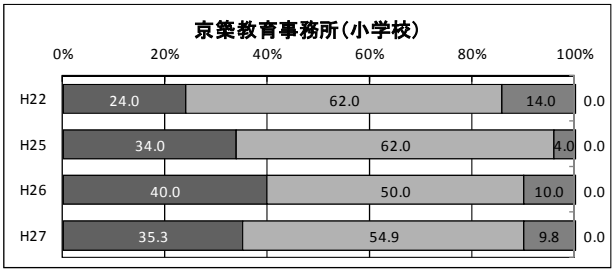

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 20.6 44.1 35.3 0.0
H25 11.8 70.6 14.7 2.9
H26 18.2 57.6 24.2 0.0
H27 29.4 50.0 20.6 0.0

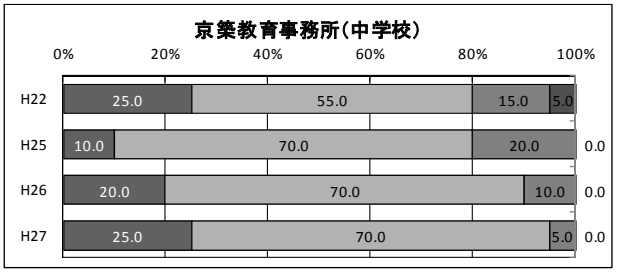

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 12.0 69.0 19.0 0.0
H25 29.6 63.3 7.2 0.0
H26 31.6 61.1 7.4 0.0
H27 28.4 54.7 16.8 0.0

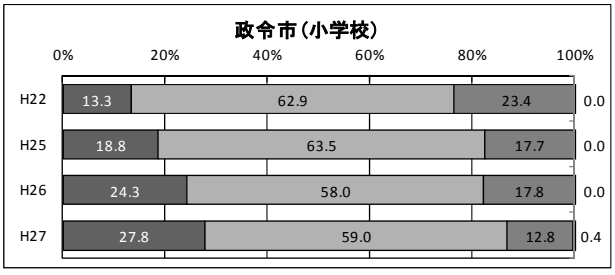

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 10.0 57.5 32.5 0.0
H25 22.5 70.0 7.5 0.0
H26 22.5 55.0 22.5 0.0
H27 26.3 55.3 18.4 0.0

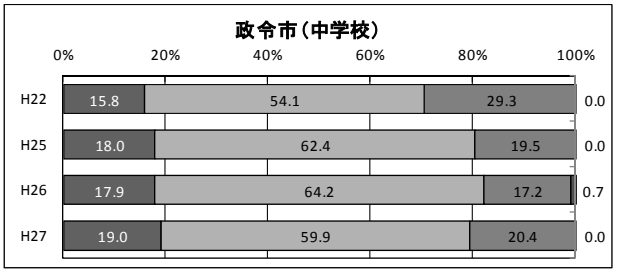

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 20.9 59.7 19.4 0.0
H25 26.9 64.2 8.9 0.0
H26 23.0 63.9 11.5 1.6
H27 41.3 52.4 6.3 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 18.4 57.9 23.7 0.0
H25 10.5 79.0 10.5 0.0
H26 25.7 48.6 25.7 0.0
H27 30.6 61.1 5.6 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 24.0 62.0 14.0 0.0
H25 34.0 62.0 4.0 0.0
H26 40.0 50.0 10.0 0.0
H27 35.3 54.9 9.8 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 25.0 55.0 15.0 5.0
H25 10.0 70.0 20.0 0.0
H26 20.0 70.0 10.0 0.0
H27 25.0 70.0 5.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 13.3 62.9 23.4 0.0
H25 18.8 63.5 17.7 0.0
H26 24.3 58.0 17.8 0.0
H27 27.8 59.0 12.8 0.4

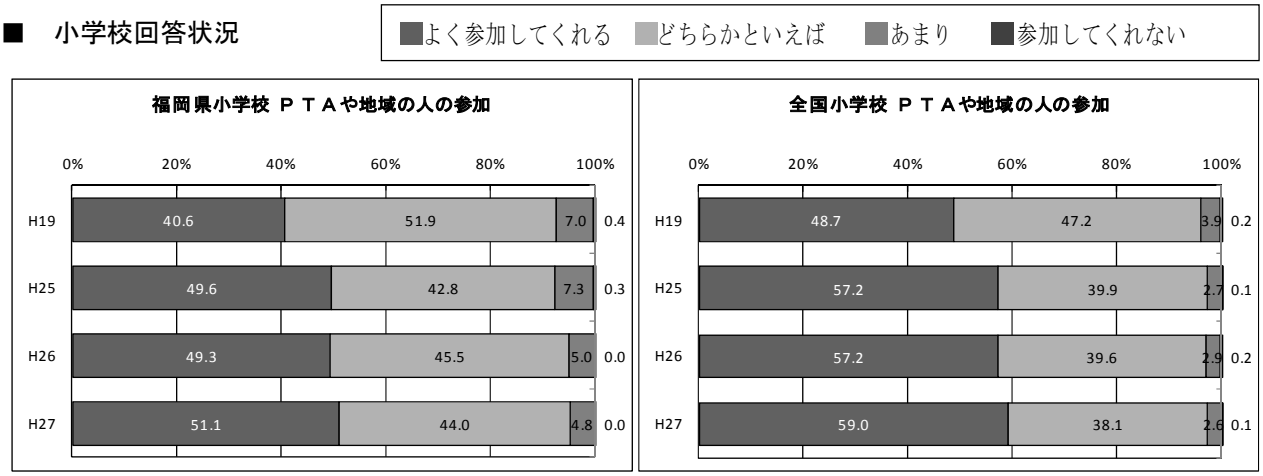

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 15.8 54.1 29.3 0.0
H25 18.0 62.4 19.5 0.0
H26 17.9 64.2 17.2 0.7
H27 19.0 59.9 20.4 0.0

５　ＰＴＡや地域との連携

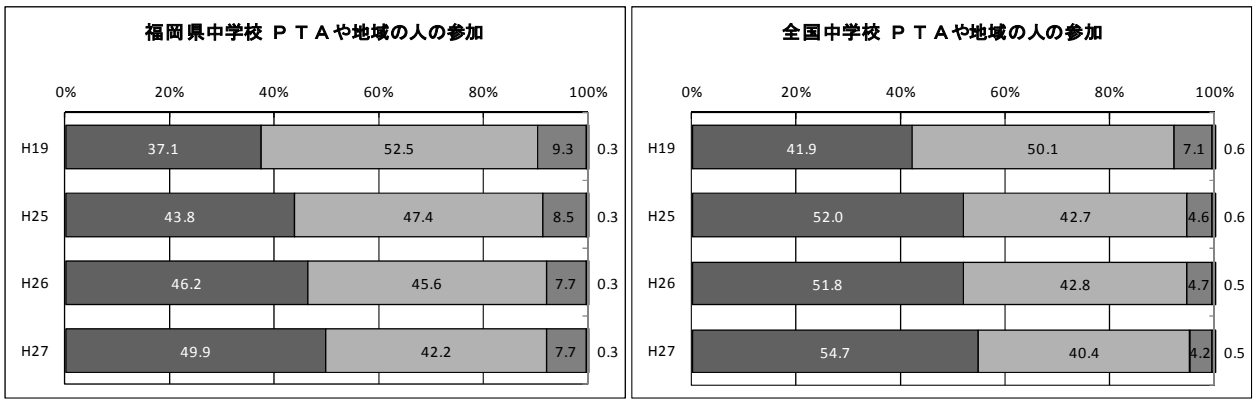
小 86・中 84	ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。

○　よく参加してくれる、どちらかといえば参加してくれると回答した学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく参加してくれる、参加してくれると回答した学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

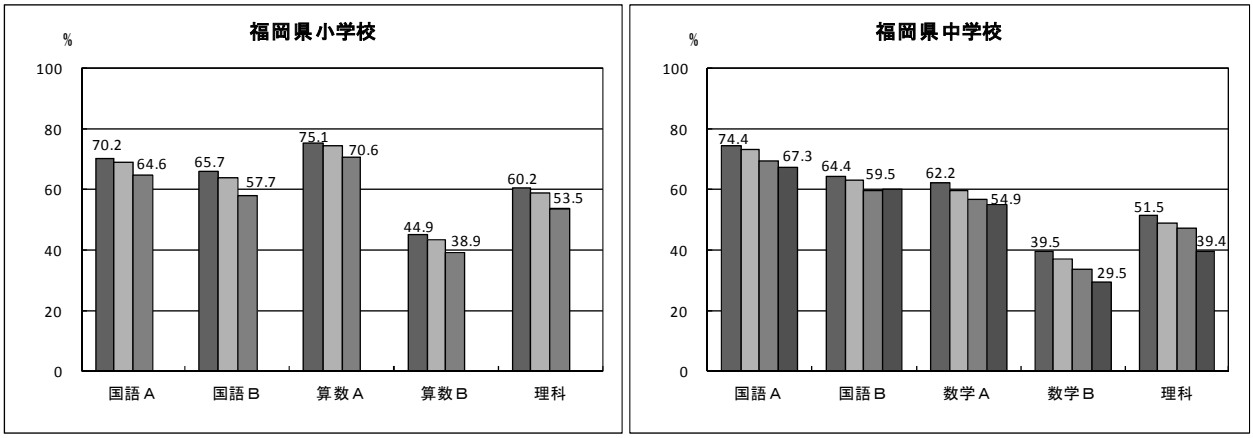
■　小学校回答状況



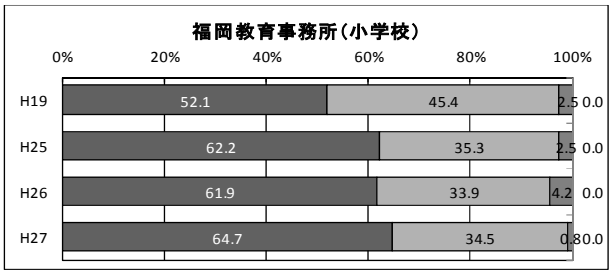
■　中学校回答状況

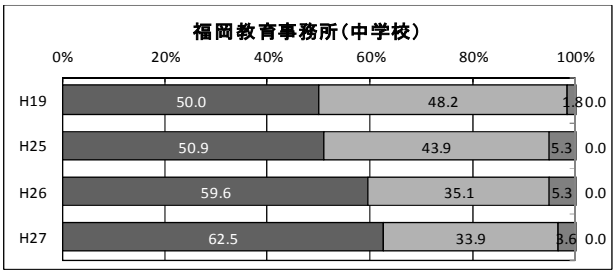


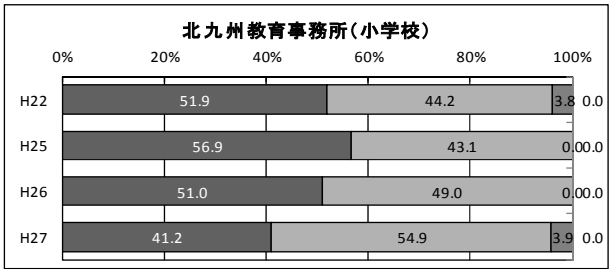
■　教科の正答率との相関関係

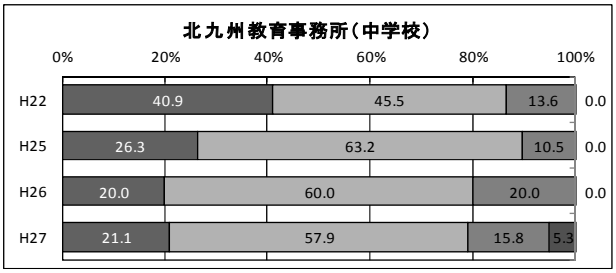


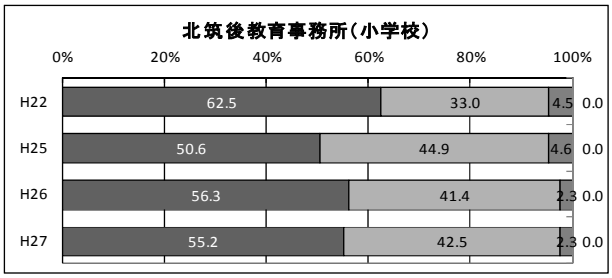
■　地区別回答状況

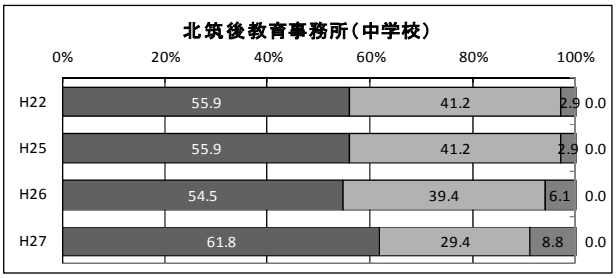

福岡教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 52.1 45.4 2.5 0.0
H25 62.2 35.3 2.5 0.0
H26 61.9 33.9 4.2 0.0
H27 64.7 34.5 0.8 0.0

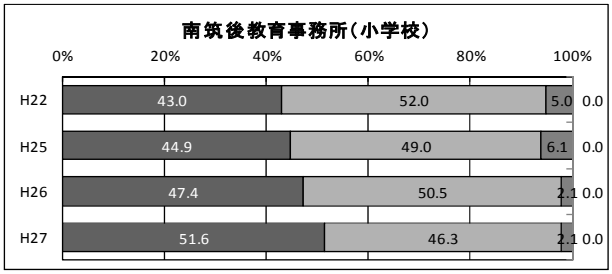

福岡教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 50.0 48.2 1.8 0.0
H25 50.9 43.9 5.3 0.0
H26 59.6 35.1 5.3 0.0
H27 62.5 33.9 3.6 0.0

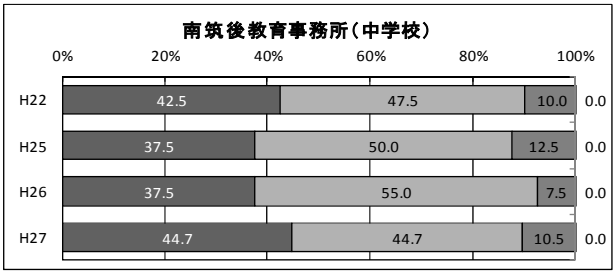

北九州教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 51.9 44.2 3.8 0.0
H25 56.9 43.1 0.0 0.0
H26 51.0 49.0 0.0 0.0
H27 41.2 54.9 3.9 0.0

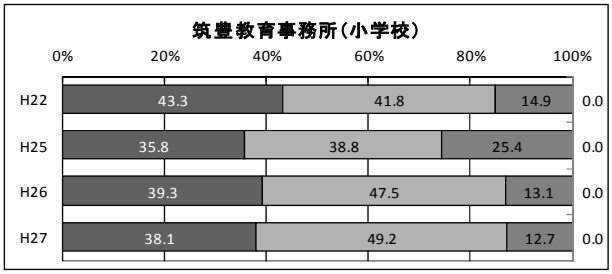

北九州教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 40.9 45.5 13.6 0.0
H25 26.3 63.2 10.5 0.0
H26 20.0 60.0 20.0 0.0
H27 21.1 57.9 15.8 5.3

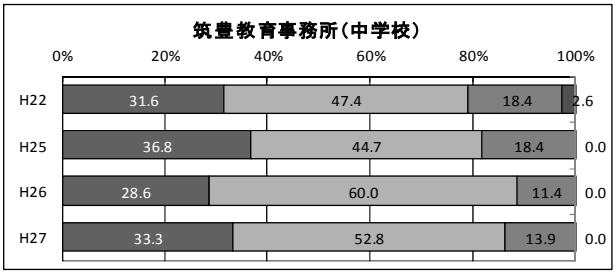

北筑後教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 62.5 33.0 4.5 0.0
H25 50.6 44.9 4.6 0.0
H26 56.3 41.4 2.3 0.0
H27 55.2 42.5 2.3 0.0

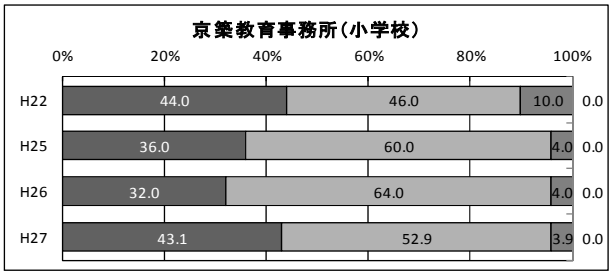

北筑後教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 55.9 41.2 2.9 0.0
H25 55.9 41.2 2.9 0.0
H26 54.5 39.4 6.1 0.0
H27 61.8 29.4 8.8 0.0

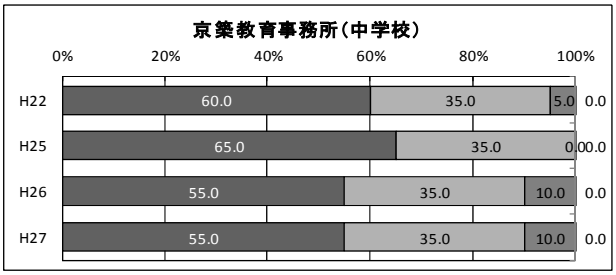

南筑後教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 43.0 52.0 5.0 0.0
H25 44.9 49.0 6.1 0.0
H26 47.4 50.5 2.1 0.0
H27 51.6 46.3 2.1 0.0

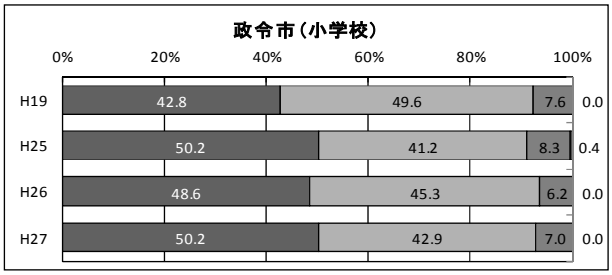

南筑後教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 42.5 47.5 10.0 0.0
H25 37.5 50.0 12.5 0.0
H26 37.5 55.0 7.5 0.0
H27 44.7 44.7 10.5 0.0

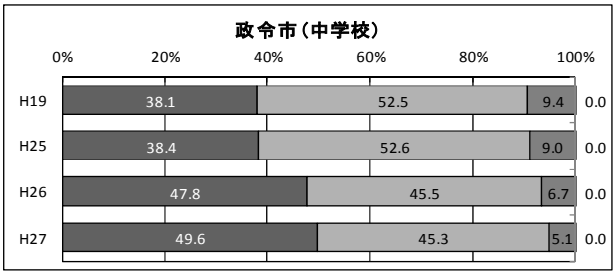

筑豊教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 43.3 41.8 14.9 0.0
H25 35.8 38.8 25.4 0.0
H26 39.3 47.5 13.1 0.0
H27 38.1 49.2 12.7 0.0


筑豊教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 31.6 47.4 18.4 2.6
H25 36.8 44.7 18.4 0.0
H26 28.6 60.0 11.4 0.0
H27 33.3 52.8 13.9 0.0


京築教育事務所（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 44.0 46.0 10.0 0.0
H25 36.0 60.0 4.0 0.0
H26 32.0 64.0 4.0 0.0
H27 43.1 52.9 3.9 0.0


京築教育事務所（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 60.0 35.0 5.0 0.0
H25 65.0 35.0 0.0 0.0
H26 55.0 35.0 10.0 0.0
H27 55.0 35.0 10.0 0.0


政令市（小学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 42.8 49.6 7.6 0.0
H25 50.2 41.2 8.3 0.4
H26 48.6 45.3 6.2 0.0
H27 50.2 42.9 7.0 0.0


政令市（中学校）
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.1 52.5 9.4 0.0
H25 38.4 52.6 9.0 0.0
H26 47.8 45.5 6.7 0.0
H27 49.6 45.3 5.1 0.0

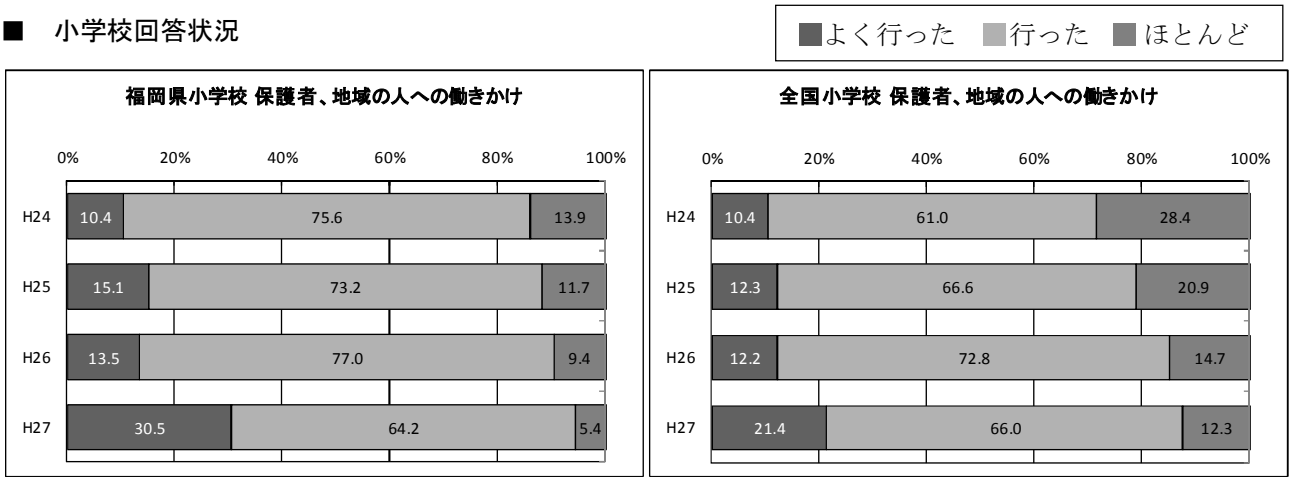
６　保護者や地域の人たちへの働きかけ

小 53・中 53	平成２６年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。

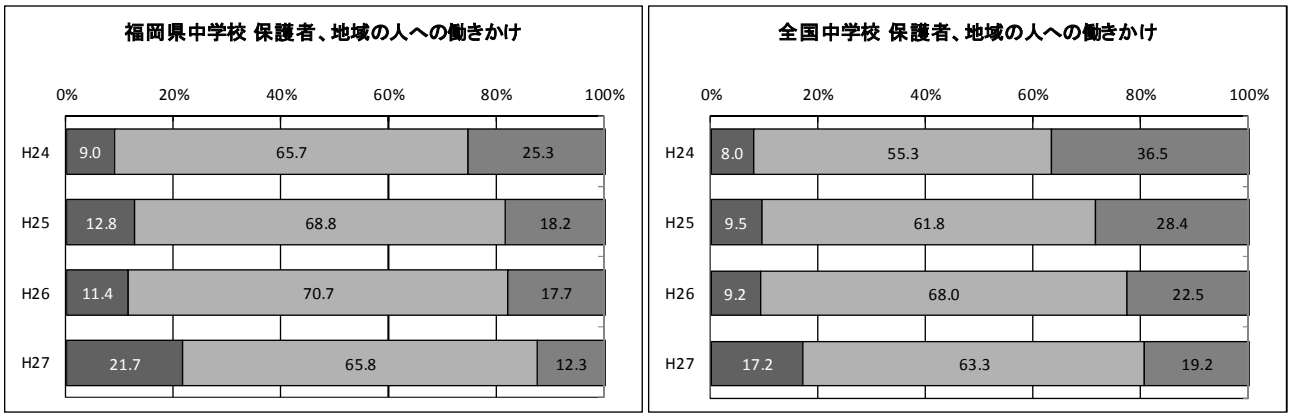
※平成２４年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答した学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校は 17.0 ポイント、中学校は 10.3 ポイント増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 9.1 ポイント、中学校は 4.5 ポイント上回っている。
○　よく行ったと回答した学校の正答率は、中学校の全教科区分において高い傾向にある。

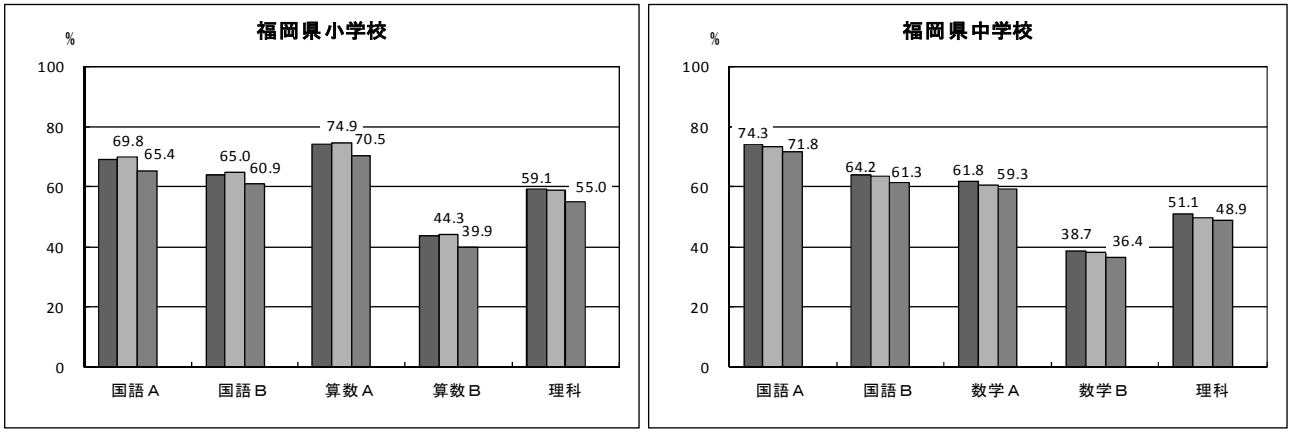
■　小学校回答状況



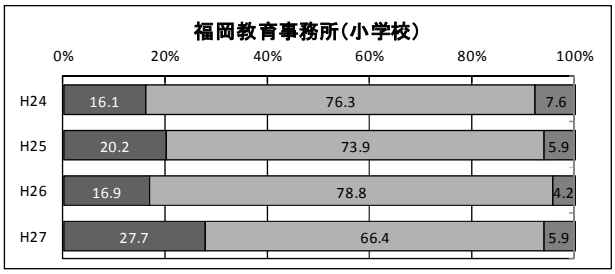
■　中学校回答状況

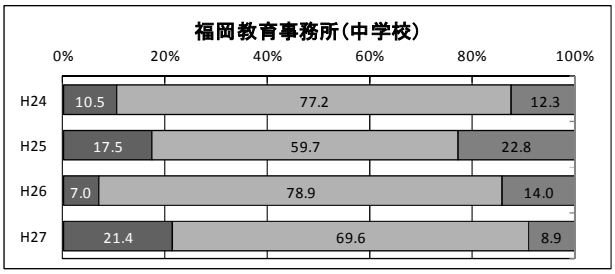


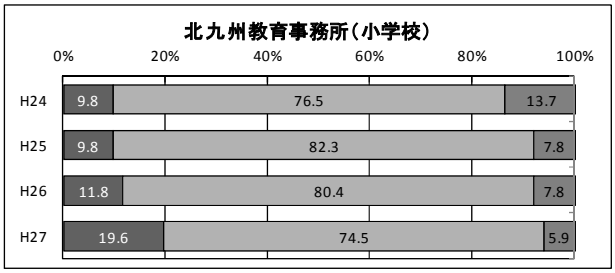
■　教科の正答率との相関関係

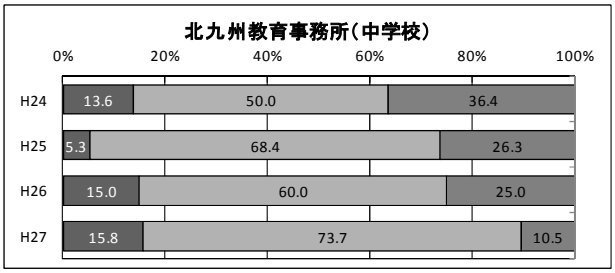


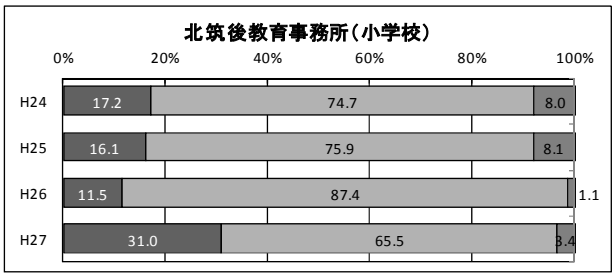
■　地区別回答状況

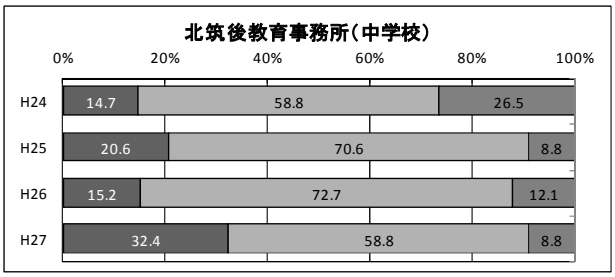

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 16.1 76.3 7.6
H25 20.2 73.9 5.9
H26 16.9 78.8 4.2
H27 27.7 66.4 5.9

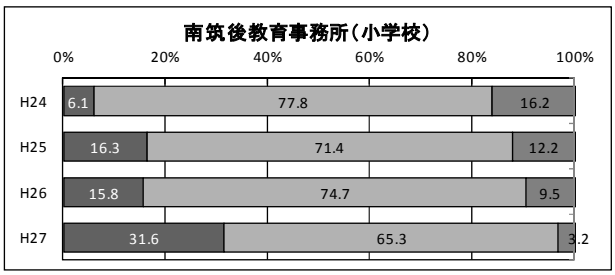

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 10.5 77.2 12.3
H25 17.5 59.7 22.8
H26 7.0 78.9 14.0
H27 21.4 69.6 8.9

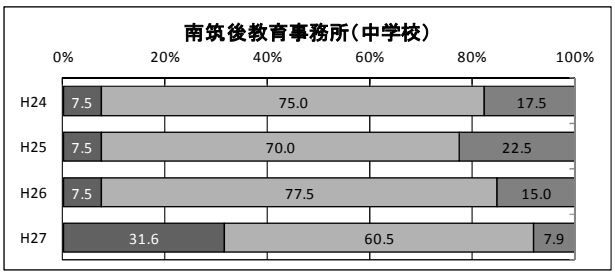

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 9.8 76.5 13.7
H25 9.8 82.3 7.8
H26 11.8 80.4 7.8
H27 19.6 74.5 5.9

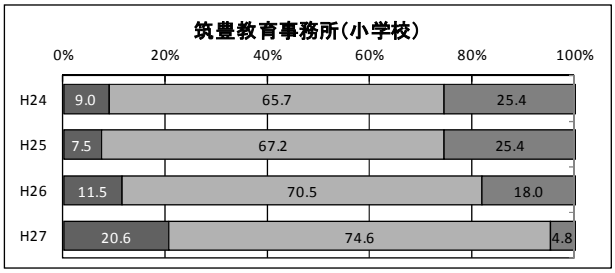

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 13.6 50.0 36.4
H25 5.3 68.4 26.3
H26 15.0 60.0 25.0
H27 15.8 73.7 10.5

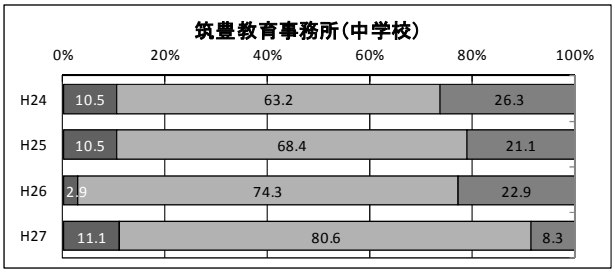

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 17.2 74.7 8.0
H25 16.1 75.9 8.1
H26 11.5 87.4 1.1
H27 31.0 65.5 3.4

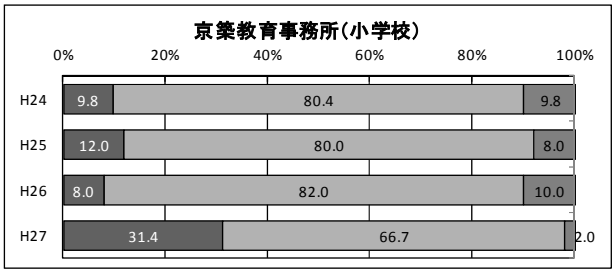

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 14.7 58.8 26.5
H25 20.6 70.6 8.8
H26 15.2 72.7 12.1
H27 32.4 58.8 8.8

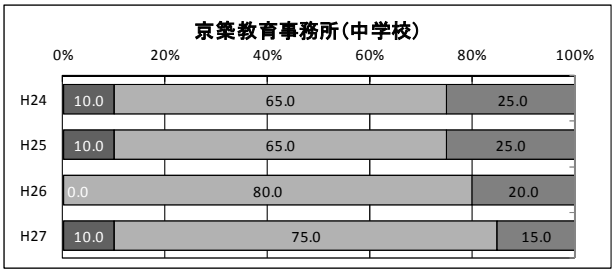

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 6.1 77.8 16.2
H25 16.3 71.4 12.2
H26 15.8 74.7 9.5
H27 31.6 65.3 3.2

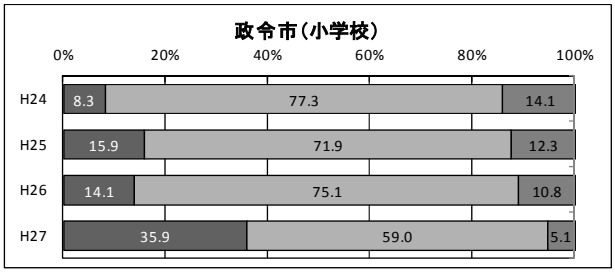

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 7.5 75.0 17.5
H25 7.5 70.0 22.5
H26 7.5 77.5 15.0
H27 31.6 60.5 7.9

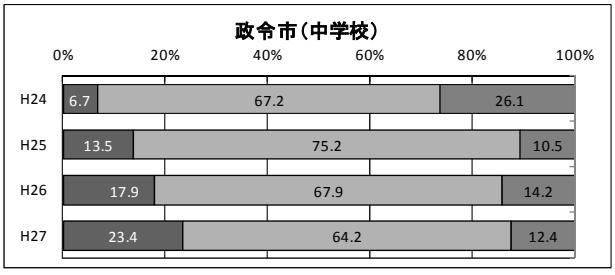

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 9.0 65.7 25.4
H25 7.5 67.2 25.4
H26 11.5 70.5 18.0
H27 20.6 74.6 4.8


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 10.5 63.2 26.3
H25 10.5 68.4 21.1
H26 2.9 74.3 22.9
H27 11.1 80.6 8.3


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 9.8 80.4 9.8
H25 12.0 80.0 8.0
H26 8.0 82.0 10.0
H27 31.4 66.7 2.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 10.0 65.0 25.0
H25 10.0 65.0 25.0
H26 0.0 80.0 20.0
H27 10.0 75.0 15.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 8.3 77.3 14.1
H25 15.9 71.9 12.3
H26 14.1 75.1 10.8
H27 35.9 59.0 5.1

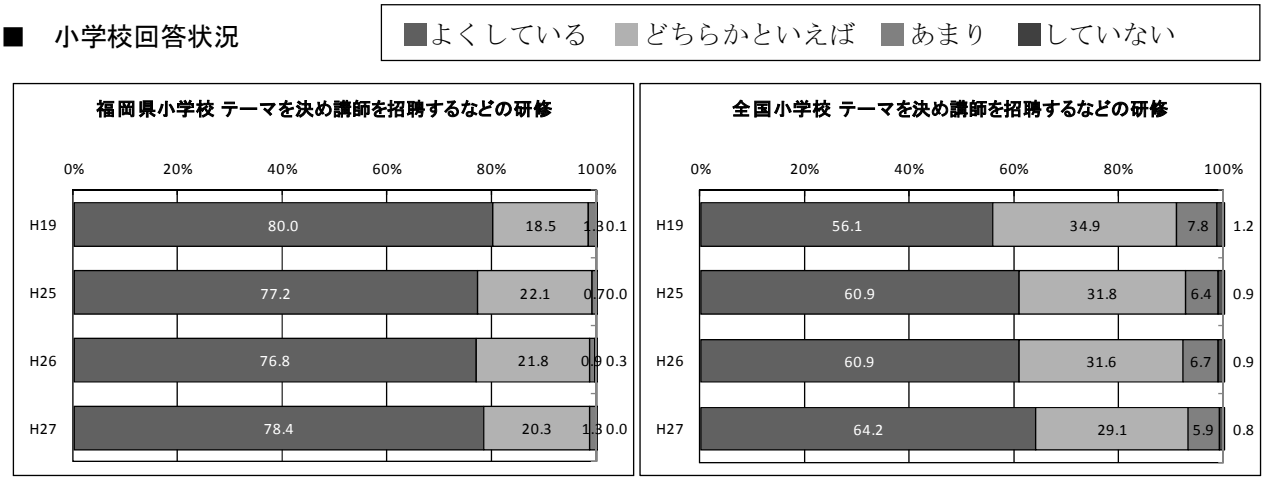

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 6.7 67.2 26.1
H25 13.5 75.2 10.5
H26 17.9 67.9 14.2
H27 23.4 64.2 12.4

7　教員研修

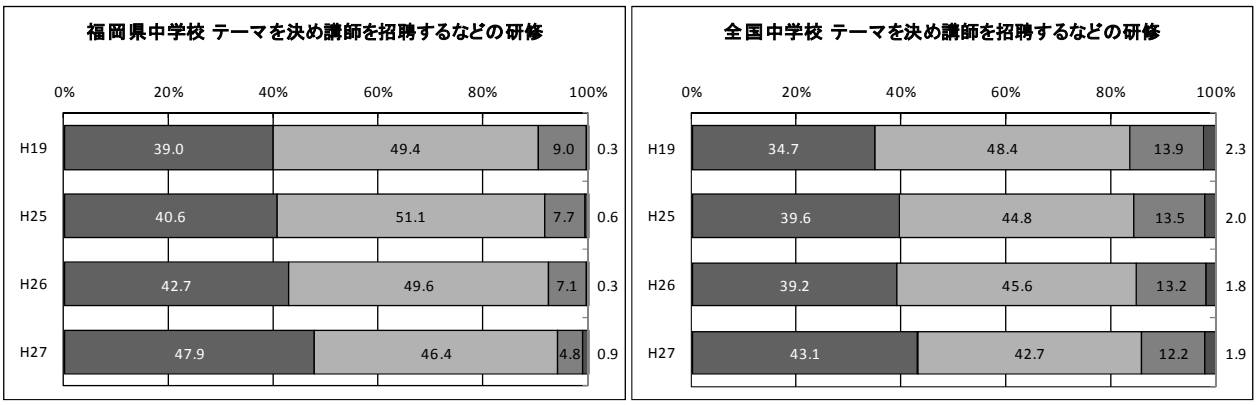
小 100・中 98	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか。

○　よくしていると回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よくしている、どちらかといえばしていると回答している学校の正答率は、小学校の全教科区分において高い傾向にある。

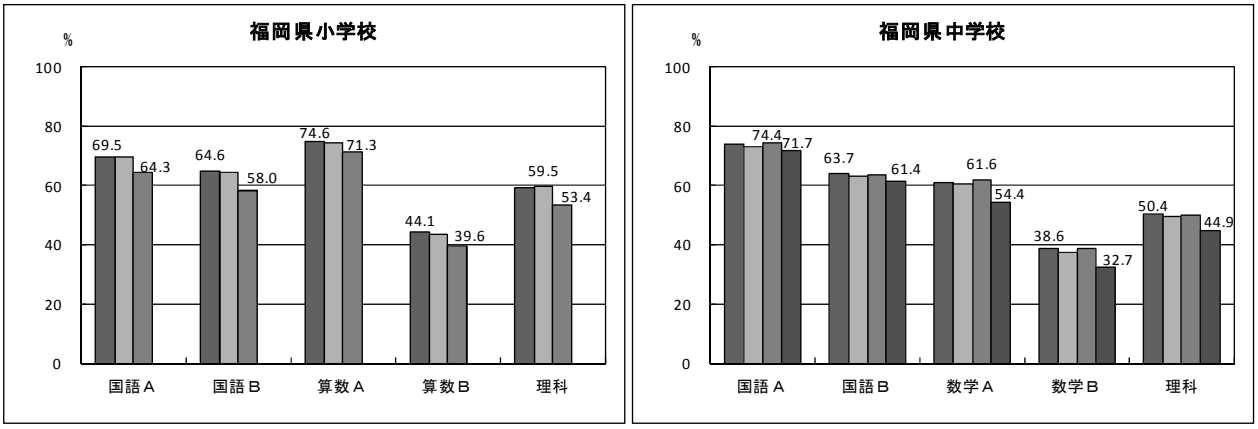
■　小学校回答状況



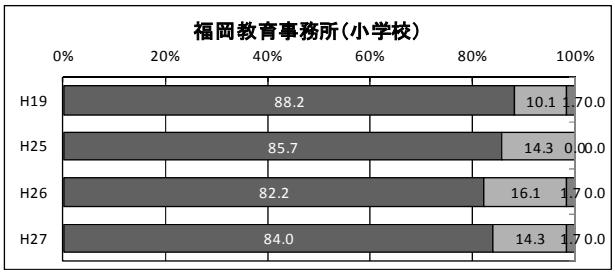
■　中学校回答状況

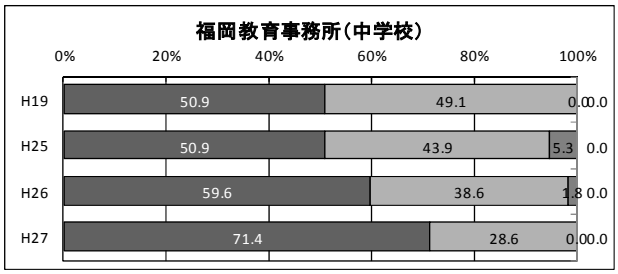


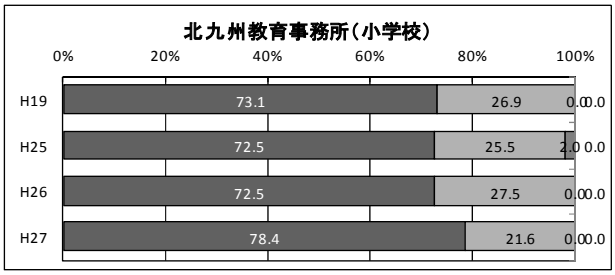
■　教科の正答率との相関関係

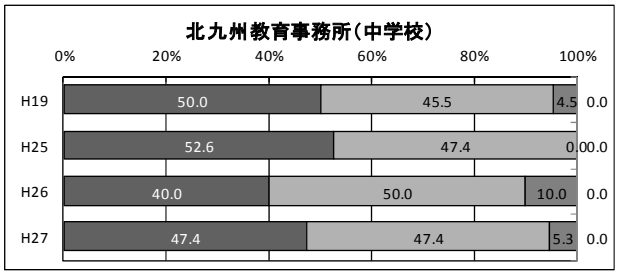


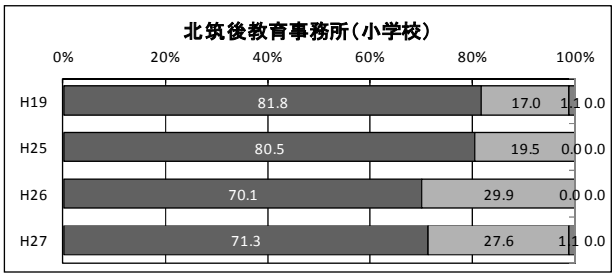
■　地区別回答状況

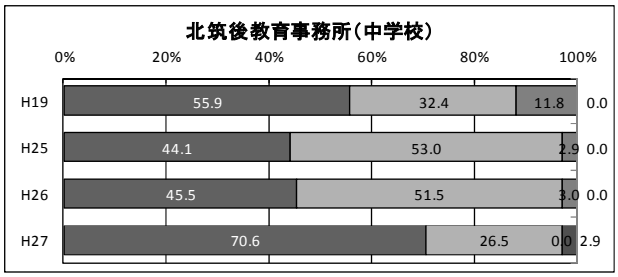

福岡教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
88.2
10.1
1.7
0.0
H25
85.7
14.3
0.0
0.0
H26
82.2
16.1
1.7
0.0
H27
84.0
14.3
1.7
0.0

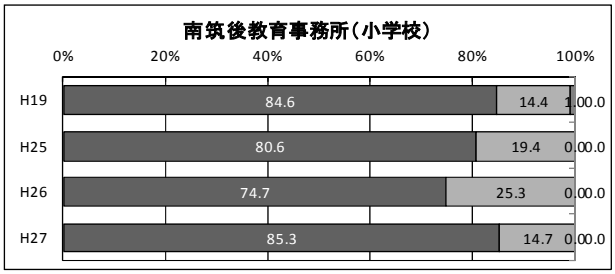

福岡教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
50.9
49.1
0.0
0.0
H25
50.9
43.9
5.3
0.0
H26
59.6
38.6
1.8
0.0
H27
71.4
28.6
0.0
0.0

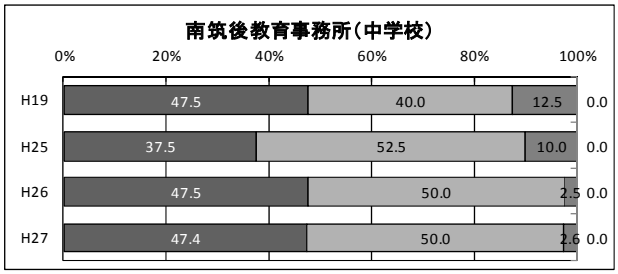

北九州教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
73.1
26.9
0.0
0.0
H25
72.5
25.5
2.0
0.0
H26
72.5
27.5
0.0
0.0
H27
78.4
21.6
0.0
0.0

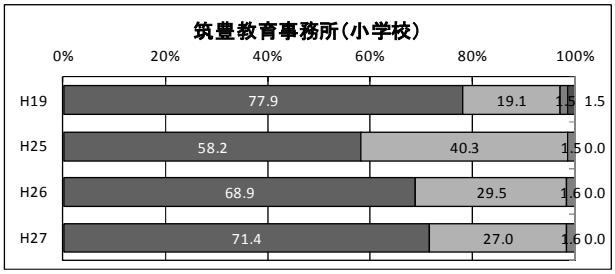

北九州教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
50.0
45.5
4.5
0.0
H25
52.6
47.4
0.0
0.0
H26
40.0
50.0
10.0
0.0
H27
47.4
47.4
5.3
0.0

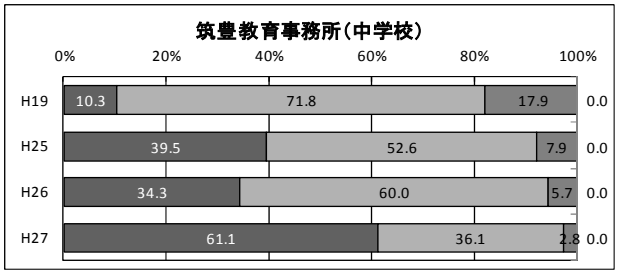

北筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
81.8
17.0
1.1
0.0
H25
80.5
19.5
0.0
0.0
H26
70.1
29.9
0.0
0.0
H27
71.3
27.6
1.1
0.0

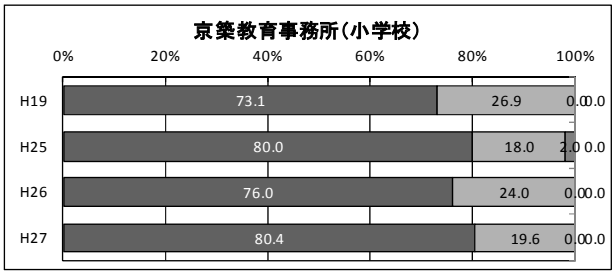

北筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
55.9
32.4
11.8
0.0
H25
44.1
53.0
2.9
0.0
H26
45.5
51.5
3.0
0.0
H27
70.6
26.5
0.0
2.9

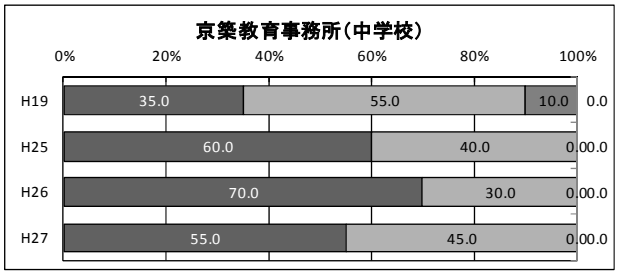

南筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
84.6
14.4
1.0
0.0
H25
80.6
19.4
0.0
0.0
H26
74.7
25.3
0.0
0.0
H27
85.3
14.7
0.0
0.0

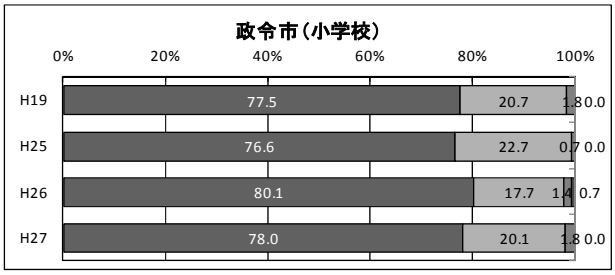

南筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
47.5
40.0
12.5
0.0
H25
37.5
52.5
10.0
0.0
H26
47.5
50.0
2.5
0.0
H27
47.4
50.0
2.6
0.0

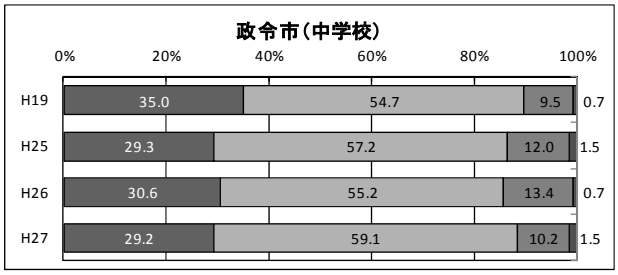

筑豊教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
77.9
19.1
1.5
1.5
H25
58.2
40.3
1.5
0.0
H26
68.9
29.5
1.6
0.0
H27
71.4
27.0
1.6
0.0


筑豊教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
10.3
71.8
17.9
0.0
H25
39.5
52.6
7.9
0.0
H26
34.3
60.0
5.7
0.0
H27
61.1
36.1
2.8
0.0


京築教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
73.1
26.9
0.0
0.0
H25
80.0
18.0
2.0
0.0
H26
76.0
24.0
0.0
0.0
H27
80.4
19.6
0.0
0.0


京築教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
35.0
55.0
10.0
0.0
H25
60.0
40.0
0.0
0.0
H26
70.0
30.0
0.0
0.0
H27
55.0
45.0
0.0
0.0


政令市（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
77.5
20.7
1.8
0.0
H25
76.6
22.7
0.7
0.0
H26
80.1
17.7
1.4
0.7
H27
78.0
20.1
1.8
0.0

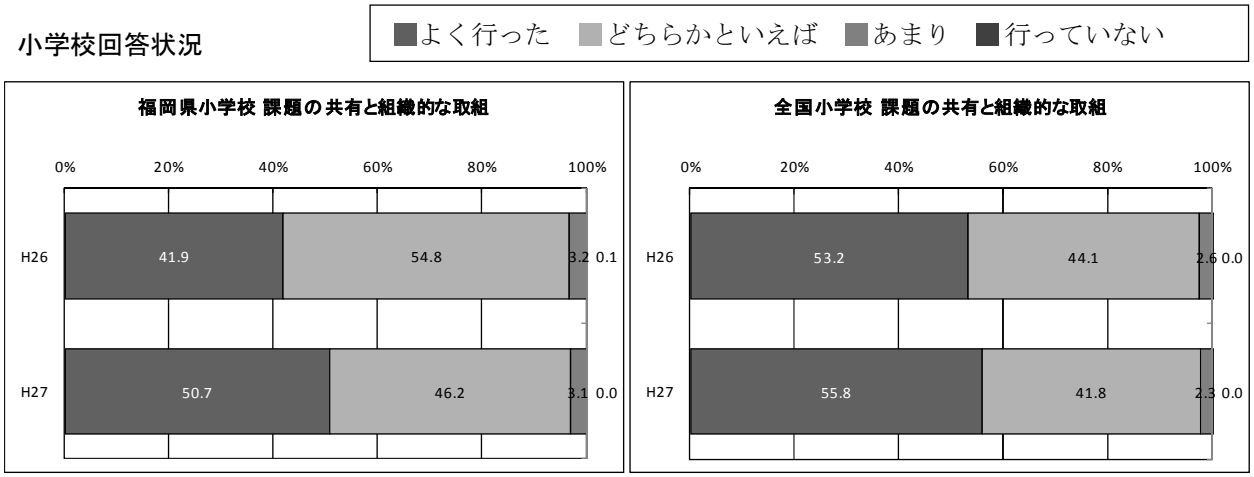

政令市（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
35.0
54.7
9.5
0.7
H25
29.3
57.2
12.0
1.5
H26
30.6
55.2
13.4
0.7
H27
29.2
59.1
10.2
1.5

小 111・中 109	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し，学校として組織的に取り組んでいますか。

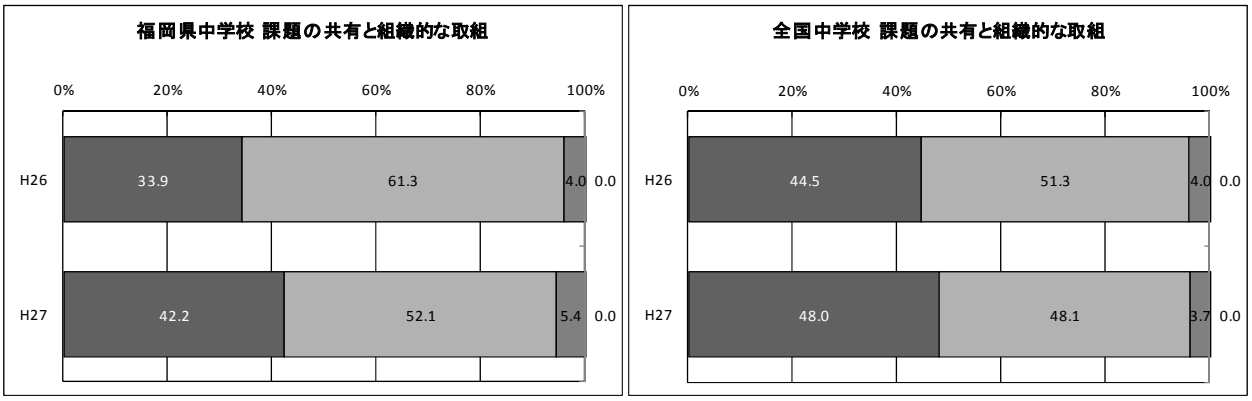
※平成２６年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の正答率は、小学校国語Ｂを除いて高い傾向にある。

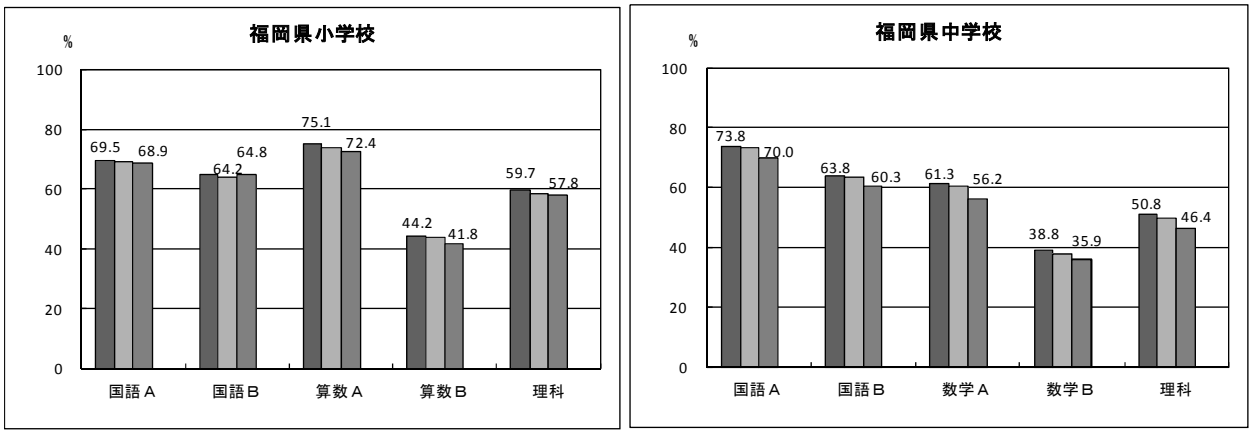
■　小学校回答状況



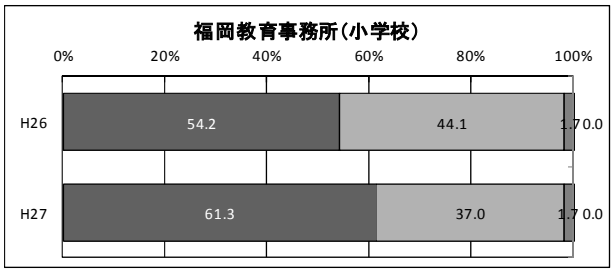
■　中学校回答状況

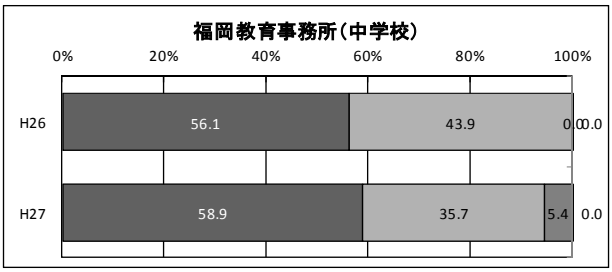


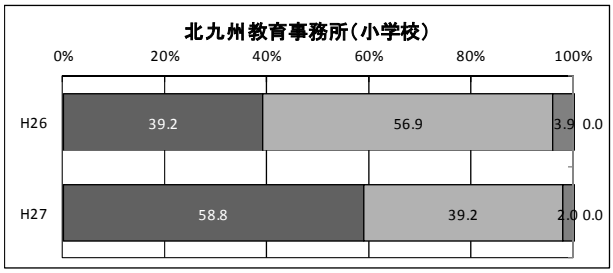
■　教科の正答率との相関関係

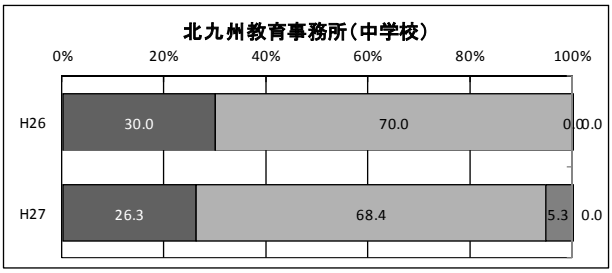


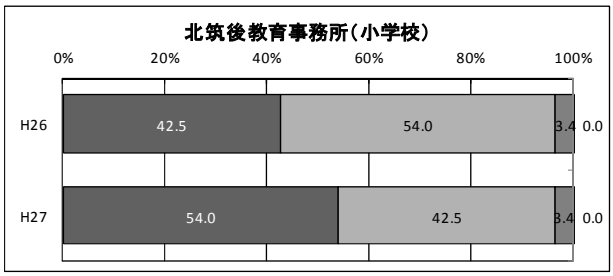
■　地区別回答状況

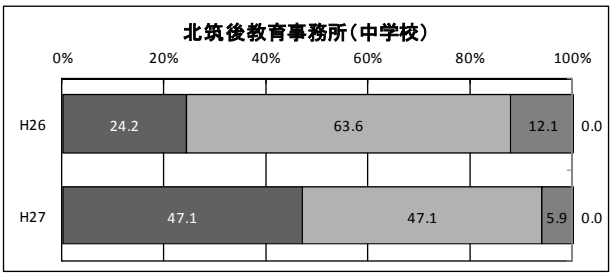

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
54.2
44.1
1.7
0.0
H27
61.3
37.0
1.7
0.0

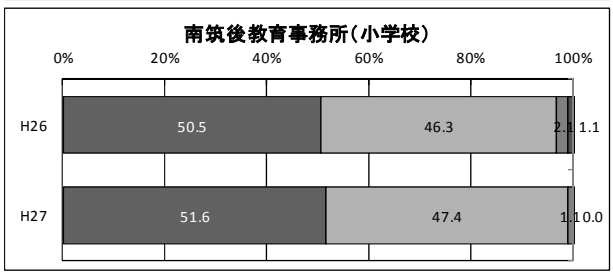

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
56.1
43.9
0.0
0.0
H27
58.9
35.7
5.4
0.0

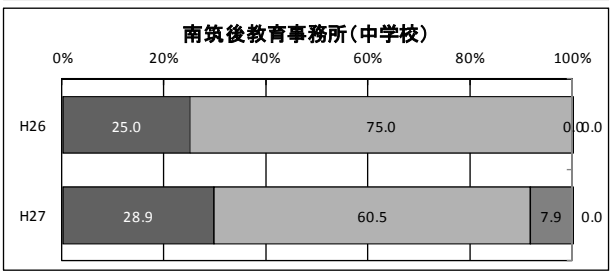

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
39.2
56.9
3.9
0.0
H27
58.8
39.2
2.0
0.0

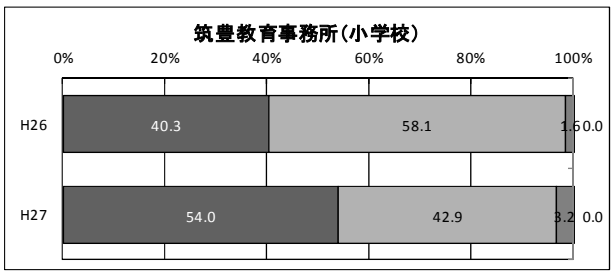

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
30.0
70.0
0.0
0.0
H27
26.3
68.4
5.3
0.0

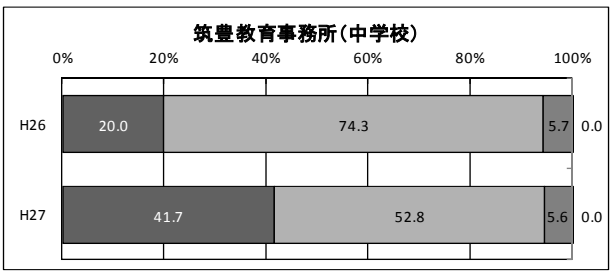

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
42.5
54.0
3.4
0.0
H27
54.0
42.5
3.4
0.0

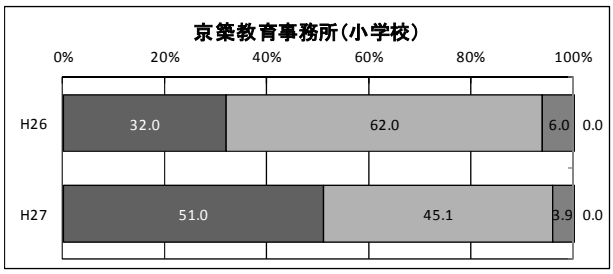

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
24.2
63.6
12.1
0.0
H27
47.1
47.1
5.9
0.0

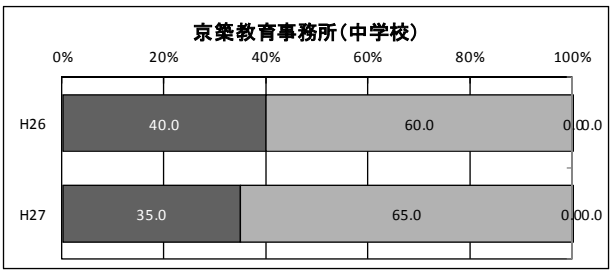

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
50.5
46.3
2.1
1.1
H27
51.6
47.4
1.1
0.0

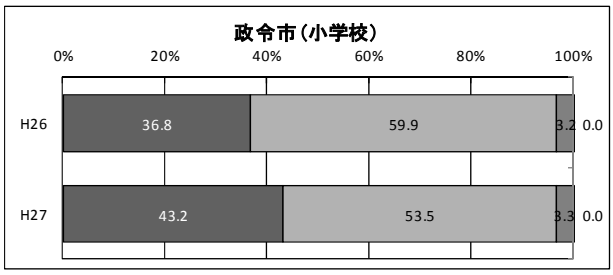

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
25.0
75.0
0.0
0.0
H27
28.9
60.5
7.9
0.0

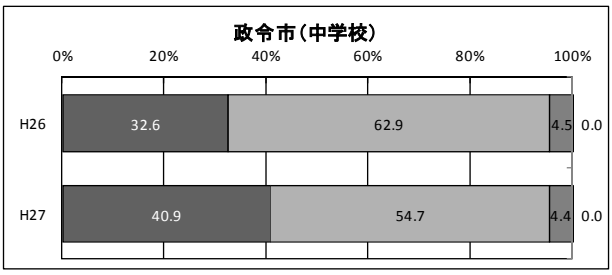

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
40.3
58.1
1.6
0.0
H27
54.0
42.9
3.2
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
20.0
74.3
5.7
0.0
H27
41.7
52.8
5.6
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
32.0
62.0
6.0
0.0
H27
51.0
45.1
3.9
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
40.0
60.0
0.0
0.0
H27
35.0
65.0
0.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
36.8
59.9
3.2
0.0
H27
43.2
53.5
3.3
0.0

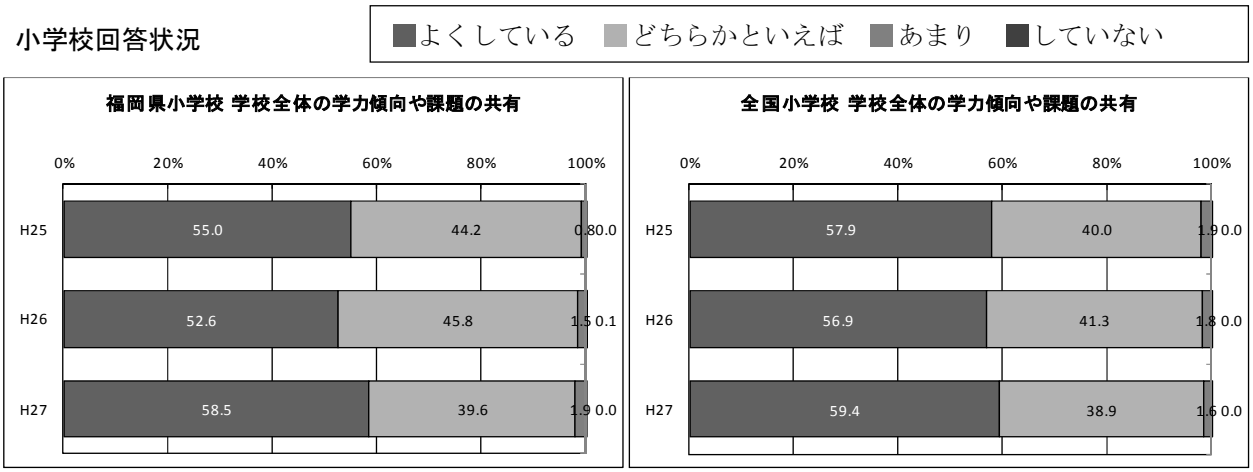

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
32.6
62.9
4.5
0.0
H27
40.9
54.7
4.4
0.0

小 110・中 108	学校全体の学力傾向や課題について，全教職員の間で共有していますか。

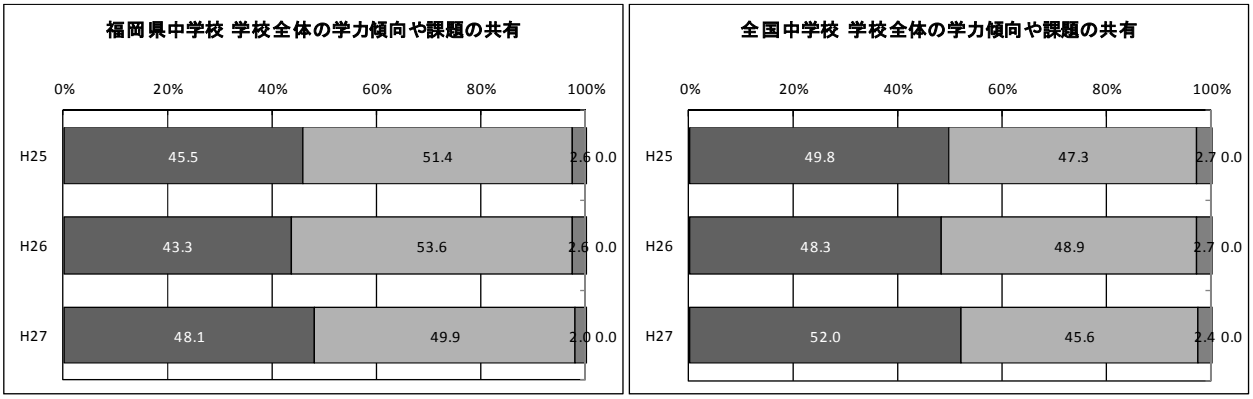
※平成２５年度から加えられた質問

○　よくしていると回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よくしていると回答している学校の正答率は、小学校国語Ａ、小学校国語Ｂを除いて高い傾向にある。

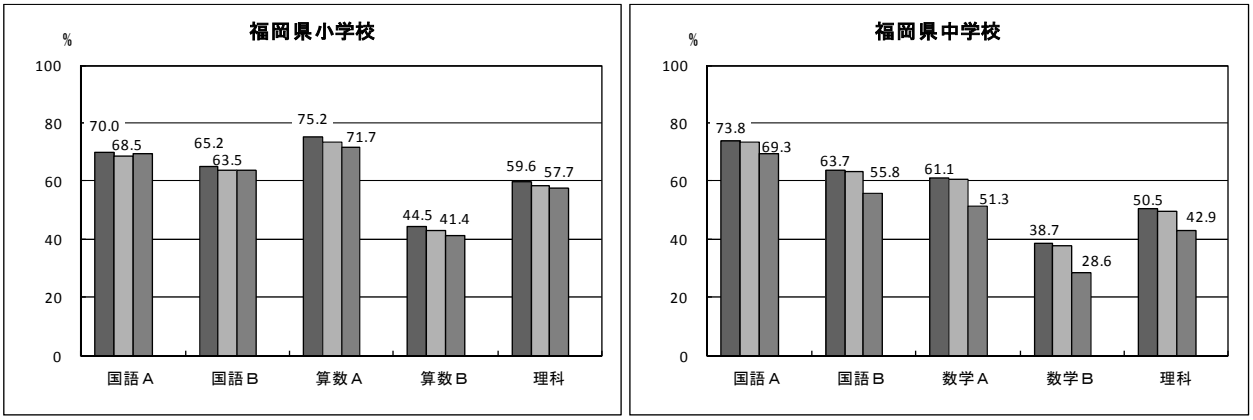
■　小学校回答状況



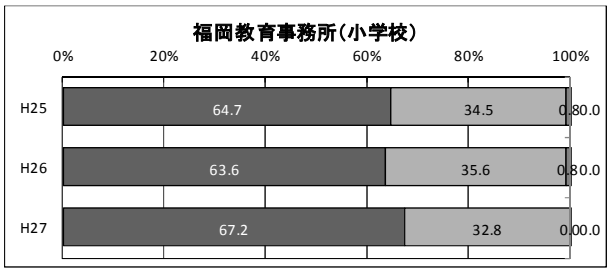
■　中学校回答状況

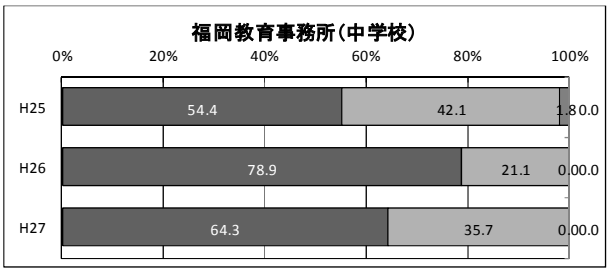


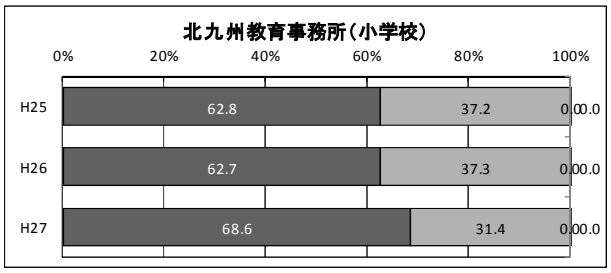
■　教科の正答率との相関関係

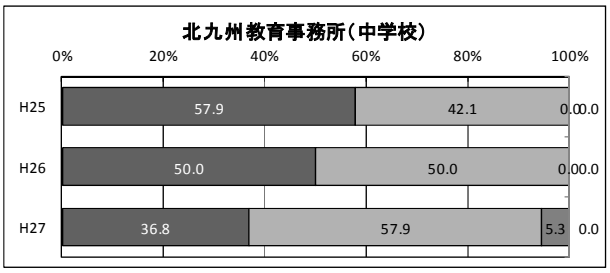


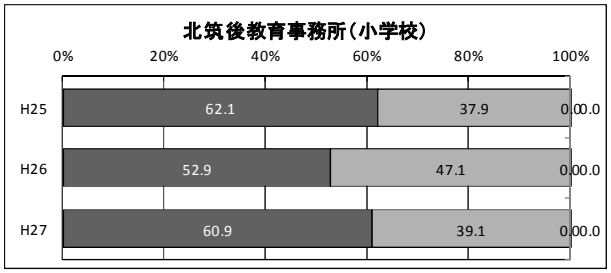
■　地区別回答状況

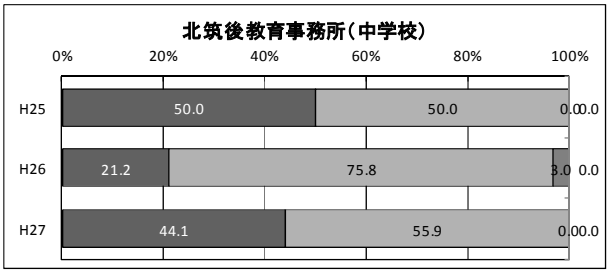

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 64.7 34.5 0.8 0.0
H26 63.6 35.6 0.8 0.0
H27 67.2 32.8 0.0 0.0

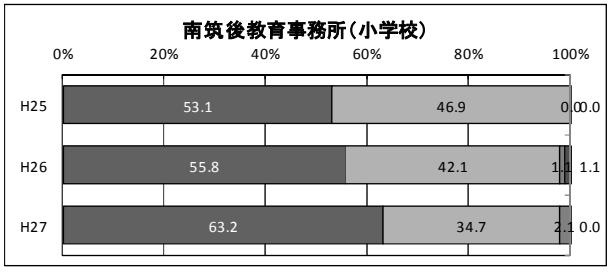

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 54.4 42.1 1.8 0.0
H26 78.9 21.1 0.0 0.0
H27 64.3 35.7 0.0 0.0

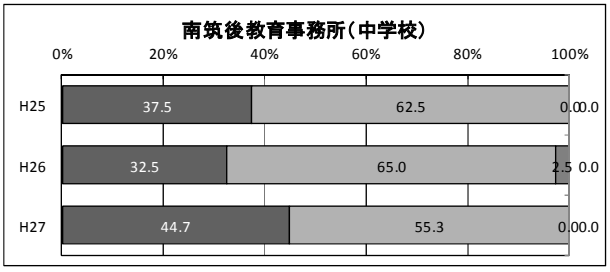

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 62.8 37.2 0.0 0.0
H26 62.7 37.3 0.0 0.0
H27 68.6 31.4 0.0 0.0

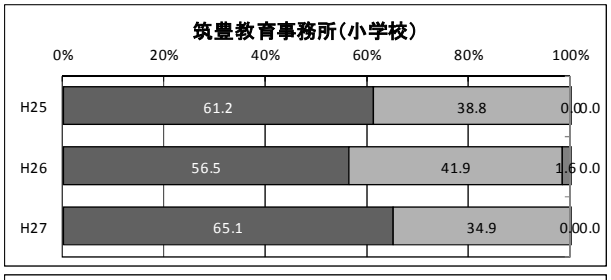

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 57.9 42.1 0.0 0.0
H26 50.0 50.0 0.0 0.0
H27 36.8 57.9 5.3 0.0

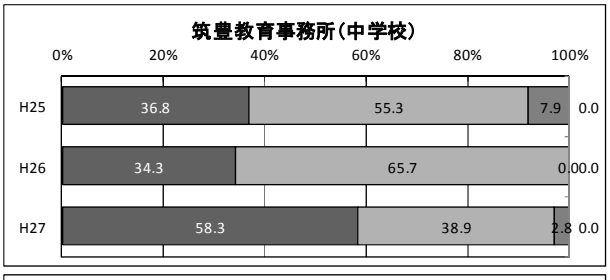

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 62.1 37.9 0.0 0.0
H26 52.9 47.1 0.0 0.0
H27 60.9 39.1 0.0 0.0

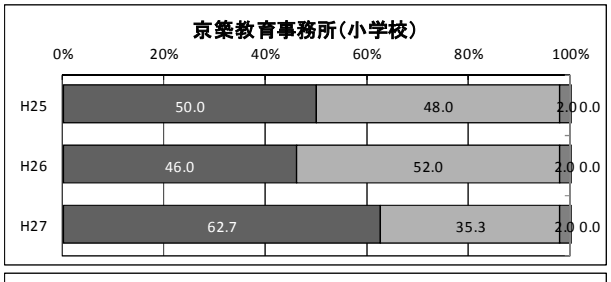

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 50.0 50.0 0.0 0.0
H26 21.2 75.8 3.0 0.0
H27 44.1 55.9 0.0 0.0

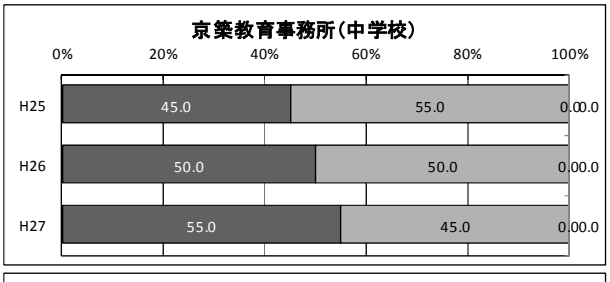

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 53.1 46.9 0.0 0.0
H26 55.8 42.1 1.1 1.1
H27 63.2 34.7 2.1 0.0

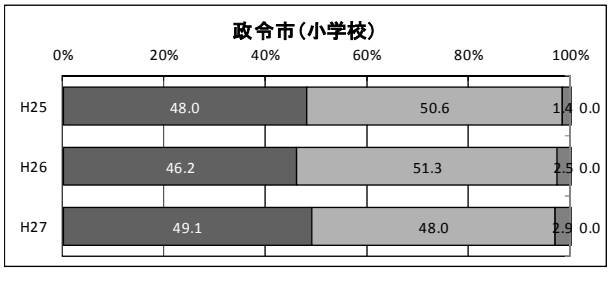

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 37.5 62.5 0.0 0.0
H26 32.5 65.0 2.5 0.0
H27 44.7 55.3 0.0 0.0

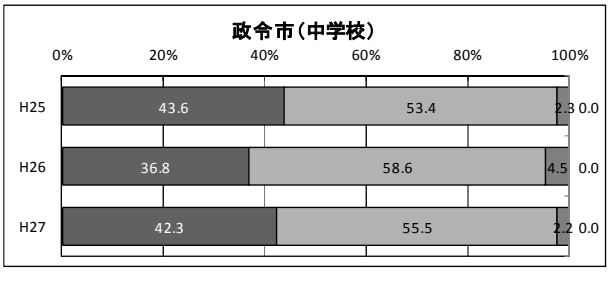

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 61.2 38.8 0.0 0.0
H26 56.5 41.9 1.6 0.0
H27 65.1 34.9 0.0 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 36.8 55.3 7.9 0.0
H26 34.3 65.7 0.0 0.0
H27 58.3 38.9 2.8 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 50.0 48.0 2.0 0.0
H26 46.0 52.0 2.0 0.0
H27 62.7 35.3 2.0 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 45.0 55.0 0.0 0.0
H26 50.0 50.0 0.0 0.0
H27 55.0 45.0 0.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 48.0 50.6 1.4 0.0
H26 46.2 51.3 2.5 0.0
H27 49.1 48.0 2.9 0.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 43.6 53.4 2.3 0.0
H26 36.8 58.6 4.5 0.0
H27 42.3 55.5 2.2 0.0

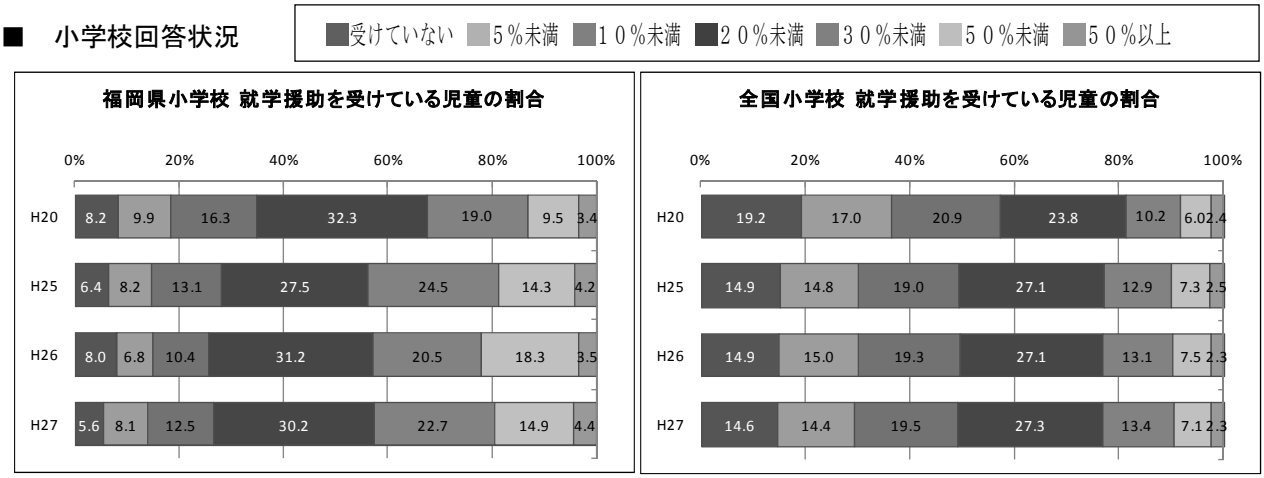
8　就学援助

小 22・中 22	就学援助を受けている児童生徒の割合

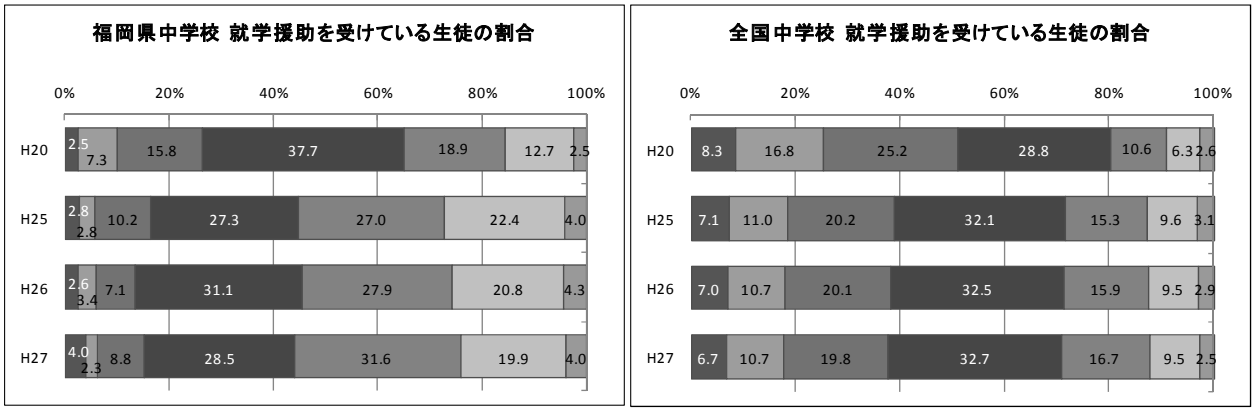
※平成２０年度から加えられた質問

○　本県は全国と比べて小学校、中学校ともに就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校が多い。
○　就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校は、全教科区分において平均正答率が低い傾向にある。

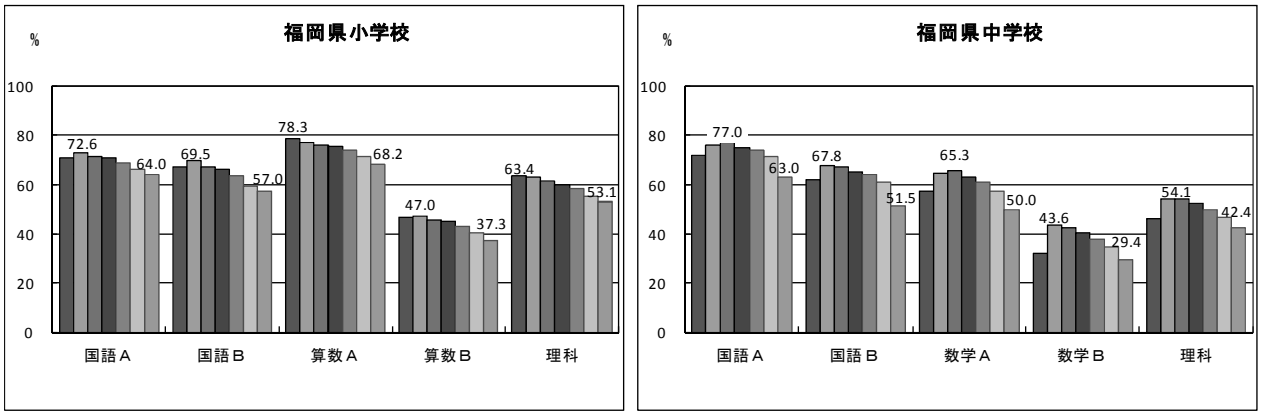
■　小学校回答状況



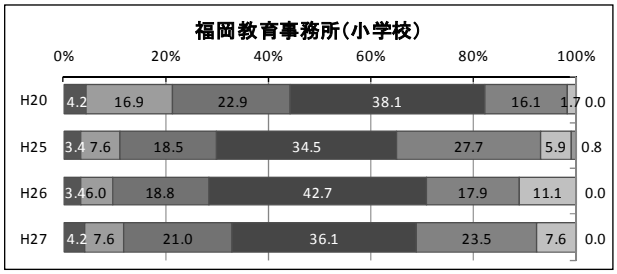
■　中学校回答状況

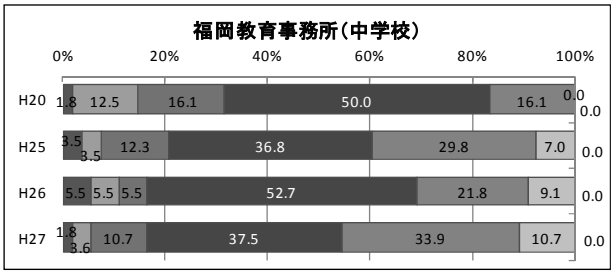


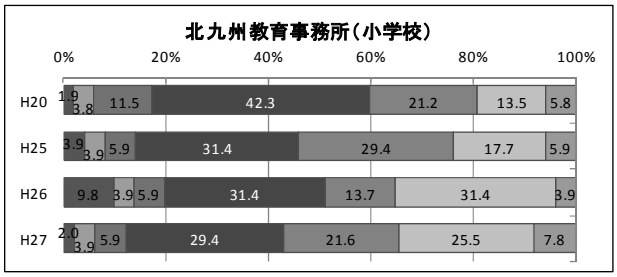
■　教科の正答率との相関関係

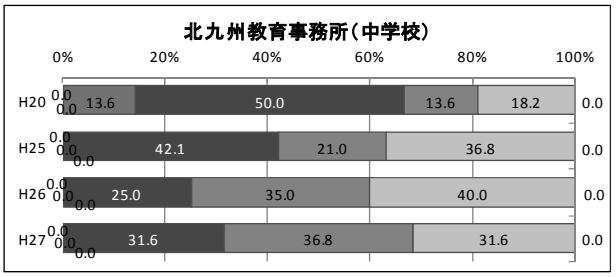


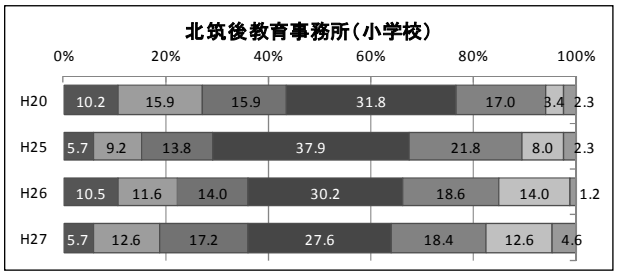
■　地区別回答状況

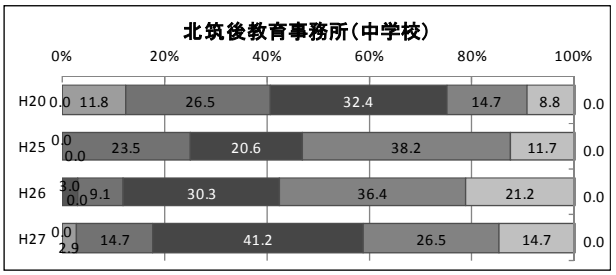

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 4.2 16.9 22.9 38.1 16.1 1.7 0.0
H25 3.4 7.6 18.5 34.5 27.7 5.9 0.8
H26 3.4 6.0 18.8 42.7 17.9 11.1 0.0
H27 4.2 7.6 21.0 36.1 23.5 7.6 0.0

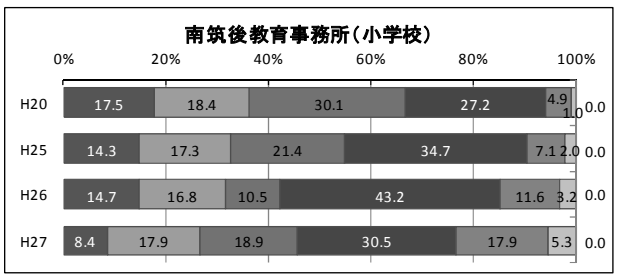

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 1.8 12.5 16.1 50.0 16.1 0.0 0.0
H25 3.5 3.5 12.3 36.8 29.8 7.0 0.0
H26 5.5 5.5 5.5 52.7 21.8 9.1 0.0
H27 1.8 3.6 10.7 37.5 33.9 10.7 0.0

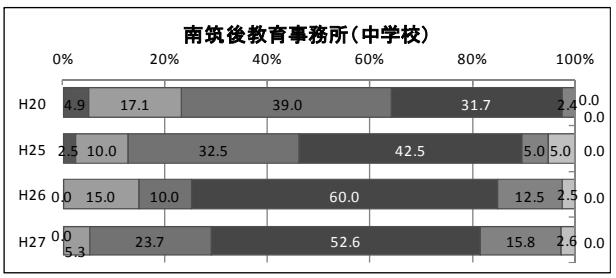

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 1.9 3.8 11.5 42.3 21.2 13.5 5.8
H25 3.9 3.9 5.9 31.4 29.4 17.7 5.9
H26 9.8 3.9 5.9 31.4 13.7 31.4 3.9
H27 2.0 3.9 5.9 29.4 21.6 25.5 7.8

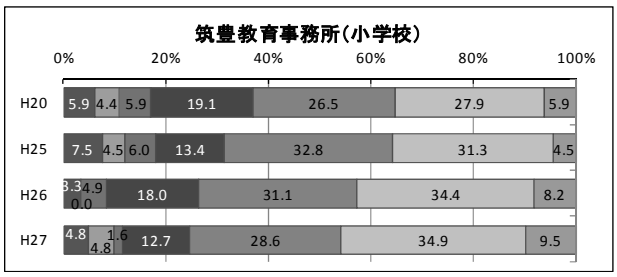

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 0.0 0.0 13.6 50.0 13.6 18.2 0.0
H25 0.0 0.0 0.0 42.1 21.0 36.8 0.0
H26 0.0 0.0 0.0 25.0 35.0 40.0 0.0
H27 0.0 0.0 0.0 31.6 36.8 31.6 0.0

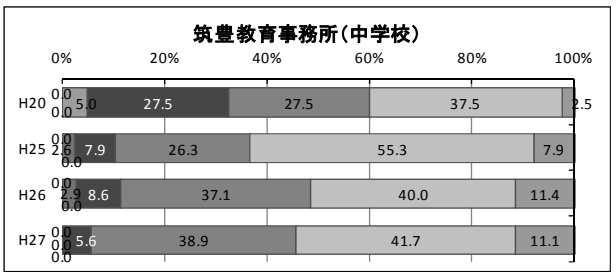

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 10.2 15.9 15.9 31.8 17.0 3.4 2.3
H25 5.7 9.2 13.8 37.9 21.8 8.0 2.3
H26 10.5 11.6 14.0 30.2 18.6 14.0 1.2
H27 5.7 12.6 17.2 27.6 18.4 12.6 4.6

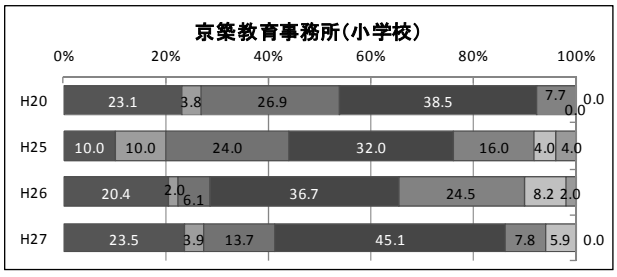

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 0.0 11.8 26.5 32.4 14.7 8.8 0.0
H25 0.0 0.0 23.5 20.6 38.2 11.7 0.0
H26 3.0 0.0 9.1 30.3 36.4 21.2 0.0
H27 0.0 2.9 14.7 41.2 26.5 14.7 0.0

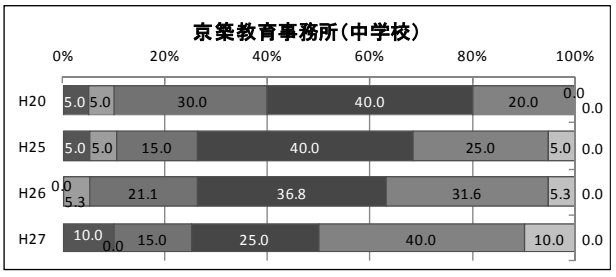

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 17.5 18.4 30.1 27.2 4.9 1.0 0.0
H25 14.3 17.3 21.4 34.7 7.1 2.0 0.0
H26 14.7 16.8 10.5 43.2 11.6 3.2 0.0
H27 8.4 17.9 18.9 30.5 17.9 5.3 0.0

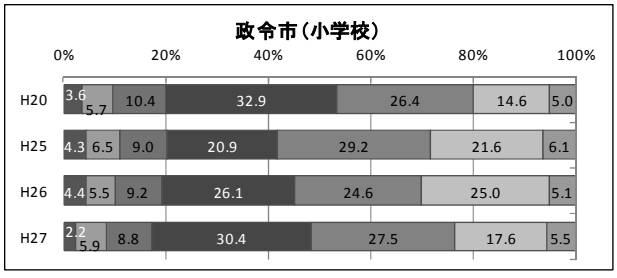

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 4.9 17.1 39.0 31.7 2.4 0.0 0.0
H25 2.5 10.0 32.5 42.5 5.0 5.0 0.0
H26 0.0 15.0 10.0 60.0 12.5 2.5 0.0
H27 0.0 5.3 23.7 52.6 15.8 2.6 0.0

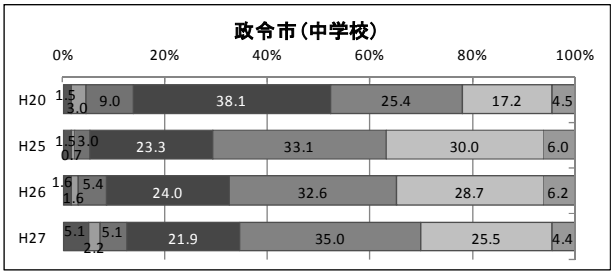

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 5.9 4.4 5.9 19.1 26.5 27.9 5.9
H25 7.5 4.5 6.0 13.4 32.8 31.3 4.5
H26 3.3 4.9 0.0 18.0 31.1 34.4 8.2
H27 4.8 4.8 1.6 12.7 28.6 34.9 9.5


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 0.0 0.0 5.0 27.5 27.5 37.5 2.5
H25 0.0 2.6 0.0 7.9 26.3 55.3 7.9
H26 0.0 2.9 0.0 8.6 37.1 40.0 11.4
H27 0.0 0.0 0.0 5.6 38.9 41.7 11.1


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 23.1 3.8 26.9 38.5 7.7 0.0 0.0
H25 10.0 10.0 24.0 32.0 16.0 4.0 4.0
H26 20.4 2.0 6.1 36.7 24.5 8.2 2.0
H27 23.5 3.9 13.7 45.1 7.8 5.9 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 5.0 5.0 30.0 40.0 20.0 0.0 0.0
H25 5.0 5.0 15.0 40.0 25.0 5.0 0.0
H26 0.0 5.3 21.1 36.8 31.6 5.3 0.0
H27 10.0 0.0 15.0 25.0 40.0 10.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 3.6 5.7 10.4 32.9 26.4 14.6 5.0
H25 4.3 6.5 9.0 20.9 29.2 21.6 6.1
H26 4.4 5.5 9.2 26.1 24.6 25.0 5.1
H27 2.2 5.9 8.8 30.4 27.5 17.6 5.5

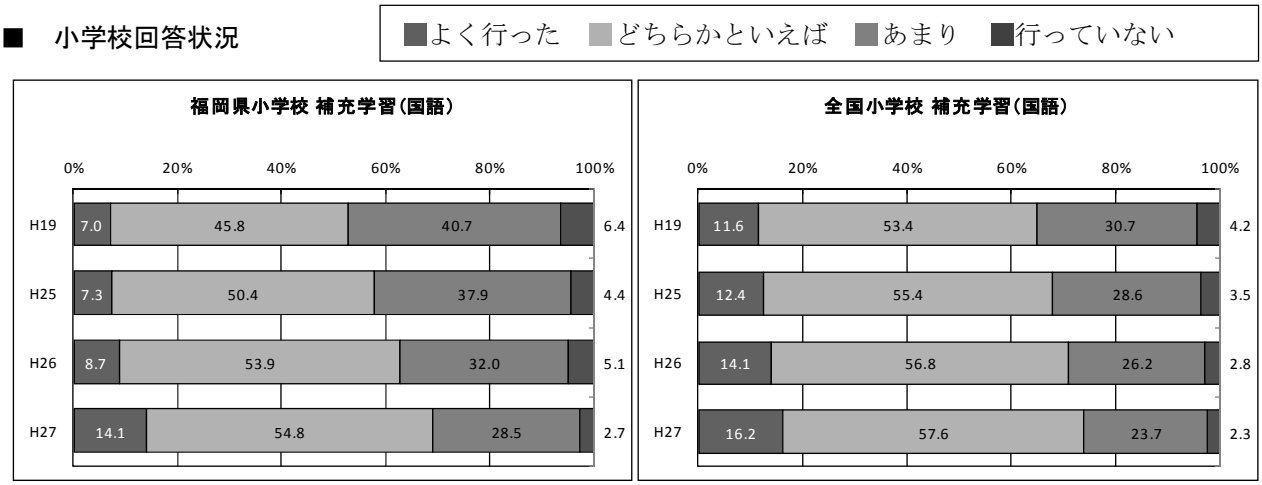

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 1.5 3.0 9.0 38.1 25.4 17.2 4.5
H25 1.5 0.7 3.0 23.3 33.1 30.0 6.0
H26 1.6 1.6 5.4 24.0 32.6 28.7 6.2
H27 5.1 2.2 5.1 21.9 35.0 25.5 4.4

９　補充学習

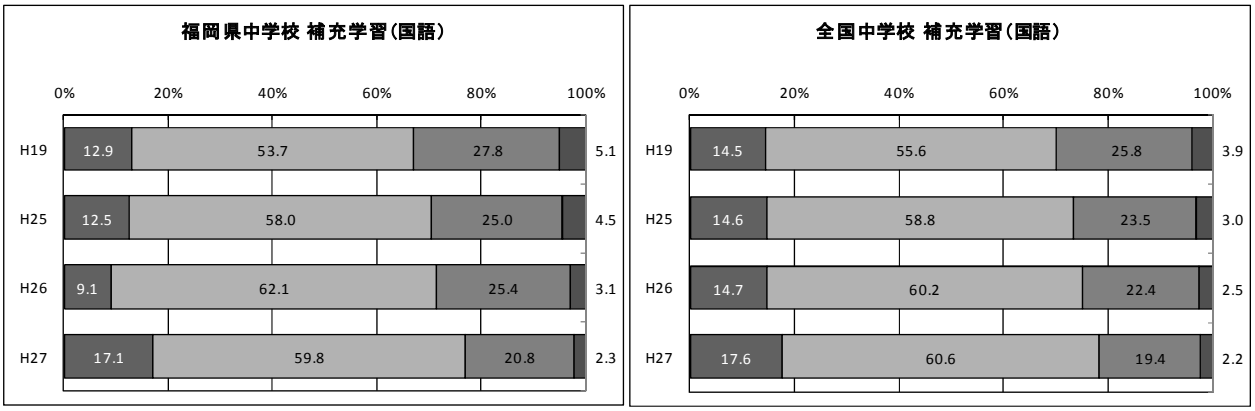
小 59・中 59	国語の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。

○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。

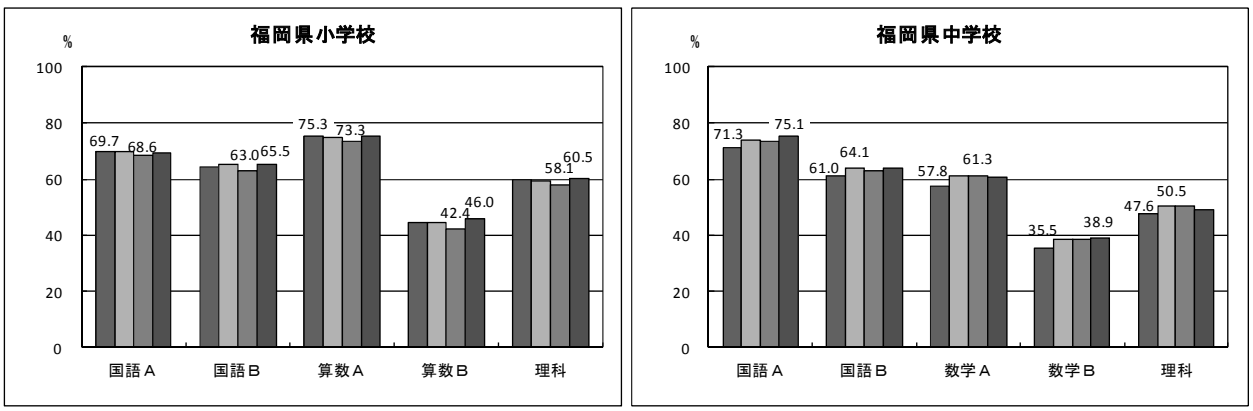
■　小学校回答状況



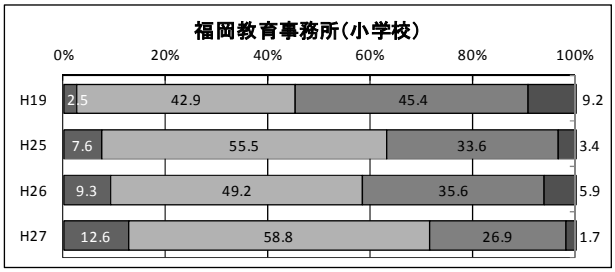
■　中学校回答状況

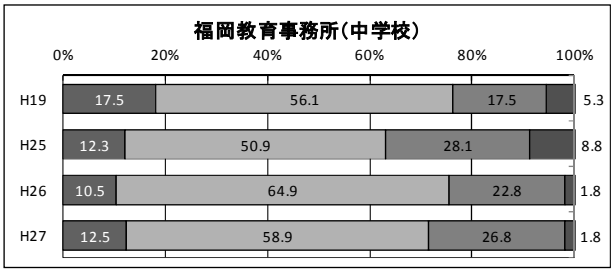


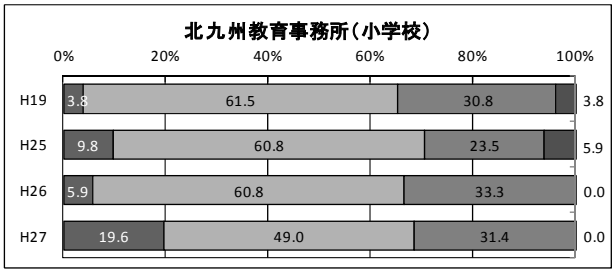
■　教科の正答率との相関関係

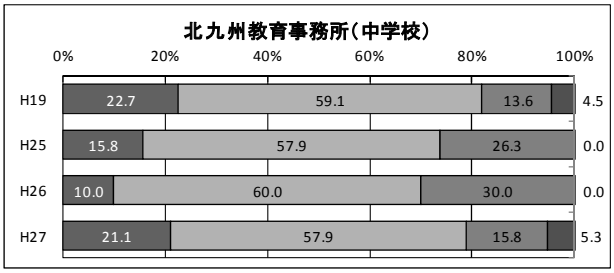


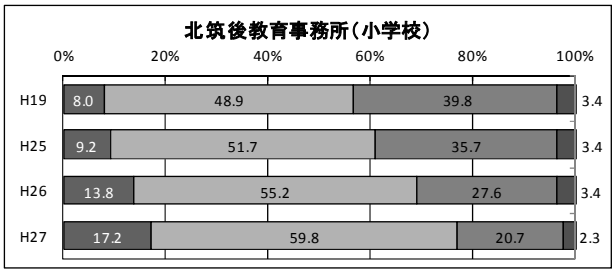
■　地区別回答状況

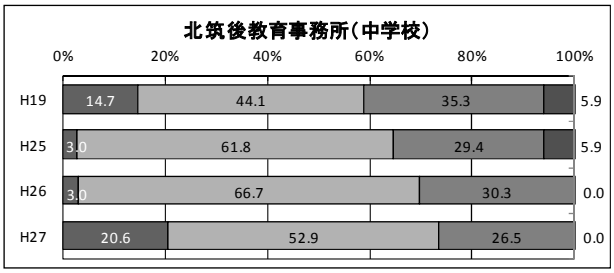

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 2.5 42.9 45.4 9.2
H25 7.6 55.5 33.6 3.4
H26 9.3 49.2 35.6 5.9
H27 12.6 58.8 26.9 1.7

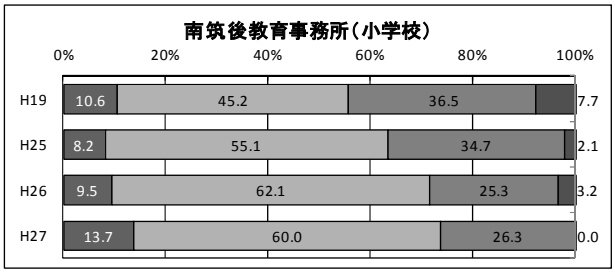

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.5 56.1 17.5 5.3
H25 12.3 50.9 28.1 8.8
H26 10.5 64.9 22.8 1.8
H27 12.5 58.9 26.8 1.8

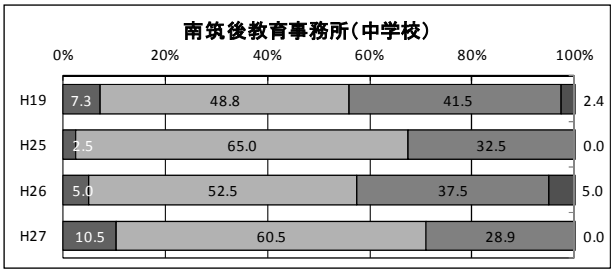

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 3.8 61.5 30.8 3.8
H25 9.8 60.8 23.5 5.9
H26 5.9 60.8 33.3 0.0
H27 19.6 49.0 31.4 0.0

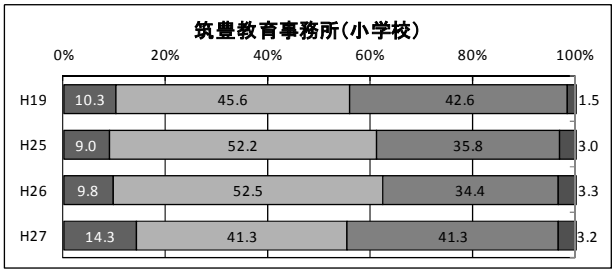

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.7 59.1 13.6 4.5
H25 15.8 57.9 26.3 0.0
H26 10.0 60.0 30.0 0.0
H27 21.1 57.9 15.8 5.3

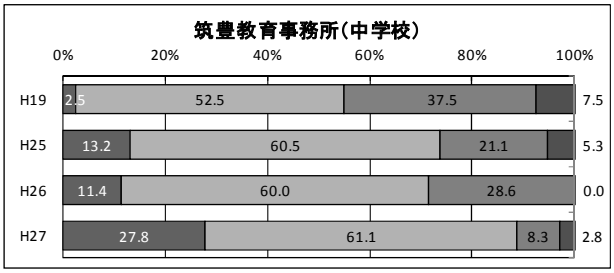

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 8.0 48.9 39.8 3.4
H25 9.2 51.7 35.7 3.4
H26 13.8 55.2 27.6 3.4
H27 17.2 59.8 20.7 2.3

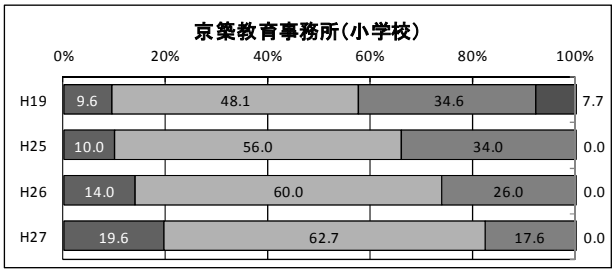

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.7 44.1 35.3 5.9
H25 3.0 61.8 29.4 5.9
H26 3.0 66.7 30.3 0.0
H27 20.6 52.9 26.5 0.0

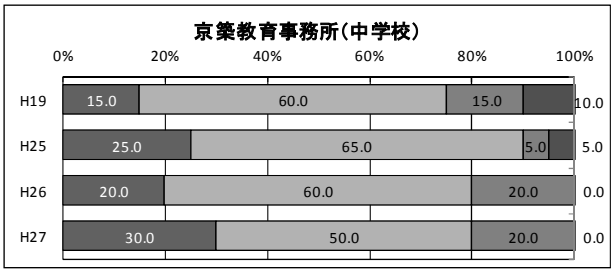

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 10.6 45.2 36.5 7.7
H25 8.2 55.1 34.7 2.1
H26 9.5 62.1 25.3 3.2
H27 13.7 60.0 26.3 0.0

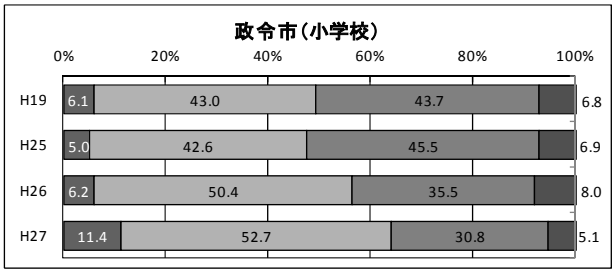

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 7.3 48.8 41.5 2.4
H25 2.5 65.0 32.5 0.0
H26 5.0 52.5 37.5 5.0
H27 10.5 60.5 28.9 0.0

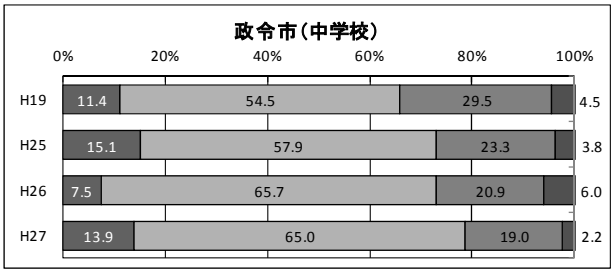

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 10.3 45.6 42.6 1.5
H25 9.0 52.2 35.8 3.0
H26 9.8 52.5 34.4 3.3
H27 14.3 41.3 41.3 3.2


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 2.5 52.5 37.5 7.5
H25 13.2 60.5 21.1 5.3
H26 11.4 60.0 28.6 0.0
H27 27.8 61.1 8.3 2.8


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 9.6 48.1 34.6 7.7
H25 10.0 56.0 34.0 0.0
H26 14.0 60.0 26.0 0.0
H27 19.6 62.7 17.6 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.0 60.0 15.0 10.0
H25 25.0 65.0 5.0 5.0
H26 20.0 60.0 20.0 0.0
H27 30.0 50.0 20.0 0.0

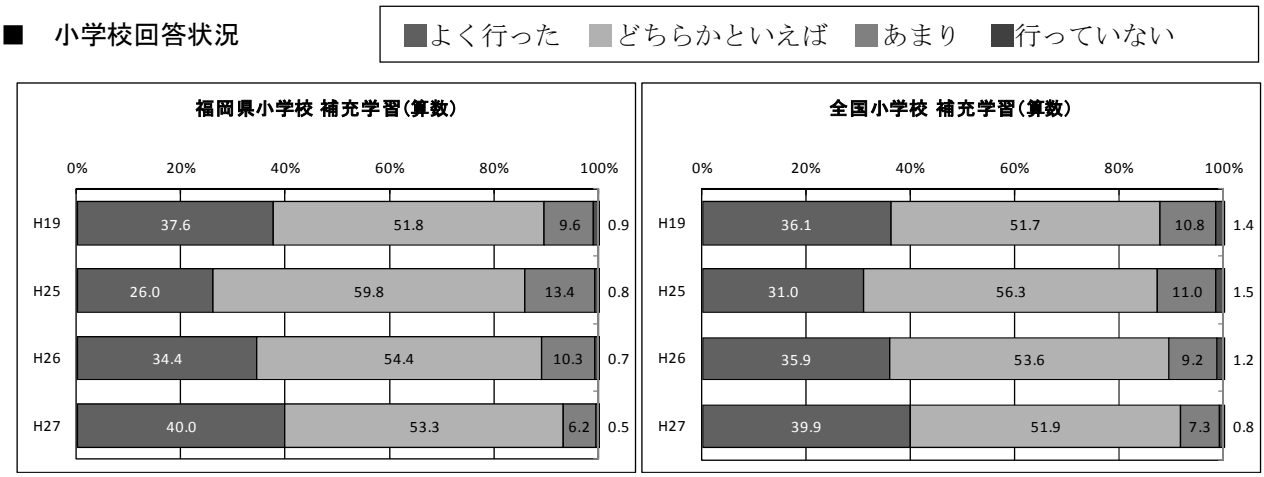

政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.1 43.0 43.7 6.8
H25 5.0 42.6 45.5 6.9
H26 6.2 50.4 35.5 8.0
H27 11.4 52.7 30.8 5.1


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 11.4 54.5 29.5 4.5
H25 15.1 57.9 23.3 3.8
H26 7.5 65.7 20.9 6.0
H27 13.9 65.0 19.0 2.2

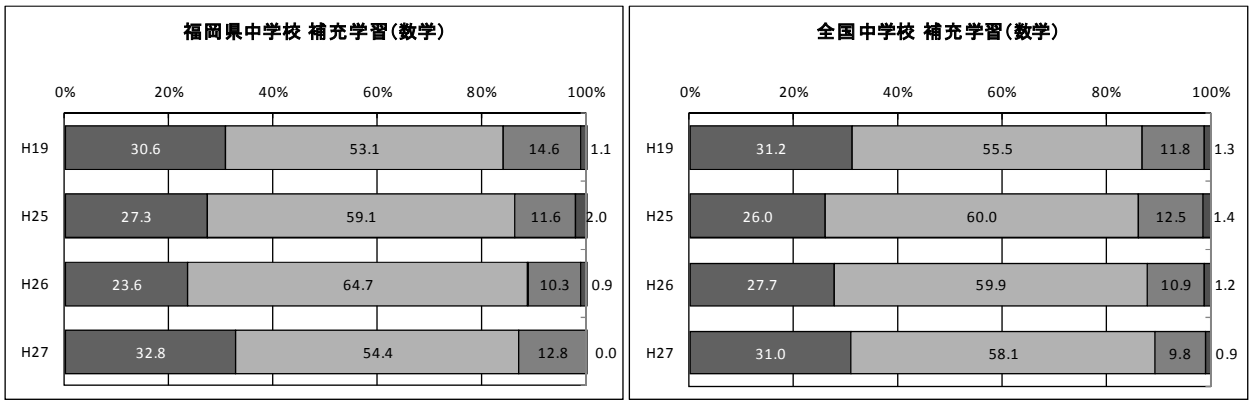
小 65・中 65	算数（数学）の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２６年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。

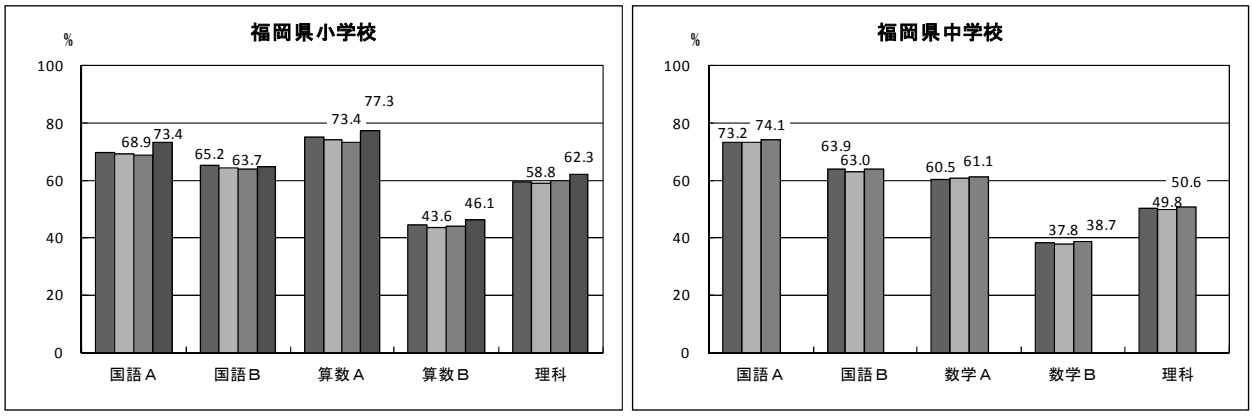
■　小学校回答状況



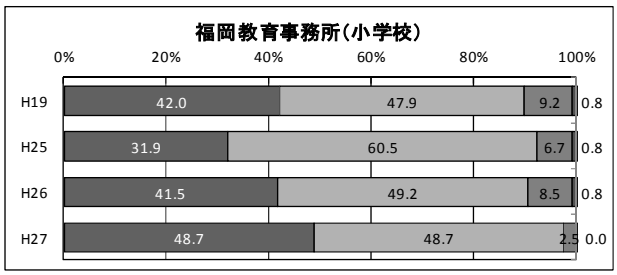
■　中学校回答状況

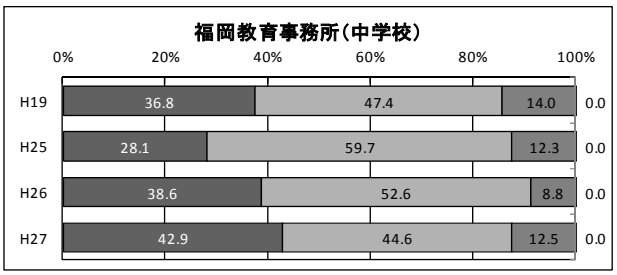


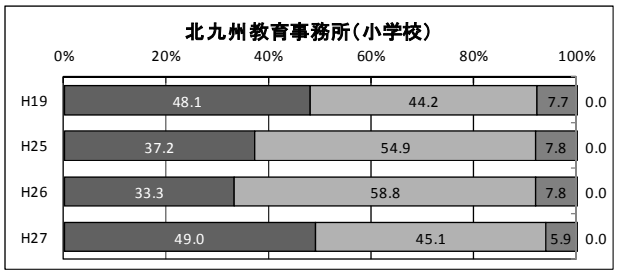
■　教科の正答率との相関関係

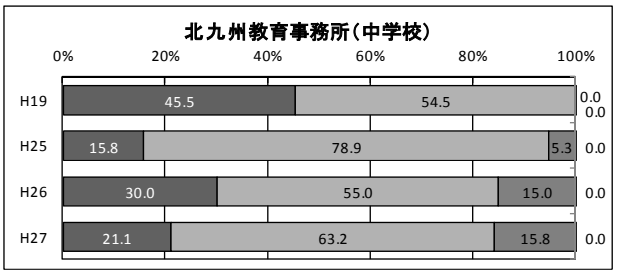


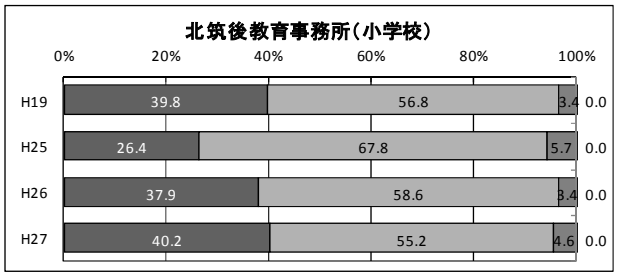
■　地区別回答状況

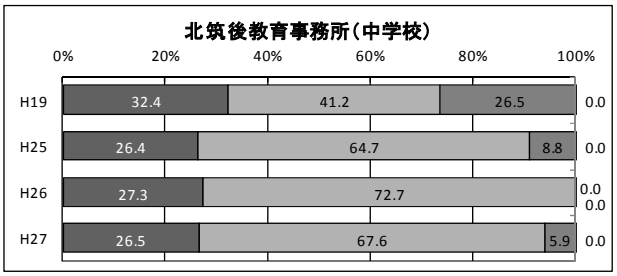

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 42.0 47.9 9.2 0.8
H25 31.9 60.5 6.7 0.8
H26 41.5 49.2 8.5 0.8
H27 48.7 48.7 2.5 0.0

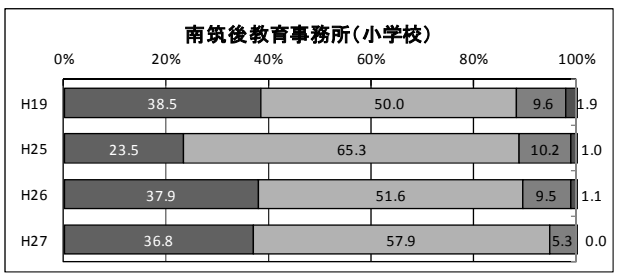

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.8 47.4 14.0 0.0
H25 28.1 59.7 12.3 0.0
H26 38.6 52.6 8.8 0.0
H27 42.9 44.6 12.5 0.0

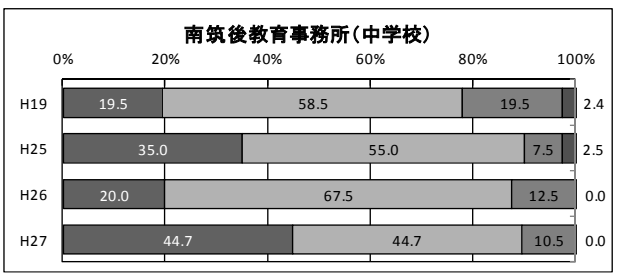

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 48.1 44.2 7.7 0.0
H25 37.2 54.9 7.8 0.0
H26 33.3 58.8 7.8 0.0
H27 49.0 45.1 5.9 0.0

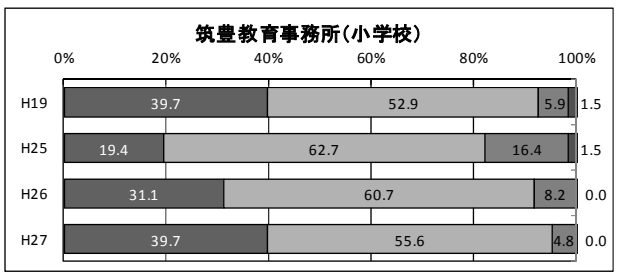

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 45.5 54.5 0.0 0.0
H25 15.8 78.9 5.3 0.0
H26 30.0 55.0 15.0 0.0
H27 21.1 63.2 15.8 0.0

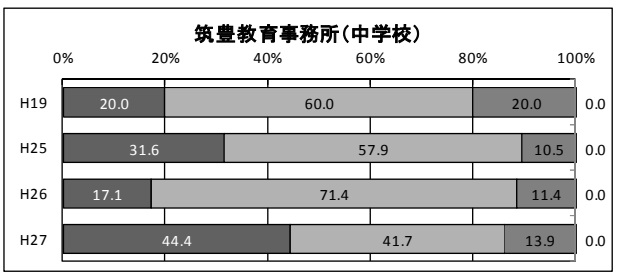

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.8 56.8 3.4 0.0
H25 26.4 67.8 5.7 0.0
H26 37.9 58.6 3.4 0.0
H27 40.2 55.2 4.6 0.0

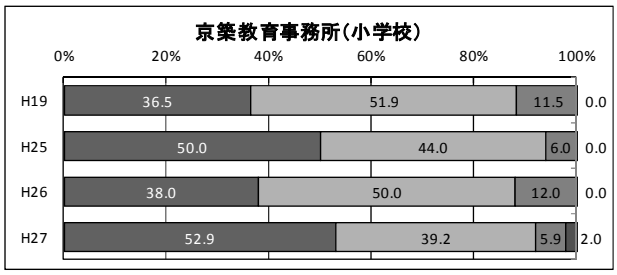

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 32.4 41.2 26.5 0.0
H25 26.4 64.7 8.8 0.0
H26 27.3 72.7 0.0 0.0
H27 26.5 67.6 5.9 0.0

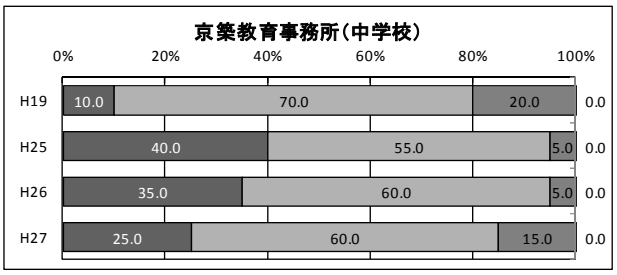

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.5 50.0 9.6 1.9
H25 23.5 65.3 10.2 1.0
H26 37.9 51.6 9.5 1.1
H27 36.8 57.9 5.3 0.0

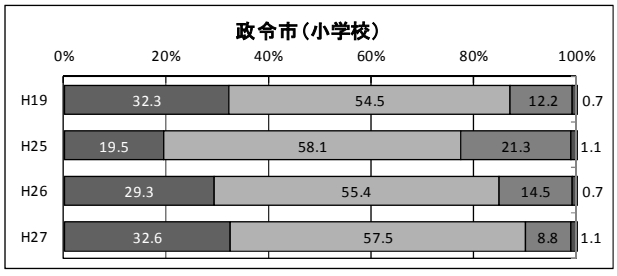

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.5 58.5 19.5 2.4
H25 35.0 55.0 7.5 2.5
H26 20.0 67.5 12.5 0.0
H27 44.7 44.7 10.5 0.0

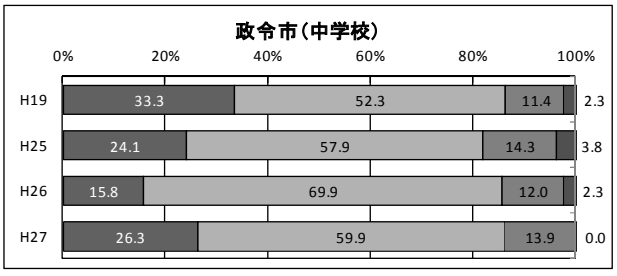

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.7 52.9 5.9 1.5
H25 19.4 62.7 16.4 1.5
H26 31.1 60.7 8.2 0.0
H27 39.7 55.6 4.8 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.0 60.0 20.0 0.0
H25 31.6 57.9 10.5 0.0
H26 17.1 71.4 11.4 0.0
H27 44.4 41.7 13.9 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.5 51.9 11.5 0.0
H25 50.0 44.0 6.0 0.0
H26 38.0 50.0 12.0 0.0
H27 52.9 39.2 5.9 2.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 10.0 70.0 20.0 0.0
H25 40.0 55.0 5.0 0.0
H26 35.0 60.0 5.0 0.0
H27 25.0 60.0 15.0 0.0

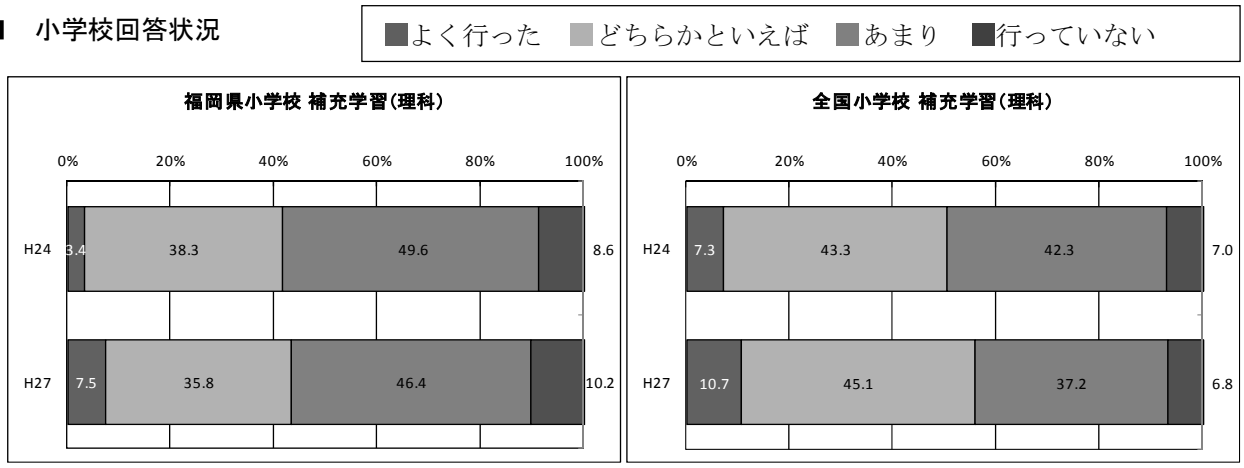

政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 32.3 54.5 12.2 0.7
H25 19.5 58.1 21.3 1.1
H26 29.3 55.4 14.5 0.7
H27 32.6 57.5 8.8 1.1


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.3 52.3 11.4 2.3
H25 24.1 57.9 14.3 3.8
H26 15.8 69.9 12.0 2.3
H27 26.3 59.9 13.9 0.0

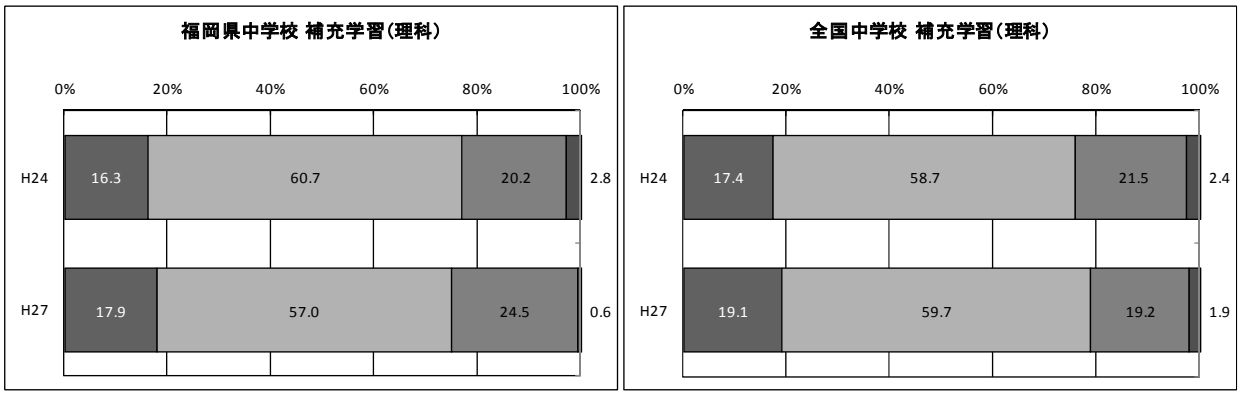
小 70・中 69	理科の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２４年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。

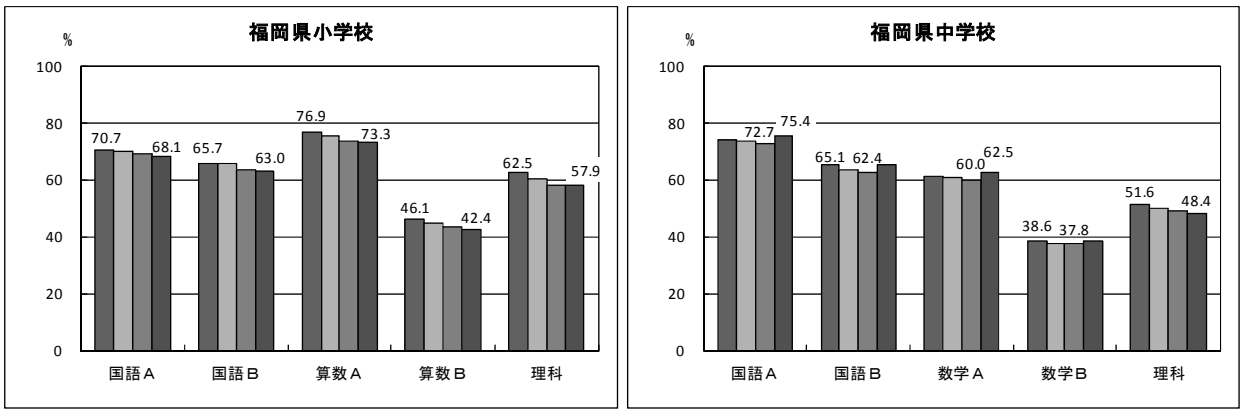
■　小学校回答状況



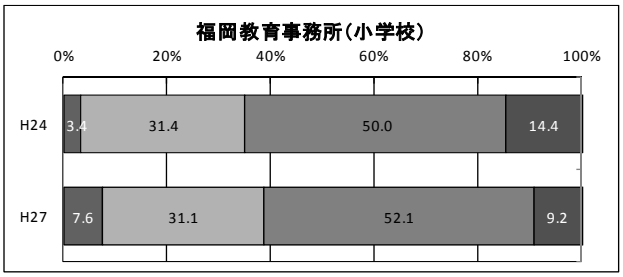
■　中学校回答状況

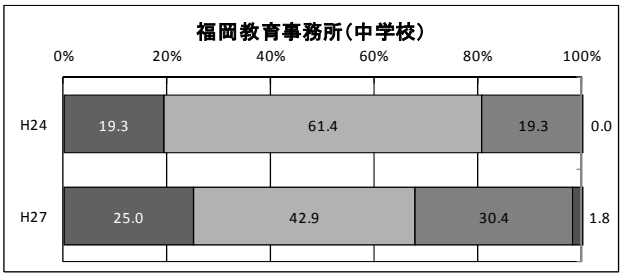


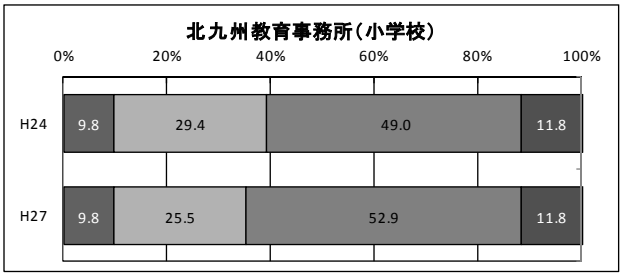
■　教科の正答率との相関関係

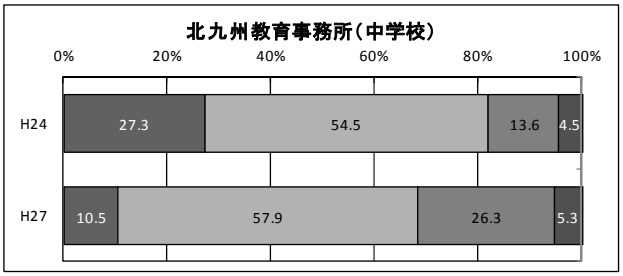


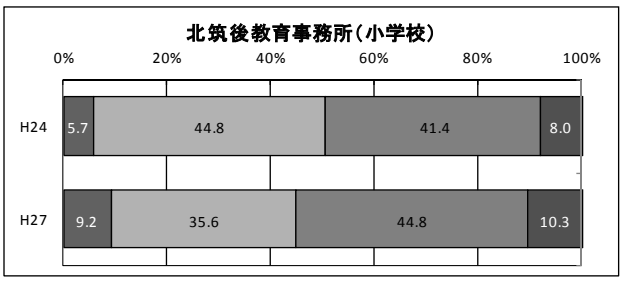
■　地区別回答状況

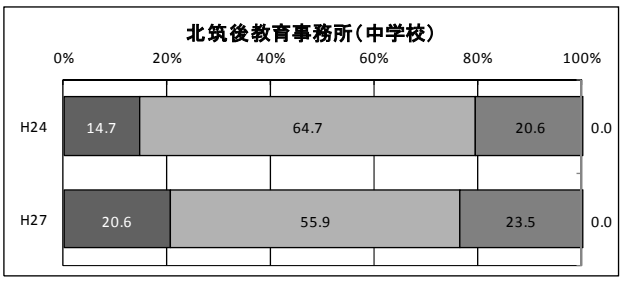

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
3.4
31.4
50.0
14.4
H27
7.6
31.1
52.1
9.2

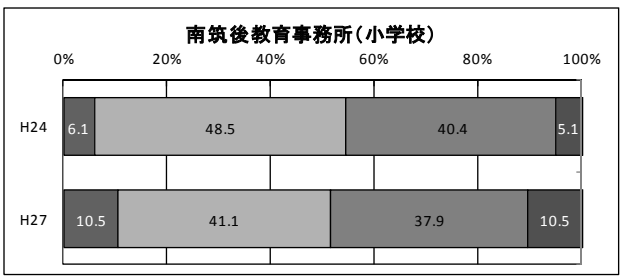

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
19.3
61.4
19.3
0.0
H27
25.0
42.9
30.4
1.8

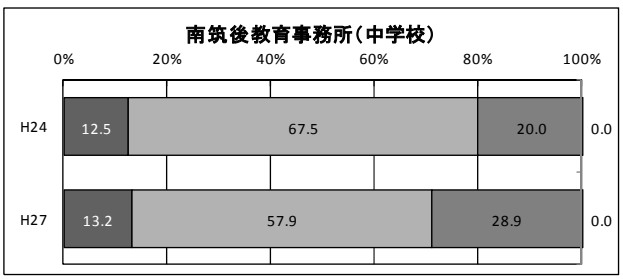

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
9.8
29.4
49.0
11.8
H27
9.8
25.5
52.9
11.8

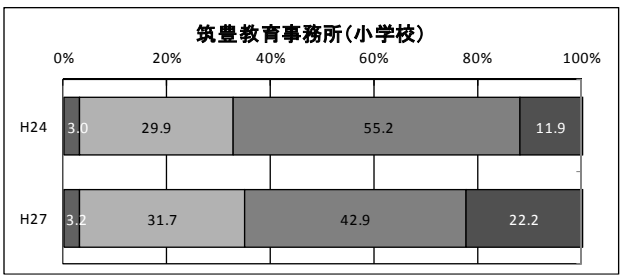

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
27.3
54.5
13.6
4.5
H27
10.5
57.9
26.3
5.3

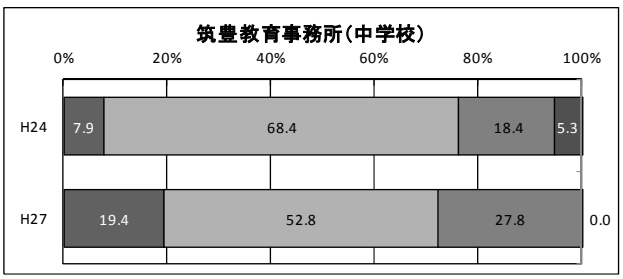

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
5.7
44.8
41.4
8.0
H27
9.2
35.6
44.8
10.3

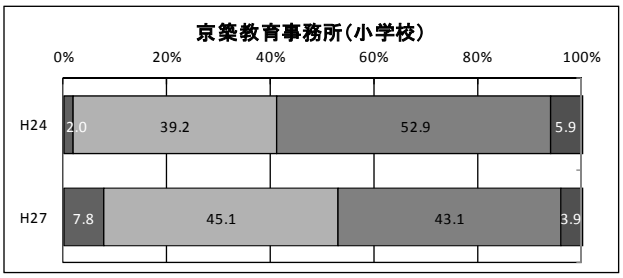

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
14.7
64.7
20.6
0.0
H27
20.6
55.9
23.5
0.0

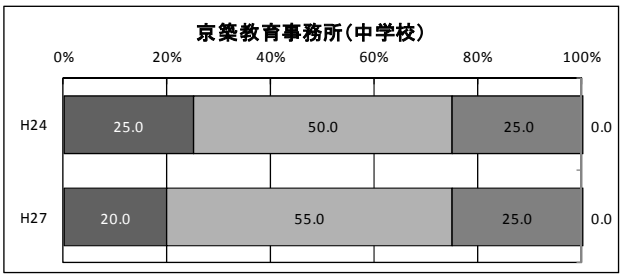

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
6.1
48.5
40.4
5.1
H27
10.5
41.1
37.9
10.5

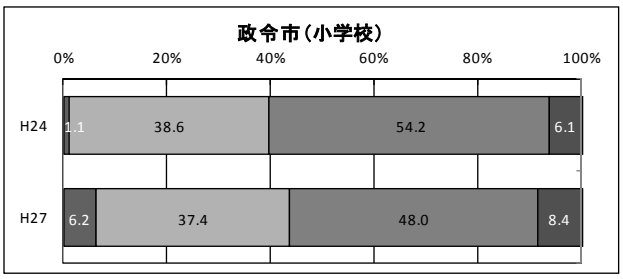

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
12.5
67.5
20.0
0.0
H27
13.2
57.9
28.9
0.0

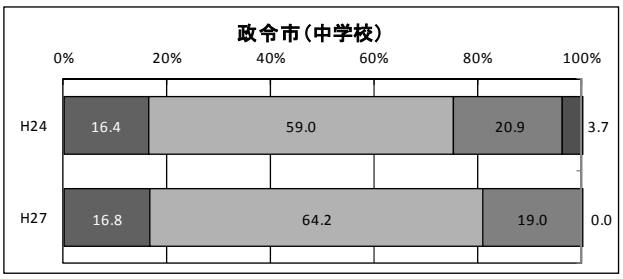

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
3.0
29.9
55.2
11.9
H27
3.2
31.7
42.9
22.2


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
7.9
68.4
18.4
5.3
H27
19.4
52.8
27.8
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
2.0
39.2
52.9
5.9
H27
7.8
45.1
43.1
3.9


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
25.0
50.0
25.0
0.0
H27
20.0
55.0
25.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
1.1
38.6
54.2
6.1
H27
6.2
37.4
48.0
8.4


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H24
16.4
59.0
20.9
3.7
H27
16.8
64.2
19.0
0.0

Ⅵ　児童生徒質問紙と学校質問紙の調査結果の対比

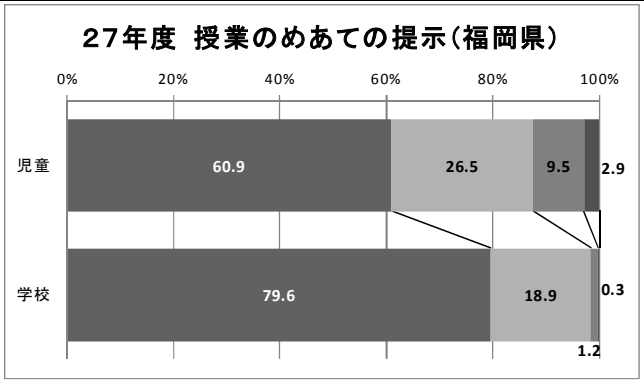
児童生徒質問紙と学校質問紙の共通質問について、教師と児童生徒の認識の違いをみる。

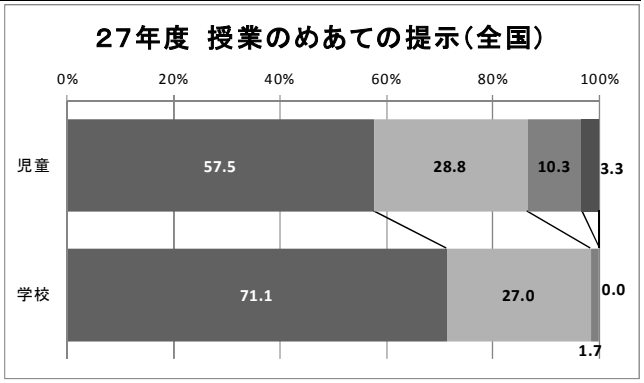
１　小学校

あてはまる　どちらかといえば　あまり　全く

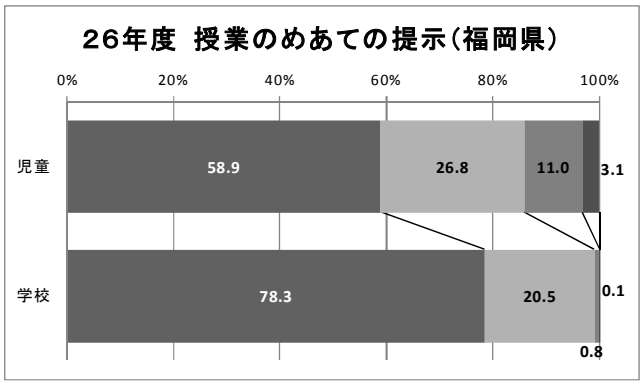
※　数字は児童生徒質問紙及び学校質問紙中の質問番号

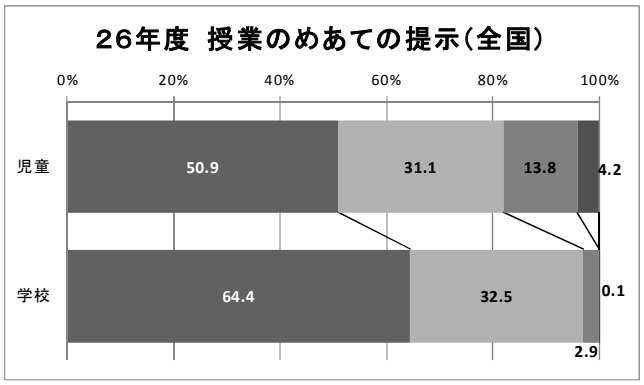
児童質問紙	４１	５年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
学校質問紙	２９	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか。





＜参考　２６年度調査結果＞



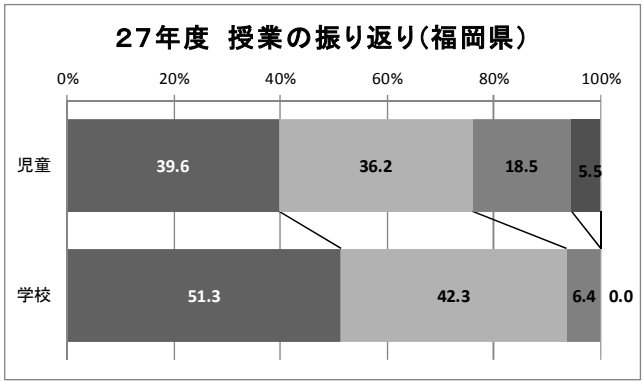


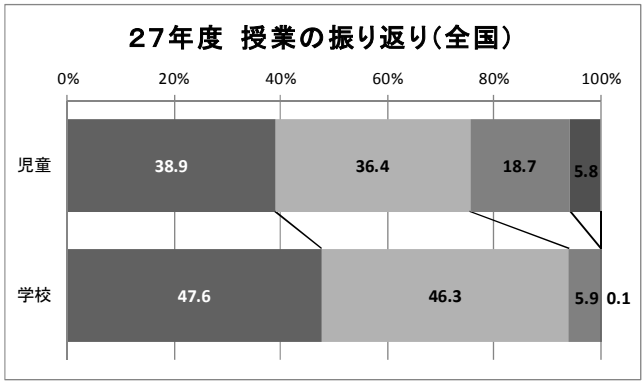
○　「授業のめあてが示されていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 11.1 ポイント低い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童、学校ともに、それぞれ 1.1 ポイント、0.4 ポイント高い。

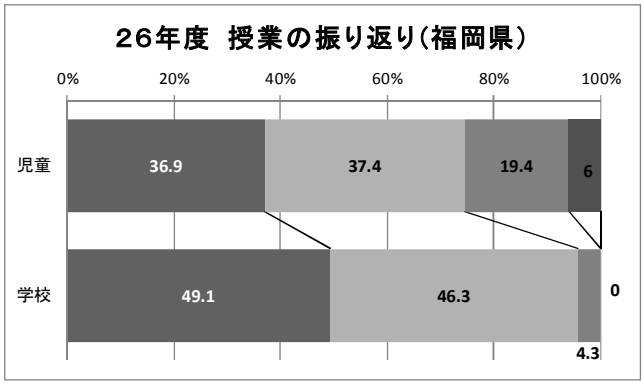
○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 1.7 ポイント増加し、学校は 0.3 ポイント減少している。

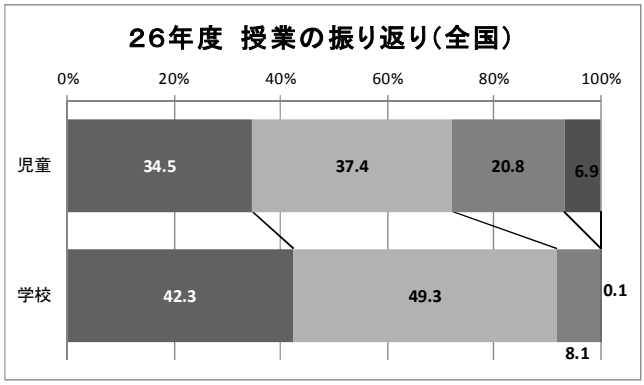
児童質問紙	４２	５年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
学校質問紙	３０	調査学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。





＜参考　２６年度調査結果＞



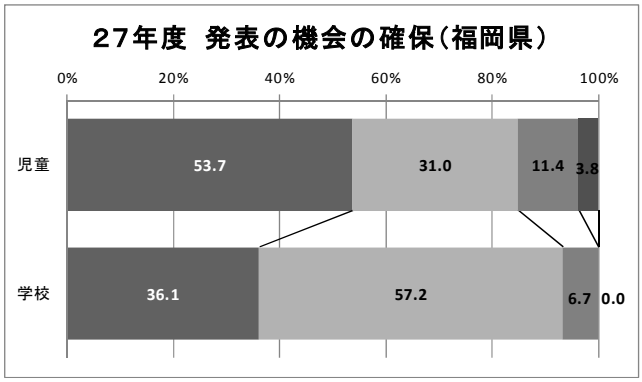


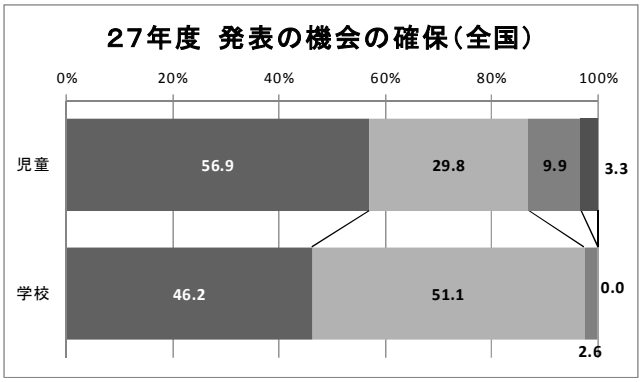
○　「授業の振り返りが行われていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 17.8 ポイント低い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 0.5 ポイント高く、学校は、0.3 ポイント低い。

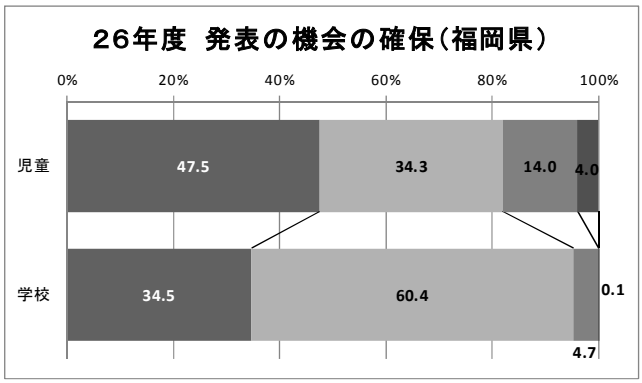
○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 1.5 ポイント増加し、学校は 1.8 ポイント減少している。

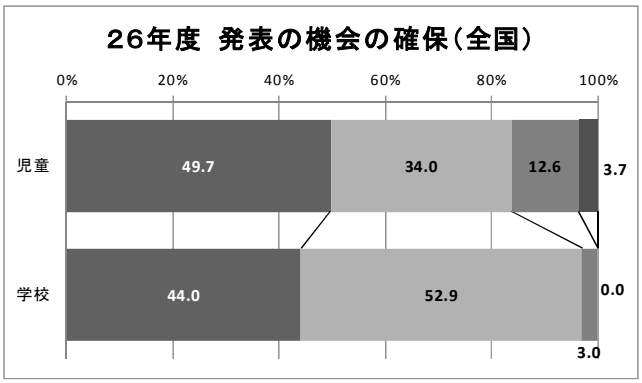
児童質問紙	３８	５年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
学校質問紙	３３	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して学習を進めましたか。





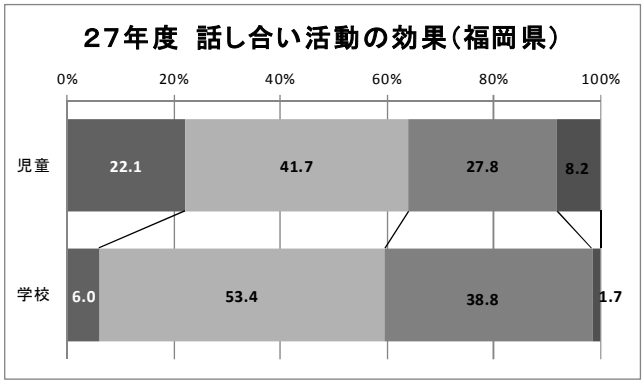
＜参考　２６年度調査結果＞

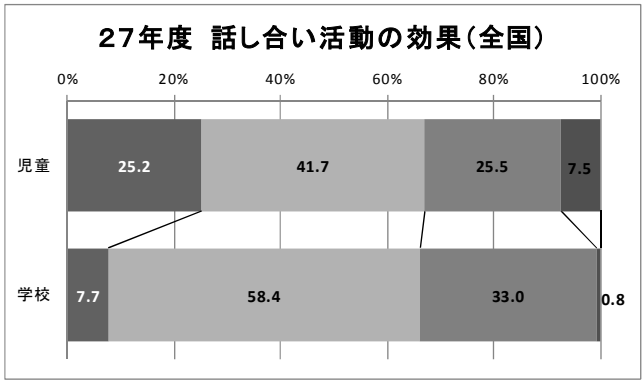




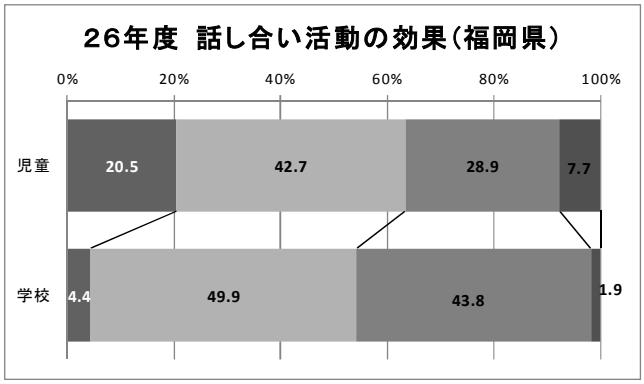
○　「発表の機会が与えられていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 8.6 ポイント低い。
○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童、学校ともに、それぞれ 2.0 ポイント、4.0 ポイント低い。
○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 2.9 ポイント増加し、学校は 1.6 ポイント減少している。

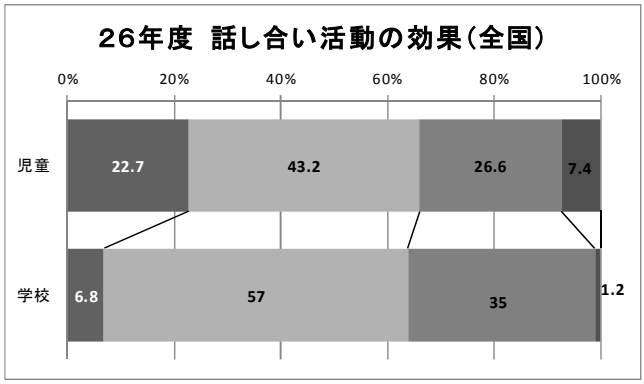
児童質問紙	４６	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
学校質問紙	２１	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。





＜参考　２６年度調査結果＞





○　「自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 14.4 ポイント高い。

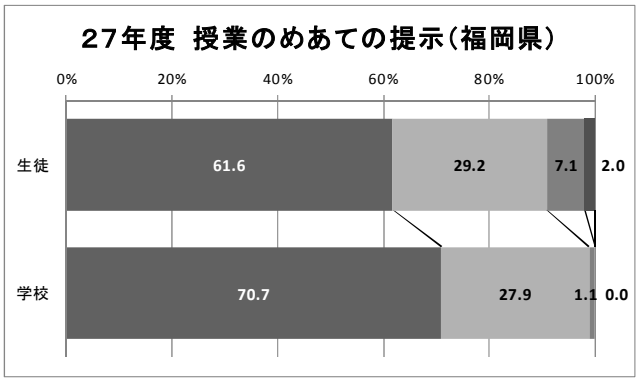
○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童、学校ともに、それぞれ 3.1 ポイント、6.7 ポイント低い。

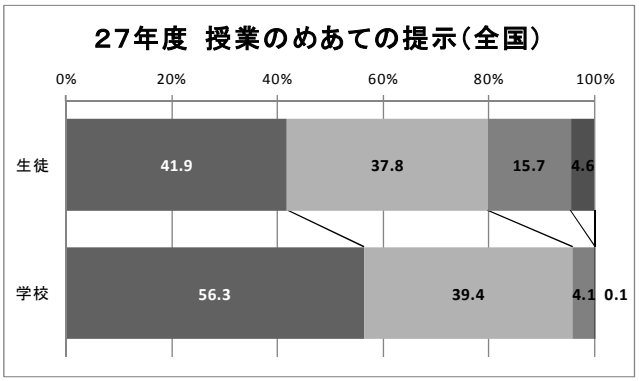
○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 0.6 ポイント増加し、学校は 5.1 ポイント増加している。

２　中学校

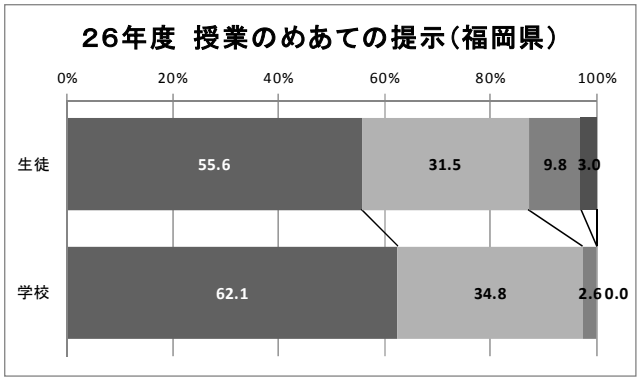
あてはまる　どちらかといえば　あまり　全く

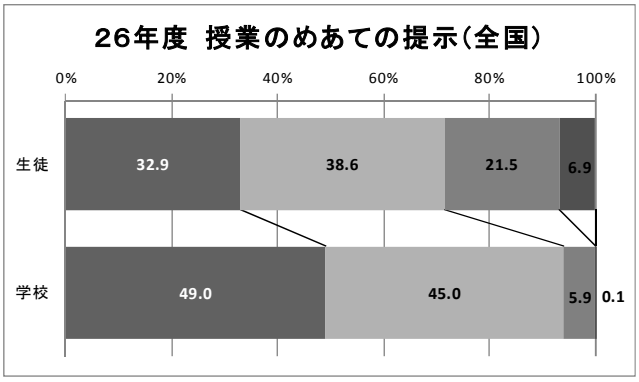
生徒質問紙	４１	１、２年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
学校質問紙	２９	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか。





＜参考　２６年度調査結果＞



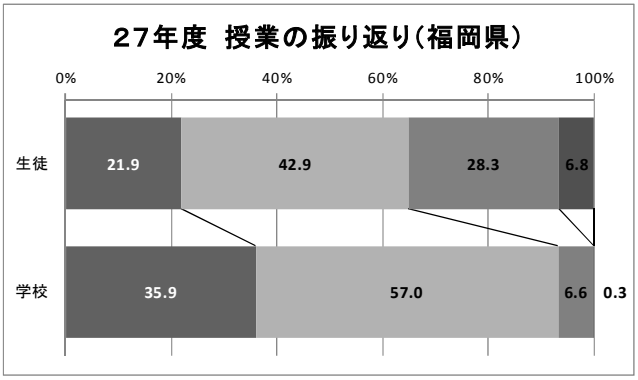


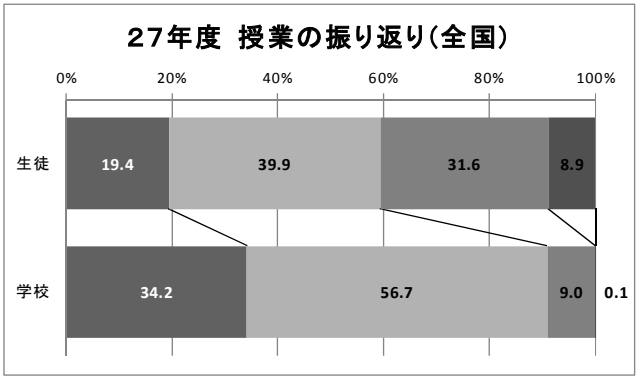
○　「授業のめあてが示されていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも 7.8 ポイント低い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒、学校ともに、それぞれ 11.1 ポイント、2.9 ポイント高い。

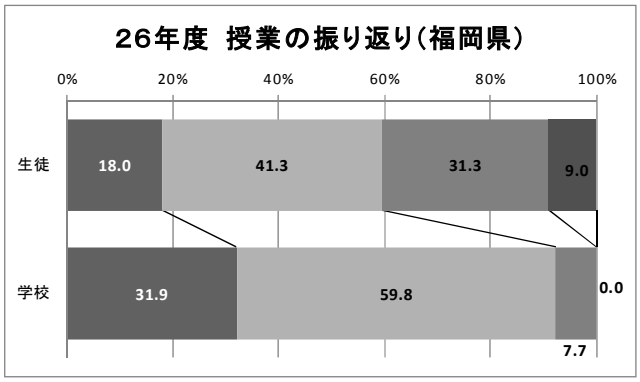
○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 3.7 ポイント増加し、学校は 1.7 ポイント増加している。

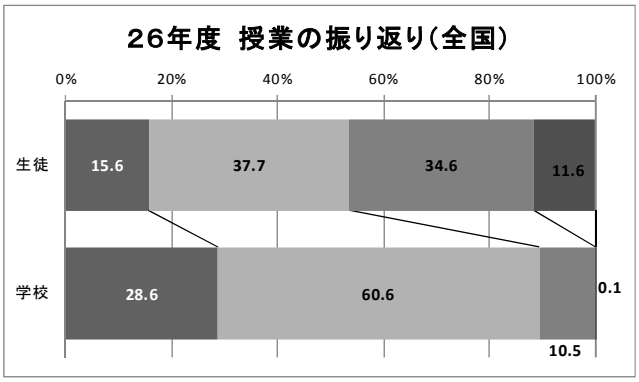
生徒質問紙	４２	１、２年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
学校質問紙	３０	調査学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。





＜参考　２６年度調査結果＞



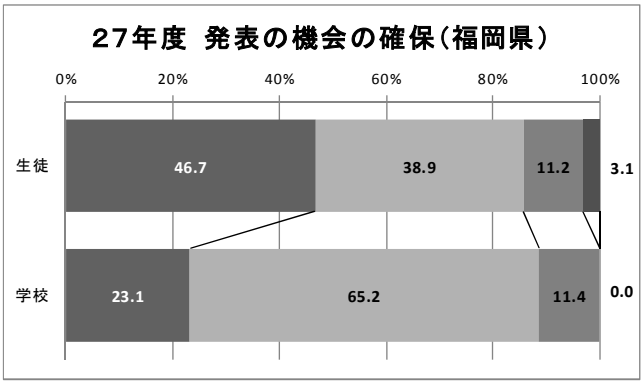


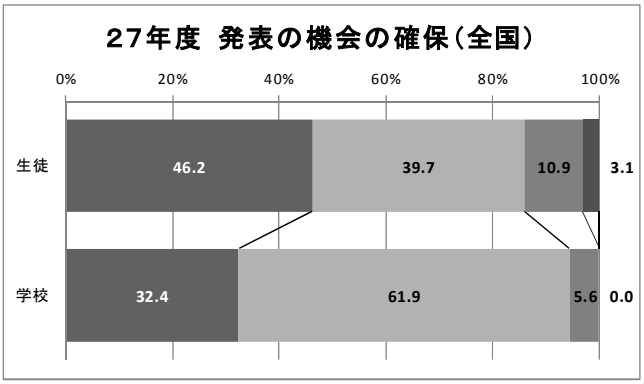
○　「授業の振り返りが行われていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも 28.1 ポイント低い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒、学校ともに、それぞれ 5.5 ポイント、2.0 ポイント高い。

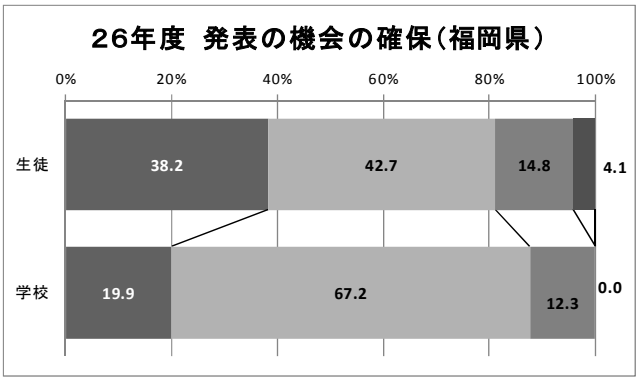
○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 5.5 ポイント増加し、学校は 4.7 ポイント増加している。

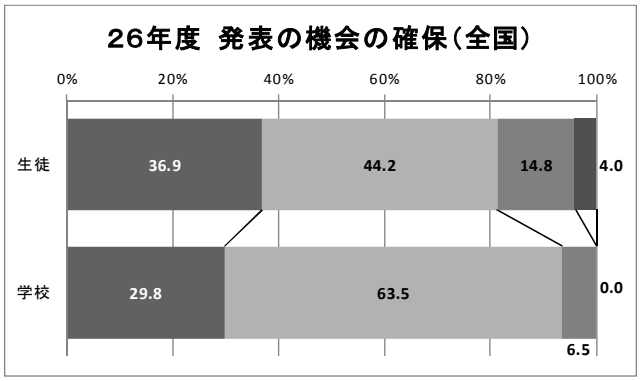
生徒質問紙	３８	１、２年生の時に受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
学校質問紙	３３	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して学習を進めましたか。





＜参考　２６年度調査結果＞



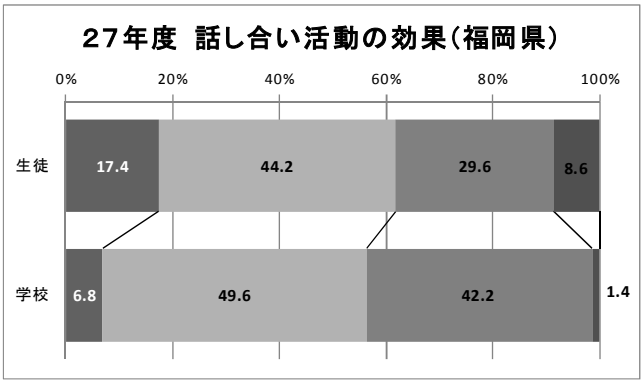


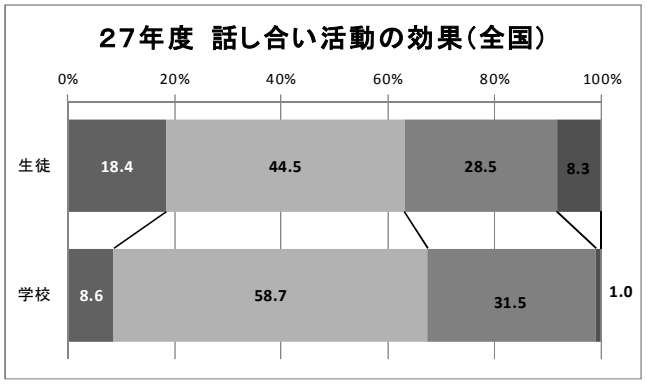
○　「発表の機会が与えられていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも 2.7 ポイント低い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒、学校ともに、それぞれ 0.3 ポイント、6.0 ポイント低い。

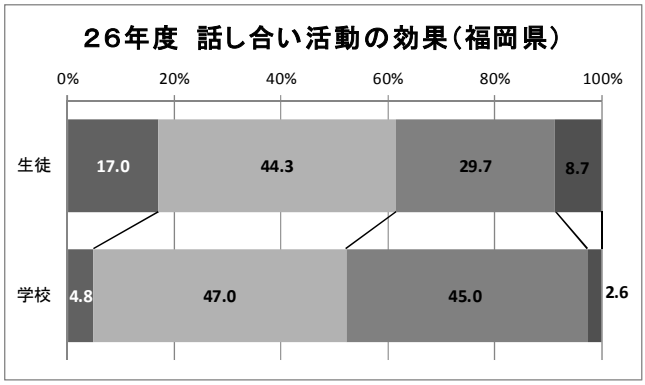
○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 4.7 ポイント増加し、学校は 1.2 ポイント増加した。

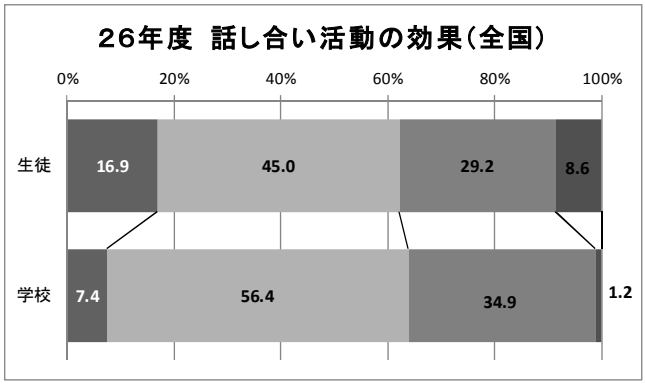
生徒質問紙	４６	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
学校質問紙	２１	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。





＜参考　２６年度調査結果＞





○　「自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも 5.2 ポイント高い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒、学校ともに、それぞれ 1.3 ポイント、10.9 ポイント低い。

○　平成２６年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 0.3 ポイント増加し、学校は 4.6 ポイント増加した。

Ⅶ　本年度新たに分析した児童生徒質問紙の調査項目

当てはまる　どちらかといえば　あまり　全く

１　「いじめはいけない」という考え

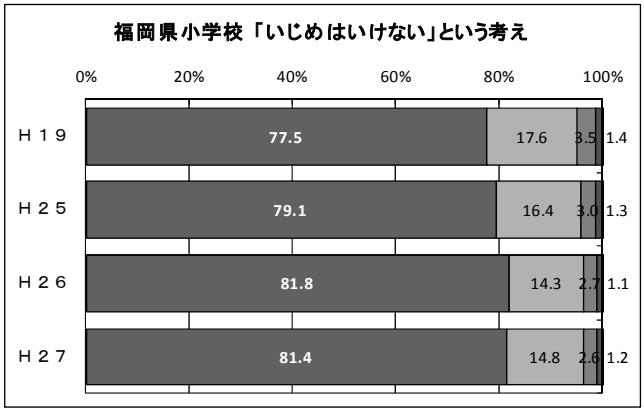
※　数字は、児童生徒質問紙の質問番号

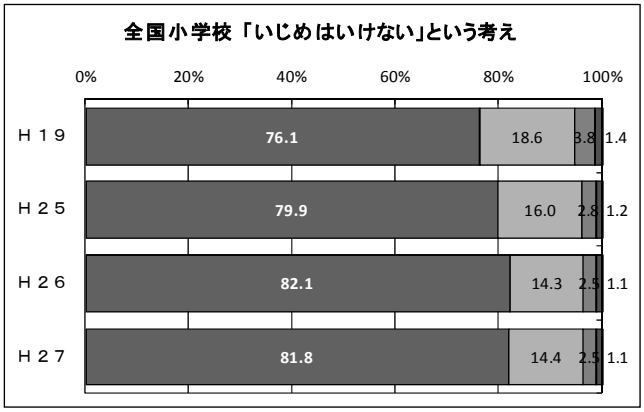
３４	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

○　当てはまると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて小学校は 0.4 ポイント下回り、中学校は 2.3 ポイント上回った。

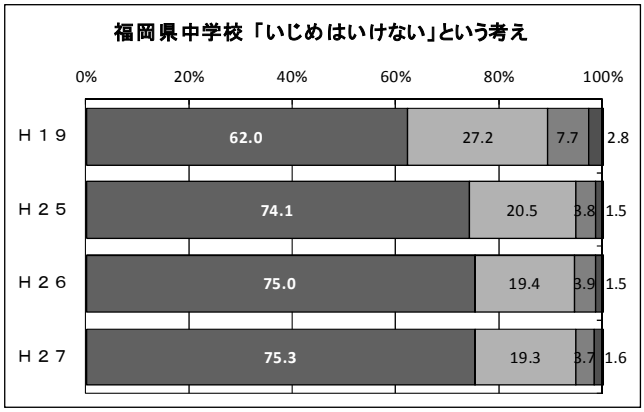
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答した児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

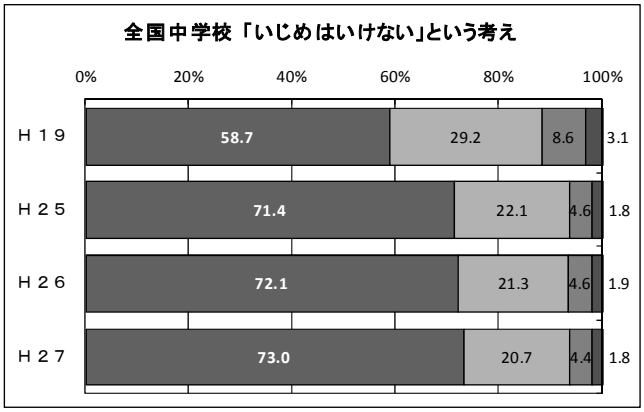
■小学校回答状況



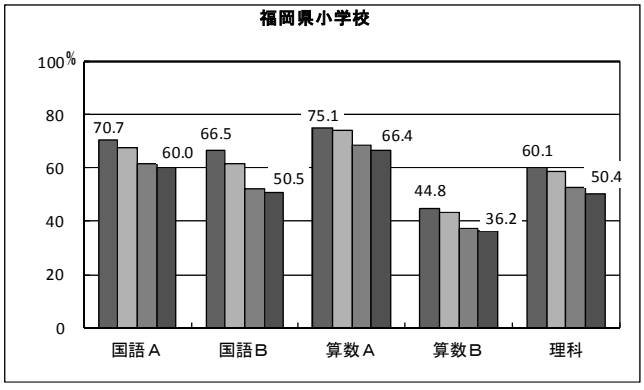


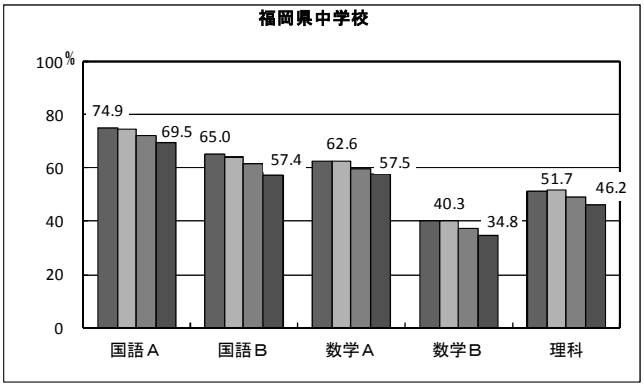
■中学校回答状況





■教科の正答率との相関関係





２　困難克服

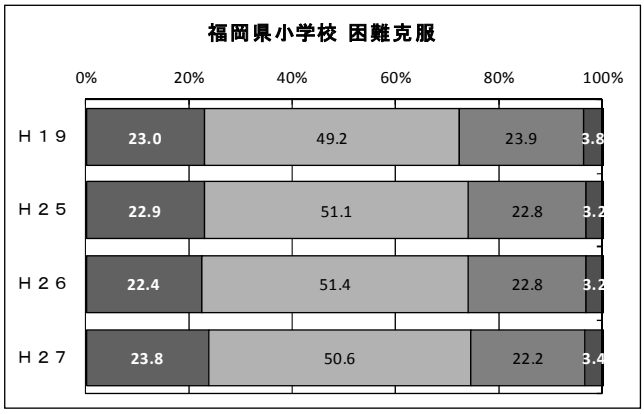
※　数字は、児童生徒質問紙の質問番号

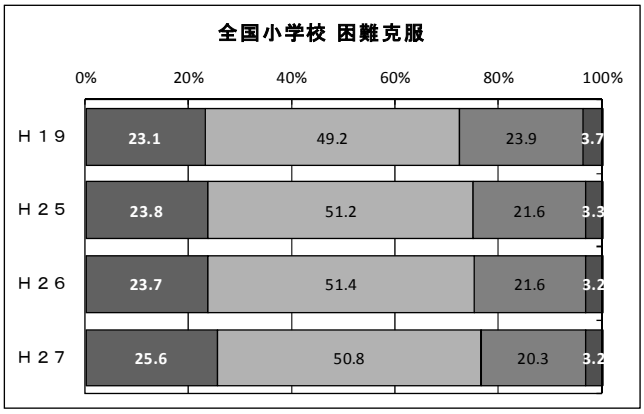
５	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

○　当てはまると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて小学校は 1.8 ポイント下回り、中学校は 0.1 ポイント上回った。また、当てはまると回答した児童生徒の割合は、平成２５年度以降、毎年増加している。

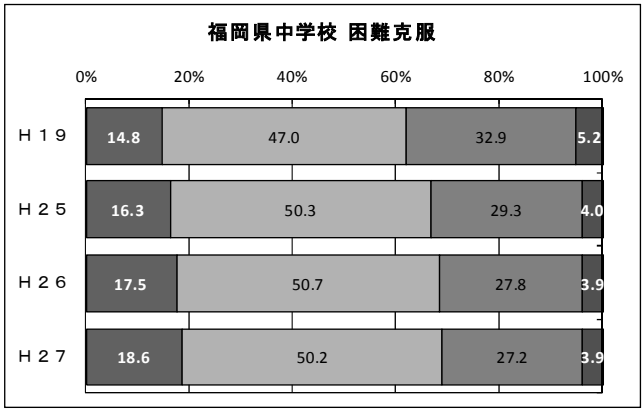
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答した児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

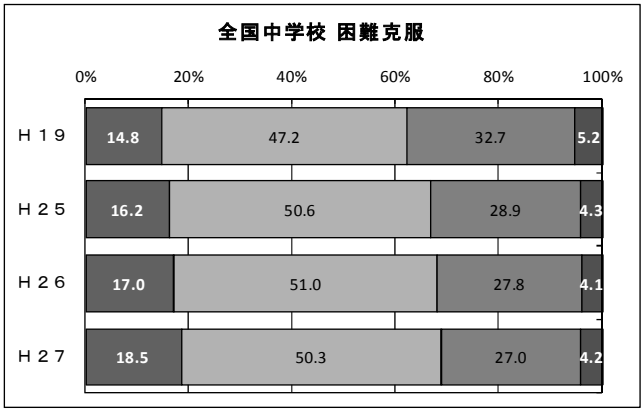
■小学校回答状況



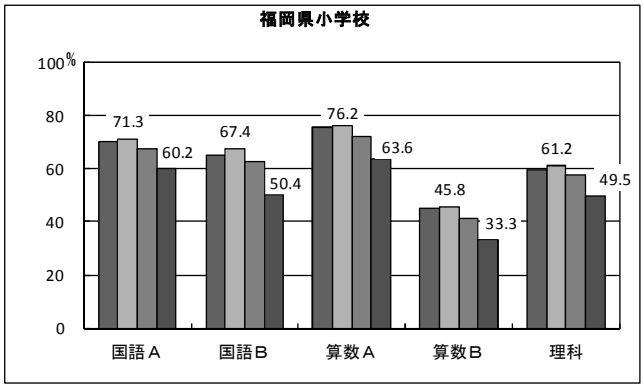


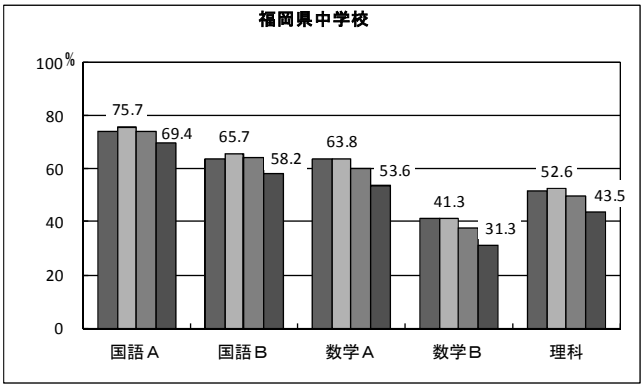
■中学校回答状況





■教科の正答率との相関関係





３　将来の夢や目標

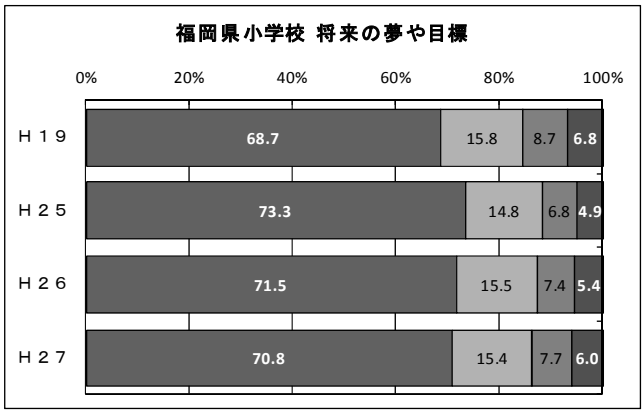
※　数字は、児童生徒質問紙の質問番号

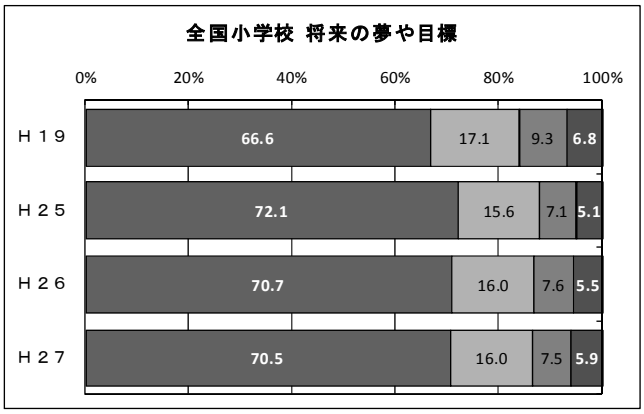
９	将来の夢や目標を持っていますか。

○　当てはまると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて小学校は 0.3 ポイント上回り、中学校は 1.1 ポイント上回った。また、当てはまると回答した児童生徒の割合は、平成２５年度以降、毎年減少している。

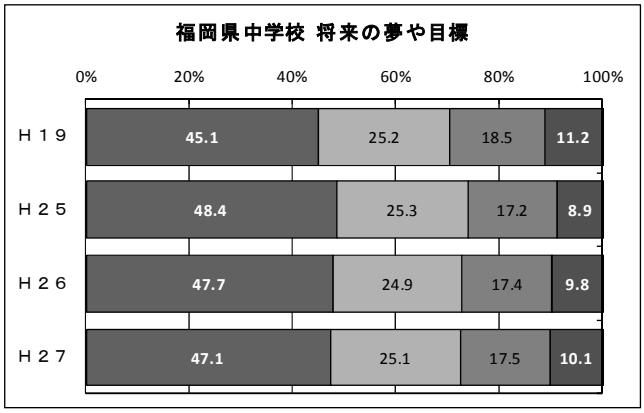
○　全く当てはまらないと回答した児童生徒の正答率は、全教科区分において低い傾向にある。

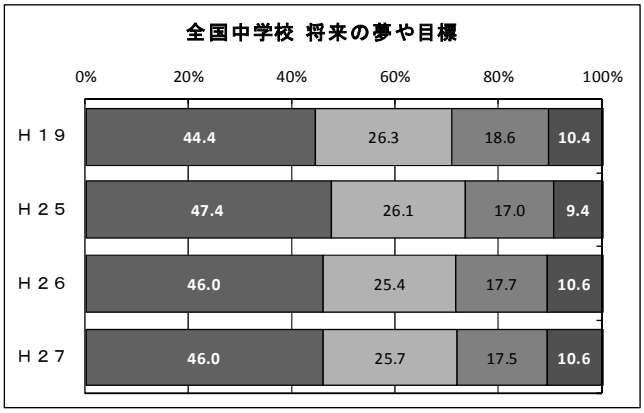
■小学校回答状況



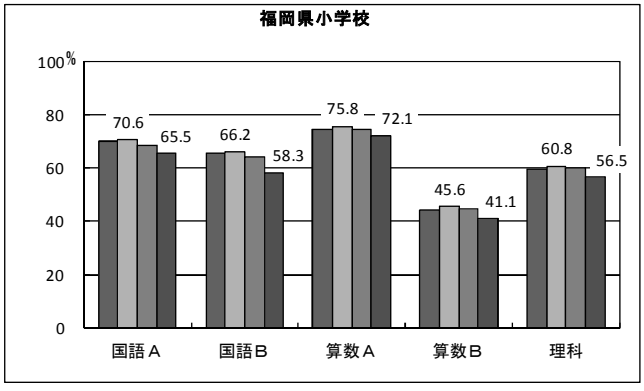


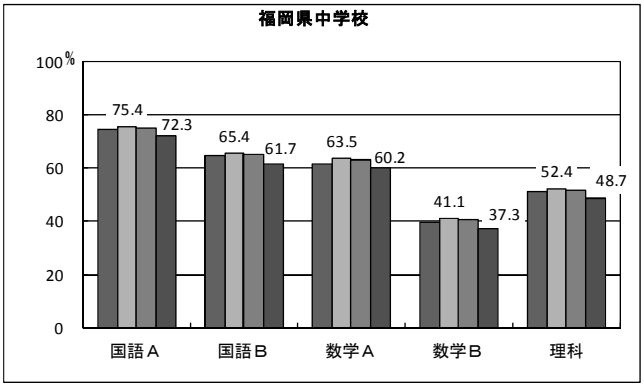
■中学校回答状況





■教科の正答率との相関関係





４　地域や社会への関心

※　数字は、児童生徒質問紙の質問番号

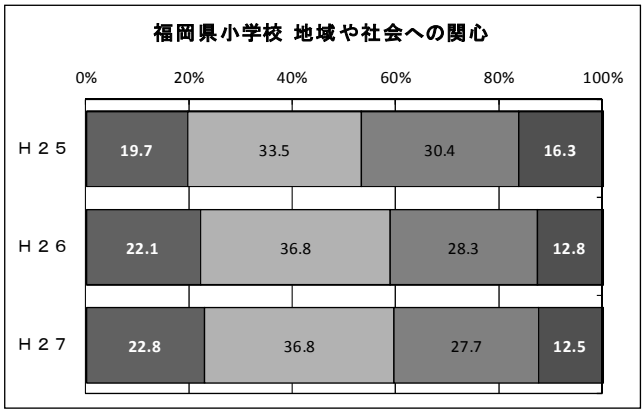
２８	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

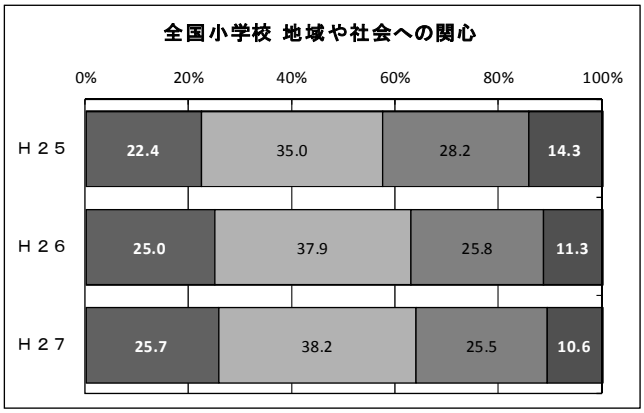
※平成２５年度から加えられた質問

○　当てはまると回答した児童生徒の割合は、全国と比べて小学校は 2.9 ポイント、中学校は 1.4 ポイント下回った。

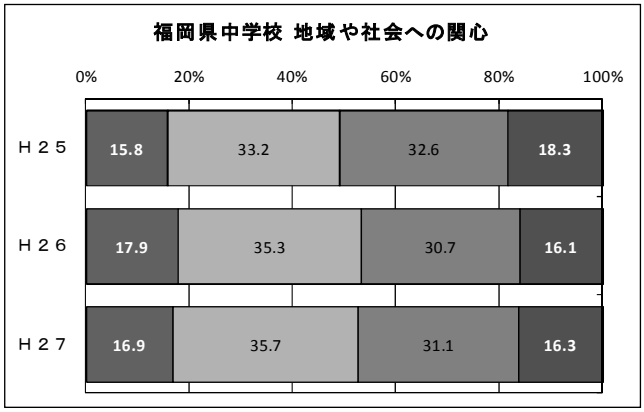
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答した児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

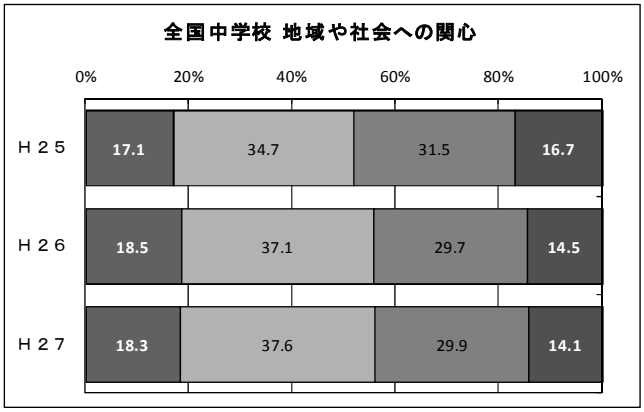
■小学校回答状況



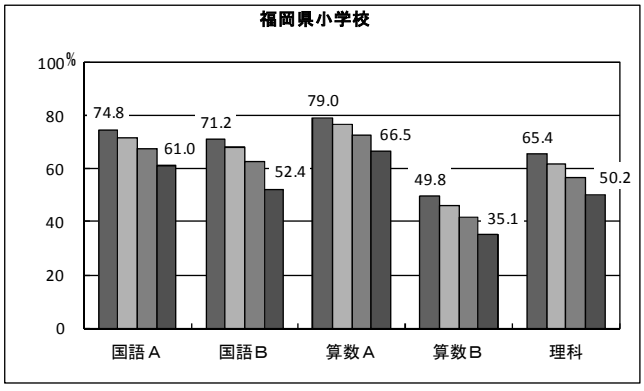


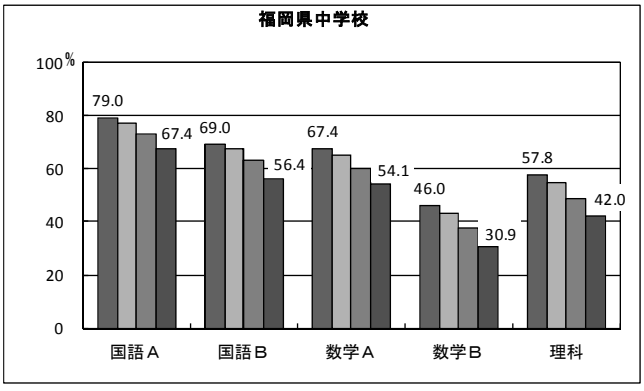
■中学校回答状況





■教科の正答率との相関関係





Ⅷ　まとめと今後の取組

１　分析結果の総括

■　＜教科に関する調査について＞

○　平成２６年度と比較して、小学校は無解答がない児童の割合が高くなったが、中学校は低くなった。
○　小学校では国語、算数ともに、中学校では数学において、A問題よりB問題の方が無解答がない児童生徒の割合が低い。
○　平成１９年度（理科は平成２４年度）と比較して、小学校は、理科を除く全ての教科区分で全国平均との差が縮まったが、中学校は、数学Bを除く全ての教科区分で全国平均との差が広がった。
○　小中学校ともに、平成１９年度（理科は平成２４年度）と比較して、全ての教科区分で地区ごとの平均正答率の最大・最小の差が縮まった。

■　＜市町村別の状況について＞

（１）「市町村別の平均正答率の状況」について

本年度は、６１市町村（学校組合を含む。以下同じ。）教育委員会のうち、市町村内の学校数が小学校、中学校共に１校である市町村を除く全ての市町村から結果公表の同意を得た。なお、市町村内の学校数が１小学校又は１中学校である場合は当該学校を公表対象外としているので、小学校は５６市町村、中学校においては４４市町村の結果を公表した。（詳細については１０ページ以降を参照）

県内６１市町村の概況は、次のとおりである。

○　正答率が全国平均を上回っている教科区分ごとの市町村数

（小学校）国語A　３５　　国語B　３２　　算数A　２６　　算数B　２１　　理科２１
（中学校）国語A　１５　　国語B　１９　　数学A　１１　　数学B　１３　　理科１５

○　小学校の５教科区分全てにおいて全国平均を上回っている市町村数　１５
○　中学校の５教科区分全てにおいて全国平均を上回っている市町村数　　８
○　小学校・中学校の合計１０教科区分全てにおいて全国平均を上回っている市町村数　４

（２）「取組の成果が見られる市町村」における主な取組の内容について

成果が見られる取組として多く上げられたのは、昨年度に引き続き次の３つの項目である。

なお、昨年度に主な取組として上げられていた「個に応じた指導体制の充実」「組織的な分析に基づく改善」については、多くの市町村で定着している。

【家庭・地域と連携した教育環境の構築】

・　小中間で共通理解のもと「家庭学習の手引」等を作成・配布し、家庭学習週間等を設定して一斉に取り組んだり、9年間や１５年間等の長期のスパンで保幼小中間の連携や家庭との連携を図りながら児童生徒の育成計画を作成したりしている。
・　学力低位の児童生徒や生活環境が厳しい児童生徒に対し、支援員等を派遣して学習や保護者に対するサポートを行っている。

【小中連携した指導体制の構築】

・　中学校区内や市町村内のブロックごとに定期的に小中合同研修会を開き、授業公開や検討、学力向上のための授業改善等についての研修を行っている。
・　学力向上の基盤づくりとして、家庭の生活習慣づくりや学校のきまり、学校での学習習慣や指導方法等について小中で連携を深め、安定した環境づくりを行っている。

【教職員の実態に応じた職員研修の工夫】

・　市町村内の指導力豊かな教員、退職教員等が指導力向上につなげる指導助言をする機会を設け、教員のキャリアステージに応じた研修を行っている。
・　全国学力・学習状況調査等の分析をもとに、市町村教育委員会による学校訪問を行い、改善のための取組や授業等について指導・助言等を行っている。

■　＜児童生徒質問紙、学校質問紙について＞

（１）児童生徒質問紙に関する調査結果について

○　「勉強は好きですか」という問いに対して、小学校算数を除く全ての教科について肯定的な回答をした児童生徒の割合が平成２６年度（理科は平成２４年度）と比較して増加した。特に、中学校国語、中学校数学については全国平均を上回った。

○　平日に学校の授業以外で１時間以上家庭学習を行っている児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して小学校は同程度であるが、中学校は増加した。また、全く学習しない児童生徒は、平成２６年度と比較して小学校は同程度であるが、中学校は減少した。

○　平日に３時間以上テレビやビデオ・ＤＶＤを視聴する児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに減少した。しかし、平日に１時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする児童生徒の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに増加した。

（２）学校質問紙調査に関する調査結果について

○　「様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導」、「総合的な学習の時間における探究の過程を意識した指導」、「本やインターネットなどを使った資料の調べ方の指導」、「資料を使った発表の指導」、「学級全体で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えること」、「地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱うこと」、「情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習や課題発見・解決型の学習指導」、「言語活動の学校全体の取組」等に対する肯定的な回答をした学校の割合は、全国と比較して本県は顕著に低く、課題が見られる。

○　「家庭での学習方法の指導」、「全職員による課題の共有と組織的な取組」、「学校全体の学力傾向や課題の全職員間での共有」について肯定的な回答をした学校の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに増加したが、全国と比較すると本県は低く、課題が見られる。

○　国語、算数（数学）、理科の補充学習について「よく行った」と回答をした学校の割合は、平成２６年度（理科は平成２４年度）と比較して、小学校、中学校ともに増加した。

○　「ＰＴＡや地域の人の学校の諸活動への参加」、「保護者、地域の人への働きかけ」について肯定的な回答をした学校の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに増加した。

○　「授業中私語が少なく落ち着いているか」という問いに対して、肯定的な回答をした学校の割合は、平成２６年度と比較して、小学校、中学校ともに増加している。しかし、全国と比較すると、中学校は5.0ポイント低く、課題が見られる。

（３）児童生徒質問紙と学校質問紙の調査結果の対比（児童生徒と教師間の認識の差）について

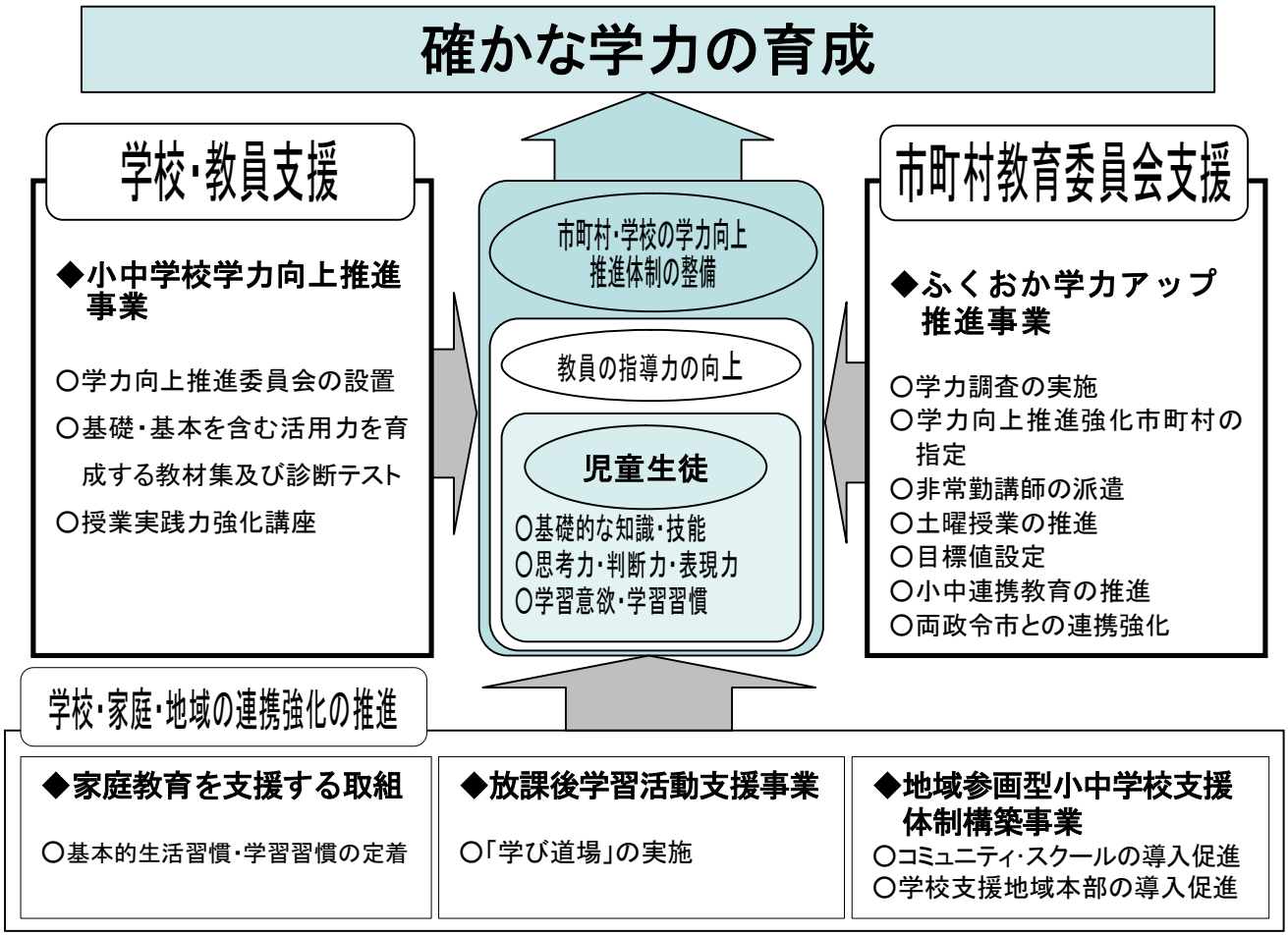
○　「学習内容を振り返る活動の位置づけ」の項目において、肯定的な回答をした児童生徒の割合と、学校の割合を比較すると、小中学校ともに、児童生徒の割合の方が、それぞれ17.8ポイント、28.1ポイント低く、認識の差が大きい。授業の終末段階で、児童生徒が「何を学んだのか」、「どのように学んだのか」といった学習内容を振り返る活動や「学んだことをどのように活用することができるか」といった次の学習への見通しをもつ活動を意識して行うことが課題である。

○　「授業のめあての提示」の項目において、肯定的な回答をした割合は、児童生徒、学校ともに全国と比較すると高い。肯定的な回答をした児童生徒の割合と、学校の割合を比較すると、小中学校ともに、児童生徒の割合の方が、それぞれ 11.1 ポイント、7.8 ポイント低いものの、これらの差は、全国と比べると小さい。授業の導入段階において、めあてを意識した授業が展開されている。

2　改善に向けた今後の取組

■　これまでの取組

これまでの調査結果を踏まえ、県教育委員会では、「学力向上総合推進事業」を展開している。この事業は、「学校・教員支援」、「市町村教育委員会支援」、「学校・家庭・地域の連携強化の推進」を３つの柱としており、具体的には以下に示す施策を県、市町村、学校が一体となって総合的に推進することにより、本県児童生徒の確かな学力の育成を図っている。



学力向上総合推進事業の全体像

(1) ふくおか学力アップ推進事業

本年度は、平成２０年度から７年間実施してきた「ふくおか学力アップ推進事業」の内容を充実させて実施している。

①　学力調査の実施

次のア・イの調査を通じて、各市町村教育委員会と各学校が、教育及び教育施策の成果と課題を把握し、全ての教科の基盤となる国語、算数・数学の検証改善サイクルを確立する。

ア　全国学力・学習状況調査（小６－国語、算数、理科、中３－国語、数学、理科）

イ　福岡県学力調査（小５－国語、算数、中２－国語、数学）

②　学力向上推進強化市町村の指定

学力向上に向けて特に支援が必要と認められる市町村を学力向上推進強化市町村（以下「強化市町村」という。）として３年間指定し、次に掲げる支援を行う。

ア　教育事務所の指導主事等の学力向上支援チームによる学力向上施策や学校への指導内容・方法、学力分析の方法、授業改善の具体的方法等についての指導助言

イ　強化市町村が行う教員の指導力向上の研修、家庭学習推進の取組、放課後や長期休業中の補充学習等に対する経費の補助

③　非常勤講師の派遣

強化市町村に対し、非常勤講師を派遣し、国語、算数・数学を基本とした少人数指導や習熟度別指導等の取組を支援する。

④　土曜授業の推進

土曜日及び長期休業中に保護者、地域住民等の人材を活用した授業等を行う市町村教育委員会の取組を支援するため、当該授業等に係る経費の一部を補助する。

⑤　地区別の目標値設定

全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査を基に、学校別及び市町村別、地区別目標値の設定状況及び目標値に基づく学力向上等の取組状況を確認する。

⑥　小中連携教育の推進

次のア・イの取組を通じて、小中連携教育を推進する。

ア　市町村教育委員会及び学校における小中学校間の教員による授業交流を促進

イ　福岡県重点課題研究指定・委嘱校の取組の成果を積極的に活用し、市町村教育委員会及び学校における小中学校教員の合同研修会の実施を促進

⑦　両政令市との連携強化

両政令市の学力向上の取組の成果と課題を共有するとともに、「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」、指導資料の相互活用等の共通実践を進める。

(2) 小中学校学力向上推進事業

平成２５年度から実施している「小中学校学力向上推進事業」については、本年度も引き続き実施している。

なお、②、③、④の実施を通じて、児童生徒の基礎基本を含む活用力を高めるとともに、教員の指導力を高め、授業改善に資することをねらいとしている。

①　各地区学力向上推進委員会

６教育事務所それぞれの管内において、学校及び市町村の学力向上の取組状況を具体的に把握し、課題に応じた改善の取組を地区内で統一的に推進する。

②　基礎基本を含む活用力を育成する教材集

「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」を授業等で活用し、基礎基本を含む活用力の向上を図る。

ア　対象

小学校第５・６学年全児童及び中学校全学年全生徒

イ　教科

国語、算数・数学

ウ　内容と構成

・　基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材
・　基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る教材

エ　活用方法

授業や家庭学習等で繰り返し活用する。

③　基礎基本を含む活用力診断テスト

診断テストを定期的に実施することにより、児童生徒のつまずきや課題を短いスパンで定期的に明らかにし、習熟度別指導等の個に応じた指導が実施されるよう啓発を行う。

ア　対象

小学校第５・６学年全児童及び中学校全学年全生徒

イ　教科

国語、算数・数学

ウ　内容

基礎的・基本的な内容や思考力、判断力、表現力の育成状況を診断する問題

エ　実施回数

小学校…年間３回、中学校…年間２回

④　授業実践力強化講座

小学校第５・６学年の全担任と中学校の国語科、数学科担当の全教員を対象に、国語、算数・数学の授業研究・協議及び学習指導に関する講義を通して教員の実践的指導力の向上を図る。福岡教育大学及び福岡教育大学附属小中学校と連携して実施している。

(3) 家庭教育を支援する取組

○ 基本的生活習慣・学習習慣の定着

家庭での実践と保護者等への啓発を行う。また、県ＰＴＡ連合会と連携した取組を行う。

(4) 放課後学習活動支援事業

○ 学び道場の実施

放課後等に地域の協力を得ながら補充学習等の学習活動を行う「学び道場」の実施に対する支援を行う。

(5) 地域参画型小中学校支援体制構築事業

① コミュニティ・スクールの導入促進

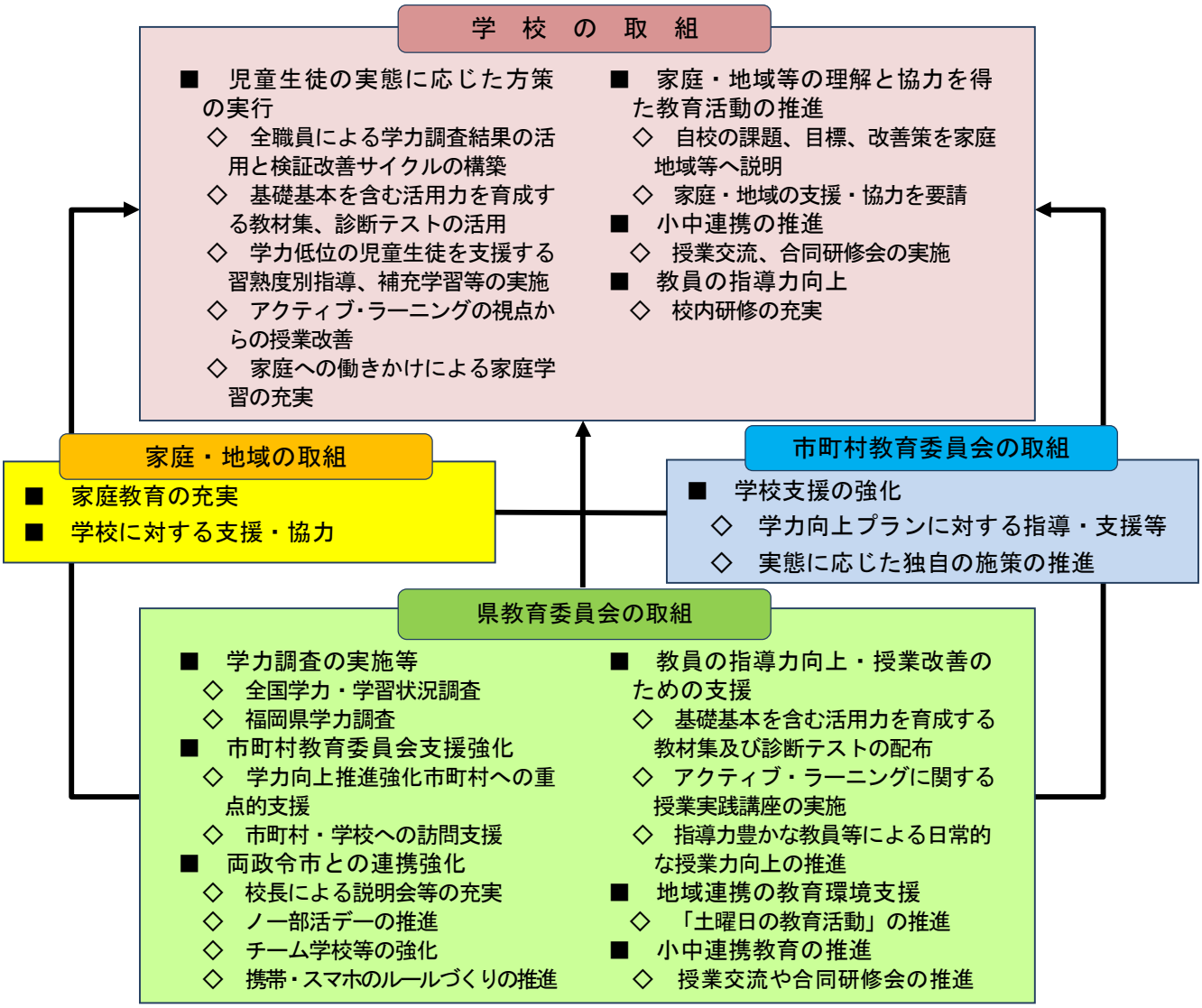
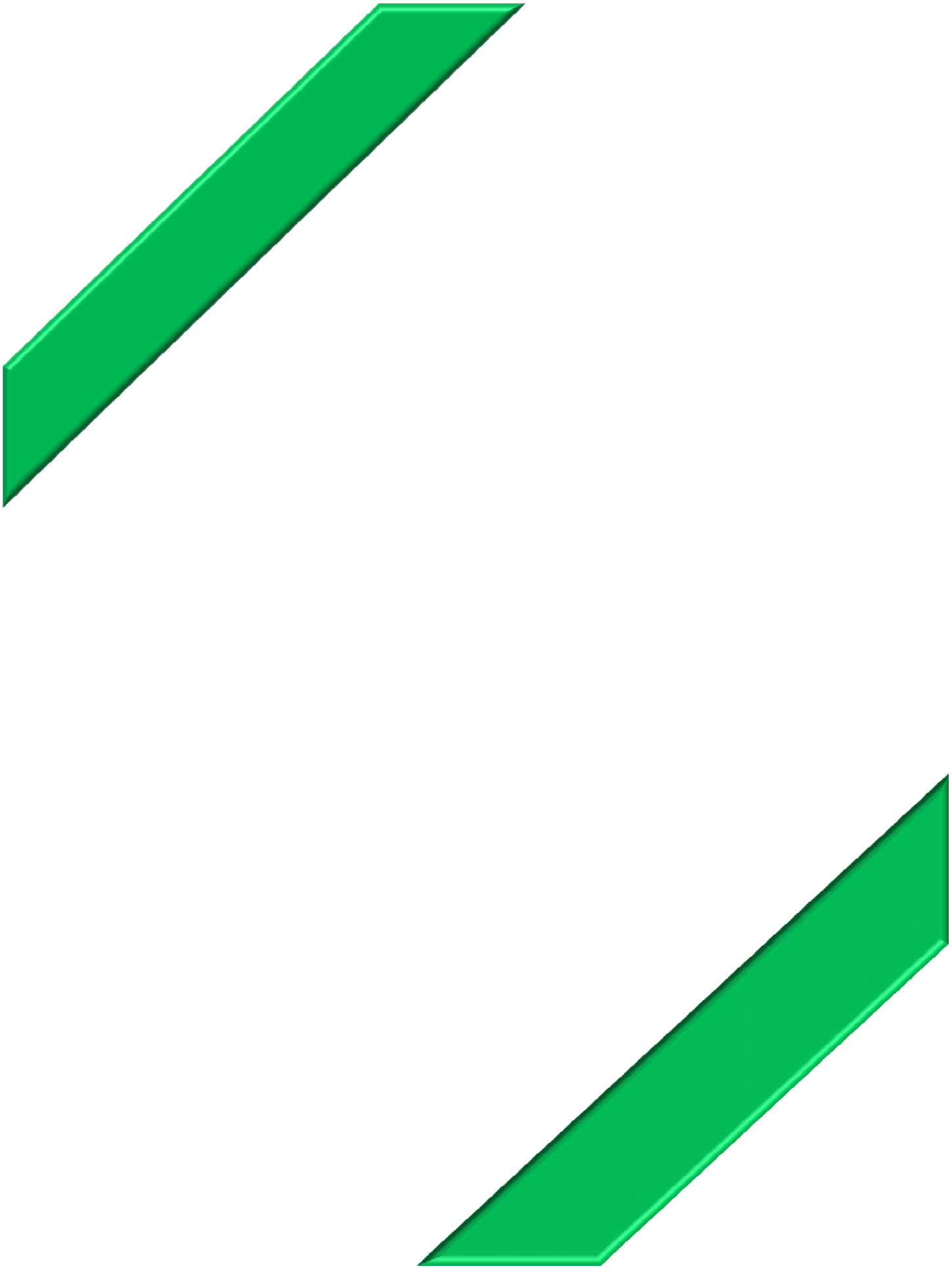
検討委員会の設置や先進事例の視察等に対する支援を行う。

② 学校支援地域本部の導入促進

学校支援コーディネーターの配置経費等に対する支援を行う。

■ 今後の改善の視点

○ 児童生徒の学力実態や課題、改善の方策を学校の職員全体で共有し、教育指導の改善を中核とする組織的な検証改善サイクルを確立する。
○ つまずきに対して早期対応するために、学力低位の児童生徒を中心とした補充学習等を充実させるとともに、特に小学校での基礎学力を定着させる。
○ 授業では、ねらいに応じた、児童生徒が主体的・協働的に学習するアクティブ・ラーニングを取り入れるとともに、自分の学びを振り返る活動を確実に位置付け、評価を行う。
○ 学力向上に向けた環境構築のため、学校と地域・保護者が一体となって協働する体制づくりを行う。
○ 県教育委員会は、市町村教育委員会及び学校の取組についてフォローアップを行う。

■ 今後の取組

今後の改善の視点を踏まえて関係者との連携を一層強化しながら取組の徹底を図り、全県で取り組む。